高岡市埋蔵文化財調査報告　第26冊

中木津遺跡・西木津遺跡調査報告

―高岡市木津土地区画整理組合による区画整理事業に伴う調査―

2014年３月

高岡市教育委員会

高岡市埋蔵文化財調査報告　第26冊

中木津遺跡・西木津遺跡調査報告

―高岡市木津土地区画整理組合による区画整理事業に伴う調査―

2014年３月

高岡市教育委員会

序

現在、高岡市におきましては341箇所もの遺跡が周知されています。これら多くの遺跡で醸成された文化は、ご先祖から代々受け継がれ、現代へとつながっています。本市におきましては、長年にわたりこれらの保護を実施して参りました。

このたび報告いたしますのは、平成20年度から平成23年度にかけて屋外本発掘調査を実施した、高岡市木津土地区画整理事業に伴う中木津遺跡と西木津遺跡の発掘調査成果です。

調査の結果、中木津遺跡では、縄文後期から晩期の石囲遺構や土坑が検出されました。また、古代の集落跡や佐野台地一帯を流れる溝の一部が見つかりました。これにより、東木津遺跡や石塚遺跡の北側に古代と中世後半から近世の集落があることが判明しました。西木津遺跡では、中世の集落を検出しています。

本書を郷土における歴史探求や学術研究にご活用いただければ幸いです。

末尾になりましたが、今回の発掘調査の実施にあたり、ご協力いただきました関係各位、地元の皆様に、厚くお礼申し上げます。

平成26年３月

高岡市教育委員会
教育長　氷見　哲正

例　言

1　本書は、富山県高岡市において高岡市教育委員会が実施した、中木津遺跡と西木津の発掘調査の調査報告書である。

2　当調査は高岡市木津土地区画整理組合による区画整理事業に伴い実施したものである。

3　屋外発掘調査は、平成22年度及び23年度において実施した。報告書の編集・作成作業は平成24年度及び平成25年度に高岡市教育委員会にて行った。屋外調査、及び一部の整理発掘調査についての体制は、高岡市教育委員会が監理し、高岡市木津土地区画整理組合、事業代行者の株式会社松原建設、そして発掘調査会社で４者協定を締結し実施した。

4　高岡市教育委員会の調査関係者は以下のとおりである。

課　　長	大巻	宏治（22年度）
	高田	克宏（23～25年度）
課長補佐	富山	尚樹（24・25年度）
主　　幹	中野	由美子（22・23年度）
主　　査	根津	明義（22～25年度）
主　　事	田上	和彦（24・25年度）
事 務 員	田上	和彦（23年度）
嘱託職員	田上	和彦（22年度）
	道振	弘明（22年度）
	阿原	智子（23年度）
	江口	雅子（23～25年度）
	千田	友子（23年度）
	宮野	美重子（23年度）
	杉山	大晋（24・25年度）
	中野	由美子（24・25年度）

5　報告書作成において、以下の各氏により御教授、御支援を賜った。（順不同・敬称略）

安念幹倫・酒井重洋（富山県埋蔵文化財センター）、久田正弘（石川県埋蔵文化財センター）、新宅輝久（株式会社アーキジオ）、岡田一広（株式会社エイ・テック）、鈴木景二（富山大学）

6　本書は、各担当地区の発掘調査会社の概要を基に杉山が主体となり加筆・編集を実施した。

7　発掘調査にかかる遺物等の資料は、すべて高岡市教育委員会が一括保管している。

凡　例

1　本書に掲載した遺構図の方位は座標北であり、水平基準は海抜高である。

2　座標は世界測地系を使用し、各地区にてグリッド番号による表記を行っている。

3　本書においては、各遺構に対し、次のような記号を付してその種別を表した。

ＳＡ：柵址　ＳＢ：掘立柱建物　ＳＤ：溝状遺構　ＳＥ：井戸址　ＳＫ：土坑

ＳＸ：凹地及び性格不明遺構

4　遺構図における平面図及び土層断面図の縮尺は、それぞれの図版に記載している。

5　遺構図の断面や平面図、遺物図面のアミカケは、下記の通りである。

地山　須恵器　珠洲　赤彩　黒色処理　赤漆

目　次

序

例言・凡例

目次

第１章　遺跡の位置と分布状況

第１節　遺跡の位置 ……（杉山）1

第２節　遺跡の分布状況 ……（杉山）4

第２章　調査にいたる経緯と経過 ……（根津）6

第３章　中木津遺跡試掘調査

第１節　木津区画整理地内試掘調査 ……（杉山）8

１．調査概要　２．遺構　３．出土遺物　４．小結

第４章　中木津遺跡本調査

第１節　区画整理１区 ……（杉山）10

１．調査概要　２．遺構　３．出土遺物　４．小結

第２節　区画整理２区 ……（杉山）21

１．調査概要　２．遺構　３．出土遺物　４．小結

第３節　区画整理３区 ……（杉山）30

１．調査概要　２．遺構　３．出土遺物

第５章　西木津遺跡本調査

第１節　区画整理区 ……（杉山）35

１．調査概要　２．遺構　３．出土遺物　４．小結

第６章　結語 ……（杉山）38

挿図目次

第１図　庄川扇状地と中木津遺跡位置図 …… 3

第２図　遺跡分布図 …… 4

第３図　調査地区位置図 …… 6

第４図　区画整理１区調査地区設定図 …… 10

第５図　区画整理１区下層確認トレンチ位置図 …… 11

第６図　区画整理１・２区基本層序図 …… 13

第７図　区画整理３区調査地区設定図 …… 30

第８図　区画整理３区基本層序図 …… 31
第９図　区画整理区基本層序図 …… 35
第10図　主要遺構概念図 …… 40

図面目次

遺構実測図（試掘報告）　木津神社遺跡（中木津遺跡）
図面01　遺構実測図　主要遺構図（１／2500）
図面02　遺構実測図　Ｄ区　遺構全体図（１／400）
図面03　遺構実測図　Ｄ区　土坑　SX07 実測図（１／40・１／60）
遺構実測図　中木津遺跡
図面04　遺構実測図　区画整理１区遺構全体図（１／1000）
図面05　遺構実測図　区画整理１区遺構概略図１（１／400）
図面06　遺構実測図　区画整理１区遺構概略図２（１／400）
図面07　遺構実測図　区画整理１区遺構概略図３（１／400）
図面08　遺構実測図　区画整理１区遺構概略図４（１／400）
図面09　遺構実測図　区画整理１区　掘立柱建物 SB01 実測図（１／100・１／40）
図面10　遺構実測図　区画整理１区　掘立柱建物 SB02 実測図（１／80・１／40）
図面11　遺構実測図　区画整理１区　掘立柱建物 SB03 実測図（１／80・１／40）
図面12　遺構実測図　区画整理１区　柵列 SA01・02・03 実測図（１／100・１／80）
図面13　遺構実測図　区画整理１区　溝 SD202・204・206・210・222・223 土層断面図（１／60）
図面14　遺構実測図　区画整理２区　地区全体図１（１／800）
図面15　遺構実測図　区画整理２区　地区全体図２（１／800）
図面16　遺構実測図　区画整理２区　遺構概略図１（１／400）
図面17　遺構実測図　区画整理２区　遺構概略図２（１／400）
図面18　遺構実測図　区画整理２区　遺構概略図３（１／400）
図面19　遺構実測図　区画整理２区　遺構概略図４（１／400）
図面20　遺構実測図　区画整理２区　遺構概略図５（１／400）
図面21　遺構実測図　区画整理２区　遺構概略図６（１／400）
図面22　遺構実測図　区画整理２区　遺構概略図７（１／400）
図面23　遺構実測図　区画整理２区　掘立柱建物 SB01 実測図（１／80・1・40）
図面24　遺構実測図　区画整理２区　掘立柱建物 SB02 実測図（１／100・１／40）
図面25　遺構実測図　区画整理２区　掘立柱建物 SB03 実測図（１／100・１／40）
図面26　遺構実測図　区画整理２区　掘立柱建物 SB04 実測図（１／100・１／40）
図面27　遺構実測図　区画整理２区　掘立柱建物 SB05 実測図（１／80・１／40）
図面28　遺構実測図　区画整理２区　掘立柱建物 SB06・07 実測図（１／80・１／40）
図面29　遺構実測図　区画整理２区　掘立柱建物 SB08 実測図（１／100・１／40）
図版30　遺構実測図　区画整理２区　溝 SD11 実測図（１／400・１／100）

図面 31　遺構実測図　区画整理２区　溝 SD48 実測図（１／250・１／80）
図面 32　遺構実測図　区画整理２区　溝 SD107・111 実測図（１／400・１／40）
図面 33　遺構実測図　区画整理３区　遺構全体図（１／1200）
図面 34　遺構実測図　区画整理３区　遺構概略図１（１／400）
図面 35　遺構実測図　区画整理３区　遺構概略図２（１／400）
図面 36　遺構実測図　区画整理３区　遺構概略図３（１／400）
図面 37　遺構実測図　区画整理３区　遺構概略図４（１／400）
図面 38　遺構実測図　区画整理３区　掘立柱建物 SB01 実測図（１／80・１／40）
図面 39　遺構実測図　区画整理３区　溝 SD14・SD21 実測図（１／80）
図面 40　遺構実測図　区画整理３区　溝 SD ５・６・７・18・19（１／100・１／40・１／50）
遺構実測図　西木津遺跡
図面 41　遺構全体図　区画整理区　遺構全体図（１／400）
図面 42　遺構実測図　区画整理区　Ｇ地点遺構概略図（１／200）
図面 43　遺構実測図　区画整理区　Ｆ地点遺構概略図（１／200）
図面 44　遺構実測図　区画整理区　溝ＳＤ 65、土坑ＳＫ 31・33・39、柱穴ＳＰ 67・69 実測図（１／100・１／40）
遺物実測図　中木津遺跡
図面 45　遺物実測図　１区　溝 SD204〔１〕出土遺物
図面 46　遺物実測図　１区　溝 SD204〔２〕出土遺物
図面 47　遺物実測図　１区　溝 SD204〔３〕出土遺物
図面 48　遺物実測図　１区　溝 SD203、SD204〔４〕、NR01 出土遺物（１／３・２／３）
図面 49　遺物実測図　１区　溝 SD206、SD210〔１〕出土遺物（１／３）
図面 50　遺物実測図　１区　溝 SD210〔２〕、SD214・237、SX505、SP1119 出土遺物（１／３）
図面 51　遺物実測図　１区　遺構外出土遺物〔１〕
図面 52　遺物実測図　１区　遺構外出土遺物〔２〕、下層トレンチ、試掘 SX07 他出土遺物（１／３）
図面 53　遺物実測図　２区　建物・溝出土遺物（１／３）
図面 54　遺物実測図　２区　溝 SD11・43・48・51・107 出土遺物（１／３）
図面 55　遺物実測図　２区　溝 SD57 出土遺物（１／３）
図面 56　遺物実測図　２区　不明土坑 SX03 出土遺物（１／３）
図面 57　遺物実測図　３区　溝 SD14 出土遺物（１／３・１／６）
図面 58　遺物実測図　３区　柱穴 SP43・50・51、土坑 SK7・27、溝 SD6・18・21・33 出土遺物（１／３）
遺物実測図　西木津遺跡
図面 59　遺物実測図　区画整理区　溝 SD65〔１〕出土遺物（１／３）
図面 60　遺構実測図　区画整理区　溝 SD65〔２〕、他柱穴・土坑・溝出土遺物（１／３）

図版目次

木津神社遺跡（中木津遺跡）

図版 01　遺構写真　D区
1．第４トレンチ北東遺構検出状況（南）
2．第４トレンチ土坑 SX07 検出状況（北）
3．第４トレンチ土坑 SX07 縄文土器出土状況（南）

図版 02　遺構写真　D区
1．第８トレンチ土層確認断面（西）
2．第８トレンチ縄文土器出土状況１（西）
3．第８トレンチ縄文土器出土状況２（西）

中木津遺跡

図版 03　遺構写真　区画整理１区
1．遺跡遠景（南）
2．区画整理１－１区全景（南東）

図版 04　遺構写真　区画整理１区
1．区画整理１－２区全景（南）
2．区画整理１－３区西側全景（北西）

図版 05　遺構写真　区画整理１区
1．掘立柱建物 SB01 全景（南）
2．掘立柱建物 SB02 全景（南東）

図版 06　遺構写真　区画整理１区
1．掘立柱建物 SB03・柵址 SA01・02 全景（南）
2．溝 SD210 全景（北）

図版 07　遺構写真　区画整理１区
1．溝 SD201 全景（東）
2．溝 SD206 全景（南）

図版 08　遺構写真　区画整理１区
1．溝 SD204 南側全景（北西）
2．溝 SD204 西側全景（南西）

図版 09　遺構写真　区画整理１区
1．溝 SD204 遺物出土状況（西）
2．溝 SD204 遺物出土状況（北西）
3．溝 SD204 遺物出土状況（南）

図版 10　遺構写真　区画整理２区
1．調査区北側垂直写真（上が北東）
2．調査区南側垂直写真（上が北西）

図版 11　遺構写真　区画整理２区
1．掘立柱建物 SB02 ～ 04 南側拡張部全景（北東）
2．掘立柱建物 SB01 ～ 04 全景（南東）

図版 12　遺構写真　区画整理２区
1．掘立柱建物 SB01 完堀状況（西）
2．掘立柱建物 SB02 完堀状況（西）
3．掘立柱建物 SB02 拡張部完堀状況（西）

図版 13　遺構写真　区画整理２区
1．掘立柱建物 SB03 完堀状況（西）
2．掘立柱建物 SB04 完堀状況（西）
3．掘立柱建物 SB05 完堀状況（北）

図版 14　遺構写真　区画整理２区
1．掘立柱建物 SB06 完堀状況（北）
2．掘立柱建物 SB07 完堀状況（南）
3．溝 SD11 完掘状況（南）

図版 15　遺構写真　区画整理２区　１．溝 SD43 完掘状況（東）
２．溝 SD43 分岐部完掘状況（南）
３．溝 SD48 全景（北）
図版 16　遺構写真　区画整理３区　１．調査区全景（南西）
２．A 地点垂直写真（上が南西）
３．調査区北側全景（北東）
図版 17　遺構写真　区画整理３区　１．B 地点垂直写真（上が北東）
２．C 地点垂直写真（上が南西）
３．E 地点垂直写真（上が南東）
図版 18　遺構写真　区画整理３区　１．C 地点掘立柱建物 SB01 完掘状況（北東）
２．A 地点溝 SD ４・５・６完掘状況（南西）
３．A地点溝 SD16・17 完掘状況（南）
図版 19　遺構写真　区画整理区　１．B地点溝 SD14・21 完掘状況（南西）
２．E地点土坑 SK27・28・29 完掘状況（北東）
３．E地点北壁土層断面（南）

西木津遺跡

図版 20　遺構写真　西木津遺跡　区画整理区　１．遺跡遠景（北）
２．F・G地点垂直写真（上が南東）
３．G地点土坑 SK39 完掘状況（南）
図版 21　遺構写真　西木津遺跡　区画整理区　１．F地点土坑 SK52 遺物出土状況（南）
２．F地点溝 SD65 完掘状況（西）
３．F地点溝 SD65 遺物出土状況（北東）

図版 22　遺物写真　中木津遺跡　区画整理１区　土器類　古代須恵器
図版 23　遺物写真　中木津遺跡　区画整理１区　土器類　古代須恵器・土師器
図版 24　遺物写真　中木津遺跡　区画整理１区　土器類　古代須恵器・土師器　中世珠洲
図版 25　遺物写真　中木津遺跡　区画整理１区　土器類　縄文土器　古代土師器　石製品他
図版 26　遺物写真　中木津遺跡　区画整理１区　土器類　古代墨書土器・転用硯・製塩土器
図版 27　遺物写真　中木津遺跡　区画整理１区　土器類　縄文土器　古墳～古代土師器
図版 28　遺物写真　中木津遺跡　区画整理１区　土器類　縄文土器　古代須恵器・土師器　中世陶磁器
土製品
図版 29　遺物写真　中木津遺跡　区画整理１区　土器類　縄文土器　弥生土器　土製品　製塩土器
図版 30　遺物写真　木津神社遺跡（中木津遺跡）　試掘 D 区　土器類　縄文土器
図版 31　遺物写真　木津神社遺跡（中木津遺跡）　試掘 D 区　土器類　縄文土器
遺物写真　中木津遺跡　区画整理１区　石製品
図版 32　遺物写真　中木津遺跡　区画整理１区　木製品　金属製品
中木津遺跡　区画整理２区　土器類　縄文土器　古代須恵器　近世陶磁器
図版 33　遺物写真　中木津遺跡　区画整理２区　土器類　土師器　古代須恵器　中世珠洲

図版 34　遺物写真　中木津遺跡　区画整理２区　土器類　古代須恵器　中世珠洲・土師器　近世陶磁器
土製品
図版 35　遺物写真　中木津遺跡　区画整理２区　土器類　中世陶器　近世陶磁器
図版 36　遺物写真　中木津遺跡　区画整理２区　土器類　近世陶磁器　木製品
図版 37　遺物写真　中木津遺跡　区画整理３区　土器類　縄文土器　古代須恵器・土師器
図版 38　遺物写真　中木津遺跡　区画整理３区　土器類　古代須恵器・土師器　中世磁器　中世土師器
図版 39　遺物写真　中木津遺跡　区画整理３区　土器類　縄文土器　古代須恵器・土師器　中世土師器
西木津遺跡　区画整理区　土器類　古代須恵器　中世珠洲・陶磁器　中世土師器
瓦器
図版 40　遺物写真　西木津遺跡　区画整理区　土器類　中世珠洲

表目次

表１　溝分類案
表２　遺構一覧
表３　遺物一覧

第１章　遺跡の位置と分布状況

第１節　遺跡の位置

福田と佐野　高岡市街地の南西郊外は、かつての佐野村、福田村の地である。中木津遺跡は佐野地区木津集落の南側、福田地区石塚集落の西側に位置する。

木津集落とその周辺　庄川扇状地を形成する支流の１つに千保川がある。千保川は江戸時代までは庄川の本流となっており、寛文10（1670）年から正徳４（1714）年にかけて実施された加賀藩による河川改修によって現在の流路となった。千保川を小矢部川との合流地点から約3.0km遡った左岸に木津集落が位置する。木津集落は佐野台地の北東端部に位置し、ここより北東方は千保川の氾濫源となる。この氾濫源の対岸は高岡台地（現市街地中心部）である。

木津地区は江戸時代から明治22年までは木津村であり、その後は北部が高岡市に、南部は佐野村に所属した。佐野村は、佐野・西藤平蔵・十二町島・北蔵新・中坪新・木津新・上関新の７箇村と鷲島新・木津・鴨島・上関・上黒田・下黒田の一部が合併したものである。昭和17年に佐野村が高岡市と併合することに伴い、高岡市の大字となり現在に至っている。佐野村は射水郡二上荘に属し、佐野郷として鎌倉時代の文献にみられる。佐野郷、佐野村は射水郡に含まれてきた地域である。高岡市においては中央部にあたり、北側は旧射水郡高岡町、東側は旧射水郡二塚村、南側は旧砺波郡戸出町、西側は旧砺波郡福田村の地域である。佐野地区の南および西の境界で旧射水郡と旧砺波郡の境となり、古代の郡界もこの付近に推定され、ここまでが射水郡とされている。

佐野地区は庄川扇状地の豊富な伏流水の湧水帯にあたり、特に木津地区では昭和２年に高岡市上水道計画における水源地として指定された。近年、佐野地区では大型の宅地化が進み、北側には南星町、中央部には泉ヶ丘団地など造成が行われている。佐野地内の東部には高岡を起点とする国道156号が南北に走り、砺波・五箇山を通り岐阜県岐阜市に達している。

石塚集落とその周辺　庄川扇状地を形成する支流の一つに祖父川がある。祖父川を小矢部川との合流地点から約1.5km遡った右岸に石塚集落が位置する。石塚集落には県道高岡環状線が貫き、祖父川の対岸には近世北陸道にあたる県道鴨島立野線が走る。県道高岡環状線と県道鴨島立野線は北接する集落である上北島集落で合流する。石塚の名は砺波郡吉積荘に属する村として「石塚村」が南北朝時代の文献に見えるものである。石塚集落の北側は上北島（旧上北島村）、東側は佐野（旧佐野村）、南側は辻（旧辻村）、西側は六家（旧六家村）である。

石塚地区は江戸時代から明治22年までの石塚村であり、その後は明治22年に成立した福田村に所属した。福田村は、佐野・福田新・上北島・石塚・辻・蔵野町・荒見崎の７箇村を合併したものである。昭和24年に福田村が高岡市と併合することに伴い、高岡市の大字となり現在に至っている。福田の地名は福田郷・福田荘として鎌倉時代から戦国時代の文献に見えるものである。福田郷の惣社は、延喜式内社とされる荊波神社である。福田村は砺波郡、郡の分割後は西砺波郡に含まれてきた地域である。高岡市においては中央部にあたり、北側は旧射水郡横田村、東側は旧射水郡佐野村、南側は旧砺波郡戸出町、西側は旧砺波郡東五位村の

地域である。福田地区の北および東の境界で旧射水郡と旧砺波郡の境となり、古代の郡界もこの付近に推定され、ここまでが砺波郡とされている。福田地内の西側には北東から南西方向に国道８号が走り、また並行して近世北陸道である県道立野鴨島線が走る。また、近世城端道である県道高岡環状線は上北島地内で県道立野鴨島線から分岐し、戸出・砺波方面へ延びている。

地勢

庄川扇状地　庄川は、飛騨高地の中央部、岐阜県荘川村烏帽子岳に発し、庄川町金屋で平野部へ出て、砺波平野の東端を北流し、新湊市六渡寺で富山湾へ注ぐ全長132kmの川である。庄川町金屋で平野部に出ると、北西方向に拡がる扇状地を形成し、この扇状地は砺波平野の主要部となる。現在の庄川は庄川扇状地の東端部を北流しているが、これは寛文10（1670）年から正徳４（1714）年にかけて実施された加賀藩による河川改修と流路の固定化によるもので、それ以前は千保川筋が庄川本流であった。この加賀藩の河川改修では、高岡市能町地区で小矢部川と合流していた。明治29（1896）年に伏木地区で相次いで洪水し、また伏木港の建設のため、小矢部川と庄川を分流する工事が行われ、明治45（1912）年に工事が完了し現在のように富山湾へ直接注ぐようになった。現在は庄川の上流部には幾多のダムが建造され、また砺波平野の灌漑用水源として利用されているため、河床の低下が著しくなっている。

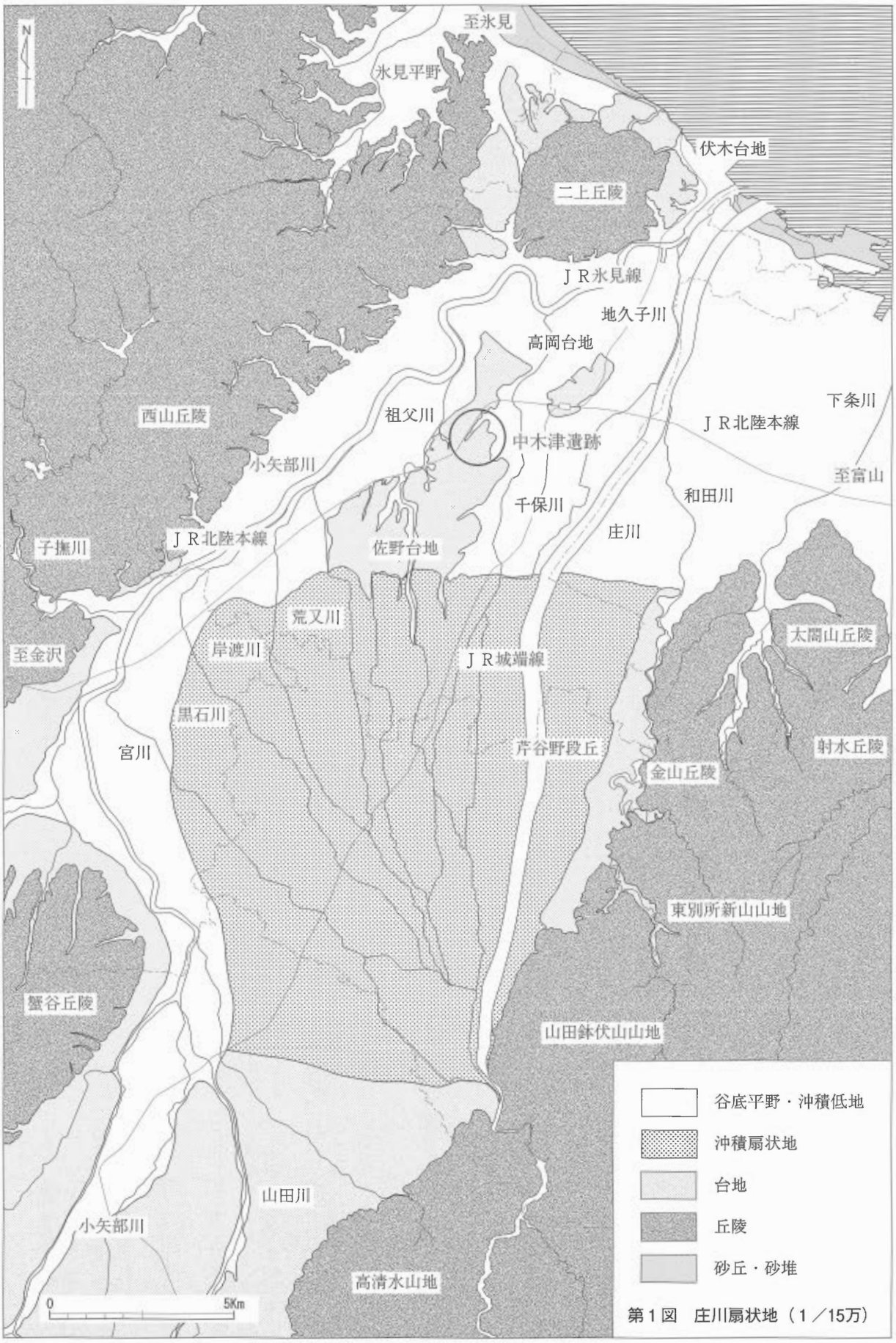
庄川扇状地を形成する庄川の支流は、いずれも扇状地の西端部を北流する小矢部川に注ぎ込む。小矢部川は、石川県と富山県との境の大門山に発し、福光町網掛で平野部へ出る。砺波平野とこれに続く射水平野の西側を緩やかに曲流した後、二上山の南麓から東麓へ走り、高岡市伏木より富山湾へと注ぐ、全長67kmの川である。大小いくつもの川がこの小矢部川へ流れ込み、排水河川として機能している。

祖父川　庄川の支流で小矢部川へと流れ込む川の１つに祖父川がある。祖父川は庄川扇状地扇央部の砺波市三郎丸で舟戸口用水から流れ出し、高岡市早川にて小矢部川へ注ぎ込む全長13.9kmの川である。舟戸口用水は庄川扇状地の扇頂部にあたる庄川町金屋から砺波市三郎丸までの灌漑用水であり、三郎丸にて祖父川と千保川に分流する。祖父川は高岡市南西部の灌漑用水、また伏流水などの排水路として機能している。

千保川　庄川の支流で小矢部川へと流れ込む川の１つに千保川がある。千保川は庄川扇状地の扇頂部にあたる庄川町金屋で庄川から流れ出し、高岡市街地の中央部を縦断し、高岡市四屋にて小矢部川へ注ぎ込む全長18kmの川である。江戸中期までは庄川の本流であり、小矢部川との合流点は木町として、初期高岡町の港津として発展したが、庄川が現在の流路になると小矢部川の流量が減り、港津の機能は伏木へと移った。

佐野台地　佐野台地は往古の庄川が形成した扇状地の扇端部で、西は小矢部川、東は千保川の浸食によって段丘化した標高10～20mの台地である。千保川の対岸には高岡台地があり、本台地と高岡台地は連続する台地であったと考えられている。本台地の中央部には祖父川が北流し２分している。本台地では庄川の伏流水による湧水が非常に豊富で、台地の端には伏流水がつくる小河川によって浸食谷が形成されている。

本台地上では縄文時代後期から人々の定住が確認され、弥生時代中期以降は台地の端部に中核的集落が形成される。現在は半島状に突出した部分は高岡市街地となり、それ以外は田園地帯が拡がっている。

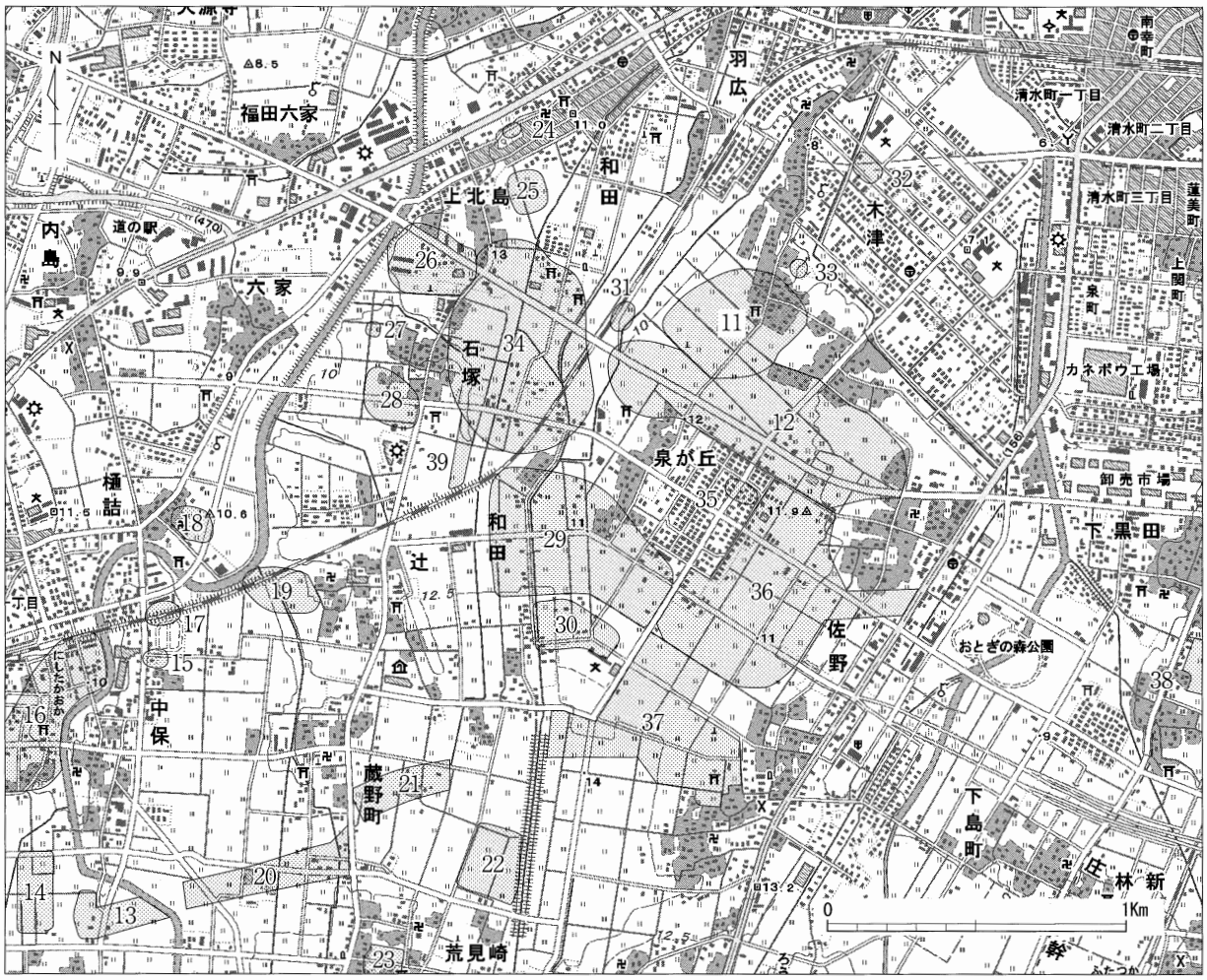


第１図　庄川扇状地（１／15万）

第２節　遺跡の分布状況

中木津遺跡と西木津遺跡　高岡市街地の南西郊外、祖父川と千保川に挟まれた標高11～12mの微高地に中木津遺跡と西木津遺跡が立地する。ここは往古の庄川が形成した扇状地の末端に当たり、佐野台地と呼ばれている。当遺跡の西側には和田川とその周辺の谷状低地部が走り、微高地を大きく２分している。

中木津遺跡は、旧称は木津神社遺跡であり、昭和62年の遺跡分布調査で確認された。平成20年度に木津土地区画整理事業に伴う試掘調査を実施し、遺跡範囲および名称の変更を実施した。縄文時代晩期以来の複合集落跡である。西木津遺跡は、同じく昭和62年の遺跡分布調査で確認された。平成20年度の同土地区画整理事業に伴う試掘を実施している。中世から近世にかけての集落跡である。



第2図　遺跡分布図（１／２万５千）

11. 中木津遺跡、12. 東木津遺跡、13. 小竹Ｂ遺跡、14. 小竹Ｃ遺跡、15. 中保Ａ遺跡、16. 中保Ｂ遺跡、17. 中保Ｃ遺跡、18. 樋詰遺跡
19. 辻遺跡、20. 蔵野町遺跡、21. 蔵野町東遺跡、22. 荒見崎北遺跡、23. 荒見崎村内遺跡、24. 下北島住吉遺跡、25. 上北島遺跡
26. 石塚江之戸遺跡、27. 石塚五俵田遺跡、28. 石塚蜻保遺跡、29. 石名瀬Ａ遺跡、30. 西佐野千代遺跡、31. 石名瀬Ｂ遺跡、32. 北木津遺跡
33. 西木津遺跡、34. 石塚遺跡、35. 泉ヶ丘遺跡、36. 下佐野遺跡、37. 諏訪遺跡、38. 上黒田遺跡、39. 石塚六方遺跡

祖父川沿いの遺跡

福田地区の遺跡　佐野台地の北西部は半島状に突出しており、その付け根の位置に石塚遺跡が所在する。石塚遺跡は縄文時代後期以来の複合集落跡である。石塚遺跡の北側には下北島住吉遺跡・上北島遺跡が所在する。石塚集落の北側には湧水による浸食谷が東西方向に走り、谷の北側台地上に石塚江之戸遺跡が所在し、縄文土器（晩期）が出土し、中世の遺構・遺物が確認されている。石塚遺跡の南西側には石塚五俵田遺跡・石塚蜻保遺跡が所在し、縄文土器（後～晩期）が表採されている。石塚遺跡が南に拡張することが判明し、南接していた石塚屋敷田遺跡は石塚遺跡に含まれることになった。石塚遺跡の北東側には石名瀬Ｂ遺跡がある。

立野地区の遺跡　立野地区はＪＲ西高岡駅周辺に位置し、ここでは祖父川が大きく蛇行している。この蛇行部では佐野台地が半島状に西へ突出しており、この突出部に辻遺跡が所在する。祖父川を挟んで辻遺跡の対岸には樋詰遺跡が所在する。祖父川が大きく北西方向に張り出す部分の右岸微高地上に中保Ａ遺跡・中保Ｃ遺跡が所在する。祖父川を挟んで中保Ａ遺跡の西側の対岸には中保Ｂ遺跡が所在する。中保Ｂ遺跡は平成６年度以来の調査にて、縄文時代後期からの複合遺跡であることが判明している。中保Ｂ遺跡の西側には立野地頭田遺跡があり、祖父川をやや遡った位置に小竹Ａ遺跡・小竹Ｂ遺跡・小竹Ｃ遺跡が所在する。佐野台地の西端部には駒形遺跡・高田新茅道遺跡・高田新西後遺跡が所在し、これらの遺跡は高岡工芸高等学校地理歴史クラブＯＢ会により調査され、縄文時代後～晩期の遺跡であることが判明している。佐野台地の最西端には弥生時代後期の中核的集落遺跡である下老子笹川遺跡が所在する。

千保川沿いの遺跡

佐野地区の遺跡　佐野台地の北東部に中木津遺跡が所在する。中木津遺跡に南接する東木津遺跡は弥生時代以来の複合集落であり、特に奈良・平安時代の遺構・遺物が確認されている。中木津遺跡の北側には西木津遺跡・北木津遺跡が所在する。東木津遺跡に南接して泉ヶ丘遺跡と下佐野遺跡がある。泉ヶ丘遺跡は昭和37年の泉ヶ丘団地の造成中に確認された遺跡であり、縄文土器（晩期）が採集されている。下佐野遺跡からは弥生時代終末期～古墳時代初期の周溝墓群と集落跡、古代の官衙的要素を持つ集落や中世の集落が確認されている。下佐野遺跡の西側には、石名瀬Ａ遺跡があり、弥生時代中期以来の複合集落跡である。特に弥生中期～古墳前期の方形周溝墓や竪穴建物・掘立柱建物で構成される集落跡が特筆される。古代においては、下佐野遺跡や石名瀬A遺跡、東木津遺跡からは、斎串や人形などの木製祭祀具が出土している。加えて、人面墨書土器や馬が書かれた墨画土器も出土することから古代祭祀に関連する遺物も多く確認される。祖父川と千保川の中間地点に荒見崎集落が位置し、集落の北東側に荒見崎北遺跡、北西側には蔵野町遺跡、南東側には荒見崎村内遺跡がある。荒見崎村内遺跡は弥生時代中期を中心とし、昭和56・57年にかけて試掘調査が行われ荒見崎遺跡として報告されている。

高岡台地の遺跡

千保川を挟み佐野台地の対岸には高岡台地が拡がる。東木津遺跡の北東3.0kmのところには、近世高岡の中心となった高岡城跡がある。この城は加賀前田家２代当主前田利長が築いた城である。この高岡城跡内には２つの縄文時代の遺跡がある。高岡城跡の南西部には大手町遺跡が所在し、北東部には小竹藪遺跡が所在する。高岡城跡の北方には中川遺跡・古定塚遺跡がある。中川遺跡は縄文時代晩期を中心とした遺跡であり、古定塚遺跡は旧石器の採集地である。

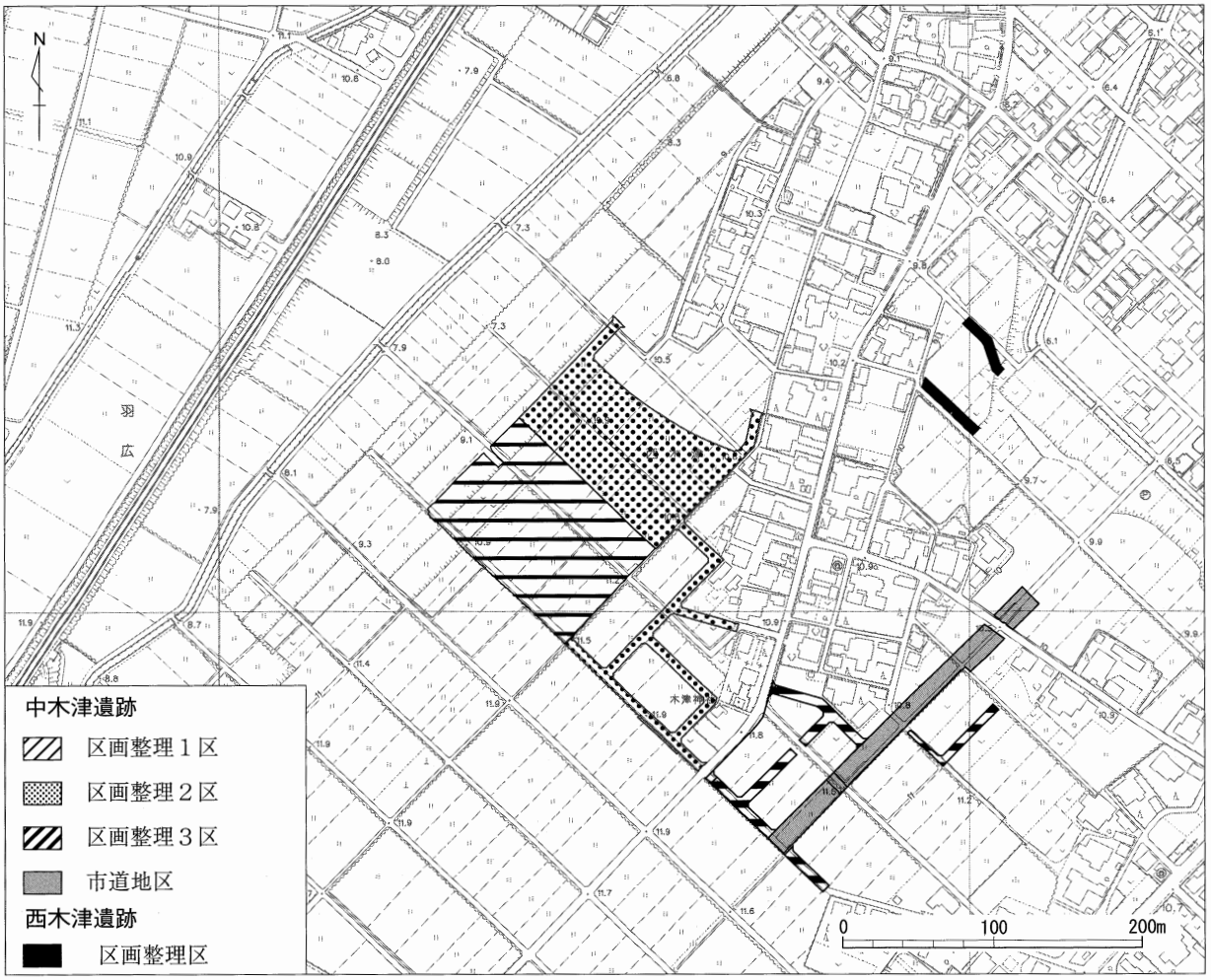
第２章　調査に至る経緯と経過

調査計画

平成20年、高岡市木津土地区画組合による総面積約40,000㎡の区画整理事業が同地において計画され、高岡市教育委員会あてに埋蔵文化財保護に係る取り扱いが打診された。その後、両者間で協議を行い同年秋季より試掘調査を実施し、今後の調査計画や開発計画を検討することとした。

試掘調査の結果、多くの範囲において埋蔵文化財が所在することが判明し、また原因者側の意向も含めこのうち約25,000㎡に対する本発掘調査を依頼される運びとなった。初年度は中木津遺跡の22.566㎡を調査し、２年目は同遺跡の、2,401㎡と、西木津遺跡の546㎡を発掘調査を行った。

発掘調査の実施にあたっては、高岡市教育委員会のほか、原因者である高岡市木津土地区画整理組合、事業代行者の株式会社松原建設、そして民間発掘会社の４者にて協定を締結し実施した。



第３図　調査地区位置図　（１／5，000）

なお、調査経過及び担当した民間発掘調査会社は以下のとおりである。

平成20年度　試掘調査　　木津神社遺跡　　担当調査会社：株式会社エイ・テック
調査対象面積：36,600㎡　調査面積：4,140㎡
西木津遺跡　　担当調査会社：株式会社エイ・テック
調査対象面積：3,400㎡　調査面積：360㎡

平成20年度の試掘調査により、中木津遺跡の西側部分については埋蔵文化財が存在しないものと判断され、指定からは外すこととした。また存続した時代についても新たに縄文時代後期・晩期を追加するべきことが判明した。遺跡名についても平成22年に「木津神社遺跡」を改め、「中木津遺跡」と変更した。

平成22年度　本発掘調査　中木津遺跡　区画整理１区　　担当調査会社：株式会社エイ・テック
調査対象面積：11,258㎡
中木津遺跡　区画整理２区　　担当調査会社：株式会社アーキジオ
調査対象面積：11,308㎡

平成23年度　本発掘調査　中木津遺跡　区画整理３区　　担当調査会社：株式会社アーキジオ
調査対象面積：2,401㎡
西木津遺跡　区画整理区　　担当調査会社：株式会社アーキジオ
調査対象面積：546㎡

平成22年度　整理作業　　中木津遺跡　区画整理１区　担当調査会社：株式会社エイ・テック
実施期間：平成22年４月14日～平成23年２月16日
遺物洗浄・注記、測量図編集、概要報告書作成を実施
中木津遺跡　区画整理２区　　担当調査会社：株式会社アーキジオ
実施期間：平成23年10月～平成24年3月16日　　整理調査　報告書原案作成

平成24年度・平成25年度　中木津遺跡　区画整理３区・西木津遺跡　区画整理区
整理作業　　高岡市教育委員会直営で実施。
実施期間：平成24年４月～平成25年10月
遺物洗浄・注記、遺物実測、概要報告書作成・編集を実施

第３章　中木津遺跡試掘調査

第１節　木津区画整理地内試掘調査

１．調査概要

調査対象地が土地区画整理事業による開発が予定されため、事業計画地内における埋蔵文化財包蔵対象地について調査を実施した。発掘調査は平成20年５月19日～同年７月３日まで実施した。調査地区名は便宜上A～Eの区割を設定し、各地区内の水田、畑に各１～２本の幅２ｍの試掘坑を設定した。掘削後に、記録の作成を行い、窪地など一部の遺構は部分的に掘り下げ、内容の把握を行った。報告する縄文時代後期の遺構は、D区で検出された。ここで報告する遺構については、本調査にて出土した縄文土器を理解するのに必要と考え報告する。調査全体で確認された遺構と遺物は下記の通りである。

A区　検出遺構：掘立柱建物、ピット、土坑、溝、窪地
　　出土遺物：土師器、須恵器、青磁、珠洲、越中瀬戸、伊万里

B区　検出遺構：ピット、土坑、溝、窪地
　　出土遺物：土師器、須恵器、青磁、珠洲、越中瀬戸、伊万里、肥前

C区　検出遺構：ピット、土坑、溝、窪地、自然流路
　　出土遺物：縄文土器、土師器、須恵器、伊万里、肥前

D区　検出遺構：ピット、土坑、溝、窪地
　　出土遺物：縄文土器、土師器、須恵器、白磁、青磁、瀬戸美濃、越中瀬戸、肥前、伊万里、石器

E区　検出遺構：ピット、土坑、溝、窪地
　　出土遺物：縄文土器、土師器、須恵器、珠洲、越中瀬戸、肥前、伊万里

２．遺構

土坑ＳＸ07（図面02・03）

Ｄ区Ｔ４北端部の東壁際で一部検出した。１／２がトレンチ外に続いていること、周囲から縄文土器が多く検出されたことから、トレンチ北端部周囲を拡張して確認調査を行った。平面規模は直径約50cmの円形で、約20～30cmの川原石を周囲に配置している。遺構は未掘削であるが、被熱痕や焼土、炭化物など明確にはみられなかった。周辺からは縄文土器の小破片が検出面に貼り付いたかたちで、ややまとまって出土した。SX07周囲の検出面は、部分的に若干灰褐色の粘性のある土や、炭化物の粒が混じった土がみられた。

３．出土遺物

Ｃ・Ｄ区出土遺物（図面52）

縄文土器は遺跡北西端部にあたるC区と南東部にあたるD区から出土した。そのうち、Ｄ区Ｔ４拡張区ＳＸ07周辺とＤ区Ｔ８サブトレンチ内で多くの遺物が出土した。156のみが晩期前葉～中葉の中屋式に属する。その他の縄文土器のすべては晩期中葉～後葉の下野式に属するものである。

中木津遺跡（旧木津神社遺跡）の北西端部にあたるC区からは、141と156の２個体を図化した。D区Ｔ４にあたるSX07からは、140・142・143・146・150・155・157の計７個体を図化した。D区Ｔ８で検出されたSX07周辺からは、139・144・145・147～149・151～154の計10個体を図化した。以下に器種別に記述する。

140～145、146～154、157は深鉢である。鉢の可能性がある遺物もこの分類に含む。139は口縁外面に、沈線による工字文風の文様帯をもつ。口縁はほぼ垂直に伸び、端部は外反する。140は口縁外面に沈線を施す。口縁は外反して開く。141は口縁外面に横方向、体部に斜め方向の二枚貝による条痕を施す。口縁端部内面には浅い沈線を１条施す。口縁はやや内湾気味に伸び、端部は直線的に開く。142は体部である。外面に沈線により、横位の綾杉状の文様を連続して施す。143は体部である。外面に斜め方向の二枚貝による条痕を施す。144は口縁外面に沈線による文様帯をもち、工字文を施す。口縁は直線的にやや口縁は外反して開く。146は口縁端部上面と内面を指で押さえて、やや波状口縁とする。口縁外面直下に貼り付け文様が剥離した状況が観察される。口縁は直線的に開く。147は口縁外面に沈線を２条施す。148は口縁外面に横方向、体部に斜め方向の条痕を施す。口縁端部内面には浅い沈線を１条施す。口縁は体部から直線的に開く。149は口縁外面に横方向の条痕を施す。150は口縁外面に横方向の条痕を施す。口縁は直線的に開く。151は口縁外面に斜め方向の条痕を施す。口縁は直線的に開き、端部はやや尖る。152は口縁外面に横方向の条痕を施す。口縁は波状に突起した部分を持ち、直線的に開く。端部は丸くおさめる。153は外面に沈線区画内に列点文を施す。154は体部である。外面に斜め方向の二枚貝による条痕を施す。157は底部である。平底で、器壁は薄い。155はC区で出土した精製の浅鉢である。外面に施した地縄文をミガキ消して、雲形文状の文様などを施す。外面は全面を赤彩する。内面はミガキを行う。体部から口縁まで内湾して開き、端部は丸くおさめる。145・156は器種不明の体部である。145は外面に沈線による工字文風の文様を施す。156は体部である。外面に沈線による文様帯が若干残存する。

４．小結

試掘調査で出土した遺構・遺物の多くは本調査の結果、検出されて本章以降にて報告している。

ＳＸ07は縄文晩期の遺構と考えられ、中木津遺跡区画整理３区で検出されたSD14・21の南側の近い所に位置する。東西に流れる大溝からは、縄文後期～晩期の縄文土器が少量ながら出土していることから、SD14・21とＳＸ07は同時期に存在した可能性が指摘できる。近隣において当該期にかかる石囲いの炉の検出例はなく、焼土の痕跡も見られないことから土坑とした。住居・建物の存在は現状では確認できないことに加え、県内・隣県で石囲いを持つ炉は確認されておらず*1、上記の遺構の埋土の特徴から縄文晩期の墓などの埋葬に関連する遺構である可能性を指摘したい。

*1 石川県埋蔵文化財センター久田正弘氏の御教授による。

第４章　中木津遺跡本調査

第１節　区画整理１区

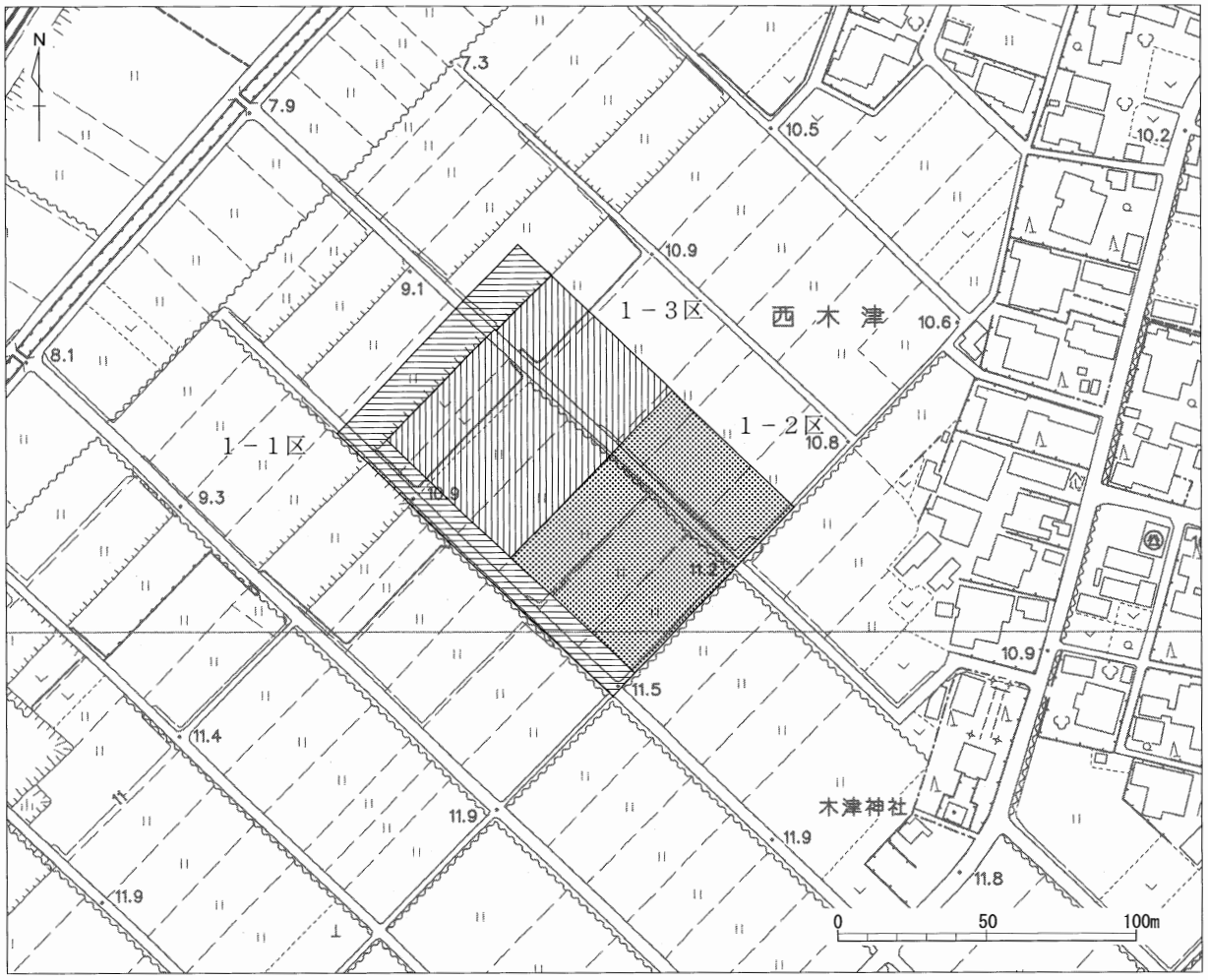
１．調査概要

調査地区の設定

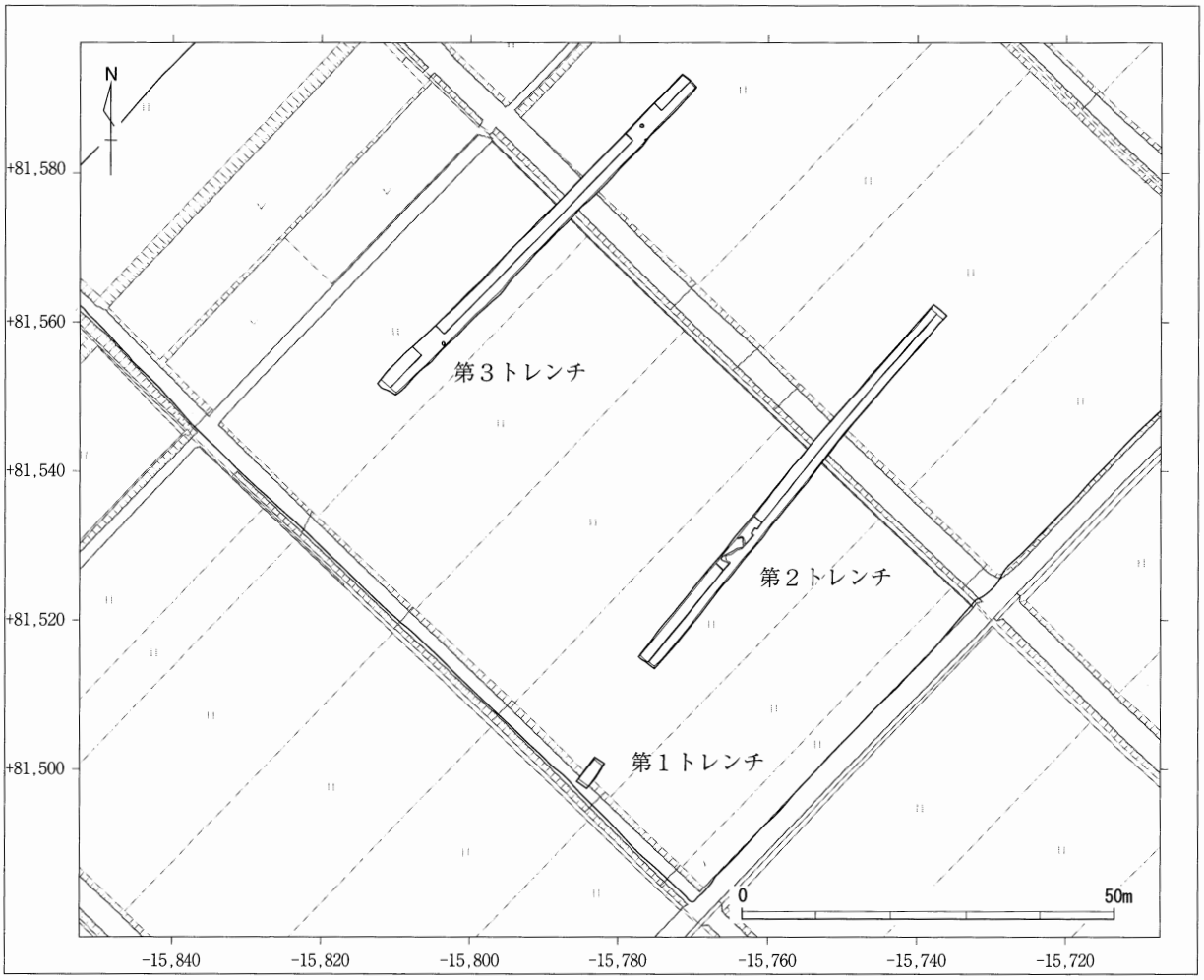
工事の進捗や航測撮影面積等を考慮し、地区を３つに細分し調査を実施した。調査地区名を作業する順に１－１～１－３地区とし、それぞれ調査終了後に空撮を実施した。

１－１地区は、調査対象地の南および西側のＬ字状の地区である。平成22年４月14日から同年５月21日まで実施した。東西方向では溝ＳＤ201～209、南北方向は自然流路ＮＲ01を検出した。ＳＤ204の肩部では縄文時代晩期の縄文土器が２個体がまとまって出土した。またＳＤ204からは９世紀の土師器椀がまとまって出土した。５月19日と５月21日に空撮を実施した。５月21日に下層遺構確認を実施し、調査を終了した。

１－２地区は、調査地区の東半部である。平成22年５月11日から同年６月26日まで調査を実施した。中近世の掘立柱建物ＳＢ01、奈良平安時代の溝ＳＤ206・ＳＤ211、近世～近代の溝ＳＤ210等を検出した。



第４図　調査地区設定図　（１／2，500）



第５図　下層確認トレンチ位置図　（１／1，000）

１－３地区は、調査地区の西半部である。平成22年６月21日から同年８月19日まで実施した。１－３地区近現代の幅10～20cmの溝を多数確認した。６月26日に空撮を実施した。なお、１－３地区と同時に再度撮影をするため完掘状態を維持した。１－３地区の空撮が終了した８月９日～８月19日まで下層確認を実施しの北端部で黒褐色シルト層（第Ⅲ層）の地山を確認し、上面で遺構検出したが、明確な遺構が確認できず第Ⅲ層を除去しにぶい黄橙色細粒砂層（第Ⅳ層）まで掘削し、遺構検出を実施した。奈良平安時代の溝ＳＤ204が屈曲して検出され、溝の底面からは平安時代の土師器・須恵器が出土した。７月30日に中学生現地学習会を実施した。８月６日に空撮を実施した。８月９日～８月19日まで下層確認を実施し、調査を完了した。

基本層序

表土（第Ⅰ層）は耕作土で、10～30cmの厚さで堆積しており、その下はにぶい黄橙色シルト層（第Ⅱ層）が20～58cm堆積しており、第Ⅱ層上面が遺構検出面となる。その下には黒褐色シルト層（第Ⅲ層）が18～30cm堆積しており、上面および層中からは縄文時代晩期の遺物が少量含まれる。その下はにぶい黄橙色細粒砂層（第Ⅳ層）でこの層からは遺構・遺物は確認されない。

検出遺構

検出遺構は、掘立柱建物址３棟をはじめ、柵址２条、土坑５基、溝21条、凹地１基である。年代的には古代、中世の２時期に区分できる。

出土遺物

出土遺物は以下のとおりである。縄文後期からの遺物があり、古代、中世、近世の遺物が確認されている。

土器類　縄文土器、土師器、須恵器、珠洲、瀬戸美濃、白磁、青磁、青花、越中瀬戸、関西系陶器
　　京焼、肥前、伊万里、製塩土器

土製品　土錘、フイゴの羽口、炉壁、焼成粘土塊、土人形

木製品　漆器、下駄、板材、楔、部材、棒材、曲物

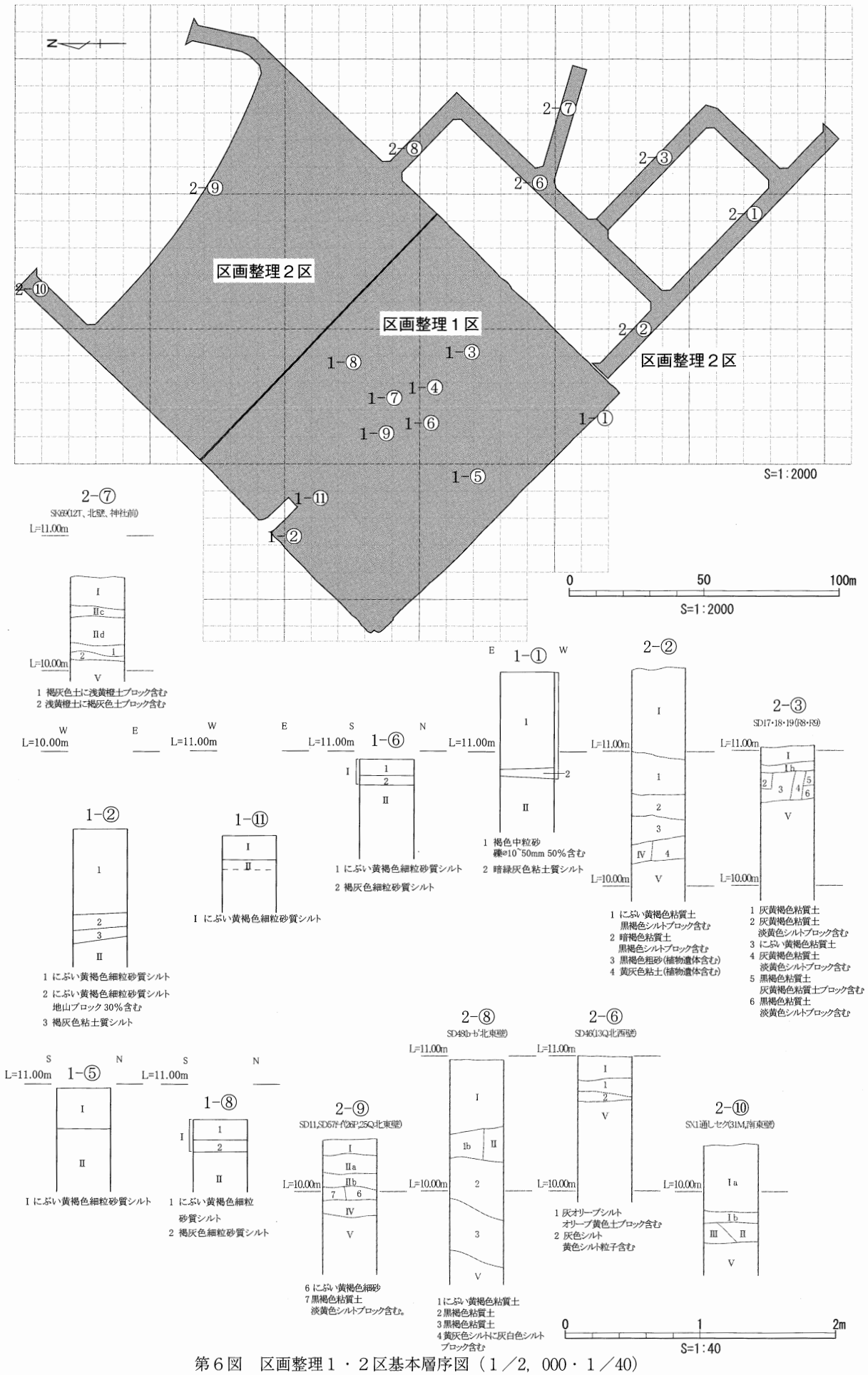
鉄製品　刀子、鉄滓

石製品　石鏃、打製石斧、砥石、剥片、瑪瑙

グリッド

座標は世界測地系を使用し、平面直角座標系の第７座標系（原点は北緯36°00′00″・東経137°10′00″）に合わせた。東西をＸ軸、南北をＹ軸とし、グリッドの南西隅の数値がそのグリッドを表すものとし、Ｘ＝１、Ｙ＝１の地点は、原点より西へ15.865km、北へ81.390km向かった位置である。一辺５ｍ四方を一区画としてグリッドを割り付け、メッシュを表示した。

座標は公共座標（世界測地系）を基にＸ＝81,380、Ｙ＝－15,870を起点とするA0とし、調査範囲を網羅できる位置に設定した。グリッドは真北を基線として、10m四方を区画して設定し、グリッドの名称については東西方向にアラビア数字（西から１，２，３…）南北方向にはアラビア数字（南から１，２，３…）を用いてこの両者の組み合わせで表記した。



第６図　区画整理１・２区基本層序図（１／2，000・１／40）

２．遺構

掘立柱建物址

掘立柱建物址は３棟確認されている。総柱建物は２棟、側柱建物は１棟が検出された。掘り方（柱穴）については、南西隅の掘り方を基点に、東西方向をＸ軸に、南北方向をＹ軸に取り、何番目に当たるかを座標で示した。南西隅の掘り方をＰ１－１と称する。

掘立柱建物址ＳＢ01

調査地区の南東側（21～23，27～30）区で検出された。総柱の掘立柱建物址で、床面積は約47.7㎡である。南北棟で、身舎は桁行４間（9.28m）×梁行２間（4.30m）で、北東側には下屋と推定できる庇が１間分ある。庇を入れた全長は10.96mを計る。建物方位はＮ－16°－Ｅである。柱間は、桁行が南から2.10m・2.42m・2.48m・2.08mで、梁行が西から2.08m・2.22mである。庇は長さ1.68m、幅2.20mを計る。柱穴Ｐ３－２とＰ３－３の間には間柱がある。身舎の掘り方は、平面形が円形ないし不正円形で、長軸0.28～0.36m、短軸0.24～0.30m、深さ16～44cmを計る。庇の掘り方は、円形で、直径0.22～0.24m、深さ７～11cmを計る。遺物は出土していない。

掘立柱建物址ＳＢ02

調査地区の中央部（15・16，34～36）区で検出された。総柱の掘立柱建物址で、床面積は約44.6㎡である。南北棟で、桁行３間（7.20m）×梁行３間（6.14m）である。建物方位はＮ－17°－Ｗである。柱間は、桁行が南から2.36m・2.80m・2.04mで、梁行が西から2.10m・2.26m・1.78mである。柱穴Ｐ２－４は柱軸から外れており、Ｐ４－３は検出できなかった。掘り方は、不正円形ないし不正楕円形で、長軸0.28～0.66m、短軸0.16～0.54m、深さ７～46cmを計る。遺物は出土していない。

掘立柱建物址ＳＢ03

調査地区の西側（10・11，34～36）区で検出された。側柱の掘立柱建物址で、床面積は、約23.9㎡である。南北棟で、桁行２間（5.08m）×桁行２間（4.70m）である。建物方位はＮ－13°－Ｅである。柱間は、桁行が2.54m均等で、梁行は西から2.62m・2.08mとなる。柱穴Ｐ１－１はＳＫ130に切られ、Ｐ２－３は検出できなかった。掘り方は平面形が円形ないし不正円形で、長軸0.42～0.62m、短軸0.38～0.54m、深さ24～42cmを計る。出土遺物は、Ｐ３－１から土師器、須恵器が、Ｐ３－３から須恵器が出土している。

柵址

柵址は、２条確認されている。掘り方（柱穴）については、南から北へないし西から東へ向かってＰ１・Ｐ２・Ｐ３等と呼称する。

柵址ＳＡ01

調査地区の西側（12，34～37）区で検出された。南北方向に伸びる柵址である。規模は７間（11.20m）で、柱間は不同で、南から2.04m・1.60m・1.52m・1.64m・1.36m・1.44m・1.60mを計る。ＳＢ03と方位を略同じとしておりＮ－14.2°－Ｅとなる。掘り方は、楕円形乃至不正楕円形で、長軸0.28～0.36m、短軸0.24～0.30m、深さ16～44cmを計る。出土遺物は、Ｐ５から土師器、砥石が出土している。

柵址ＳＡ02

調査地区の西側（15，34・35）区で検出された。東西方向に伸びる柵址である。規模は２間（2.94m）で西側へ延びる可能性もある。柱間は不同で、西から1.60m・1.34mを計る。ＳＢ03と方位を略同じとしてお

りN－76.2°－Wとなる。掘り方は、楕円形ないし不正楕円形で、長軸0.28～0.66m、短軸0.16～0.54m、深さ７～46cmを計る。遺物は出土していない。

土坑

土坑は５基確認された。それ以外のものは近現代のカクランである。

土坑ＳＫ122

調査地区の中央部（14，35）区で検出された。平面形は不正楕円形で、規模は長軸0.80m、短軸0.58m、深さ17cmを計る。遺物は出土していない。

土坑ＳＫ125

調査地区の中央部（16，36）区で検出された。平面形は不整形で、規模は長軸0.72m、短軸0.52m、深さ31cmを計る。遺物は出土していない。

土坑ＳＫ126

調査地区の中央部（13，34）区で検出された。平面形は不整形で、規模は長軸0.62m、短軸0.42m、深さ９cmを計る。遺物は出土していない。

土坑ＳＫ129

調査地区の西側（10・11，34・35）区で検出された。平面形は不整形で、規模は長軸1.28m、短軸1.12m、深さ39cmを計る。ＳＢ01を切り、ＳＫ130に切られる。出土遺物は瓦質土器である。

土坑ＳＫ130

調査地区の西側（10，34・35）区で検出された。平面形は不整楕円形で、規模は長軸2.70m、短軸0.63m、深さ37cmを計る。ＳＢ01、ＳＫ129を切る。遺物は出土していない。

溝

溝は21条確認された。それ以外のものは近現代の暗渠等の溝である。

溝ＳＤ201

調査地区の東側（17～21，20・21）区で検出された。東西方向に走る溝である。規模は、長さ20.02m以上、幅1.46～1.70m、深さ33～55cmを計る。東側および南西側は調査地区外に延びる。ＳＤ204と同一溝になる可能性がある。出土遺物は弥生土器・刀子である。

溝ＳＤ202（図面10）

調査地区の東側（15～23，23～36）区で検出された。南西～北東方向に走る溝である。規模は、長さ82.64m以上、幅0.43～2.02m、深さ６～21cmを計る。南側および北側は調査地区外に延びる。ＳＤ223を分岐し、ＳＤ203と合流する。ＳＤ212と重複する。出土遺物は土師器、須恵器、珠洲、越中瀬戸、伊万里、肥前、鉄製品である。

溝ＳＤ203

調査地区の東側（15～17，23～27）区で検出された。南西～北東方向に走る溝である。規模は、長さ20.77m以上、幅0.33～1.88m、深さ18cmを計る。南側は調査地区外に延びる。ＳＤ202と合流する。出土遺物は土師器、須恵器、珠洲、越中瀬戸である。

溝ＳＤ204

調査地区の南～西側（７～13，25～44）区で検出された。南東～北西方向へ屈曲しながら走る溝である。規模は、長さ124.16m以上、幅0.64～5.53m、深さ11～135cmを計る。南側および北西側は調査地区外に延びる。ＳＤ206と重複する。溝中に噴砂痕がある。溝中に４箇所深く掘削している。そのうち、（８・９，32）区では土師器椀が多量に出土している。溝の東側肩部から縄文土器が２個体出土している。出土遺物は縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、黒色土器、製塩土器、珠洲、白磁、青磁、青花、肥前、伊万里、土錘、フイゴの羽口、炉壁、焼成粘土塊、石鏃、打製石斧、砥石、剥片、瑪瑙である。

溝ＳＤ206

調査地区の中央部（11～24，27～40）区で検出された。南北方向に走る溝である。規模は、長さ91.56m以上、幅1.04～2.24m、深さ17～47cmを計る。南側および北側は調査地区外に延びる。ＳＤ211を分流しＳＤ204と重複する。出土遺物は縄文土器、土師器、須恵器、越中瀬戸、瀬戸美濃である。

溝ＳＤ207

調査地区の南側（13・14，24～26）区で検出された。南東～北西方向に走る溝である。規模は、長さ7.22m以上、幅0.28～0.49m、深さ８～14cmを計る。南東側は調査地区外に延びる。ＳＤ204と重複する。出土遺物は縄文土器、須恵器である。

溝ＳＤ208

調査地区の西側（５～９，33～41）区で検出された。南北方向に走る溝である。規模は、長さ42.60m以上、幅0.25～1.50m、深さ４～31cmを計る。南側は調査地区外に延び、北側は段丘に切られる。出土遺物は縄文土器、土師器、須恵器、肥前、伊万里、数珠玉である。

溝ＳＤ209

調査地区の西側（４・５，33～35）区で検出された。南北方向～東西方向に屈曲する溝である。規模は、長さ8.14m以上、幅0.62～1.18m、深さ21～27cmを計る。南側は調査地区外に延びる。出土遺物は須恵器、越中瀬戸、京焼、伊万里、木製品（漆器・板材）である。

溝ＳＤ210

調査地区の東側（27～31，27～34）区で検出された。南北方向に走る溝である。規模は、長さ31.66m以上、幅5.92～8.46m、深さ32～51cmを計る。南側および北側は調査地区外に延びる。ＳＤ246を分流しＳＤ230・231と重複する。出土遺物は縄文土器、土師器、須恵器、珠洲、瀬戸美濃、白磁、越中瀬戸、関西系陶器、京焼、肥前、伊万里、土錘、土人形、漆器、下駄、板材、楔、部材、棒材、曲物、砥石、鉄滓である。

溝ＳＤ211

調査地区の中央部（22～26，38・39）区で検出された。南西～北東方向に延びる溝である。規模は、長さ16.56m以上、幅0.76～1.28m、深さ14～30cmを計る。北東側は調査地区外に延びる。ＳＤ206から分流する。出土遺物は土師器、須恵器である。

溝ＳＤ212

調査地区の中央部（22，35～37）区で検出された。南西～北東方向に延びる溝である。規模は、長さ10.22m、幅0.26～1.06m、深さ１～11cmを計る。北側は調査地区外に延びる。ＳＤ202と重複する。出土遺物は瀬戸美濃、青磁である。

溝ＳＤ221

調査地区の東側（27，28・29）区で検出された。東西方向に延びる溝である。規模は、長さ1.70m、幅

0.46～0.90m、深さ22～26cmを計る。ＳＤ210と重複する。遺物は出土していない。

溝ＳＤ223

調査地区の東側（19～21，29～34）区で検出された。南西～北東方向に延びる溝である。規模は、長さ22.28m、幅0.24～0.84m、深さ２～21cmを計る。ＳＤ202から分流する。出土遺物は土師器である。

溝ＳＤ230

調査地区の東側（27・28，29～31）区で検出された。南北方向に延びる溝である。規模は、長さ12.18m、幅0.30～0.74m、深さ13～18cmを計る。ＳＤ210と重複する。遺物は出土していない。

溝ＳＤ231

調査地区の東側（30・31，33）区で検出された。南北方向に延びる溝である。規模は、長さ1.94m、幅0.76～0.88m、深さ14～30cmを計る。ＳＤ210と重複する。遺物は出土していない。

溝ＳＤ241

調査地区の中央部（24～27，32～38）区で検出された。南東～北西方向に延びる溝である。規模は、長さ32.64m、幅0.12～1.22m、深さ３～17cmを計る。遺物は出土していない。

溝ＳＤ242

調査地区の中央部（22，36）区で検出された。南西～北東方向に延びる溝である。規模は、長さ1.86m、幅0.16～0.28m、深さ５cmを計る。遺物は出土していない。

溝ＳＤ244

調査地区の中央部（15・16，25～27）区で検出された。南北方向に延びる溝である。規模は、長さ8.12m、幅0.40～0.97m、深さ21cmを計る。遺物は出土していない。

溝ＳＤ246

調査地区の東側（29・30，29・30）区で検出された。南東～北西方向に延びる溝である。規模は、長さ0.68m以上、幅0.62～0.76m、深さ52cmを計る。ＳＤ210と重複する。遺物は出土していない。

溝ＳＤ285

調査地区の西側（17・18，43・44）区で検出された。南西～北東方向に延びる溝である。規模は、長さ6.02m、幅0.28～0.36m、深さ３～７cmを計る。出土遺物は土師器である。

溝ＳＤ286

調査地区の中央部（24・25，39～48）区で検出された。南北方向に延びる溝である。規模は、長さ8.60m、幅0.46～0.62m、深さ５～６cmを計る。ＳＤ202・212と同一の溝と推定できる。北側は調査地区外に延びる。遺物は出土していない。

自然流路・窪地

自然流路ＮＲ01

調査地区の西側（１～14，35～50）区で検出された。南北方向に延びる流路と考えられる。規模は、長さ94.71m以上、幅6.78～6.85m、深さ47～220cmを計る。圃場整備前の自然流路である。南側および北側は調査地区外に延びる。出土遺物は土師器、須恵器、伊万里、砥石である。

窪地ＳＸ503

調査地区の中央部（17～18，29）区で検出された。平面形は隅丸長方形で、規模は、長軸3.54m、短軸2.24～0.62m、深さ19cmを計る。遺物は出土していない。

3．出土遺物

溝SD203出土遺物（図面48）

82は珠洲の擂鉢底部である。底部は平坦で卸目も若干観察できた。細片のため時期は不明である。

溝SD204出土遺物（図面45～48）

SD204より出土の遺物は縄文時代晩期や奈良、平安時代の遺物を中心に出土している。遺構に属する時代の遺物は縄文時代の遺物は奈良、平安時代のものであり、縄文時代晩期の遺物は流れ込みと考えられるが、ここでは出土遺物として掲載する。

縄文時代晩期の遺物は総じて粗製深鉢である。口縁部片は72・73、76は底部である。それ以外は胴部片となる。文様は貝殻条痕文が中心であり、ナデを施すもの（73）もある。口縁端部はすべて平坦面作りだし、72は内斜し、73は水平となる。77・78は石鏃である。79は打製石斧である。石鏃は無茎のもの（77）と基部が破損しているため基部の形状不明の石鏃（78）がある。打製石斧は基端部は欠損し刃部は薄い作りとなる。

奈良、平安時代の遺物には須恵器杯A、杯B、蓋、甕、壺、瓶などが、土師器は椀と甕が見られ、そのうち土師器椀は定量出土している。黒色土器須恵器は杯A・Bの口径などは小さいものが主流を占め８世紀末～９世紀代の様相が顕著である。また大型器種は甕（31・33）、壷（36）短頸壷（34）、小型壷（35）、双耳瓶（32）などが出土している。甕（31）は頸部へのタタキ痕の見られるものであり、頸部から口縁短部へ外反しながら立ち上がる。短頸壷（34）は肩の張らない球形を呈するものであり、小型壷（35）は底部が平坦で、ヘラ切り痕が見られるロクロ成形のものである。胴部はナデ痕が観察できる。

土師器は椀を中心に甕も出土した。椀の底部は回転糸切り未調整の無高台椀（37～66）であり、１点だけ底部片で粘土板から削り出して高台を作り出したもの（67）がある。無高台椀の体部下半への手持ちヘラ削り痕は見られない。形状は底部付近でやや外反気味となるもの（48・52・54・55・58）もあるが、その多くは口縁端部へ内湾しながら立ち上がる。底部径は5cm前後のものがほとんどであり、明らかに赤彩されたものと考えられる遺物はなかった。煤痕は１点（66）見られた。黒色土器（68）は有高台椀であり、黒色の内面には横方向へのミガキ痕が見られる。高台はハの字となり端部は丸く収め接地する。甕は底部片であり、回転糸切り未調整である。内面はミガキの様に丁寧なナデが施され、外面底部周辺には手持ちヘラ削りの痕跡はなく、ロクロナデを施す。墨書は２点出土している（37・65）。ともに土師器椀の体部外面で見られ、37は２文字であり、２文字目の部首部分が消えている為明確ではないが、「木津カ」と考えられる。65は十字であった。また杯Bからの転用硯（27）なども見られる。

これら土器からSD204からの出土遺物は、須恵器などにやや古相のものが見られるものの、土師器椀や黒色土器などから、９世紀後半頃の遺物と考えられる。

その他の遺物としては、製塩土器は２点出土している（70・71）。ともに底部片であり、外面は非常に強い火熱を受けている。また砥石（82）や方形に加工され、一辺が火熱により焼けた痕跡がある石材（図版25）なども出土している。

溝SD206出土遺物（図面49）

SD206からは縄文時代晩期の遺物や古墳時代時代の土師器などが出土している。

縄文時代晩期の土器（83～88）はすべて粗製深鉢片であり、87・88以外はすべて口縁部の遺物である。口縁端部にはヘラ状工具による刻み（83・84）や指や棒状工具による刻み（84・86）などがある。胴部外面には条痕が施文され、半裁竹管による条痕（83・87・88）や貝殻条痕文のもの（84～86）とに分類できる。内面にはミガキが施されたもの（83・85）や貝殻条痕による成形が施されたもの（86）も見られる。

古墳時代の遺物は甕の口縁部片（89・90）、底部片（91）が出土している。口縁部片は頸部から口縁端部へ内湾しながら立ち上がるもの（90）と外反するもの（89）の２種類が見られ、90は口縁部内面にはハケ調整が入り、頸部内面には横方向へのケズリ調整が見られる。89は口縁部内外面にヨコナデが入り、頸部内面には横方向へのケズリ調整が見られる。91は球形の底部に内外面ともにハケが見られる。

これらの遺物の時期は古府クルビ段階と考えられる。

溝SD210出土遺物（図面49・50）

SD210から出土した遺物は須恵器、珠洲、越前、土師器、木製品、土製品などが出土している。

須恵器には杯Ａ、杯Ｂ、蓋などが出土した。杯Ａ（92・93）は底部から口縁端部に内湾しながら立ち上がり体部上位で角度を変え外反し端部に至る。杯Ｂは（94）高台は平坦で、底部から口縁端部に直線的に立ち上がる。蓋は山笠形（95）と扁平形（96～98）の２種類であり、95は擬宝珠形のつまみが付く。須恵器は総じて８世紀後半頃のものである。

中世・近世の遺物は珠洲の擂鉢（９・10）と、越前の擂鉢（11）が出土している。９は肥厚した口縁端部が内斜し面を作り、内面の卸目は見えない。10は肥厚した口縁端部が水平に端面を作る。卸目は幅約2.5cmの中太の櫛歯原体である。珠洲は総じて吉岡編年Ｖ期頃（吉岡　1994）の物と考えられる。11の越前は擂鉢であり、卸目は10単位である。口縁は平坦で端部を丸く収める。土製品は土錐（12）が出土している。土師器は椀か皿の底部が見られた（99）。木製品には連歯下駄（104）が出土している。下駄の前壺はほぼ中央に配し、後壺は後歯の前に穿かれている。下駄の左側面がやや左へ弓なりとなり、親指の痕と考えられるものが見られる事から右用の下駄と考えられる。前歯には使用痕が残り、歯部分を作り出した時の鋸刃痕や丸鑿痕が残る。台表には漆を、台裏には赤漆を塗っている。

溝SD214・237、不明遺構SX505、柱穴SP1119、自然流路NR01出土遺物（図面48・50）

SD214からは、無茎の石鏃（105）が１点出土している。先端部が破損し廃棄されたものと考える。SD237から出土した遺物は印章（焼印）が出土した。106は材質は銅製であり、印面には『栄』と入る。裏面には棒状の柄が入る円形の穴が見られる。SX505は須恵器の壷、瓶類の口縁部（108）である。SP1119とNR01からは砥石が出土した。

包含層出土遺物（図51・52）

ここでは区画整理１区の包含層出土の遺物を報告する。

地山直上からは縄文時代晩期の土器片や弥生土器、土製品、不明鉄製品などが出土している。

縄文時代晩期の土器は口縁部片は109・110、底部片が２点119・120でそれ以外は胴部片となる。109は４条の沈線を巡らし、端部は比較的薄く丸く収める。110は５条の沈線を施し、109と同様口縁端部は薄く丸く収めた形である。109・110ともに鉢類である。胴部片はすべて貝殻条痕文で施文されている。115の胴部片下方には円形の穿穴が見られる。底部片の119は胴部に横方向への貝殻条痕文が施文され、底部には網代痕が明瞭に残る。120は胴部への貝殻条痕文の施文が見られ、底部には網代痕がある。121は弥生土器の壺である。全体的に摩耗が激しく明確でないが底部内面には連続刺突文が入る。122は製塩土器の先尖型の胴部で

ある。123は土錐であり、124は不明鉄製品である。柄状の突起した部位とそれに繋がる板状の部位から出来ており、板状の部位には刃は付かない。先端は欠損している。

遺構外Ⅲ層からは、縄文時代晩期の土器片が出土している。125・126は口縁部片で、残りは胴部片である。127は三叉文と入組文が縄文を擦消して入り、130は半裁竹管による条痕文である。その他は貝殻条痕文による施文であった。127などから中屋Ⅰ～Ⅱ式頃、大洞B－C～C１期並行頃と考えたい。

下層確認を行うべく掘削した東側トレンチからは、縄文時代晩期の土器片が出土している。口縁部片は132・133で、残りは胴部片となる。すべて粗製深鉢片であり、133は半裁竹管による条痕文でそれ以外は貝殻条痕文であった。

４．小結

縄文時代について

縄文時代の遺物は、縄文土器・石鏃・打製石斧等がある。遺構は、第Ⅲ層上面で自然地形の落ち込みやピット状の遺構らしきものは確認できたが、明確な遺構は確認されなかった。また第Ⅱ層上面でも縄文土器が一個体で纏まって出土していることから当該期の遺構検出面に関しては今後検討していく必要がある。

第Ⅱ層上面は佐野台地上においては弥生時代中期以降の遺構検出面である。このことから、縄文時代晩期から弥生時代前期ないし中期初頭にかけて第Ⅱ層が堆積したことがわかる。

奈良平安時代について

奈良平安時代の遺構として溝ＳＤ204・206・211がある。ＳＤ204とＳＤ206は出土遺物等から時期差が無く同時期に存在していると推定できる。

ＳＤ204内の土坑状遺構からは土師器椀が出土している。赤彩土器や墨書土器があることなどからこの付近で律令祭祀が行われていた可能性がある。この土坑の北側には柵址ＳＡ01・02を保有する掘立柱建物址ＳＢ03がある。柱穴からは古代の遺物が出土しているが、建物の構造持つことSB01と同軸であることから古代ないし中世の可能性がある。

出土土器は９世紀代を主体とし、８世紀後半～10世紀初頭まで見られる。当遺跡の南西側に位置する東木津遺跡と集落の存続時期は合致しており、関連性が想定できる。また溝出土遺物のうち、墨書土器に”木津カ”とあることから、９世紀代には、中木津遺跡周辺を木津という地名として認識していたことが伺われる。

中近世について

中近世の遺構としては掘立柱建物址ＳＢ01・02、溝ＳＤ202・203・210等がある。ＳＢ01・02は、柱穴からの遺物は出土していないが、柱穴の規模や覆土等から当該期に位置づけた。

中世の遺物は11世紀後半～12世紀（珠洲Ⅰ・Ⅱ期）と14世紀後半～15世紀（珠洲Ⅳ・Ⅴ期）の２時期に大分できる。当該期の遺構としてＳＢ01・02が属する可能性はあるものの、主体となる他の遺構は確認できなかった。近世の遺物は17世紀以降のものである。

第２節　区画整理２区

１．調査概要

調査地区の設定

工事工程を考慮し、地区を４つに細分し調査を実施した。調査地区名を作業する順にＬ１～Ｌ４地区とし、それぞれ調査終了後に空撮を実施した。発掘調査は平成22年４月14日から同年10月20日まで実施した。

まず調査区全体の表土除去をバックホーにて実施した。調査区南側の調査区（Ｌ１・Ｌ３地区）にて遺構掘削等の調査を行い、７月５日に空撮を実施した。その後、区画整理１区に隣接する調査区北側の調査区（Ｌ２・Ｌ４地区）の遺構掘削等の調査を行い、９月30日に空撮を実施した。その後、下層遺構確認等を実施し、調査を終了した。

座標は公共座標（世界測地系）を基にX＝81,380、Y＝－15,870を起点とするＡＯとし、調査範囲を網羅できる位置に設定した。グリッドは真北を基線として、10m四方を区画して設定し、グリッドの名称については東西方向にアルファベット（西からA、B、C…）南北方向にはアラビア数字（南から１,２,３…）を用いてこの両者の組み合わせで表記した。

基本層序

中木津遺跡区画整理２区の基本層序は以下の通りである。

Ⅰ層　a・b　：灰褐色土～灰オリーブシルト　（現耕作土・盛土）

Ⅱ層　a・b・c・d：淡黄色土～にぶい黄褐色土　（客土・床土）

Ⅲ層：黒褐色粘質土　（古代以降の遺構検出面）

Ⅳ層：淡黄色シルト　（縄文時代晩期の土器包含層）

Ⅴ層：黄褐色シルト　（地山）

＊1～7は遺構埋土

検出遺構

検出遺構は、掘立柱建物址10棟をはじめ、土坑82基、溝139条、穴147基、不明土坑５基である。年代的には縄文時代、古代、中世の３時期に区分できる。

出土遺物

土器類

縄文土器（後期、晩期）、土師器、須恵器、珠洲、瀬戸美濃、白磁、青磁、越中瀬戸、肥前系磁器、肥前系陶器

土製品：土錐、土人形

木製品：下駄、漆器椀、板材、曲物、棒状木製品、

金属製品；古銭、和釘　用途不明鉄製品、

石製品；砥石

2．遺構

掘立柱建物址

掘立柱建物址は10棟確認されている。いずれも調査区南側で集中している。総柱建物２棟、側柱建物６棟、構造不明建物２棟が検出された。そのうち、SB01～SB04は一連の建物群となることが想定される。

掘立柱建物址ＳＢ01

調査地区の南東部（５，Ｑ）区で検出された。総柱の掘立柱建物址で、床面積は約12.0㎡である。南北棟で、身舎は桁行２間（2.8m）×梁行２間（3.8m）で、建物中央に束柱を持たせる倉庫と考えられる建物である。建物の桁行の続きが北東方面に延びる可能性がある。建物方位はＮ－26°－Ｅである。遺構は柱間は、桁行が北から1.3m・1.5mで、梁行が西から2.0m・1.8mである。柱穴Ｐ１とＰ５の間には間柱がある。Ｐ１はＳＤ５を切り、Ｐ３から柱痕が検出された。身舎の掘り方は、平面形が長楕円形ないし不整楕円形で、長軸0.4～0.8m、短軸0.4～0.7m、深さ10～40cmを計り、10cm程度のものと、約40cmの２種類が認められる。遺物は出土していない。

掘立柱建物址ＳＢ02

調査地区の南東部（４，Ｐ）区で検出された。側柱の掘立柱建物址で、床面積は約35㎡である。ＳＢ03・ＳＢ04と同軸の北西―南東軸の棟で、桁行３間（7.0m）×梁行２間（4.6m）である。建物方位はＷ－35°－Ｎである。柱間は、桁行が東から2.3m・2.3m・2.4mで、梁行が北から2.1m・2.5mである。柱穴Ｐ２は柱痕が一部遺在する。柱掘方と埋土は側柱でほぼすべてで検出できた。掘り方は平面形が隅丸方形ないし不正楕円形で、長軸0.8～1.2m、短軸0.6～0.9m、深さ25～45cmを計る。出土遺物は須恵器・蓋、木製品が出土した。

掘立柱建物址ＳＢ03

調査地区の南東部（３・４，Ｐ・Ｑ）区で検出された。側柱の掘立柱建物址で、床面積は約37㎡である。ＳＢ02・ＳＢ04と同軸の北西―南東軸の棟で、桁行４間（8.2m）×梁行２間（4.5m）である。建物方位はＷ－35°－Ｎである。柱間は、桁行は東から2.1m・2.0m・2.2m・1.9mで、梁行は北から2.2m・2.3mとなる。柱穴Ｐ１とＰ２はＳＤ５に切り、Ｐ２－３は検出できなかった。掘り方は平面形が隅丸方形で、長軸0.4～0.7m、短軸0.3～0.5m、深さ10～35cmを計る。遺物は出土していない。

掘立柱建物址ＳＢ04

調査地区の南東部（３，Ｑ）区で検出された。側柱の掘立柱建物址で、床面積は約29.0㎡である。ＳＢ02・ＳＢ03と同軸の北西―南東軸の棟で、身舎は桁行３間（6.6m）×梁行２間（4.1m）で、建物中央に束柱を持たせる倉庫と考えられる建物である。建物の桁行の続きが北東方面に延びる可能性がある。建物方位はＮ－26°－Ｅである。遺構は柱間は、桁行が西から2.2m・2.1m・2.3mで、梁行が北から2.2m・1.9mである。柱穴Ｐ５はＳＤ５を切り、Ｐ１はＳＤ８に切られる。身舎の掘り方は、平面形が楕円形で、長軸0.3～0.5m、短軸0.2～0.5m、深さ15～30cmを計る。遺物は出土していない。

掘立柱建物址ＳＢ05

調査地区の南東部（５，Ｓ）区で検出された。総柱の掘立柱建物址で、床面積は推定も含め約12㎡である。東西棟で、桁行２間（3.5m）×梁行２間（3.4m）で、梁行の続きが東方向に延びる。建物中央に束柱を

持たせる倉庫と考えられる建物である。建物の建物方位はＮ－13°－Ｅである。柱間は、桁行が北から1.9ｍ・1.6ｍで、梁行が西から1.7ｍ・1.1ｍである。柱穴Ｐ２はＳＢ６－Ｐ１を切り、柱穴Ｐ４・Ｐ５はＳＫ82を切る。ＳＢ06より新相となる。掘り方は平面形が隅丸方形で、長軸0.4～0.95ｍ、短軸0.4～0.7ｍ、深さ30～65㎝を計る。出土遺物は土師器細片が出土した。

掘立柱建物址ＳＢ06

調査地区の南東部（６，Ｓ）区で検出された。柱列は１列のみ確認されており、建物の大部分は調査区域外へ広がる掘立柱建物址である。桁行２間×梁行２間と推定される。建物方位はＮ－13.7°－Ｅである。柱間は約2.0ｍとなる。柱穴Ｐ１はＳＢ05－Ｐ２に切られ、ＳＢ05より古段階となる。掘り方は平面形が隅丸方形で、長軸0.5～0.9ｍ、短軸0.5～0.8ｍ、深さ35～40㎝を計る。出土遺物は、Ｐ２の２層から土師器細片が出土している。

掘立柱建物址ＳＢ07

調査地区の南東部（６，Ｓ）区で検出された。柱列は１列のみ確認されており、建物の大部分は調査区域外へ広がる掘立柱建物址である。桁行２間×梁行２間と推定される。桁行２間（5.1ｍ）×桁行２間（4.7ｍ）である。建物方位はＳＢ05と同軸と推定される。柱間は約1.5ｍとなる。柱穴Ｐ１はＳＤ138とＳＰ141・ＳＰ144を切り、Ｐ２の東側は調査区外に続く。掘り方は平面形が隅丸方形で、長軸0.3～0.6ｍ、短軸0.3～0.4ｍ、深さ約15㎝を計る。出土遺物は、Ｐ１から土師器細片が出土している。

掘立柱建物址ＳＢ08

調査地区の東部（７，Ｓ・Ｔ）区で検出された。側柱の掘立柱建物址で、床面積は約13.2㎡である。桁行３間×梁行２間と推定される。桁行２間（5.3ｍ）×梁行２間（2.5ｍ）である。建物方位はＳＢ05と同軸と推定される。柱間は、桁行が約1.6ｍ、約2.1ｍで、梁行は約1.4ｍで均等となり、柱通りは悪い。柱穴ＳＰ148・ＳＰ149はＳＤ26に切られる。掘り方は平面形が不整楕円形で、長軸0.2～0.4ｍ、短軸0.2～0.3ｍ、深さ15㎝を計る。遺物は出土していない。

掘立柱建物址ＳＢ09

調査地区の東部（８・９，Ｍ・Ｎ）区で検出された。側柱の掘立柱建物址で、床面積は約24.5㎡以上である。建物方位はＮ－25°－Ｅである。桁行３間×梁行２間以上と推定される。桁行３間（7.2ｍ）×梁行２間（3.4ｍ以上）である。建物方位はＳＢ10と同軸と推定される。柱間は、桁行が約2.1～2.7ｍで、梁行は約1.9ｍである。柱穴ＳＰ43・44はＳＤ31を切り、柱穴ＳＰ53はＳＤ30を切る。掘り方は平面形が不整楕円形で、長軸0.2～0.3ｍ、短軸0.2ｍ程度、深さ15～20㎝を計る。遺物は出土していない。

掘立柱建物址ＳＢ10

調査地区の東部（８・９，Ｍ・Ｎ）区で検出された。側柱の掘立柱建物址で、床面積は約11.2㎡以上である。建物方位はＮ－21°－Ｅである。ＳＢ09と同様の構造と想定され、桁行３間×梁行２間と推定され、確認できるのは桁行２間（5.5ｍ）×梁行１間（2.1ｍ以上）である。建物方位はＳＢ09と同軸と推定される。柱間は、桁行が約2.2～2.5ｍで、梁行は約1.4ｍで、やや柱通りは悪い。柱穴ＳＰ54はＳＤ30に切る。掘り方は平面形が不整楕円形で、長軸0.2～0.3ｍ、短軸約0.2ｍ程度、深さ15㎝を計る。遺物は出土していない。

土坑

土坑は82基確認された。平面形は不整形や隅丸方形など様々な形状を呈す。不明遺構は４基確認された。ここでは特に遺物が多く出土したＳＸ３に加えて、関連性が高いＳＫ12、ＳＫ13、ＳＫ14について記述する。

土坑ＳＫ12

調査地区の西部（16・17－Ｔ）区で検出された。平面形は楕円形で、ＳＫ13とＳＸ３を切る。規模は長軸1.4m、短軸1.0m、深さ27cmを計る。出土遺物は、陶磁器・皿などのほか、軽石・木製品が出土した。出土遺物いずれも散発的に出土している。

土坑ＳＫ13

調査地区の西部（15・16－Ｔ）区で検出された。平面形は不正楕円形で、ＳＤ51を切り、ＳＫ12に切られる。規模は長軸1.2m、短軸0.7m、深さ32cmを計る。出土遺物は、磁器（図面53－162）が出土した。

土坑ＳＫ14

調査地区の中央西部（15・16－Ｓ・Ｔ）区で検出された。平面形は不整楕円形で、ＳＤ51を切る。規模は長軸1.4m、短軸0.6m、深さ20cmを計る。遺物は出土していない。

土坑ＳＫ24

調査地区の西側（10，34・35）区で検出された。平面形は不整楕円形で、規模は長軸2.70m、短軸0.63m、深さ37cmを計る。ＳＢ01、ＳＫ129を切る。遺物は出土していない。

土坑ＳＫ129

調査地区の西側（10・11，34・35）区で検出された。平面形は不整形で、規模は長軸1.28m、短軸1.12m、深さ39cmを計る。ＳＢ01を切り、ＳＫ130に切られる。出土遺物は瓦質土器である。

土坑ＳＫ130

調査地区の西側（10，34・35）区で検出された。平面形は不整楕円形で、規模は長軸2.70m、短軸0.63m、深さ37cmを計る。ＳＢ01、ＳＫ129を切る。遺物は出土していない。

溝

溝は139条確認された。覆土の種類は４種類確認され、灰色・灰褐色・茶褐色・黒色となる。帰属する時期は、灰色・茶褐色は中近世、灰褐色は近現代、そして黒色は古代・中世であると考えられる。

溝ＳＤ11

調査地区の北東側（13～25，Ｍ～Ｓ）区で検出された。南北方向に走る溝で、区画整理１区では、ＳＤ210にて報告している。確認された規模は、１・２区合わせた長さは約130m以上、幅4.0～6.0m、深さ約20～80cmを計り、北側に向かって深さを増す。北側の21グリッド付近にて北東方面と北方向の２方向に分岐し、間は中州状となる。切り合いは左岸側をＳＤ57に切られ、それ以外の土坑・溝を切る。このことから後述するＳＤ57と同様に新しい時期まで開口していたと考えられる。１区ＳＤ204と同一溝になる可能性がある。出土遺物は縄文土器、須恵器、珠洲である。出土する遺物は、縄文後期から近世までの時期幅がある。

溝ＳＤ43

調査地区の南東側（11・12，Ｐ～Ｓ）区で検出された。西～北東方向に走る溝である。規模は、長さ35m以上、掘り方を含む上幅約2.5～3.6m、深さ約30～40cmを計る。１区ＳＤ201と同一溝になる可能性がある。東側のＰグリッド付近で北東方面と東方面に分岐する。出土遺物は縄文土器、珠洲、陶器片が出土している。上層より縄文土器と珠洲が、下層から陶器片が出土していることから、上層の遺物は流れ込みと考えられる。

溝ＳＤ48

調査地区の東側（13・14，Ｒ・Ｓ、17・18，Ｓ）区で検出された。北東～南西方向に走る溝である。規模は、長さ南北方面約50m以上、幅は上幅3.2m、深さ1.41cmを計る。ＳＤ44とＳＤ45に切られる。遺構は南端は東方向に直角に屈曲し、北端においても東方向に屈曲するものと北方向にのびる溝と想定される。溝の堆積状況や層厚などから、人為的に埋められたと考えられる。これらのことと、東側のＳＸ３と主軸が類似することから、堀跡の性格を持つ溝の可能性がある。ＳＤ48とＳＸ03付近において一連の遺構群の存在が指摘できる。出土遺物は土師器、須恵器、珠洲、瀬戸美濃、越中瀬戸、陶磁器である。

溝ＳＤ51

調査地区の東側（16・17，Ｔ・Ｕ）区で検出された。東西方向に走る溝である。規模は、長さ13.0m以上、幅は上幅1.0m、深さ26cmを計る。ＳＫ12・13・14に切られる。軸はＳＤ48とほぼ同軸ないし直交することから、ＳＸ03などの一連の遺構群と考えられる。出土遺物は、須恵器、珠洲、越中瀬戸、磁器、陶器、木製品、石製品である。

溝ＳＤ57

調査地区の北東側（17～25，Ｐ・Ｑ）区で検出された。南北方向に走る溝で、区画整理１区では途中途切れているものの、ＳＤ230につながる可能性がある。確認された規模は、長さは約80m以上、幅1.6m、深さ約17cmを計る。切り合いは右岸側のＳＤ11を切り、それ以外の土坑・溝を切る。このことから新しい時期まで開口していたと考えられる。ＳＤ204と同一溝になる可能性がある。出土遺物は瀬戸美濃、肥前系陶磁器、唐津、珠洲、越中瀬戸、信楽、漆器、木製品である。

溝ＳＤ107

調査地区の北側（23～27，Ｌ～Ｐ）区で検出された。南東～北西方向へ走る溝である。規模は、長さ約58.0m以上、幅2.5m、深さ0.99cmを計る。南側に並行してＳＤ111が見られ、ＳＤ111を切る。（27，Ｋ）グリッドに枡状の落ち込みがあり、木杭で護岸や水流の調節する性格を持つ施設がある。ＳＤ11やＳＤ57が上流にあり、下流である北東方向の自然流路ＮＲ０１に接続する。出土遺物は縄文土器、須恵器、瀬戸美濃（図面54－191・192）、珠洲、白磁、青磁、青花、磁器、陶器、信楽、木製品、鉄製品、平瓦である。

溝ＳＤ111

調査地区の北側（23～28，Ｌ～Ｐ）区で検出された。南東～北西方向へ走る溝である。規模は、長さ約46.0m以上、幅1.0m、深さ0.68cmを計る。北側に並行してＳＤ107が見られ、ＳＤ107に切られる。。ＳＤ11やＳＤ57が上流にあり、ＳＤ114と合流点で屈曲し下流である北東方向の自然流路ＮＲ０１に接続する。堆積土は人為的に埋められたと考えられ、新相のＳＤ107に流路変更があったと推定される。出土遺物は須恵器、珠洲、陶器、磁器、木製品である。

自然流路・不明遺構

自然流路ＮＲ01

調査地区の西側で検出された。南北方向に延びる流路で、圃場整備前の自然流路である。南側は区画整理１区より、北側は調査地区外に延びる。出土遺物は土師器、須恵器、伊万里、砥石である。詳細は、区画整理１区にて報告している。

不明遺構ＳＸ03

調査地区の西部（16，Ｔ）区で検出された。平面形は隅丸方形と不整楕円形の２つの掘り方があり、ＳＫ12・ＳＫ13とＳＤ51を切り、ＳＫ14に切られる。北側にはＳＤ52があり、本遺構に注ぎ込むように溝が取り付く。覆土は３～５層の薄い堆積層と６層の厚い堆積層に分けられる。特に３層では近世の遺物が大量に出土し、廃棄行為の形跡があることから、近世のゴミ穴の可能性が考えられる。また、ＳＤ48と軸が類似する。規模は長軸6.8m、短軸4.7m、深さ約90cmを計る。出土遺物は、陶磁器・皿などのほか、軽石・木製品が出土した。出土遺物は肥前系磁器、唐津、越中瀬戸、漆器、木製品が出土している。いずれも、18世紀代の遺物である。

３．出土遺物

掘立柱建物址ＳＢ02出土遺物（図面53）

SB02－Ｐ３からは棒状木製品（158）が出土している。樹皮はなく、加工痕も読み取れない。用途不明である。

土坑ＳＫ02出土遺物（図面53）

SK02から出土の遺物は縄文時代晩期の土器が出土している。159は深鉢胴部片で、外面には貝殻条痕文が入る。160は縄文の中に沈線が見える。破片資料のため全体像は不明であるが、この時期の遺物から三叉文の一部が現れている可能性も考えられる。161は細片で、辛うじて縄文が確認できる。

土坑ＳＫ13･24･78出土遺物（図面53）

SK13からは磁器（炻器）の碗（162）が出土した。高台裏、畳付けには「宣明年製」の文字が見え外面の高台には２条の線が入り、体部外面には草花文を配する。

SK24からは須恵器杯Ｂ（163）が出土した。内面は使用痕が顕著に見られ、高台は外斜して接地する。時期は８世紀後半頃と考えられる。

SK78からは不明土師器（164）、須恵器杯Ａ（165）が出土している。土師器は外面はヨコナデを施し、甕の体部か。杯Ａは分厚い粘土板に体部を水挽するように作られ、体部の器厚は薄い。９世紀頃代か。

溝ＳＤ10出土遺物（図面53）

SD10からは珠洲の甕の口縁部（166）や縄文土器（167・168）が出土している。166は、くの字形に屈曲し端部はやや甘い方頭状を呈す。吉岡編年のⅢ期頃と考えられる。縄文土器は縄文時代晩期の土器であり、167は口縁部に半裁竹管の平行沈線を巡らし、端部は薄く上方に外反する。168は外面条痕文が施される。

溝ＳＤ11出土遺物（図面53･54）

SD11からは、縄文土器、須恵器、珠洲が出土している。縄文土器は縄文時代晩期の土器であり、167・169は深鉢の口縁部である。167には半裁竹管の平行沈船と１条の沈線が配されている。169は端部にはユビオサエによる窪みが見られ、胴部外面には貝殻条痕文が施文されている。168は底部付近の破片であり、外面にはやはり貝殻条痕文が施文されている。内面には煤痕が残る。古代の出土遺物は、須恵器杯Ａ、杯Ｂ、

鉢が出土している。170は杯A、171～174は杯Bである。杯Bは総じて高台は平坦に接地するものであり、高台から底部、底部から口縁部への形状は間隔を空けず立ち上がるものが多い。172などの比較的径の大きい身の浅いタイプなども見られるが、須恵器の時期は８世紀後半～９世紀初頭頃と考えられる。鉢（175）は口縁部と底部が欠損しているものの、ロクロにより内、外面ともに丁寧なつくりである。

中世の出土遺物は珠洲は壺、甕、擂鉢が出土している。壺（176～178）は口縁端部や頸部の形状が、頸が長く端部は平直に面を取るもの（176）や、頸部が深く折り返し端部は平直で面を取るもの（177）などが見たもの（180）などが見られる事から吉岡編年Ⅲ～Ⅳ期頃と考える。186は土錘である。

溝ＳＤ43･48･51出土遺物（図面54）

SD43より出土した遺物は縄文時代晩期の鉢類の口縁部片である。187は外面は無紋、口縁端部にはヘラ状刻みが連続して入る。

SD48からは瀬戸の陶器皿（188）と越中瀬戸の皿（189）が出土している。188は内外面ともに灰釉が施釉される。189は底部が回転糸切り未調整となり、底部から口縁部へ緩やかに内湾しながら、端部付近でやや角度を変え緩やかに外反する。釉薬は内面は全面、外面は体部上位まで鉄釉を施釉し、底部付近には、施釉工程時に付いた指の痕が残る。また内面の見込み付近には重ね焼き痕が観察出来る。

SD51からは越中瀬戸の匣鉢が出土している。190の底部は回転糸切り未調整であり、平坦な形状である。底部から口縁部へ直立し筒状を呈する。釉薬は内外面ともに全面鉄釉を施釉する。

溝ＳＤ57出土遺物（図面55）

SD57からは瀬戸美濃、肥前系陶磁器、越中瀬戸、白磁、信楽、珠洲、漆器、連歯下駄などが出土している。195は瀬戸美濃の磁器（炻器）広東碗である。体部外面には草花文が見られ、高台部分には一条線が入る。内面には見込みの中心に草花文が見られ、さらに一条の線が巡る。時期は19世紀代である。196は唐津の陶胎染付碗である。体部下半は露胎となり、高台は削りだしである。18世紀以降である。197は瀬戸美濃の陶器碗である。体部上半と内面全面には飴釉を施釉する。高台は削りだしである。198は越中瀬戸の托か皿である。底部は回転糸切り未調整であり、体部外面の下半から口縁部までと内面全面に鉄釉を施釉する。時期は17世紀以降である。199は碗である。高台は削りだしであり、灰釉が高台裏以外全面にかかる。200は肥前系器の香炉、201は瓶類の底部である。仏花瓶か。202は肥前系白磁の三足香炉である。203は信楽系の皿である。小皿の内面には円筒形の仕切が設けられ、灯明受皿の可能性が考えられる。遺物の欠損範囲が大きいため、油溝などは確認できない。内面に灰釉がかかり、外面は露胎である。底部はヘラ削り調整を施す。18世紀～19世紀代と考えられる。204は越中瀬戸の擂鉢である。内外面鉄釉がかかり、卸目は全面に入る。17世紀以降と考えられる。205は珠洲の擂鉢である。口縁部には８条の波状文が巡り、口縁端部内端面が広がり嘴状に挽き上げられる。吉岡編年のⅥ期頃と考えられる。木製品の漆器は椀が出土している（206～208）。206は高台脇から口縁部へ緩やかに内湾しながら立ち上がる。高台の厚みは非常に薄く、高台裏は緩やかな弧を描く。内外面ともに漆を塗る。207は高台脇から口縁端部へ球形を呈し立ち上がる。高台は欠損しており不明であるが、内外面ともに漆を塗る。208は高台脇から口縁部へ球形を呈しながら立ち上がる。高台の厚みは非常に薄く、内面は赤漆が、外面は黒漆がそれぞれ塗られている。連歯下駄も出土している。木口は平坦であり、前壷は中心よりやや右に寄る。指圧痕は前壷周りで確認できるものの、親指の形状は判然としない。後壷は欠損しているため後歯ともに不明である。台裏の前歯の断面形状が、左側が減っている様になっている。前壷が左よりである事から右用の下駄と考えられる。

溝ＳＤ107出土遺物（図面54）

SD107からは陶器の皿、椀が出土している。191は瀬戸美濃の皿である。高台以外は全面灰釉がかかる。内面には重ね焼き時についた円錐ピンの痕が見られる。底部は削りだし高台であり、高台幅約1.4cmほどの幅を持ち端面は面取りを行う。19世紀代と考えられる。192は瀬戸美濃の陶器の広東碗である。見込みの中心に呉須による草花文が見られる。内外面灰釉がかかる。193は信楽系の丸碗である。底部高台付近は露胎し、高台付近以外の外面と内面には灰釉がかかる。

土坑ＳＸ３出土遺物（図面56）

SX3より出土の遺物は肥前系磁器、肥前系陶器、唐津、越中瀬戸、漆器、連歯下駄などが出土した。210・211は肥前系磁器の碗である。210は腰張り型でコンニャク印判による団鶴文と桐文が描かれている。高台裏にも文字的なものが見られるものの、解読不明である。□□年製であろうか。高台の端部以外透明釉がかかる。時期は18世紀代である。211は将棋の絵柄が描かれている。破片部分には漆継ぎ痕が残る。212は刷毛目唐津の碗であり、18世紀代と考えられる。213は越中瀬戸皿である。底部は回転糸切り未調整であり、外面体部下位から口縁部、内面は見込み周辺まで鉄釉が掛かる。口縁端部に煤痕が見られる事から灯明皿として使用されたものである。17世紀以降と考えられる。214は肥前系磁器の皿である。見込みの中心にはコンニャク印判による梅文を配し、内面側面にも草花文が入る。体部外面も全体に草花文を配する。高台の端部には砂が付着する。時期は18世紀後半～19世紀代と考えられる。215は刷毛目唐津の大皿である。内面には刷毛状工具による文様が入る。18世紀代である。216は越中瀬戸の水注であり、217は小壺である。216は底部が回転糸切り未調整であり、小さい注口と口縁部の前後には玄用の耳が付く。内外面ともに飴釉が掛かる。時期は17世紀以降、18世紀代のものである。217は底部が回転糸切り未調整、体部外面下半まで鉄釉がかかる。見込みには強い轆轤目が残る。時期は17世紀以降である。218は越中瀬戸の匣鉢である。底部は回転糸切り未調整であり、底部、体部内外面ともに鉄釉が掛かる。

木製品には漆器椀と差歯下駄が出土した。219～222は漆器椀である。219は高台部分が削り取られた形で出土した。口縁端部は強く内湾し故意に曲げた作りとなる。全面に黒漆が塗られているが、体部中央には○に九の文字が赤漆で書かれている。屋号であろうか。220は高台部分が削り取られた形で欠損している。体部外面は黒漆、内面は赤漆が塗られている。221は非常に残存状態の悪い椀か皿である。高台厚は非常に薄く、内外面ともに黒漆を塗る。222は非常に残存状態の悪い椀である。高台は欠損しなく、体部外面に赤漆で何か書かれていると思われるが、解読不明である。223は差歯下駄である。前壷は、ほぼ中央に配置し、後壷は左側が欠損していて不明である。台表の前壷周辺には指圧痕が残り、木口は右側が左側よりやや弧を描く様な作りとなっている。台裏の歯の差し込み部分は平坦に作られ鋸などの刃痕は見られず、鑿により刳ったものと考えられる。SX3から出土した遺物の多くは、ほぼ18世紀～19世紀代の範疇に入るもので占められ、遺構の時期もその頃には埋没過程に入ったものである事が考えられる。

遺構外　出土遺物（図面54）

遺構外では攪乱より須恵器が出土している。194は杯Bである。８世紀後半頃のものと考えられる。

４．小結

縄文時代について

縄文時代の遺物は、縄文土器・石鏃・打製石斧等がある。遺構は、第Ⅲ層上面で自然地形の落ち込みやピット状の遺構らしきものは確認できたが、明確な遺構は確認されなかった。また第Ⅱ層上面でも縄文土器が一個体で纏まって出土していることから当該期の遺構検出面に関しては今後検討していく必要がある。

第Ⅱ層上面は区画整理１区と同じく、弥生時代中期以降の遺構検出面である。

奈良平安時代について

調査区南部に掘立柱建物７棟が検出された。いずれの建物からも時期を判断できる遺物は出土していないが、建物の軸からおおまかに２様相の建物群が想定できる。１つはSB01とSB02～04である。側柱建物が北東～南西を軸にして並び、特にSB02の掘り方は大型で柱痕も残る。総柱建物であるＳＢ01から北東側に、建物が存在すると想定される。時期は８世紀後半と考えられる。２つ目はSB05である。前述の建物群より西に振る角度が浅く、軸を異にするため別の建物群となる可能性が高い。またSB05南側に複数の建物が存在することから、調査区外にも建物群が広がることが明らかとなった。

出土土器は８世紀後半～10世紀初頭の遺物が出土している。当遺跡の南西側に位置する東木津遺跡と集落の存続時期はおおむね合致している。多くの建物が総柱でないことから、近隣遺跡で検出される官衙関連遺跡の建物群の一部の可能性がある。

中近世について

中近世の遺構としては掘立柱建物址ＳＢ08、溝ＳＤ11・57等がある。中世の遺構では、ＳＢ08は遺物はないものの、建物構造が柱通りの悪い中世の様相を示す。溝は１区で多く検出された溝に接続する同一の溝が多く検出された。調査区全体を貫く大きい溝としてSD11がある。遺物は縄文、古代・中世・近世のものが出土している。ＳＤ48は南端が屈曲した溝で、規模の大きい区画溝の可能性が指摘でき、軸線は現木津神社や地割にほぼ沿う。SD48と同軸の細い溝も多く存在することから大溝と中小の溝群による区画の存在が考えられる。

近世は、SX03などの土坑や溝が検出された。下駄や漆器などの木製品も定量出土している。SD11北側で分流するSD57からは近世の遺物が多く出土することから、SD11よりも新相を示すことが考えられる。

中世の遺物は区画整理１区同様に11世紀後半～12世紀（珠洲Ⅰ・Ⅱ期）と14世紀後半～15世紀（珠洲Ⅳ・Ⅴ期）の２時期に大分できる。近世の遺物は17世紀以降のものである。

第３節　区画整理３区

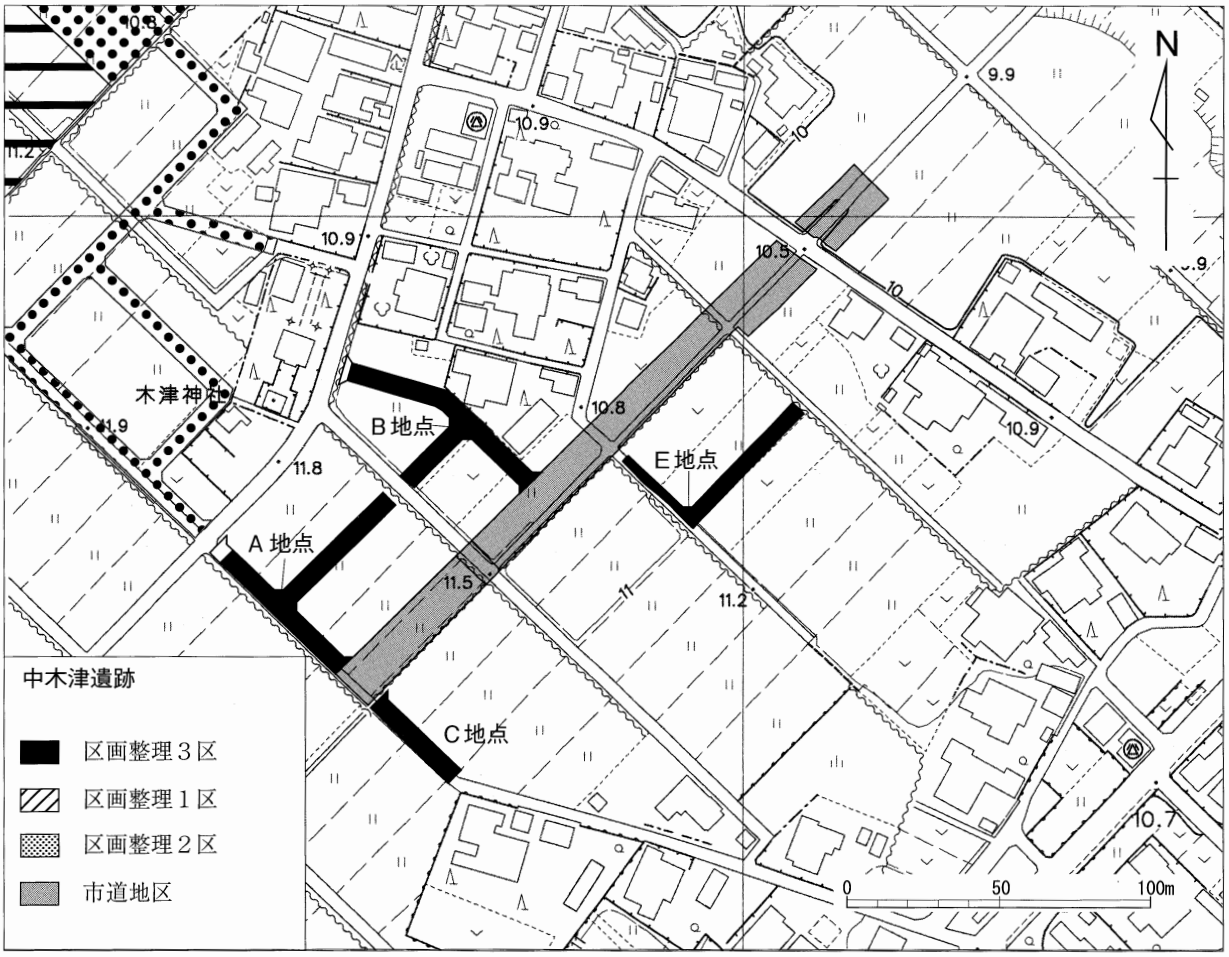
１．調査概要

調査地区の設定

工事の進捗や航測撮影面積等を考慮し、地区を４つに細分し調査を実施した。調査地区名を作業する順にA・B・C・E地区とし、A地点、B・C地点、E地点の３地区に分けて調査終了後に順次空撮を実施した。

調査期間は、平成23年12月１日から平成24年３月９日である。A地区から順に調査を着手し、A地点は１月17日、B・C地点は２月15日、E地点は３月８日に空撮を実施した。３月９日に現地事務所を撤収し、調査を終了した。

座標は公共座標（世界測地系）を基にX＝81,300、Y＝－15,650を起点とするＡ０とし、調査範囲を網羅できる位置に設定した。グリッドは真北を基線として、10m四方を区画して設定し、グリッドの名称については東西方向にアラビア数字（西から１、２、３…）南北方向にはアルファベット（南からA,B,C…）を用いてこの両者の組み合わせで表記した。このグリッドは中木津遺跡区画整理３区と西木津遺跡で設定・使用している。本報告では調査地点が複数にわたるため、調査時の地点名を明記しながら記述してゆく。



第７図　調査地区設定図　（１／2，500）

基本層序

中木津遺跡区画整理３区の基本層序は以下の通りである。

Ⅰ層：暗褐色粘質土　（現耕作土・盛土）

Ⅱ層：Ⅰ層の床土

Ⅲ層：黄橙色～淡黄色シルト　（古代以降の遺構検出面・上層地山）

Ⅳ層：黒褐色シルト　（縄文時代晩期の土器包含層）

Ⅴ層：黄色～黄褐色シルト　（下層地山）

＊1～7は遺構埋土

検出遺構

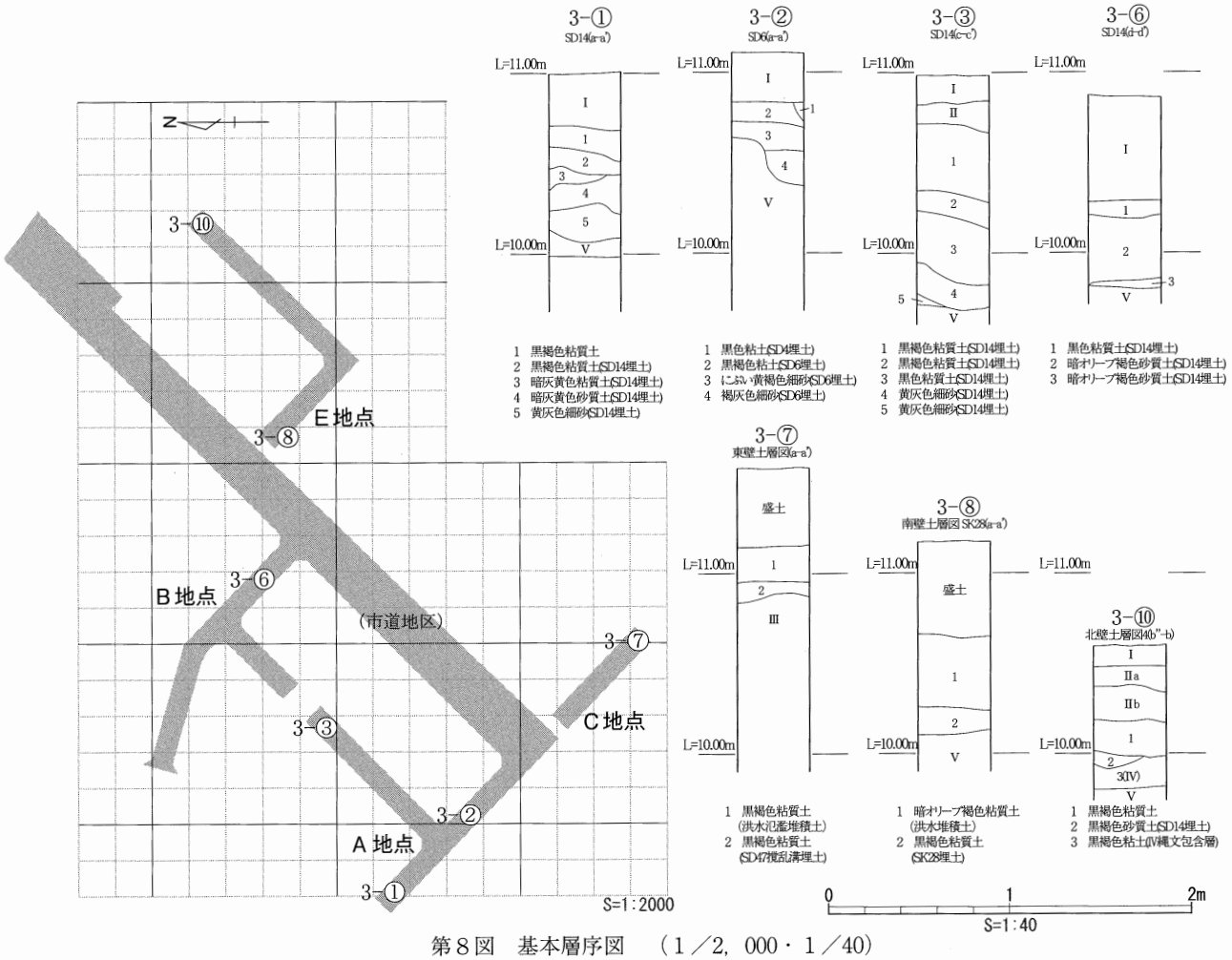
検出遺構は、掘立柱建物１棟をはじめ、土坑29基、溝51条、柱穴60基、不明土坑３基である。年代的には古代、中世の２時期に区分できる。

出土遺物

土器類：縄文土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、中世土師器、珠洲、瀬戸美濃、青磁、越中瀬戸、肥前系磁器、肥前系陶器、瓦器、瓦

土製品：土錘

木製品：板状木製品、棒状木製品



第８図　基本層序図　（１／2，000・１／40）

２．遺構

掘立柱建物

掘立柱建物は３棟確認されている。全ての建物が側柱建物である。

掘立柱建物址ＳＢ01

調査地区の南東部（Ｏ，３・４）区で検出された。側柱の掘立柱建物址で、床面積は約10.6㎡以上である。東西棟で、身舎は桁行２間（約2.8m）×梁行１間（約3.8m）である。建物の桁行の続きが北東方面に延びる可能性がある。建物方位はＮ－26°－Ｅである。遺構は柱間は、桁行は1.32m均等で、梁行は3.8mである。ＳＰ37はＳＤ25に切られる。身舎の掘り方は、平面形が円形ないし楕円形で、長軸約0.3m、深さ25～30cmを計る。柱穴より木製品が出土している。

掘立柱建物址ＳＢ02

調査地区の南東部（Ｏ，３・４）区で検出された。側柱の掘立柱建物址で、床面積は約5.2㎡である。南北棟で、身舎は桁行２間（約2.9m）×梁行１間（約1.8m）である。建物方位はＮ－46°－Ｅである。遺構は柱間は、桁行は１m、1.9mである。身舎の掘り方は、平面形が円形ないし楕円形で、長軸は最大で約0.3m、深さ５～10cmを計る。遺物は出土していない。

掘立柱建物址ＳＢ03

調査地区の南東部（Ｆ，１）区で検出された。側柱の掘立柱建物址で、床面積は約14.2㎡である。北西―南東棟で、身舎は桁行１間（約4.3m）×梁行１間（約3.3m）である。建物方位はＮ－42°－Ｗである。遺構は柱間は、桁行は4.3m、梁行は3.3mと広い。身舎の掘り方は、平面形が円形ないし楕円形で、長軸約0.3m程度、深さ21～35cmを計る。遺物は出土していない。

土坑

土坑は29基確認された。それ以外のものは近現代のカクランである。

土坑ＳＫ7

Ｂ地点で検出された。平面形は長楕円形である。規模は長軸0.8m以上、短軸0.7m、深さ32cmを計る。出土遺物は、陶磁器が出土した。出土遺物はいずれも散発的に出土している。

土坑ＳＫ27・28・29

Ｅ地点で検出された。平面形は隅丸方形・長方形である。規模は、最も大きいＳＫ29は長軸4.6m、短軸0.6m、深さ7cmを計る。長軸は北西から南東を軸とし長軸を合わせて、連続して検出される。市道地区においても調査区北東側にて同様の遺構が検出されている。SK27からは土師器高坏脚部を転用した土錘が、SK28からは須恵器壺または瓶が出土している。

溝

溝は51条確認されている。調査区全域で検出され、溝の流路は東西方向と南北方向に大別される。幅員の大きいSD14・21が調査区中央を東西方向に流れ、おおよそ９世紀～13世紀の流路と想定される。ほぼ同軸の幅員の溝が数条確認できる。

溝ＳＤ5

Ａ地点で検出された。SD5はSD37（市道地区）に続く。ＳＤ６に並行してほぼ東-西の方向に延びる溝である。幅は約1.6mを計る。SD5の断面は浅い皿状である。遺物は出土していない。

溝ＳＤ６

Ａ地点で検出された。SD36b（市道地区）に続く。ＳＤ５と並行してほぼ東-西の方向に延びる溝である。幅は0.6～1.0mを計る。SD6の断面は深い皿状の底面から急傾斜して立ち上がりそこから緩やかに上方に開いて上がる。出土遺物は土師器、越中瀬戸である。

溝ＳＤ14・21

Ａ地点、Ｂ地点、Ｅ地点で検出された。SD14はSD30b（市道地区）に続く。両溝は緩やかに蛇行しながらも並行して、北東（東）－南西（西）の方向に延びる。幅はSD14が約2.5～5.0mを計る。SD14の断面形は深い皿状で凹凸のある底面から上方へ開いて立ち上がる。急傾斜して上方へ立ち上がる箇所もみられる。埋土は下層の細砂層から上層の黒褐色粘質土層へと堆積している。出土遺物は、縄文土器、古代から中世にかけての土師器椀、須恵器杯・杯蓋、輸入陶磁器の青磁椀、土錘が出土している。縄文土器は縄文晩期の遺物包含層（Ⅳ層）からの混入と考えられる。

溝ＳＤ18・19

Ａ地点で検出された。SD18はSD36a（市道地区）に、SD19はSD36c（市道地区）に続き、SD36として合流する。両溝は並行して東-西の方向に延びる。幅はSD18が約2.0m、SD19が約0.7mを計る。SD18の断面は深い皿状の底面から急傾斜して立ち上がりそこから緩やかに上方に開いて上がる。SD19の断面形は浅い皿状である。途中、枝分かれしてSD21に通じている。SD18から、土師器が出土している。

溝ＳＤ21

Ａ地点、Ｂ地点、Ｅ地点で検出された。SD21はSD35（市道地区）に続く。両溝は緩やかに蛇行しながらも並行して、北東（東）－南西（西）の方向に延びる。幅はSD14が約2.5～5.0m、SD21が約1.0mを計る。SD14の断面形は深い皿状で凹凸のある底面から上方へ開いて立ち上がる。急傾斜して上方へ立ち上がる箇所もみられる。埋土は下層の細砂層から上層の黒褐色粘質土層へと堆積している。SD21の断面形は浅い皿状である。埋土はSD14と同じく下層の黄灰色砂層から上層の黒褐色粘質土層へと堆積している。出土遺物はSD14からは、縄文土器、古代から中世にかけての土師器椀、須恵器杯・杯蓋、輸入陶磁器の青磁椀、土錘が出土している。縄文土器は縄文晩期の遺物包含層（Ⅳ層）からの混入と考えられる。SD21からは、縄文土器、土師器、須恵器甕・杯Aが出土している。

溝ＳＤ28

Ｂ地点で検出された。東西方向に走る溝で、SD36（市道地区）に続く。確認された規模は、長さは約3.5m以上、幅0.5m、深さ約16cmを計る。切り合いはない。市道地区においては、SD14・21と本遺構の間にピット群が存在し、建物の存在が想定される。出土遺物はなかった。

溝SD42・43

Ｅ地点で検出された。南北方向に走る溝で、SD30（市道地区）の東側の南北方向の溝に続くとみられる。SD42の確認された規模は、長さは約8.4m以上、幅0.7m、深さ約6～12cmを計る。切り合いはないが、SD45やSD50が平行して流れるとみられる。市道地区においては、SD14・21と本遺構の間にピット群が存在し、建物の存在が想定される。SD42とSD43は近世肥前陶磁（唐津）の椀・皿などが出土している。

柱穴

柱穴は60基確認された。古代～中世に帰属し、いずれも平面径は小さい。ピット群としてのまとまりは、Ｂ地点ＳＢ01・02周辺とＣ地点南側、Ｅ地点中央に確認でき、小規模な掘立柱建物等の存在が考えられる。

柱穴ＳＰ43･50･61

柱穴ＳＰ43はＥ地点で検出された。出土遺物は珠洲である。柱穴ＳＰ50はＣ地点で検出された。出土遺物は須恵器が出土した。柱穴ＳＰ61はＥ地点で検出された。遺物は須恵器が出土した。

３．出土遺物

溝ＳＤ14出土遺物（図面57）

ＳＤ14からは縄文土器、須恵器杯・大甕、古代土師器・甕、中世土師器、土錘などが出土している。縄文時代晩期の土器である224・225は粗製深鉢片、226は有文深鉢片である。224・225の口縁部はヘラ工具による刻みと、胴部外面には横方向の貝殻条痕文が施される。226は口縁部外面に２条の沈線と、区画内に押し引き列点文を施す。いずれも下野式とみられる。奈良、平安時代の遺物は、須恵器杯Ａ・杯Ｂ・蓋・甕、土師器杯Ａ・鉢・甕が、時期不明なものは土製品、木製品が出土している。227～234・244は須恵器である。227～230は蓋である。228は内面にかえりが付く。７世紀末頃に比定される。229は口縁端部は丸みを持つ。234は杯Ａで口縁部は体部上部で外反し丸く収める。244は大甕で、体部外面は平行タタキ目、内面は同心円状押し具による青海波が施され、口縁部は外反する。248は不明土師器。250は土師器の甕で、体部外面はケズリ、内面は細かいハケメが施される。235～236・238～243は古代土師器の椀で、235・236・240は無台椀、242・243は柱状高台である。237は古代の有台黒色土器で、内面のみ黒色処理される。245～247は古代の土師器の甕の体部で、すべて墨痕がある。釈文はいずれも不明である。252～255は古代土師器の皿である。回転台土師器で古代末に比定される。242は口縁端部が上方に肥厚し、外端面は直立する。260は土錘である。木製品は、６点出土しており、そのうち３点を図化した。256・257は棒状木製品、258は板状木製品である。

溝ＳＰ43･ＳＰ50･ＳＰ61出土遺物（図面58）

ＳＰ43からは、珠洲・壺が出土している。261は珠洲の甕の口縁である。262は須恵器の壺か瓶である。263は須恵器の杯Ａである。

溝ＳＤ６･ＳＤ18･ＳＤ21・ＳＤ33・SD46出土遺物（図面58）

SD６からは古代土師器、越中瀬戸が出土している。272は越中瀬戸の皿である。底部は露胎しており、底部削り出し高台である。273は土師器の椀である。SD18からは古代土師器・甕が出土している。266・267は土師器甕である。古代の長胴甕の口端部を上面につまみあげる。胎土には、海綿骨針が含まれる。SD21からは、縄文土器、須恵器杯Ａ・甕が出土している。268は須恵器の杯Ａである。269は縄文後期の中屋式の深鉢である。口縁部外面に２条の沈線と口唇部にヘラ刻み目が配される。270は須恵器の大甕の口縁である。頸部付近に格子タタキメの工具の接触痕がある。SD33からは近世肥前陶磁（唐津）が出土している。278は唐津の皿で、底部外面は露胎、内面は蛇の目釉はぎ、内外面は灰釉が施釉される。SD34からは中世土師器が出土し、柱痕が検出された。274は中世土師器である。内外面ヨコナデで口縁部に厚くタールが付着する。

包含層出土遺物（図面58）

ここでは区画整理３区の包含層出土の遺物を報告する。275は須恵器の蓋である。276は近世唐津の皿である。内面は銅緑釉を施釉、底部は蛇の目釉はぎ。削り出し高台で底部は露胎する。277は肥前陶磁の皿である。内外面に透明釉を施釉、内面側面に草花文が入る。279は近世唐津の椀である。256・257は棒状木製品、258・259は板状木製品である。全て木取りは板目である。256は片側に抉りが確認でできる。257は先端を尖らせる。259は薄い板状木製品で、遺存する右端上端は切り欠きがある。

第５章　西木津遺跡本調査

第１節　区画整理区

１．調査の概要

調査地区の設定

調査地区名を作業する順にF・G地区とし、それぞれ調査終了後に空撮を実施した。

調査対象地の南側のF地区と、北側のG地区の調査を行った。期間は平成23年２月21日から同年３月８日まで実施した。５月19日と５月21日に空撮を実施した。５月21日に下層遺構確認を実施し、調査を終了した。

座標は中木津遺跡区画整理３区と同様に公共座標（世界測地系）を基にX＝81,300、Y＝－15,650を起点とするＡ０とし、調査範囲を網羅できる位置に設定した。グリッドは真北を基線として、10m四方を区画して設定し、グリッドの名称については東西方向にアラビア数字（西から１、２、３…）南北方向にはアルファベット（南からA,B,C…）を用いてこの両者の組み合わせで表記した。

基本層序

西木津遺跡区画整理区の基本層序は以下の通りである。

Ⅰ層：暗褐色粘質土　（現耕作土）

Ⅲ層：黄橙色～淡黄色シルト　（古代以降の遺構検出面・上層地山）

Ⅴ層：黄色～黄褐色シルト　（下層地山）

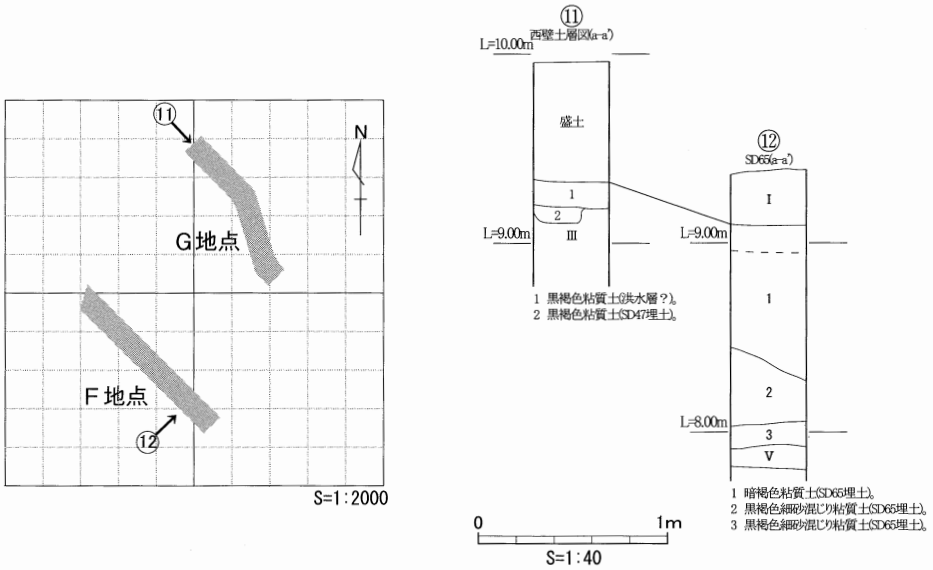
検出遺構

検出遺構は、土坑24基をはじめ、溝11条、穴24基がある。その他近世から近代の落ち込みや溝がある。

出土遺物

出土遺物は以下のとおりである。古代からの遺物があり、中世、近世の遺物が確認されている。

土器類：土師器、須恵器、中世土師器、珠洲、瀬戸美濃、越中瀬戸、肥前系磁器、肥前系陶器、瓦器



第９図　基本層序図　（1／2，000・１／40）

2．遺構

土坑ＳＫ39

G地点で検出された。平面は不整円形で、長軸2.8m、短軸2.4mを計る。断面は深い皿状を呈し、深さ60cmを計る。ブロック状堆積が確認でき人為的に埋め戻した可能性が高いと考えられる。青磁椀、土師器が出土している。

溝SD65・SD65a

F地点で検出された。SD65aは、SD37（市道地区）から続くと考えられる。SD65は東西方向に、SD65aは南北方向に延びる溝で、調査区南端部で直交して延びる。SD65・SD65aの断面は深い皿状の底面から急傾斜して立ち上がり、緩やかに上方に開く。SD65・SD65aの下層で須恵器蓋と珠洲甕が出土し、合流地点では漆器椀が出土している。上層と下層と区別して遺物は取り上げているが、下層でも古代～中世の遺物が混在して出土していることから、長期間機能した溝と考えられる。

ピット群

Ｆ地点の北側では、ＳＰ67等の柱穴も定量検出されている。試掘調査の結果にてF地区の北側のトレンチで多くのピットや土坑、溝が検出されることから、集落がF・G地点東側に広がることが判明した。周辺から出土する遺物は中世が主体であり、柵列や掘立柱建物の存在が想定される。Ｇ地区の南側でも土坑や溝がまとまって検出されている。

3．出土遺物

土坑ＳＫ39出土遺物（図面60）

ＳＫ39からは須恵器、中世土師器、土師器、青磁が出土している。305は青磁の椀である。見込み部に片彫りの文様が一部残り、底部は露胎である。306は須恵器の杯Ａである。307は中世土師器の皿である。内外面はヨコナデで、ヤキムラがある。308は土師器の甕である。外面は黒色処理される。

土坑ＳＫ52出土遺物（図面60）

ＳＫ52からは珠洲が出土している。309は珠洲の擂鉢である。内面に卸目13条１単位が８方向にから施される。底部は板状圧痕が残る。

柱穴ＳＰ67・73出土遺物（図面60）

ＳＰ67からは中世土師器が出土している。310・311は中世土師器の皿である。310は焼成時の黒班が残る。311は内外面回転ナデを施す。ＳＰ73からは中世土師器が出土している。

溝ＳＤ62・66出土遺物（図面60）

ＳＤ62からは土師器杯が出土している。312は外面・内面は赤彩が施される。

ＳＤ66からは中世土師器が少数出土している。313・314は内外面ヨコナデを施す。

溝ＳＤ65出土遺物（図面59・60）

ＳＤ65からは須恵器・土師器・珠洲・中世土師器・青磁・瓦器が出土している。280は須恵器の蓋である。281～284は須恵器の杯Ｂである。285は須恵器の鉢か。291～304は珠洲。291～293はすり鉢で、292・293は片口鉢である。吉岡編年Ⅱ～Ⅲ期に帰属するか。294・298は壺。外面は平行タタキメ、内面はユビオサエとナデで調整する。297は外面に自然釉がかかる。吉岡編年Ⅳ期に帰属する。295～297・299～304は甕である。295・297は吉岡Ⅱ期、299・300はⅢ期、296はⅤ～Ⅵ期に相当する。286～288は中世土師器。287は灯明皿で

口縁内外面にタールが付着する。289は青磁の椀である。太宰府編年龍泉窯系小椀Ⅲ類か。290は瓦器の鉢か。

包含層出土遺物（図面60）

包含層からは、縄文時代晩期の縄文土器を挙げる。315は縄文晩期の鉢。口唇部に刻み目、外面に沈線１条を施し、外面は被熱痕が残る。

４．小結

ここでは中木津遺跡区画整理３区・市道地区と西木津遺跡の調査成果と合わせて概観してみたい。

これまで西木津遺跡の遺跡範囲は点的な把握にとどまっていたが、中木津遺跡で確認された溝SD30が西木津遺跡の溝SD65aの方向に向かっており、また溝SD65も中木津遺跡から西木津遺跡に延びることから、西木津遺跡と中木津遺跡は一つの遺跡のまとまりである可能性が指摘できる。

調査成果の一つとして、溝群の検出があげられる。中木津遺跡市道地区のSD30b・SD35、SD36a・SD36c、SD36b・SD37、中木津遺跡区画整理３区のSD14・SD21、SD18・SD19、SD5・SD6、西木津遺跡区画整理地区のSD65・SD65aである。

これらの溝群の時期については、出土遺物、遺構の切り合い・配置・形状・軸方向から大きく３時期の変遷があると考えられる。新旧関係はA群、C群、B群の順に新しくなると考えられる。出土遺物はＡ群としたSD30、SD30bともに古代～中世初期段階のものが中心であり、須恵器杯、土師器椀・皿、白磁Ⅳ類、青磁などである。Ｂ群としたSD36a・SD36cとＣ群に相当するSD36b・SD37からは12世紀代の土師器皿などが溝底面砂層から出土していて、９世紀後半・末頃～11世紀代の遺物は出土しない。SD65の下層から珠洲甕（吉岡Ⅳ期：14世紀前半～後半）が出土している。SD30bと同時期に存在していたと考えられるSD65（＝SD30）はSD65aと直交するが、出土遺物の様相からSD30（＝SD65）よりも新しい時期まで存在していたと考えられる。

流路の方向はA群・B群・C群の軸方向はともに東-西を指向し、A群とC群はやや北に振れ、B群は南に振れる。出土遺物や軸方向からA群より新しいとしたB群・C群の中でB群に切られるC群はA群の配置に影響した形で12世紀段階に新たに設置した溝と考えられる。A群とB群の間は約40m～50mの空間が、SD30とSD30bの直交地点とSD30（SD65a）とSD65の直交地点の間は約200mの距離がある。これらの溝が蛇行しながらも、軸をやや北・南に振る東西とやや東に振れる北南を指向していることが見てとれる。これれらの溝が区画溝として機能していたとすれば、中世において広範囲に及ぶ大きな区画を伴う開発が考えられる。

	区画整理３区	市道地区	深さ	幅	軸方向
A群	SD14	SD30 b	深い	広い	東西
（２条１対・並行）	SD21	SD35	浅い	狭い	東西
B群	SD18	SD36a	深い	広い	東西
（２条１対・並行）	SD19	SD36c	浅い	狭い	東西
C群	SD6	SD36b	深い	狭い	東西
（２条１対・並行）	SD5	SD37	浅い	狭い	東西
D群	SD65a	SD30	やや深い	広い	南北
（直交）	SD65		深い	狭い	東西

第１表　溝分類案

第６章　結語

今回の調査では佐野台地北側の様相が明らかとなった。下記に各遺跡の状況をまとめてみたい。

１．中木津遺跡について

縄文時代後期～晩期

縄文時代後期から晩期の土器と石囲遺構が試掘調査にて確認された。遺構・遺物は調査区南側に多く確認される。試掘調査Ｄ区ＳＸ7では、石囲いを持つ土坑が検出された。県内と周辺においては当該期建物の炉は地床炉であることから、埋葬に関連する土坑の可能性が指摘されている。近隣の石塚蜻保遺跡でも同時期の土器や包含層が確認されている。また、区画整理２区のⅢ層上層にて部分的に検出された遺構とⅢ層にあたる黒褐色土が確認された。この土層は従来から佐野台地に広く分布する縄文後期～晩期の遺構・遺物を伴う土層であることが指摘されていることから、今後の調査においても注意したい。

古代

古代の建物群が区画整理２区・３区で、また台地を南北方向に流れる溝が区画整理１・２区にて確認された。建物群は、総柱建物と側柱建物が東西軸で確認できる。その南北方向に建物が部分的に検出されたことから、規格性を持った建物配置がされていた可能性を示唆する。遺物は一般的な須恵器・土師器が出土するが、製塩土器が溝ＳＤ204とその周辺より少量出土している。佐野台地の遺跡群でも東木津遺跡、中保Ｂ遺跡など官衙関連遺跡で製塩土器の出土が報告されていることから、いくつかの開発拠点に製塩土器が運ばれた事を伺わせる。文字資料に関しては、「木津カ」の墨書土器や須恵器の転用硯などが出土しており、近傍での文書事務が行われたことを示唆する。しかし、中木津遺跡・西木津遺跡で検出された掘立柱建物の規模は小さく、高級陶器の出土がほぼ確認できないことから、佐野台地の開発の拠点は南に隣接する東木津遺跡や「曹子」の墨書土器が出土した下佐野遺跡が中心であると考える。また、１区ＳＤ204や２区ＳＤ11は佐野台地北端を貫く溝の一部であることが指摘でき、同軸の流路は下佐野遺跡や石名瀬Ａ遺跡の調査で検出されている。多量の古代土器は、これらの周辺遺跡の流れ込みを含むものであるが、おおむね中木津遺跡の集落存続時期を示すものと考えたい。３区と西木津遺跡でも東西軸のSD14・21が検出されていて、主な出土遺物の時期はほぼ同時期である。

中世・近世

中世～近世の遺構として掘立柱建物や土坑、また調査区全域で多くの溝群が検出された。掘立柱建物は１区ＳＢ01・02や２区ＳＢ08があり、いずれも小規模である。溝は２区SD48のような屈曲を持つ溝や同軸の中小の溝群があり、時期は中世後半～近世である。中木津３区や西木津遺跡の調査区では東西方向を主軸とする多くの溝が検出され、正方位を意識した溝である可能性が調査担当者から指摘される。近隣の石塚遺跡にて掘立柱建物と同軸の溝状遺構が検出される事例もあることから、中木津遺跡においても広範囲に区画溝を含む集落が所在していた可能性が高まった。近世の遺構として２区SX03がある。土器類や木製品・漆器などのが出土しており肥前陶磁や伊万里などの生活用品が出土している。前述した２区SD48との関連が想定される。

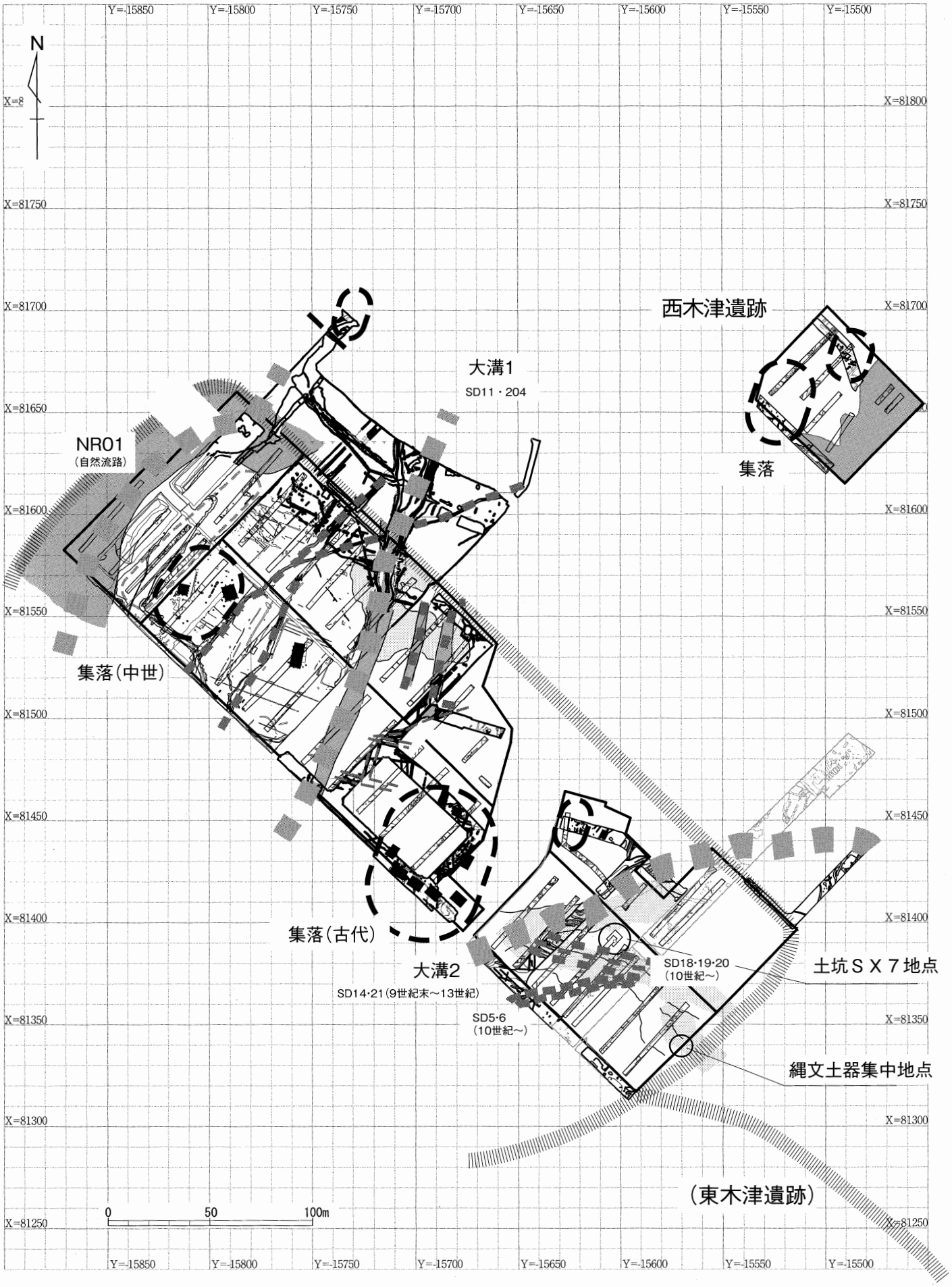
2．西木津遺跡について

主に中世の遺構が検出され、古代・中世の遺物が出土した。F地点南側のSD65では中世の遺物が出土し、集落はその北側に広がると考えられる。G地点でも土坑や溝などが検出され、遺構分布も北側に拡がる。このことから段丘の境界付近に中世の集落の所在があると想定される。

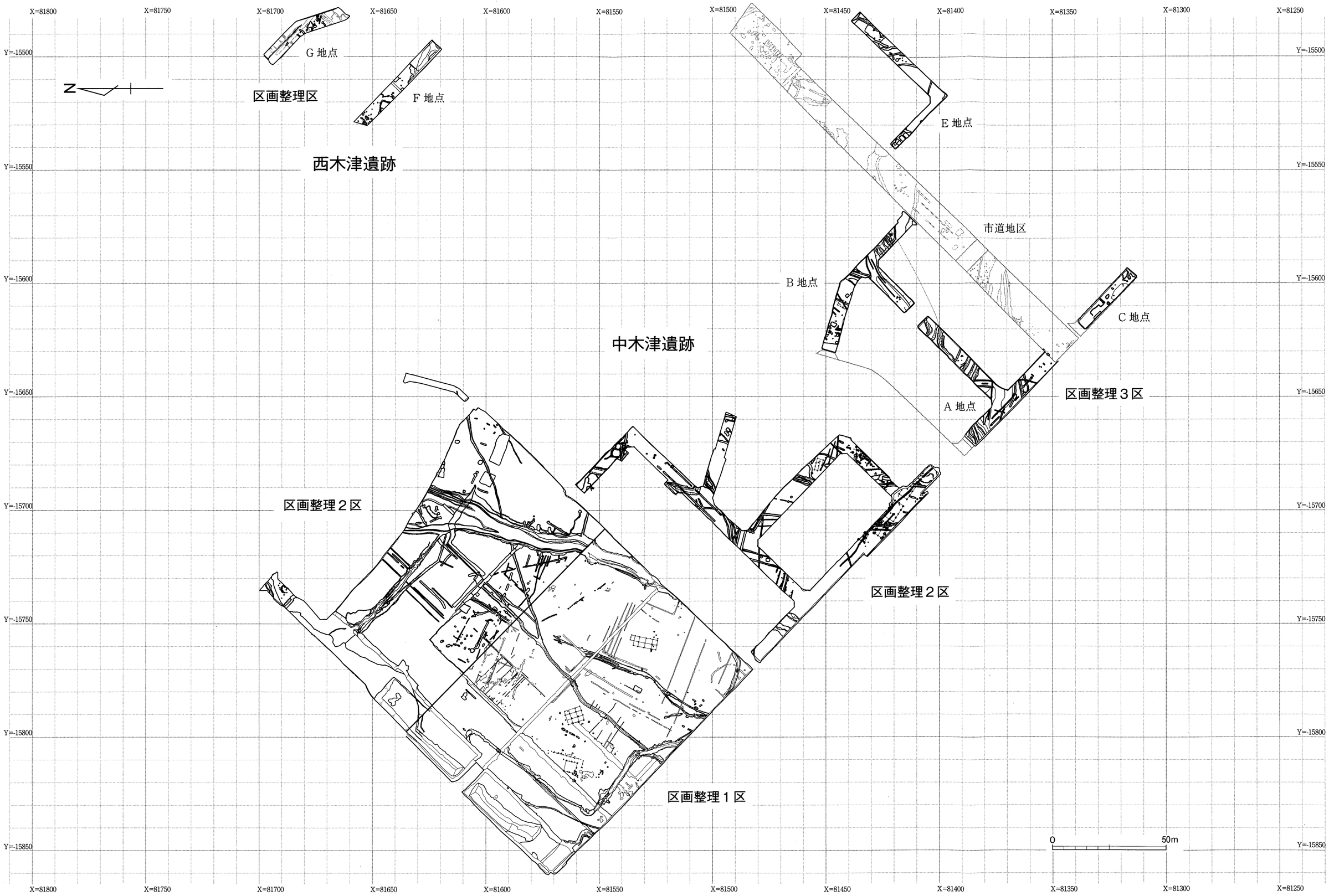
3．佐野台地上の遺跡・遺構と文献等の問題

中世においては、文献史料にて周辺は福田庄であることが想定される。同庄の成立年代は不明であるが、『妙法院文書』「寛元3年（1245）4月17日条」にその記述がみられることから、当該期に成立していたとみられる。その後、1339年から1392年にかけ、越中知行国主である徳大寺公能（の弟）による私領支配が行われた。1342年に宗良親王による支配が文献から伺え、南北合一後の14世紀末以降は大館氏の支配下におかれることになる。越中石黒党の福田二郎範高に関係する建物の可能性を提起されている（高岡市教委2007）。

上述した時期の明確な遺構は確認されないが、中世～近世の堀跡の性格を持つ溝や柵列を配する掘立柱建物などが存在する。これらの遺構や小規模の溝で区画のありかたなどの分析を行うことで中世の集落のようすが明らかになると思われる。今後同庄における上記の中世荘園に関係する遺構のさらに詳細な整理を行い検討したいと考える次第である。



第10図　遺跡概念図　（1／2，500）



第 11 図　遺構全体図　　縮尺 1 /1,500

引用・参考文献

高岡市　『高岡市史』上巻　1959

高岡市　『たかおか―歴史との出会い―』　1991

竹内理三編　『日本地名大辞典　16富山県』角川書店　1979

久保尚文　「補論（三）越中石黒氏について」『勝興寺と越中一向一揆』桂書房　1983

能都町教育委員会　『真脇遺跡』　1986

北陸古代土器研究会編『シンポジウム北陸の古代土器研究の現状と課題』　1988

高岡市児童文化協会編　『越中たかおかふるさと誌料抄』　1990

奈良国立文化財研究所　『木器集成図録　近畿原始編』　1993

吉岡康暢　『中世須恵器の研究』真陽社　1994

中世土器研究会　『概説　中世の土器・陶磁器』真陽社　1995

越前慎子　「Ⅳ考察　１梅原護摩堂遺跡出土中世土師器皿の編年」
『梅原護摩堂遺跡発掘調査報告（遺物編）』　1996

太宰府市教育委員会　『太宰府条坊跡ＸＶ』　2000

高岡市教育委員会　『高岡市埋蔵文化財分布調査概報Ⅰ』　1990

高岡市教育委員会　「木津神社遺跡、福田地区」『市内遺跡調査概報Ⅵ』　1997

高岡市教育委員会　『中保B遺跡調査報告』　2003

高岡市教育委員会　『石塚遺跡調査報告』　2007

高岡市教育委員会　『下佐野遺跡調査報告』　2007

高岡市教育委員会　『下佐野遺跡調査報告Ⅱ』　2011

高岡市教育委員会　『石名瀬Ａ遺跡調査報告』　2012

高岡市教育委員会　『石塚蜻保遺跡調査報告』　2013

高岡市教育委員会　「中木津遺跡（都市計画道路地区）」『市内遺跡調査概報ＸＸⅡ』　2013

富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所　『梅原護摩堂遺跡発掘調査報告（遺物編）』　1996

富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所　『下老子笹川遺跡発掘調査報告』　2006

富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所　『下黒田遺跡・下佐野遺跡・諏訪遺跡・蔵野町東遺跡・
蔵野町遺跡・駒方南遺跡　発掘調査報告』2013

富山県埋蔵文化財センター　『富山県高岡市下佐野遺跡発掘調査報告書』　2011

㈶石川県埋蔵文化財センター　『松任市乾遺跡発掘調査報告書　Ａ・Ｃ区下層編』　2001

㈶石川県埋蔵文化財センター編　『環日本海交流史研究集会「縄文後晩期の低湿地集落」』　2003

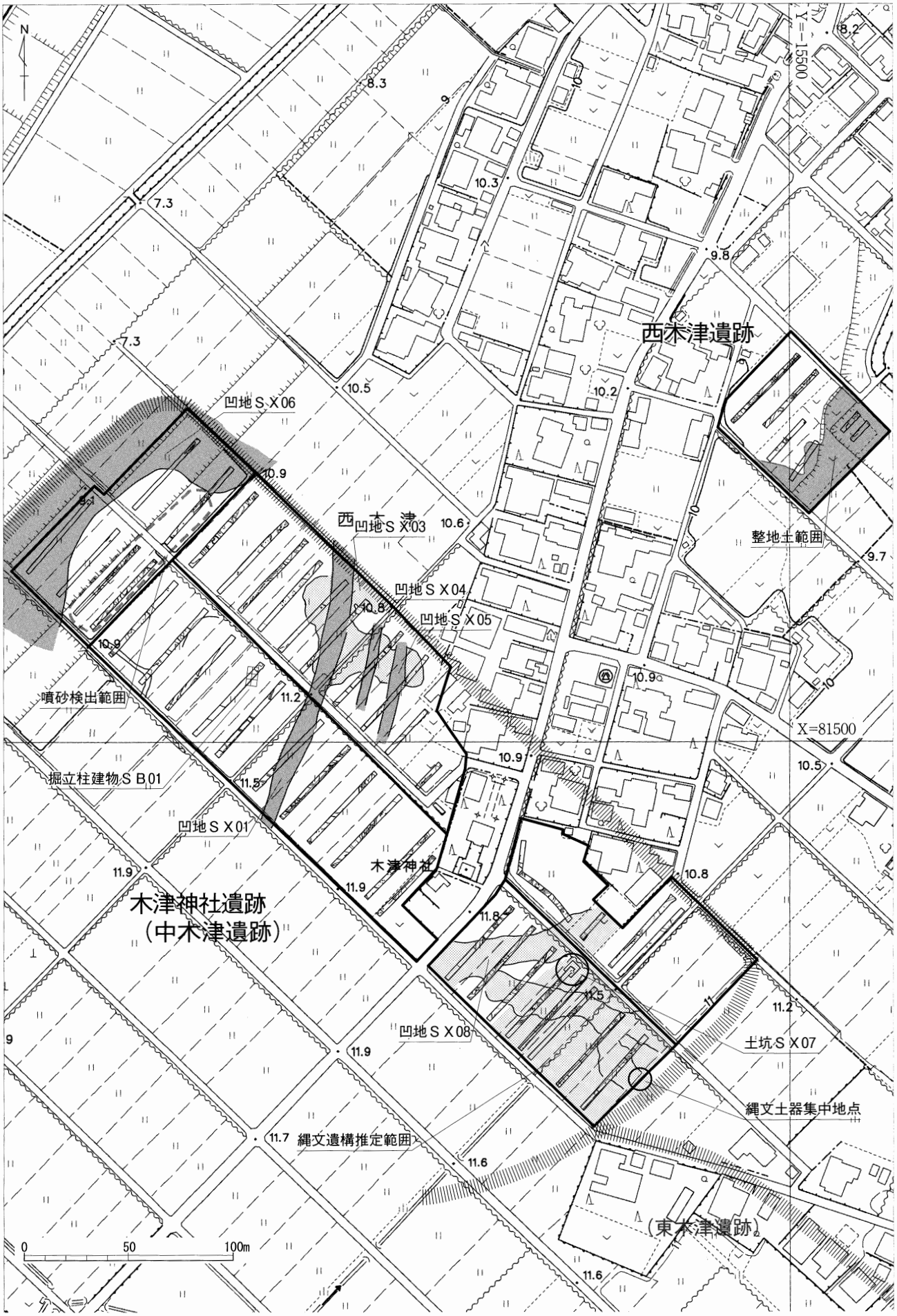
小矢部市教育委員会『桜町遺跡発掘調査報告書Ⅰ』　2004

上野章　「越中の７世紀の須恵器変遷について」『ふくおかの飛鳥時代を考える』
福岡町教育委員会・富山考古学会　2006

町田賢一　「Ｘ考察　”条痕文の編年”」『下老子笹川遺跡発掘調査報告』　2006

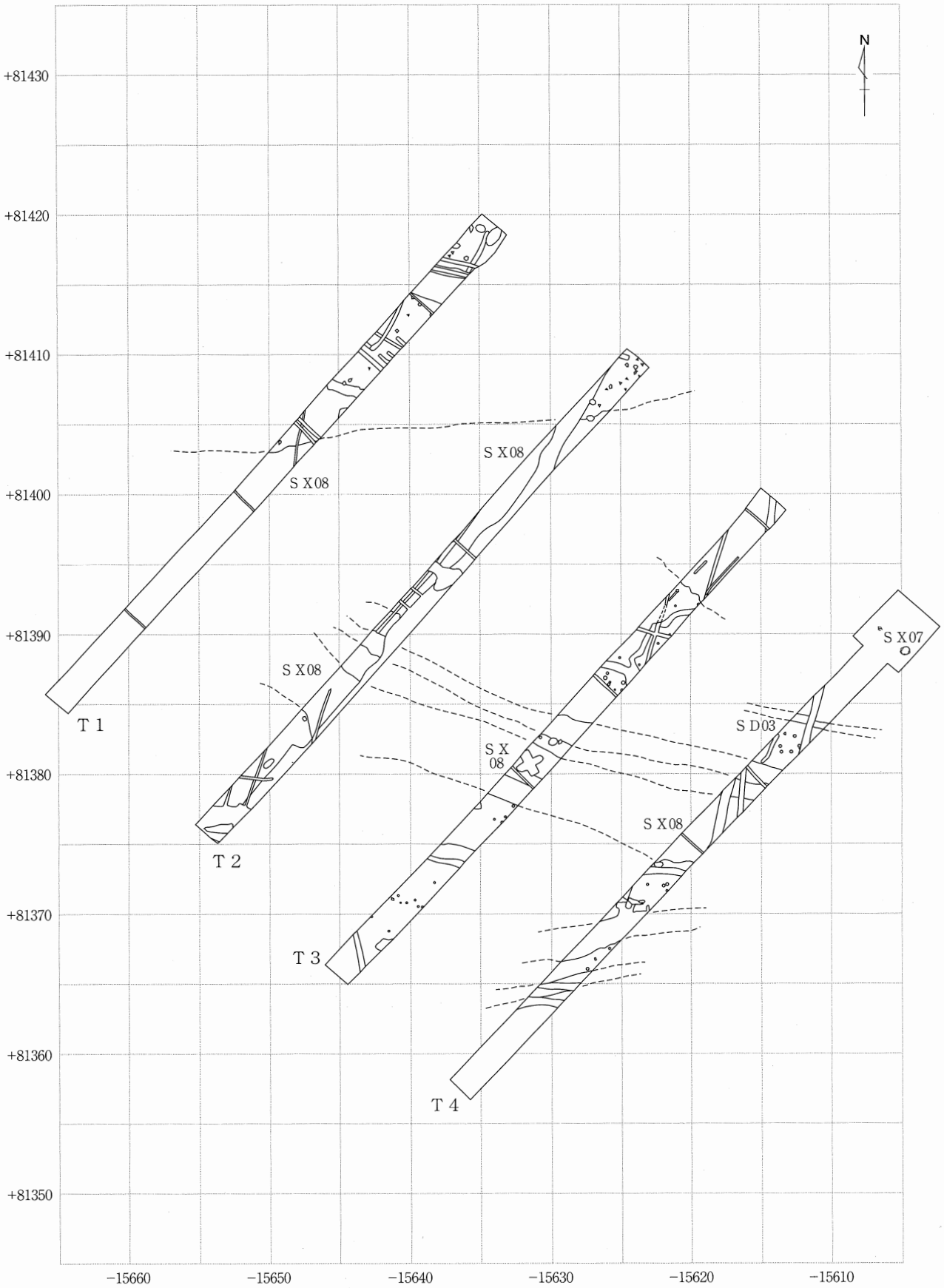
根津明義　「古代越中における官衙的様相と在地社会」『古代の越中』高志書院　2009

図　　面



遺構実測図　主要遺構図　　縮尺１／2，500

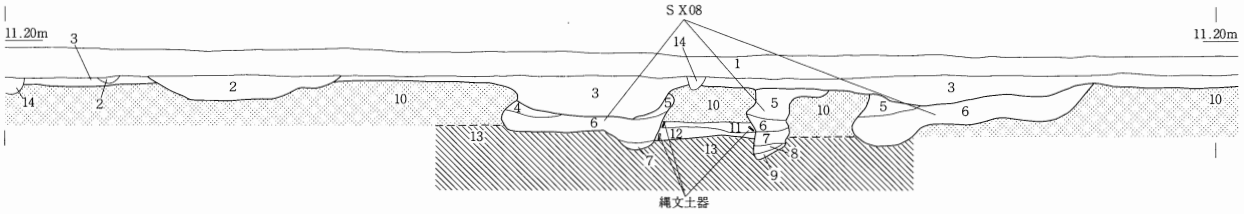
図面〇二　遺構実測図　木津神社遺跡（中木津遺跡）試掘調査



遺構実測図　D区　遺構全体図　　縮尺 1／400

S=1:40（平面図）

1．暗褐色粘質土（耕作土）
2．にぶい黄褐色シルト（暗灰色粘質土、炭化物混じる）

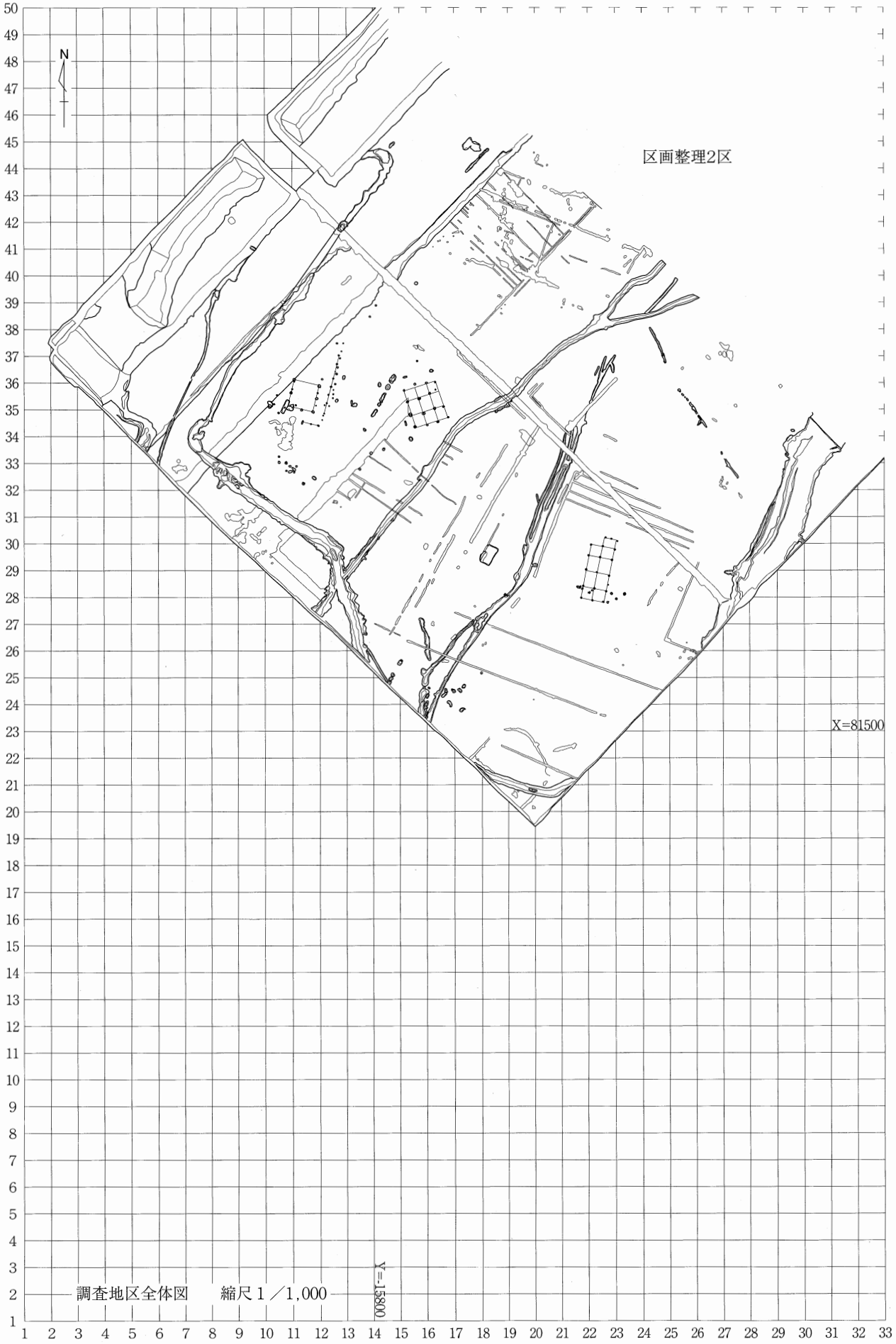


1．暗褐色粘質土（耕作土）
2．暗灰褐色砂質土（近世～近代の整地土）
3．黒褐色粘質土（古代～中世の遺物含む）
4．6+10の混じり
5．黄褐色粘質土+10
6．黒色粘質土+10（ブロック状）
7．黒褐色細砂＋黒褐色粘質土+10
8．13（ブロック状）＋砂混じり
9．暗灰褐色細砂＋暗灰褐色粘質土
10．にぶい黄褐色シルト（上層遺構検出面）
11．灰白色粘質土（縄文土器・炭化物含む）
12．黄白色粘質シルト（縄文土器・炭化物含む）
13．黄白色シルト（地山）
14．1＋2の混じり
15．2＋3+10の混じり
16．2＋3の混じり
17．3+10の混じり

0　1　2m
S=1:60（断面図）

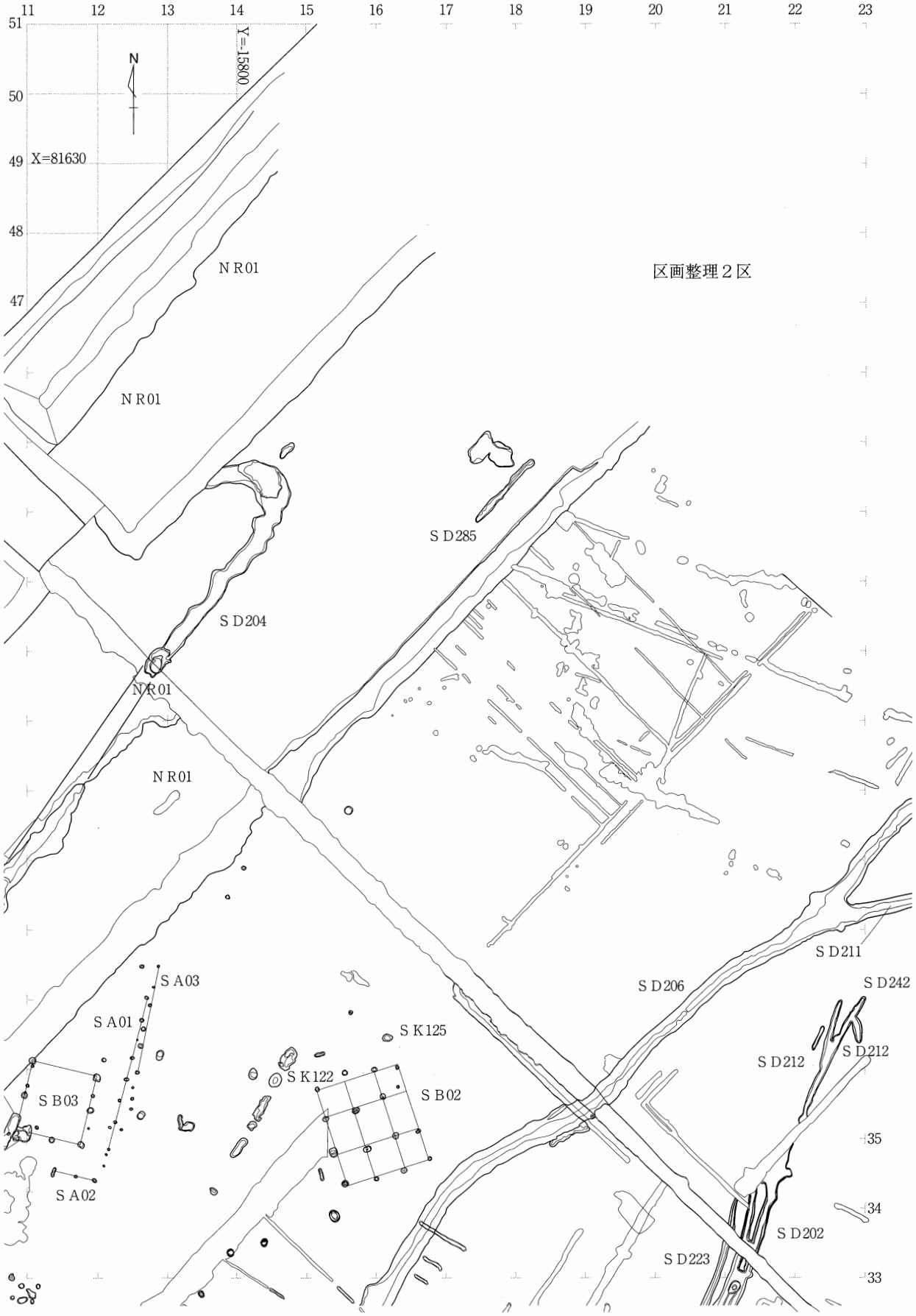
遺構実測図　D区　土坑　S X07 実測図　　縮尺1／40・1／60

図面〇四　遺構実測図　中木津遺跡　区画整理1区



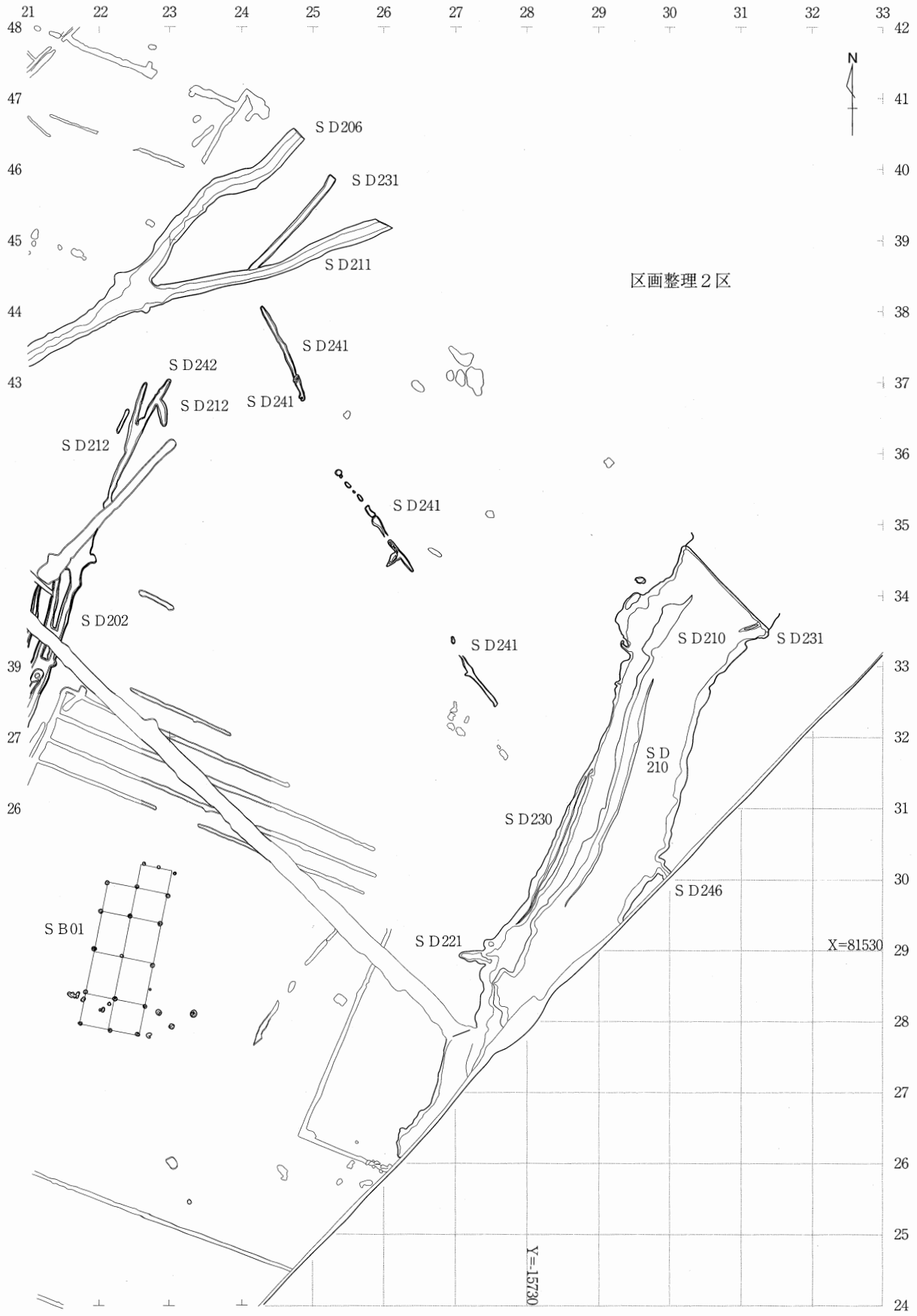
遺構実測図　区画整理１区遺構全体図　　縮尺１／1，000

図面〇五　遺構実測図　中木津遺跡　区画整理１区



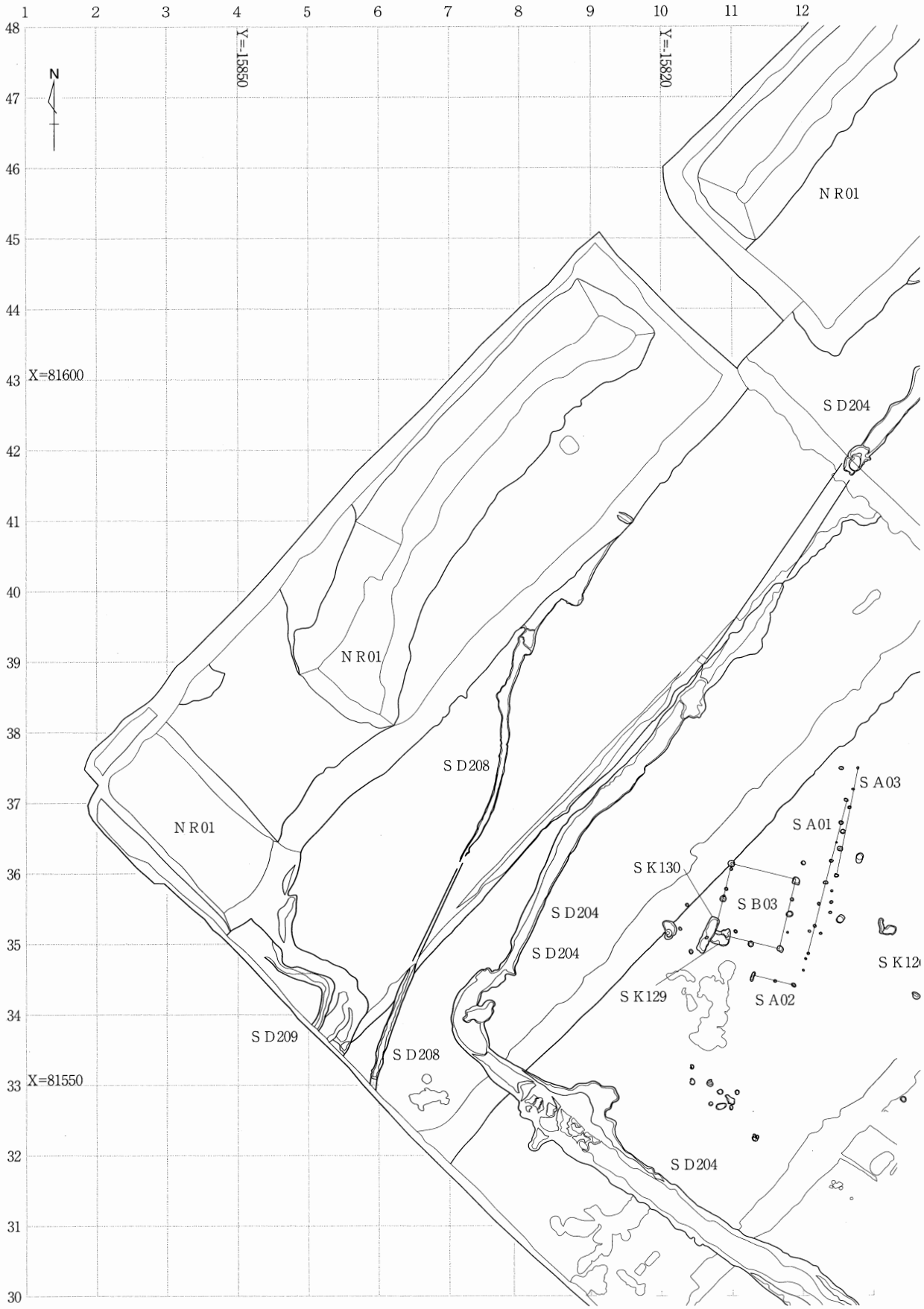
遺構実測図　区画整理１区遺構全体図１　　縮尺１／400

図面〇六　遺構実測図　中木津遺跡　区画整理1区



遺構実測図　区画整理１区遺構全体図２　　縮尺１／400

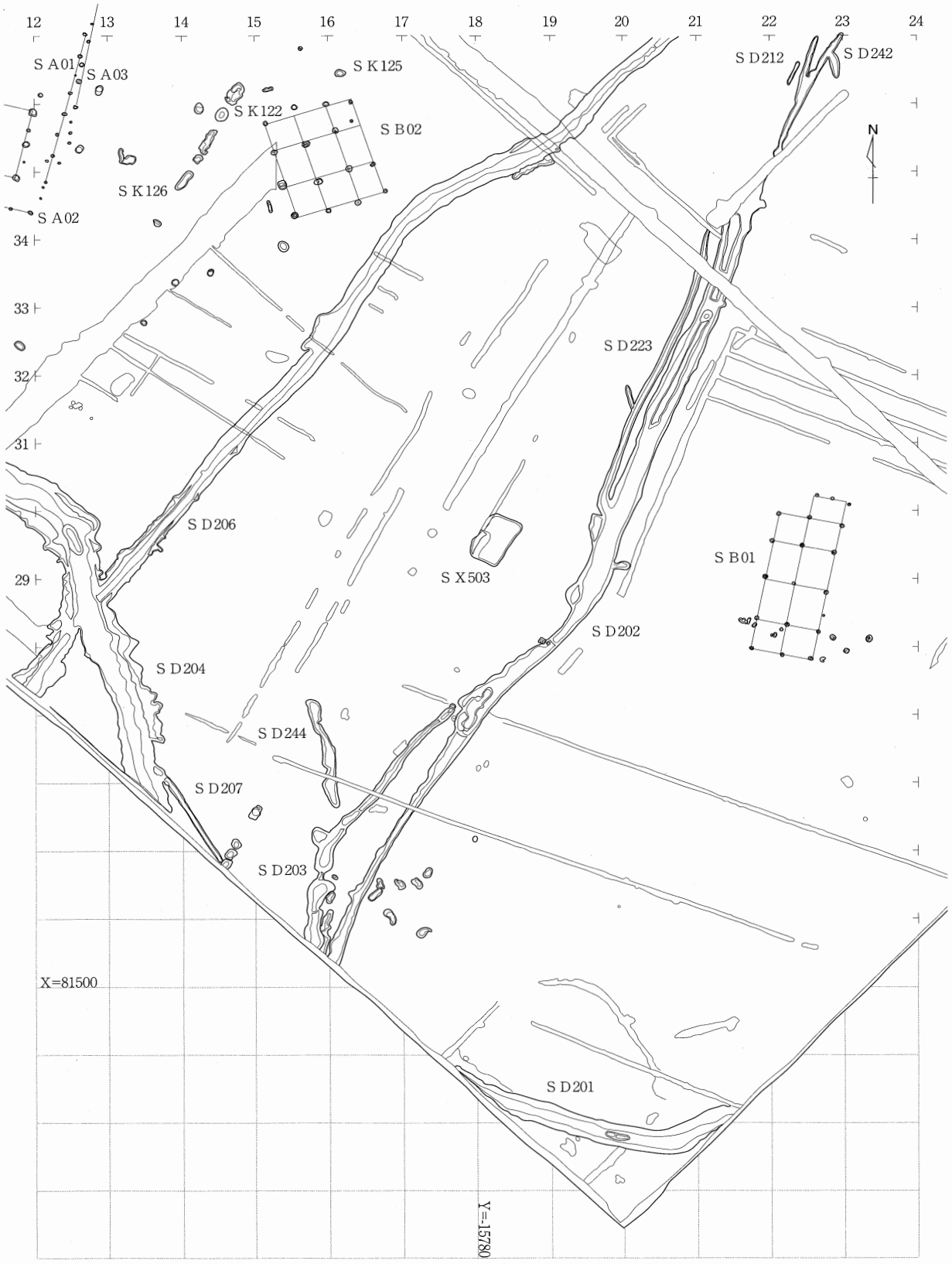
図面〇七　遺構実測図　中木津遺跡　区画整理1区



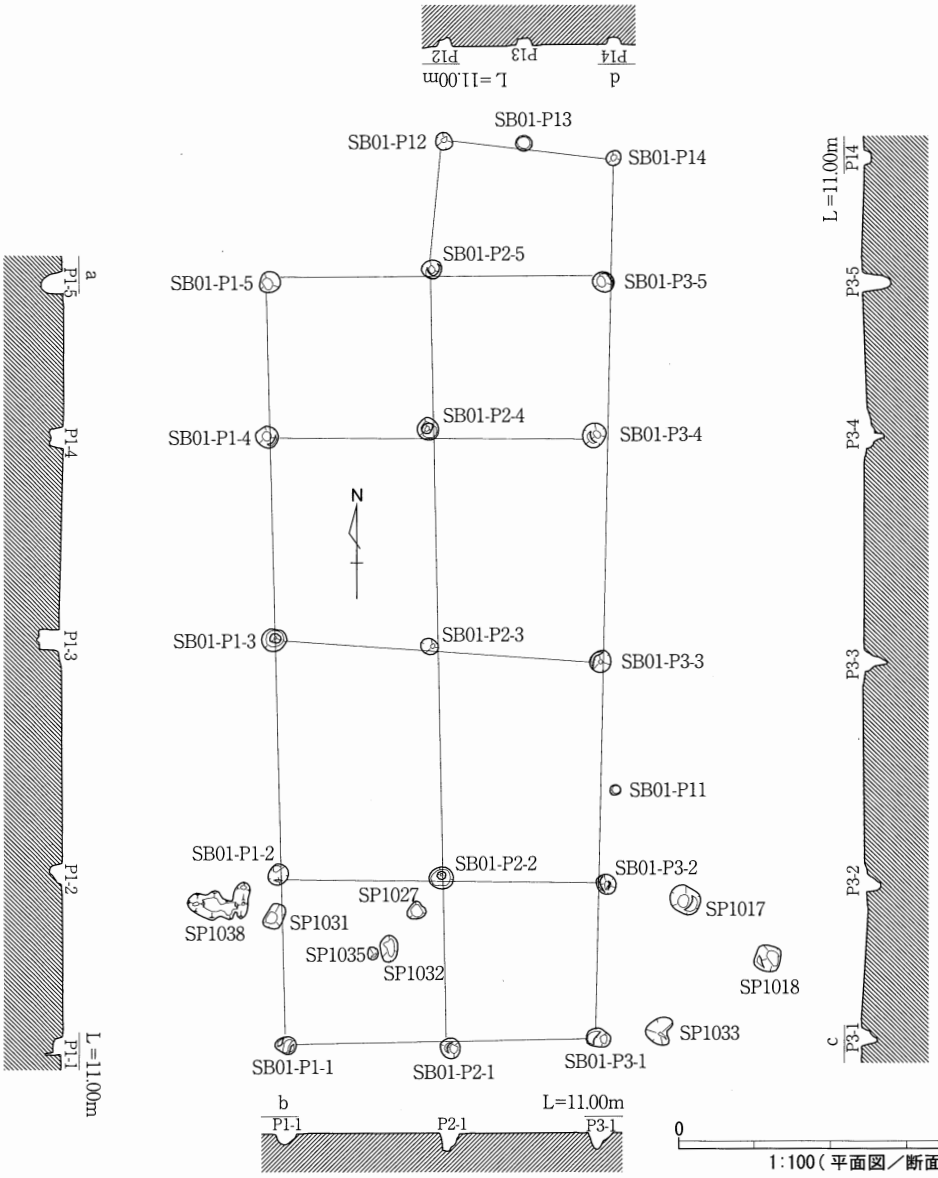
遺構実測図　区画整理１区遺構全体図３

縮尺１／400

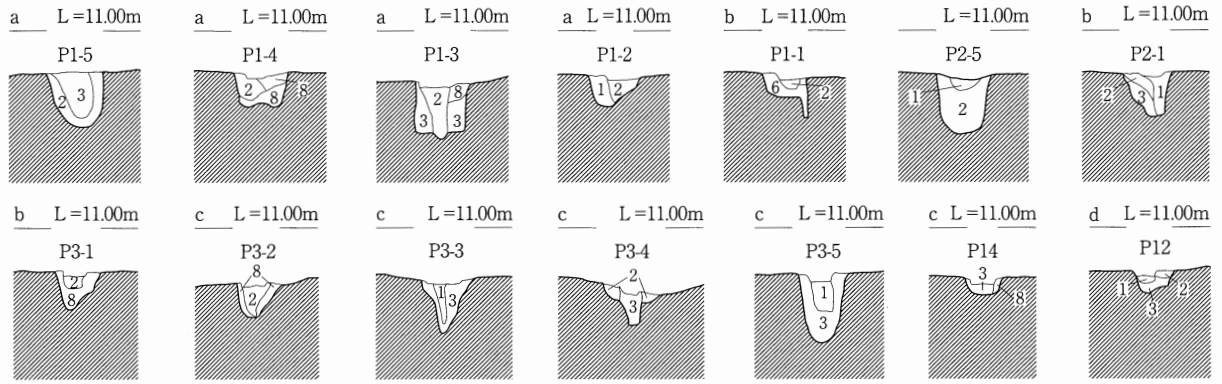
図面〇八　遺構実測図　中木津遺跡　区画整理1区



遺構実測図　区画整理１区遺構全体図４　　縮尺１／400



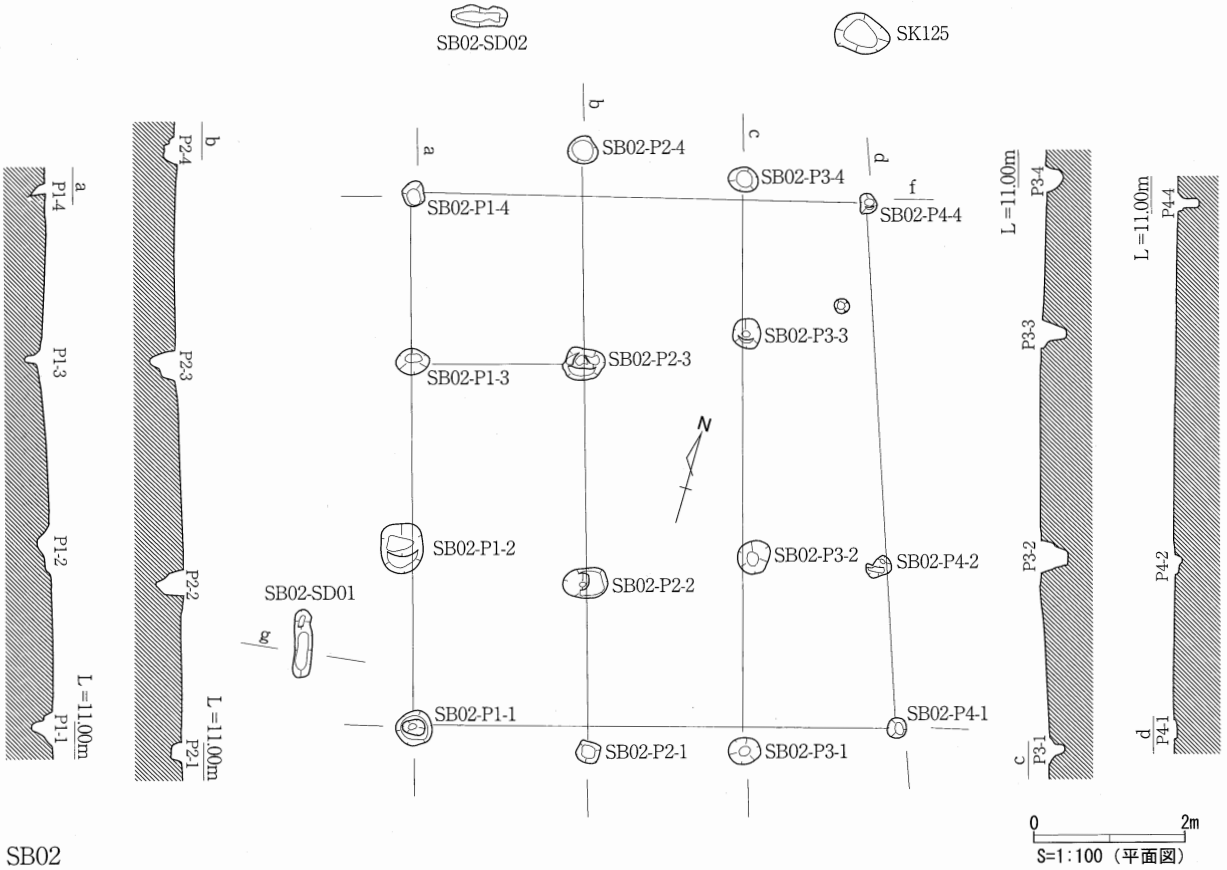
SB01



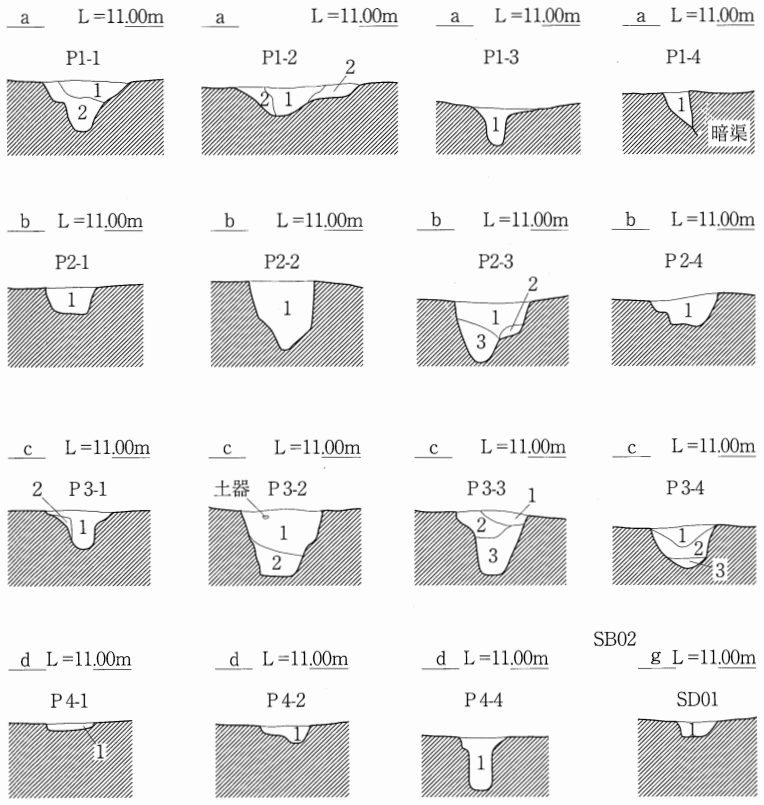
1　10YR1.7/1　黒色粘土質シルト
2　10YR1.7/1　黒色粘土質シルト　地山少量含む
3　10YR1.7/1　黒色粘土質シルト　地山多く含む
4　10YR1.7/1　黒色粘土質シルト　5層含む
4'　10YR1.7/1　黒色粘土質シルト　柱痕
5　10YR6/4　にぶい黄褐色シルト
6　10YR6/4　にぶい黄褐色シルト　地山小量含む
7　10YR6/4　にぶい黄褐色シルト　地山多く含む
8　10YR6/4　にぶい黄褐色シルト　1層含む

0　1　2m
1:40（断面図）

遺構実測図　区画整理１区　掘立柱建物ＳＢ01実測図　　縮尺１／100・１／40



SB02



P1-1　1　10YR2/1　黒褐色細粒砂質シルト
　　地山ブロック混土
　　2　10YR2/1　同色　地山ブロック 10%含む
P1-2　1　10YR2/1　同色　地山ブロック 30%含む
　　2　10YR6/3　にぶい黄橙色細粒砂質シルト
P1-3
P1-4　1　10YR2/1　黒褐色細粒砂質シルト
　　地山ブロック 10%含む

P2-1　1　10YR2/1　同色　地山ブロック 10%含む
P2-2　1　10YR2/1　同色　地山ブロック 20%含む
P2-3　1　10YR2/1　同色　地山ブロック 20%含む
　　2　10YR2/1　黒褐色細粒砂質シルト30%含む
　　10YR6/3　にぶい黄橙色細粒砂質シルト
　　3　10YR2/1　黒褐色細粒砂質シルト
　　地山ブロック 10%含む
P2-4　1　10YR2/1　同色　地山ブロック 20%含む

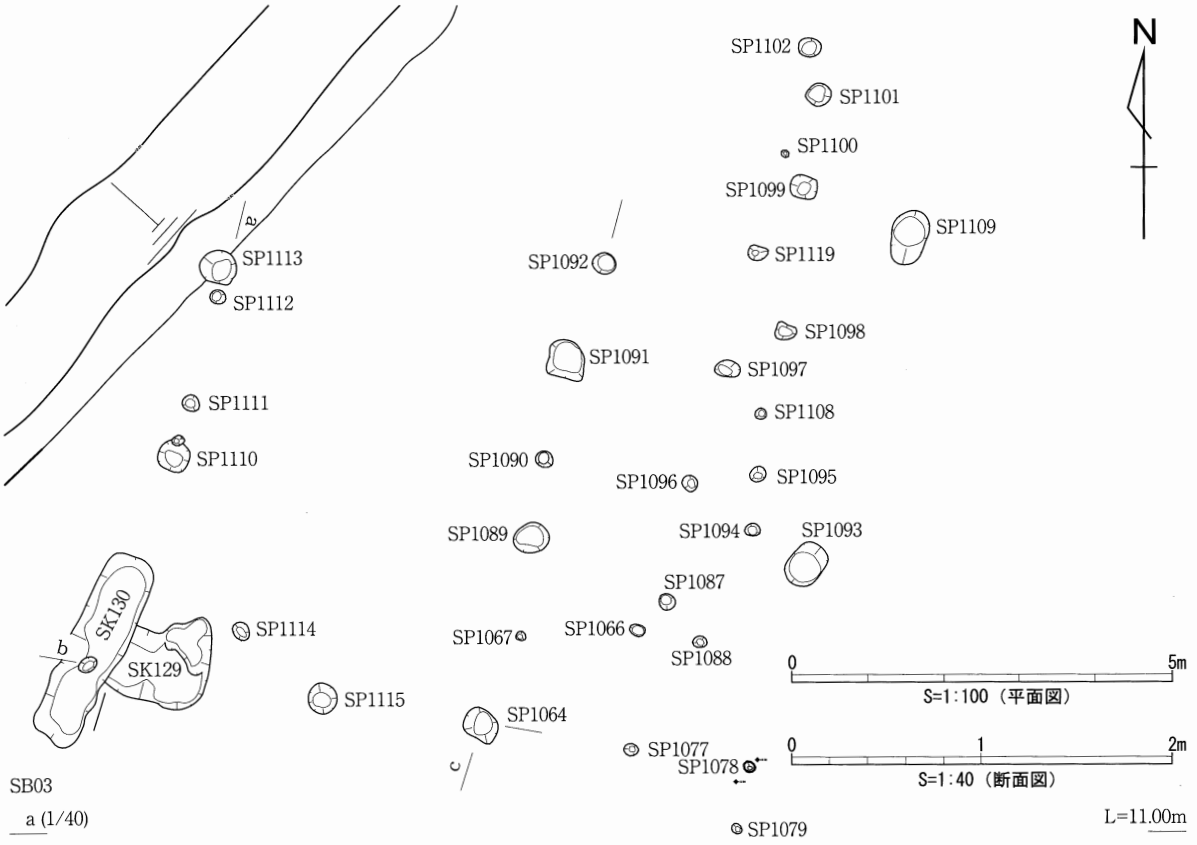
P3-1　1　10YR2/1　黒色細粒砂質シルト
　　2　10YR2/1　黒褐色細粒砂質シルト10%含む
　　10YR6/3　にぶい黄橙色細粒砂質シルト
P3-2　1　10YR2/1　黒褐色細粒砂質シルト
　　地山ブロック 10%含む
　　2　10YR2/1　黒褐色細粒砂質シルト 30%含む
　　10YR6/3　にぶい黄橙色細粒砂質シルト
P3-3　1　10YR2/1　黒褐色細粒砂質シルト
　　地山ブロック 10%含む
　　10YR2/1　黒褐色細粒砂質シルト5%含む
　　2　10YR6/3　にぶい黄橙色細粒砂質シルト
　　3　10YR2/1　黒褐色細粒砂質シルト
　　地山ブロック 30%含む
P3-4　1　10YR2/1　同色　地山ブロック 10%含む
　　2　10YR2/1　黒褐色細粒砂質シルト 10%含む
　　10YR6/3　にぶい黄橙色細粒砂質シルト
　　3　10YR2/1　黒褐色細粒砂質シルト
　　地山ブロック 5%含む

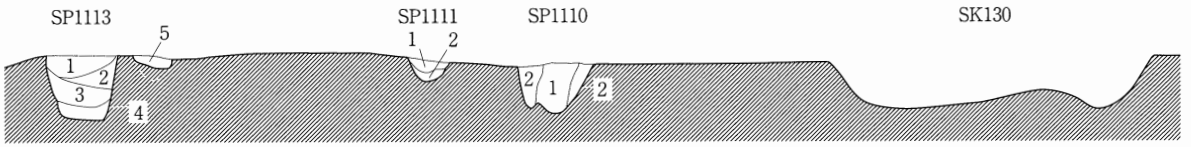
P4-1　1　10YR2/1　黒褐色細粒砂質シルト
　　地山ブロック 5%含む
P4-2　1　10YR2/1　同色　地山ブロック 30%含む
P4-4　1　10YR2/1　同色　地山ブロック 30%含む

SD01　1　10YR2/1　黒褐色細粒砂質シルト

0　1　2m
S=1:40（断面図）

遺構実測図　区画整理１区　掘立柱建物ＳＢ02実測図　　縮尺１／80・１／40

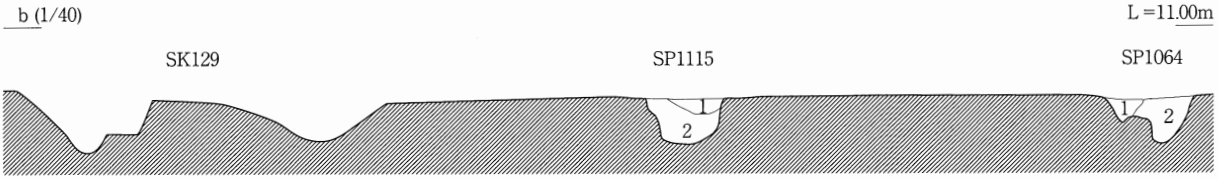




SP1113
1 10YR2/1 黒色細粒砂質シルト
地山ブロック 30%含む
2 10YR2/1 地山ブロック 5%含む
3 10YR2/1 地山ブロック 20%含む
4 10YR2/1 地山ブロック 10%含む
5 10YR2/1 黒色細粒砂質シルト

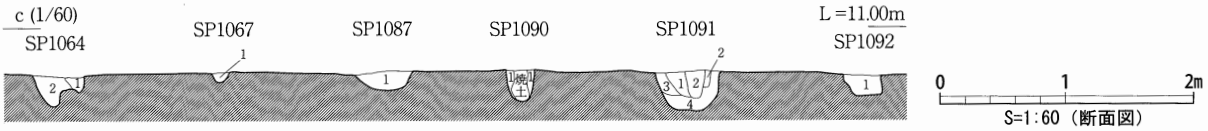
SP1111
1 10YR2/1 黒色細粒砂質シルト
10YR4/3 にぶい黄褐色
細粒砂質シルト 40%含む
2 10YR4/3 にぶい黄褐色
細粒砂質シルト

SP1110
1 10YR2/1 黒色細粒砂質シルト
地山ブロック 10%含む
2 10YR6/3 にぶい黄橙褐色細粒砂質シルト
10YR2/1 黒色細粒砂質シルト 20%含む
10YR4/3 にぶい黄褐色細粒砂質シルト 10%含む



SP1115
1 10YR2/1 黒色細粒砂質シルト
地山ブロック 10%含む
2 10YR2/1 黒色細粒砂質シルト
地山ブロック 5%含む

SP1064
1 10YR4/3 にぶい黄褐色
細粒砂質シルト
10YR2/1 黒色細粒砂質シルト 5%含む
2 10YR2/1 黒色細粒砂質シルト



SP1067
1 10YR2/1
黒褐色細粒砂質シルト

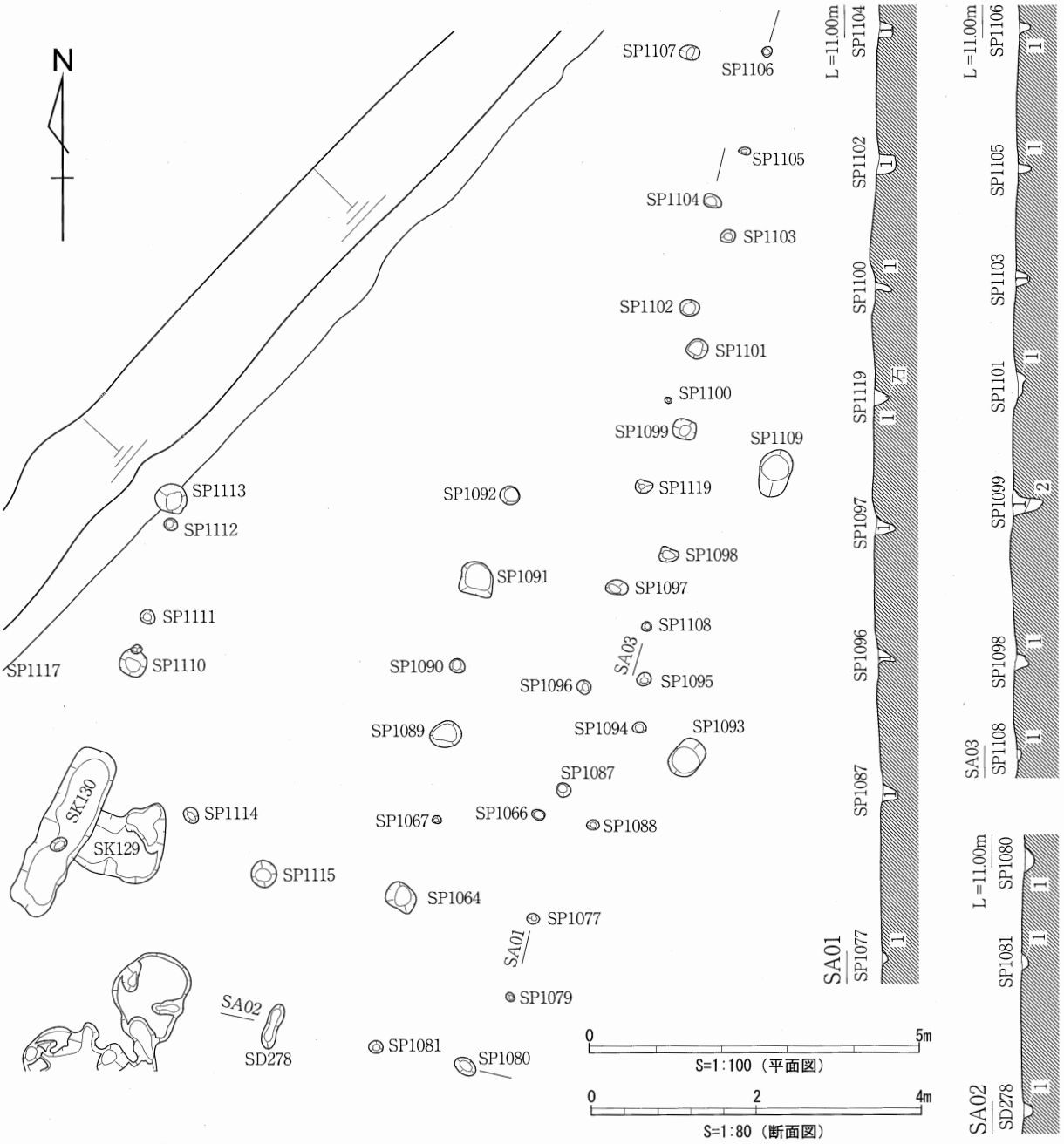
SP1087
1 10YR2/1
黒褐色細粒砂質シルト
SP1090
1 10YR2/1
黒褐色細粒砂質シルト
焼土ブロック 5%含む

SP1091
1 10YR2/1 黒褐色細粒砂質シルト
焼土 10%含む
2 10YR6/3 にぶい黄橙色細粒砂質シルト
10YR2/1 黒褐色細粒砂質シルト 20%含む
3 10YR2/1 黒褐色細粒砂質シルト
4 10YR2/1 黒褐色細粒砂質シルト 地山ブロック混土

SP1092
1 10YR2/1
黒褐色細粒砂質シルト
地山ブロック 20%含む

遺構実測図　区画整理１区　掘立柱建物ＳＢ03実測図　　縮尺１／80・１／40・１／60

図面一二　遺構実測図　中木津遺跡　区画整理1区



SA01

SP1077　1 10YR2/1
黒褐色細粒砂質シルト

SP1087　1 10YR4/3
にぶい黄褐色細粒砂質シルト

SP1096　1 10YR2/1
黒褐色細粒砂質シルト

SP1097　1 10YR2/1
黒褐色細粒砂質シルト

SP1119　1 10YR2/1
黒褐色細粒砂質シルト

SP1100　1 10YR2/1
黒褐色細粒砂質シルト

SP1102　1 10YR2/1
黒褐色細粒砂質シルト

SP1104　1 10YR2/1
黒褐色細粒砂質シルト

SA02

SD278　1 10YR2/1
黒褐色細粒砂質シルト

SP1081　1 10YR2/1
黒褐色細粒砂質シルト

SP1080　1 10YR2/1
黒褐色細粒砂質シルト

SA03

SP1108　1 10YR2/1
黒褐色細粒砂質シルト
（地山ブロック 1%含む）

SP1098　1 10YR2/1
黒褐色細粒砂質シルト
（地山ブロック 1%含む）

SA03

SP1099　1 10YR6/3
にぶい黄橙色細粒砂質シルト
10YR2/1
黒色細粒砂質シルト 10%含む

2 10YR2/1
黒色細粒砂質シルト
（地山ブロック 5%含む）

SP1101　1 10YR4/3
にぶい黄褐色細粒砂質シルト
10YR2/1
黒色細粒砂質シルト 10%含む

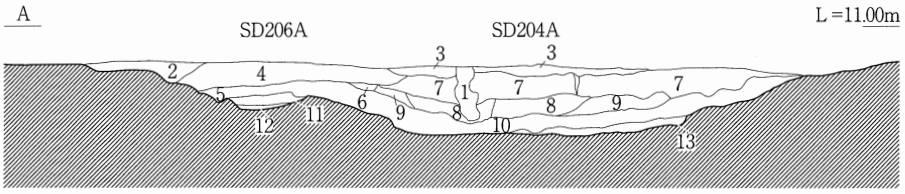
SP1103　1 10YR2/1
黒色細粒砂質シルト

SP1105　1 10YR2/1
黒色細粒砂質シルト

SP1106　1 10YR2/1
黒色細粒砂質シルト

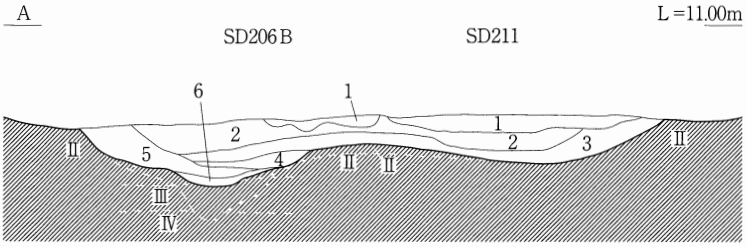
遺構実測図　区画整理1区　柵列SA01・02・03実測図　　縮尺1／100・1／80

ＳＤ204・206（1/60）



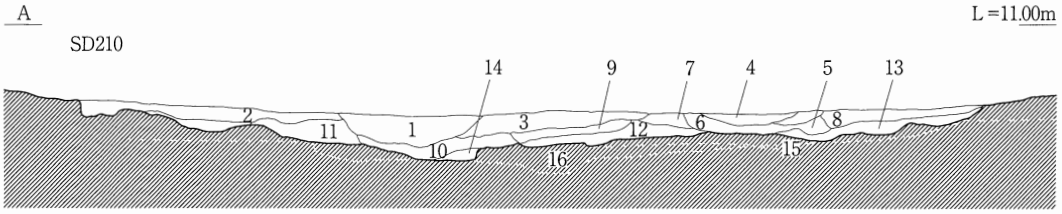
1　10YR4/3　にぶい黄褐色細粒砂
2　10YR2/2　黒褐色粘土地山ブロック含む
3　10YR2/2　黒褐色粘土
4　10YR2/1　黒色粘土
　10YR4/3　にぶい黄褐色細粒砂含む
5　10YR2/1　黒色粘土質シルト
6　10YR2/2　黒褐色粘土
7　10YR2/3　黒褐色粘土
8　10YR2/2　黒褐色粘土地山ブロック・炭化物含む
9　10YR2/2　黒褐色粘土　炭化物含む
10　10YR3/2　黒褐色細粒砂質シルト・地山ブロック含む
11　10YR4/2　灰黄褐色細粒砂質シルト
12　10YR4/2　灰黄褐色粘土
13　10YR4/2　灰黄褐色細粒砂黒褐色粘土・炭化物含む

ＳＤ206・211（1/60）



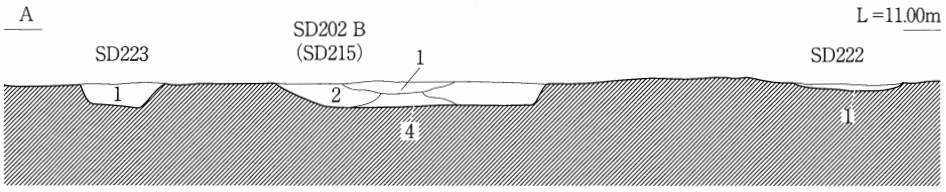
1　10YR2/1　黒色粘土質シルト
2　10YR2/1　黒色細粒砂質シルト
　地山ブロック含む
3　10YR2/1　黒色細粒砂質シルト
　炭化物・地山ブロック含む
4　10YR3/2　黒褐色細粒砂質シルト　炭化物含む
5　10YR2/1　黒色粘土質シルト　炭化物含む
6　10YR2/1　黒色細粒砂質シルト
　10YR4/3　にぶい黄褐色中粒砂　炭化物含む

ＳＤ210（1/60）



1　10YR4/3　にぶい黄褐色砂質シルト
2　10YR3/3　暗褐色細粒砂質シルト
3　10YR4/2　灰黄褐色細粒砂質シルト
4　10YR6/3　にぶい黄橙色中粒砂
5　10YR4/2　灰黄褐色砂質シルト
6　10YR4/3　にぶい黄褐色砂
7　10YR4/1　褐灰色中粒砂
8　10YR3/1　黒褐色粘土質シルト
9　10YR3/1　黒褐色粘土質シルト
10　10YR4/2　灰黄褐色粘土質シルト
11　10YR4/1　褐灰色中粒砂
12　10YR3/1　黒褐色粘土質シルト
13　10YR3/1　黒褐色粘土質シルト
14　7.5Y3/1　オリーブ黒色粘土
15　7.5Y5/1　灰色粘土質シルト
16　10YR3/1　黒褐色粘土質シルト

ＳＤ202・222・223（1/60）



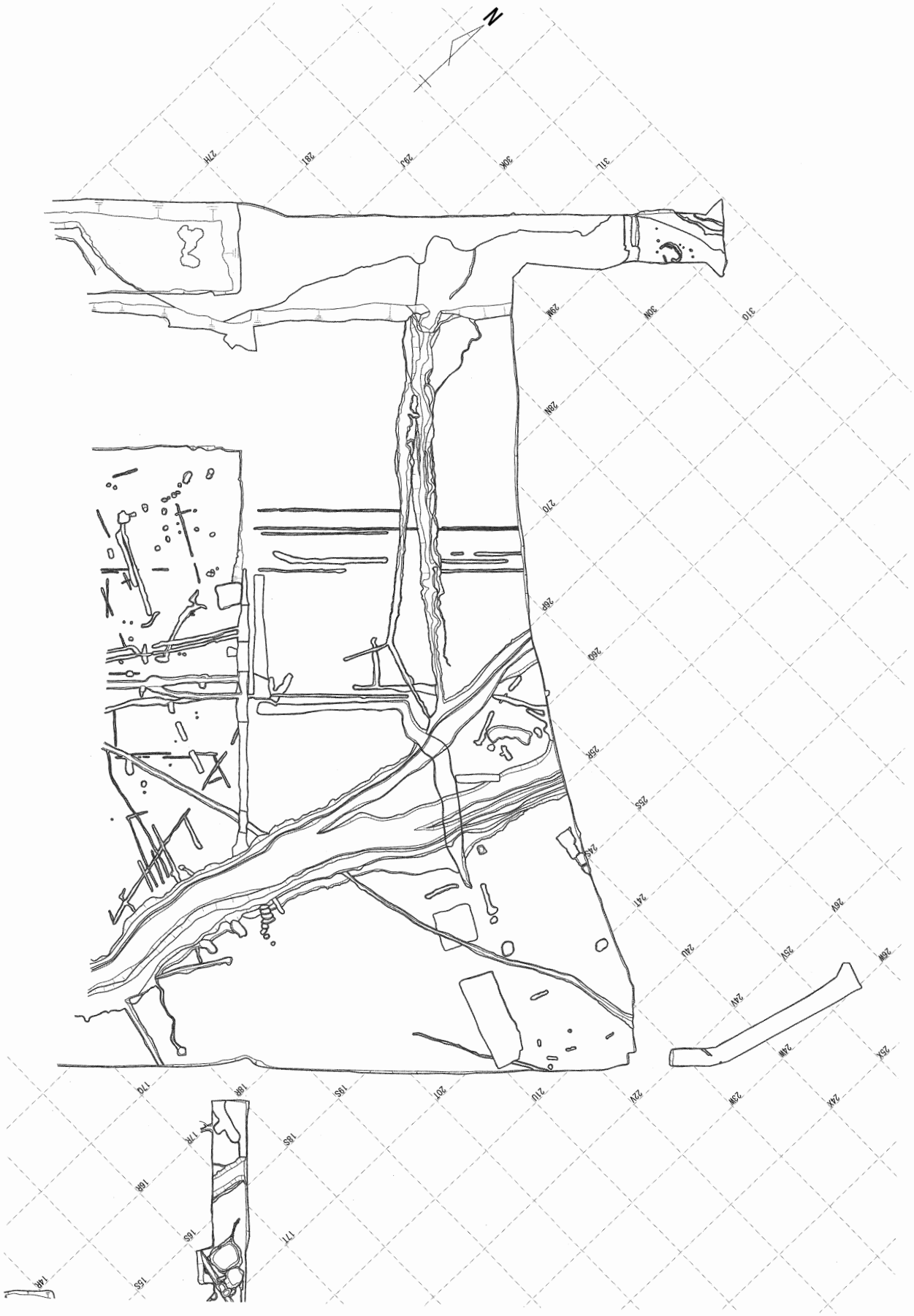
1　10YR4/3　にぶい黄褐色細粒砂質シルト
　地山ブロック含む
2　10YR4/3　にぶい黄褐色細粒砂質シルト
　10YR4/4　褐色細粒砂質シルト
3　10YR4/2　灰黄褐色細粒砂質シルト
4　10YR4/3　にぶい黄褐色シルト　細粒砂質シルト
　地山ブロック　混土

0　1　2m
S=1:60

遺構実測図　区画整理１区　溝ＳＤ202・204・206・210・222・223土層断面図

縮尺１／60

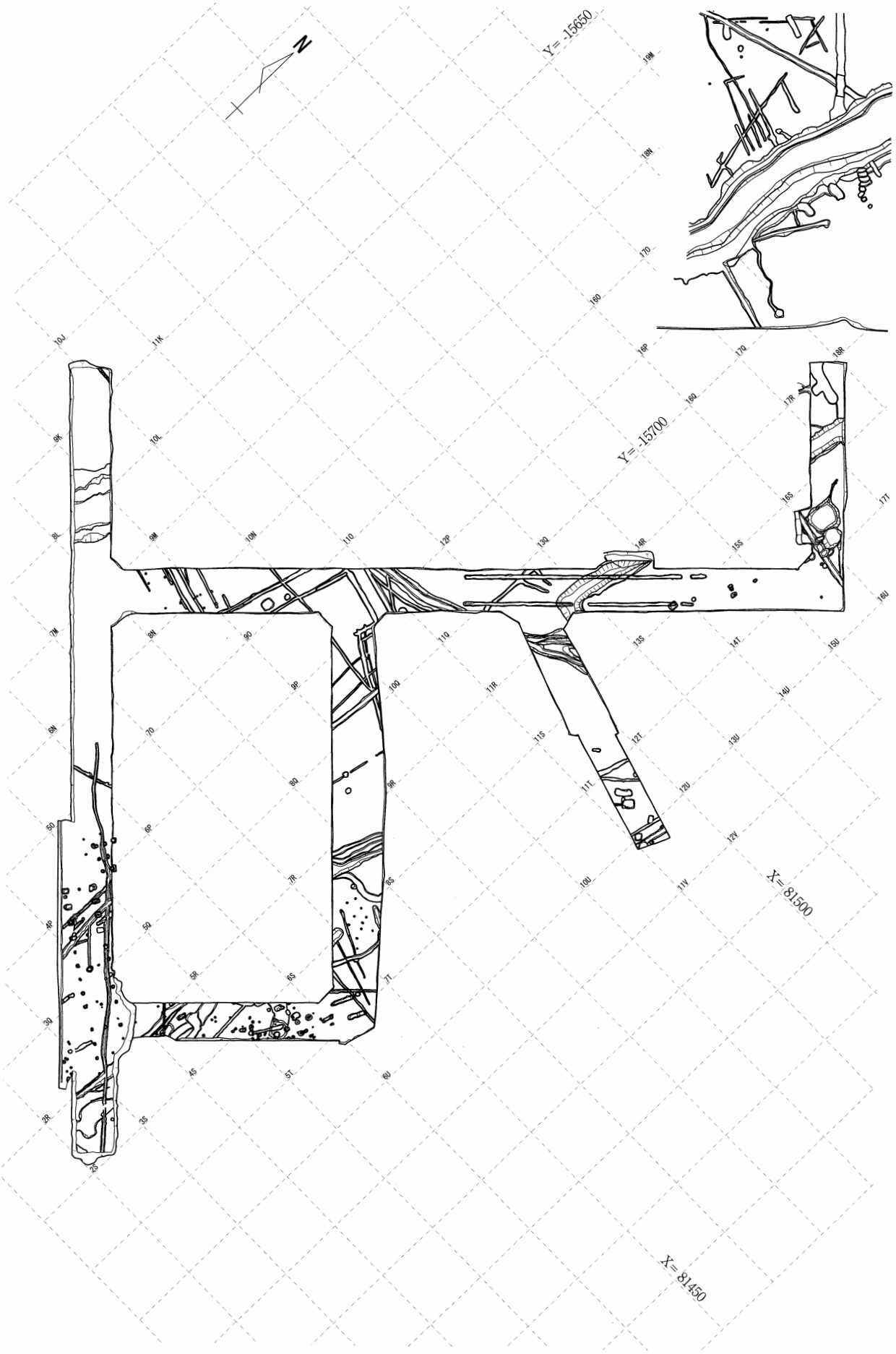
図面一四　遺構実測図　中木津遺跡　区画整理２区



遺構実測図　区画整理２区　遺構全体図北側

縮尺１／800

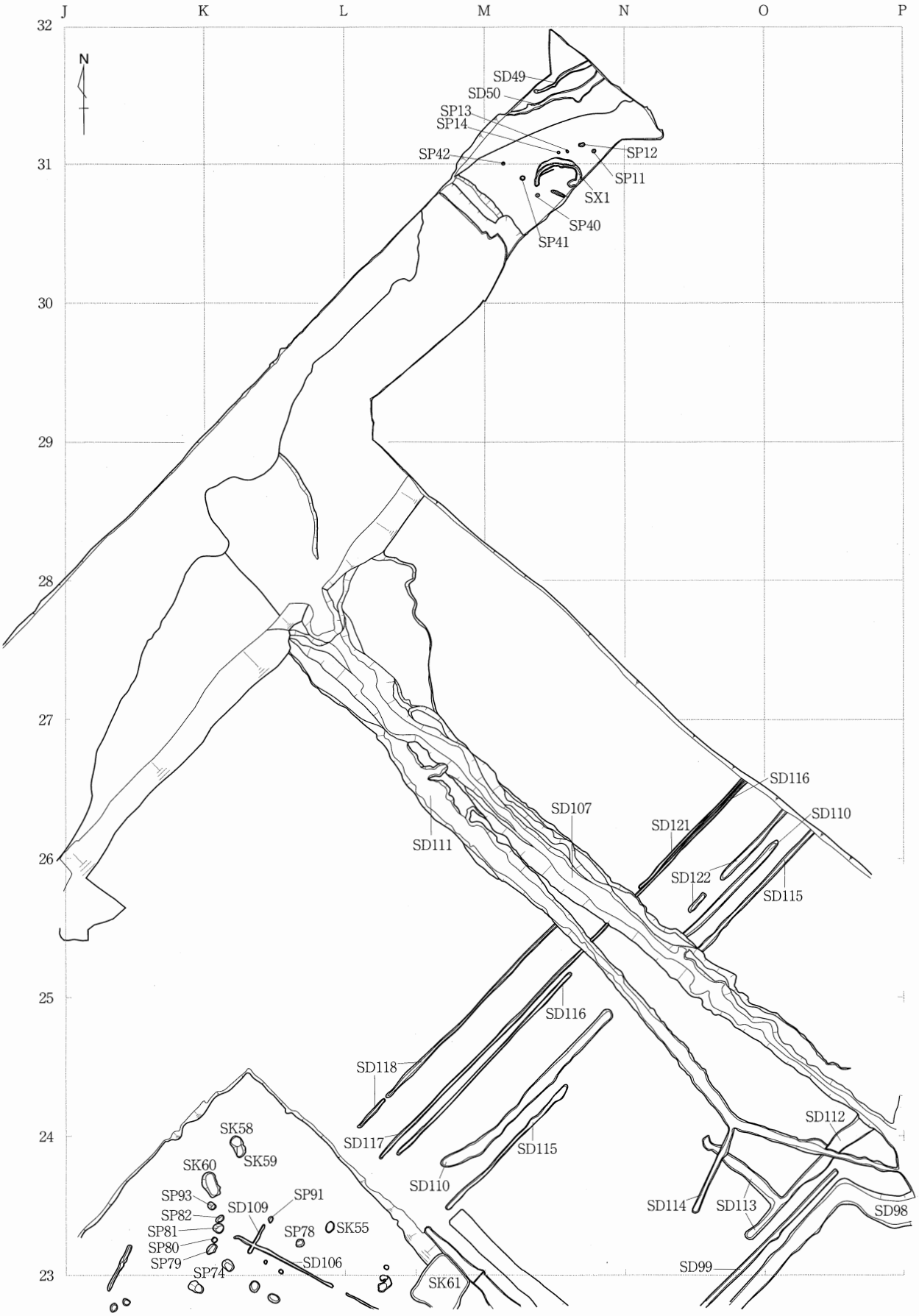
図面一五　遺構実測図　中木津遺跡　区画整理２区



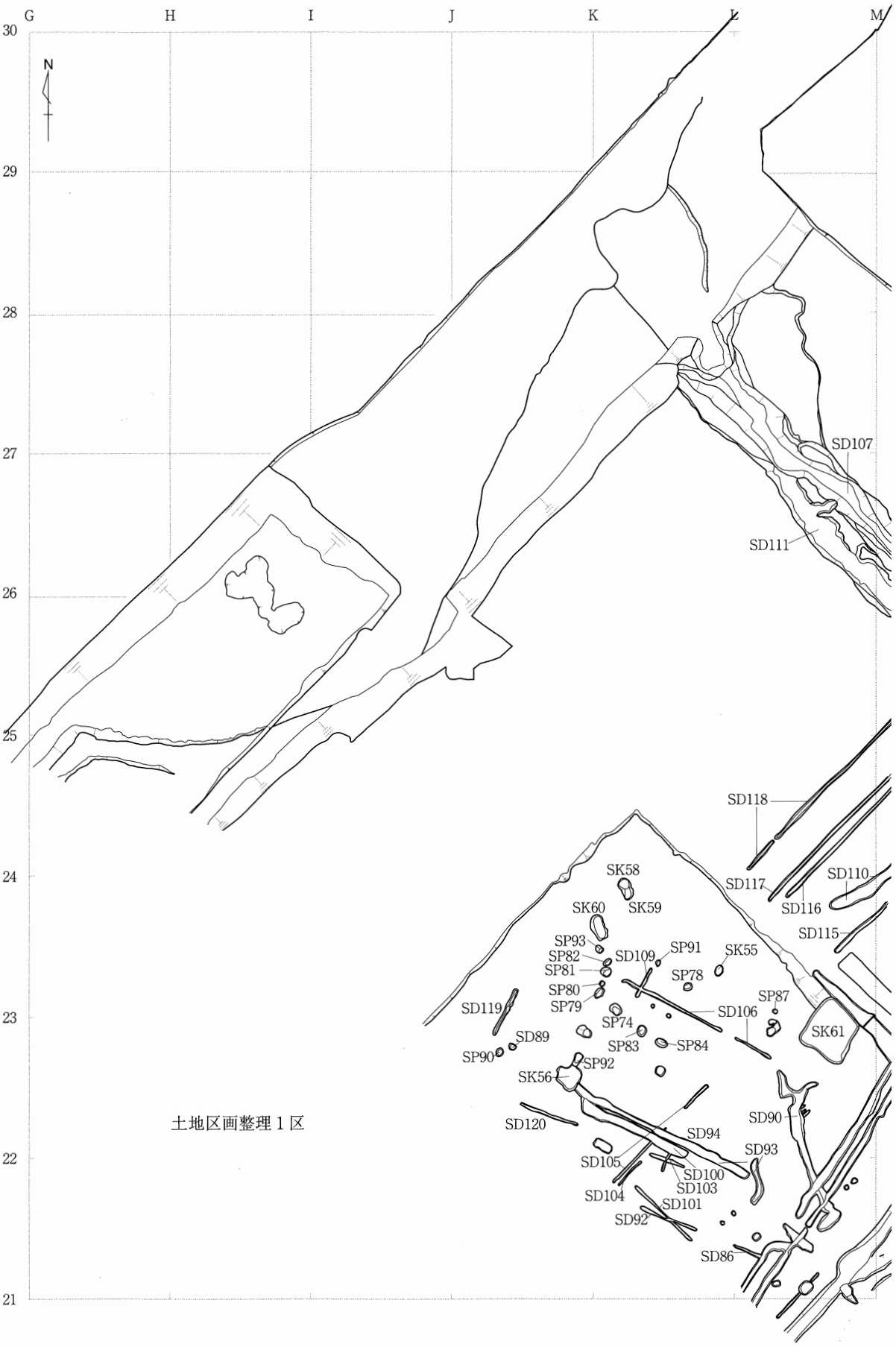
遺構実測図　区画整理２区　遺構全体図南側

縮尺１／800

図面一六　遺構実測図　中木津遺跡　区画整理２区



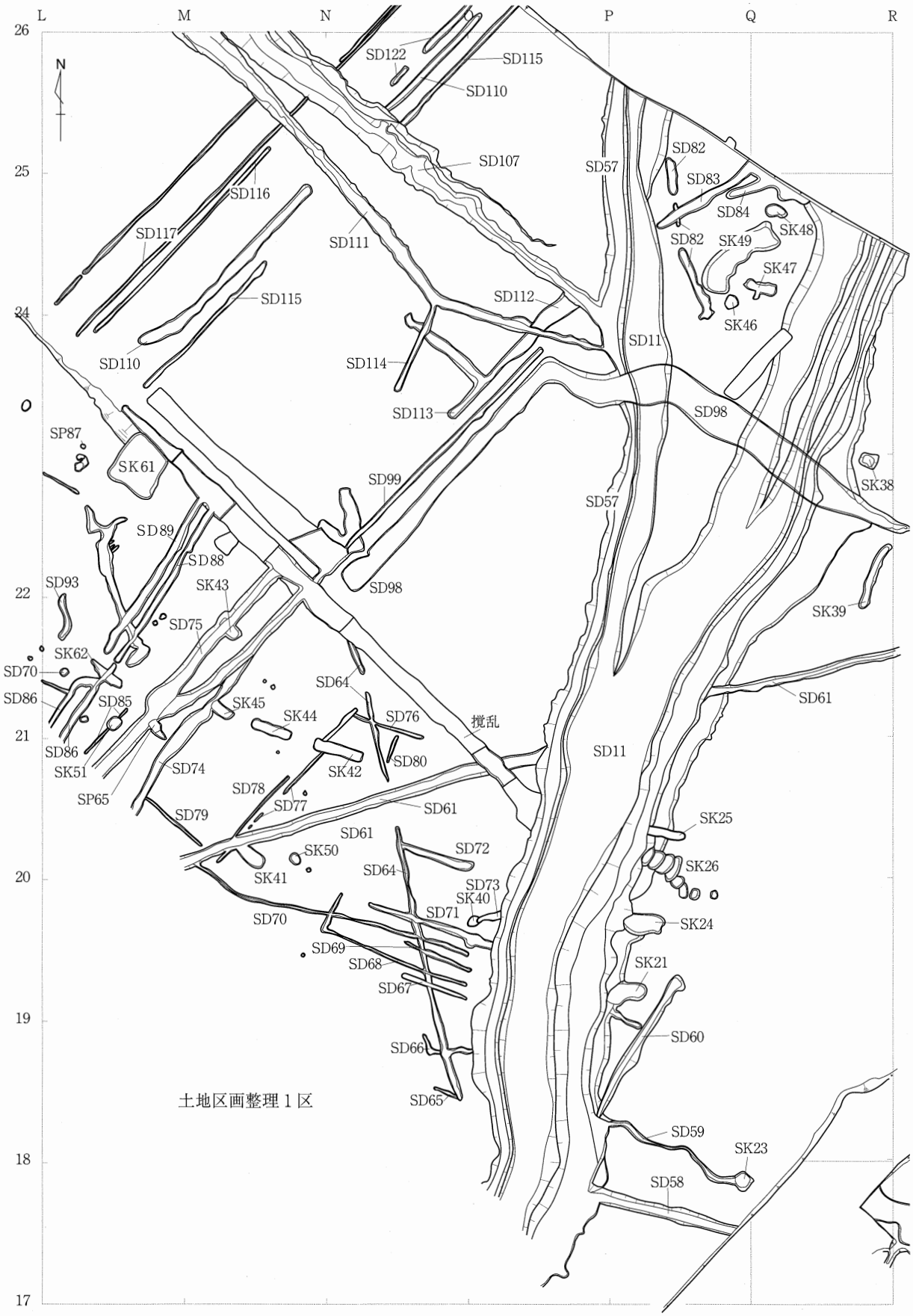
遺構実測図　区画整理２区　遺構全体図１　　縮尺１／400



遺構実測図　区画整理２区　遺構全体図２

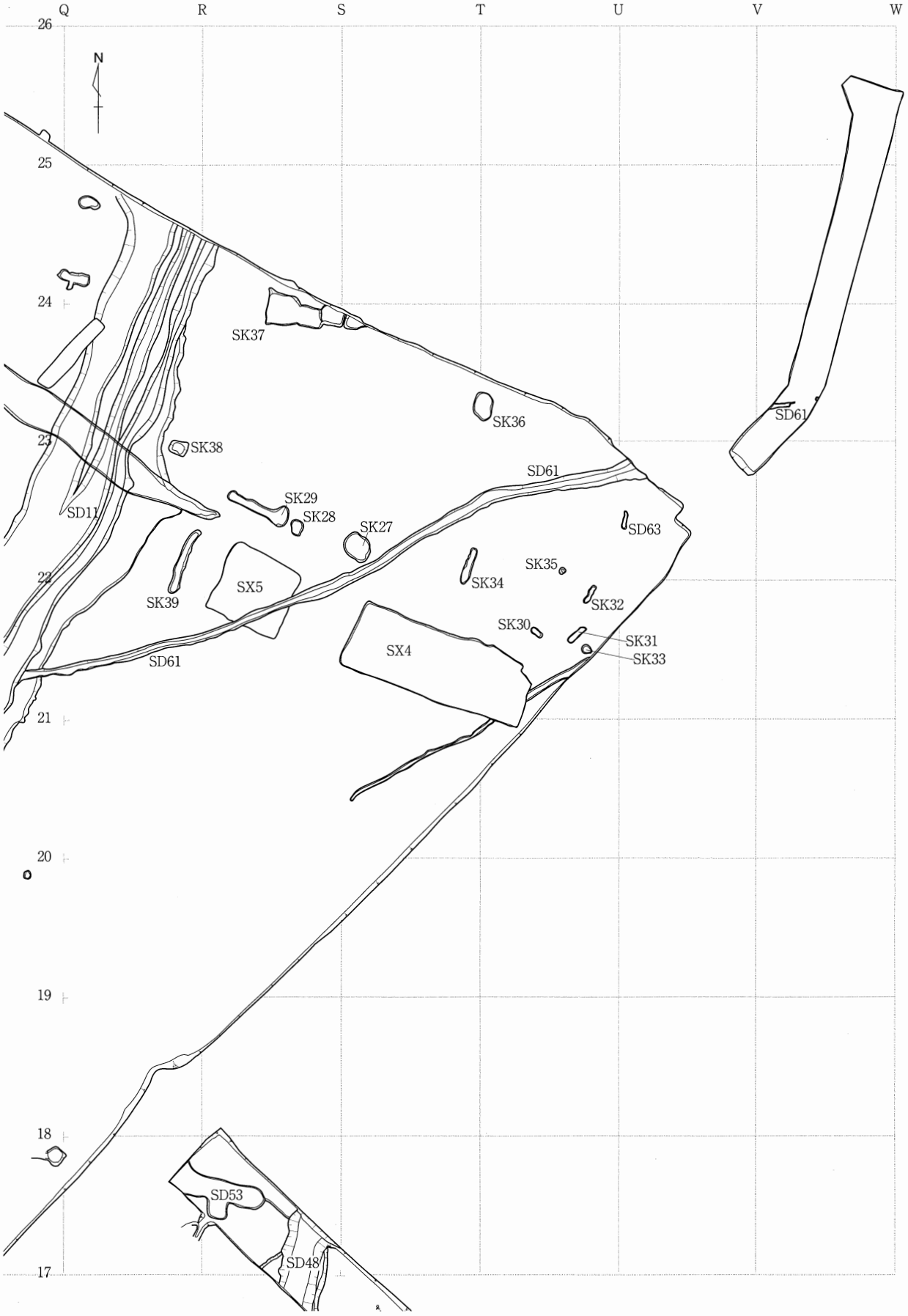
縮尺１／400

図面一八　遺構実測図　中木津遺跡　区画整理２区



遺構実測図　区画整理２区　遺構全体図３

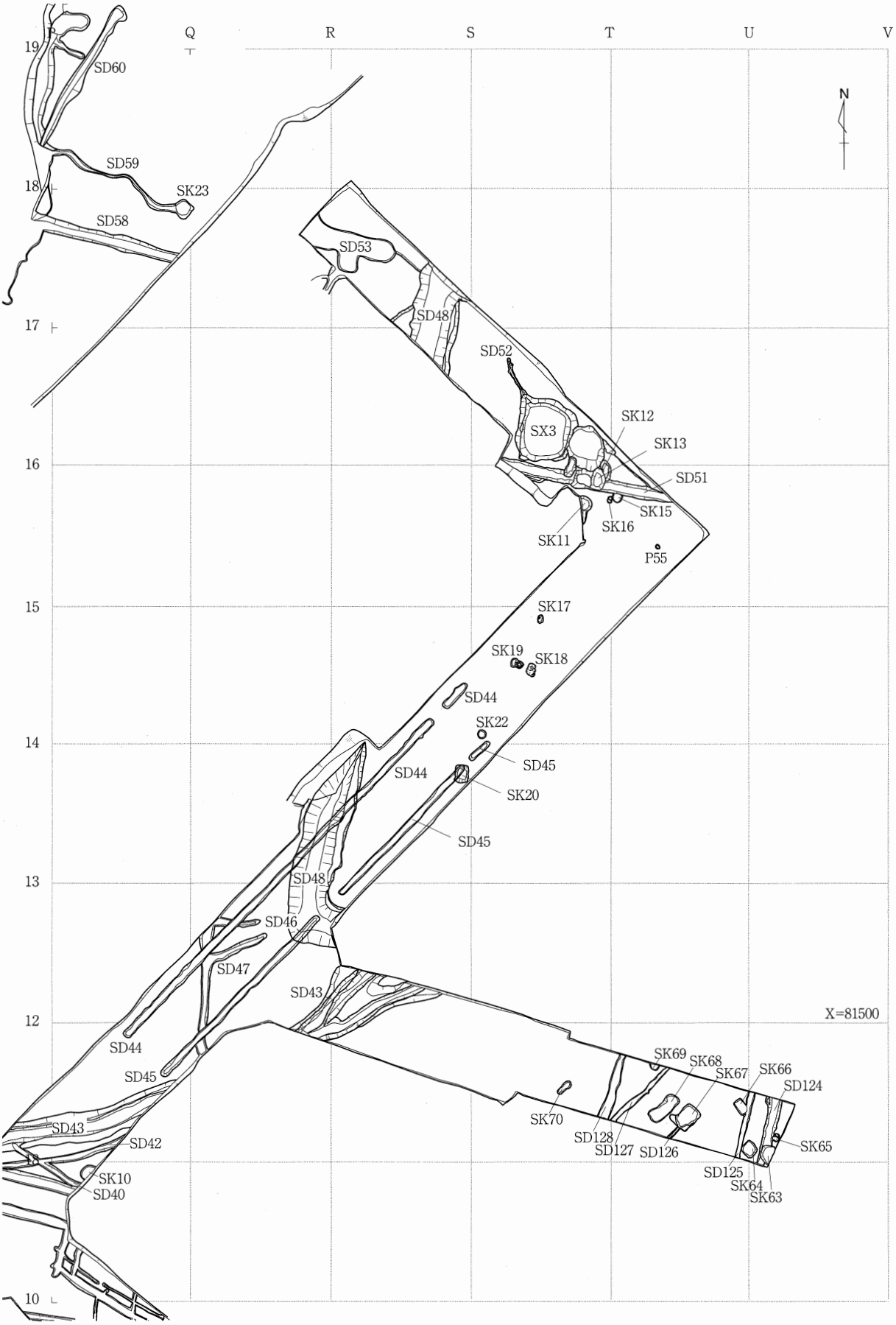
縮尺１／400



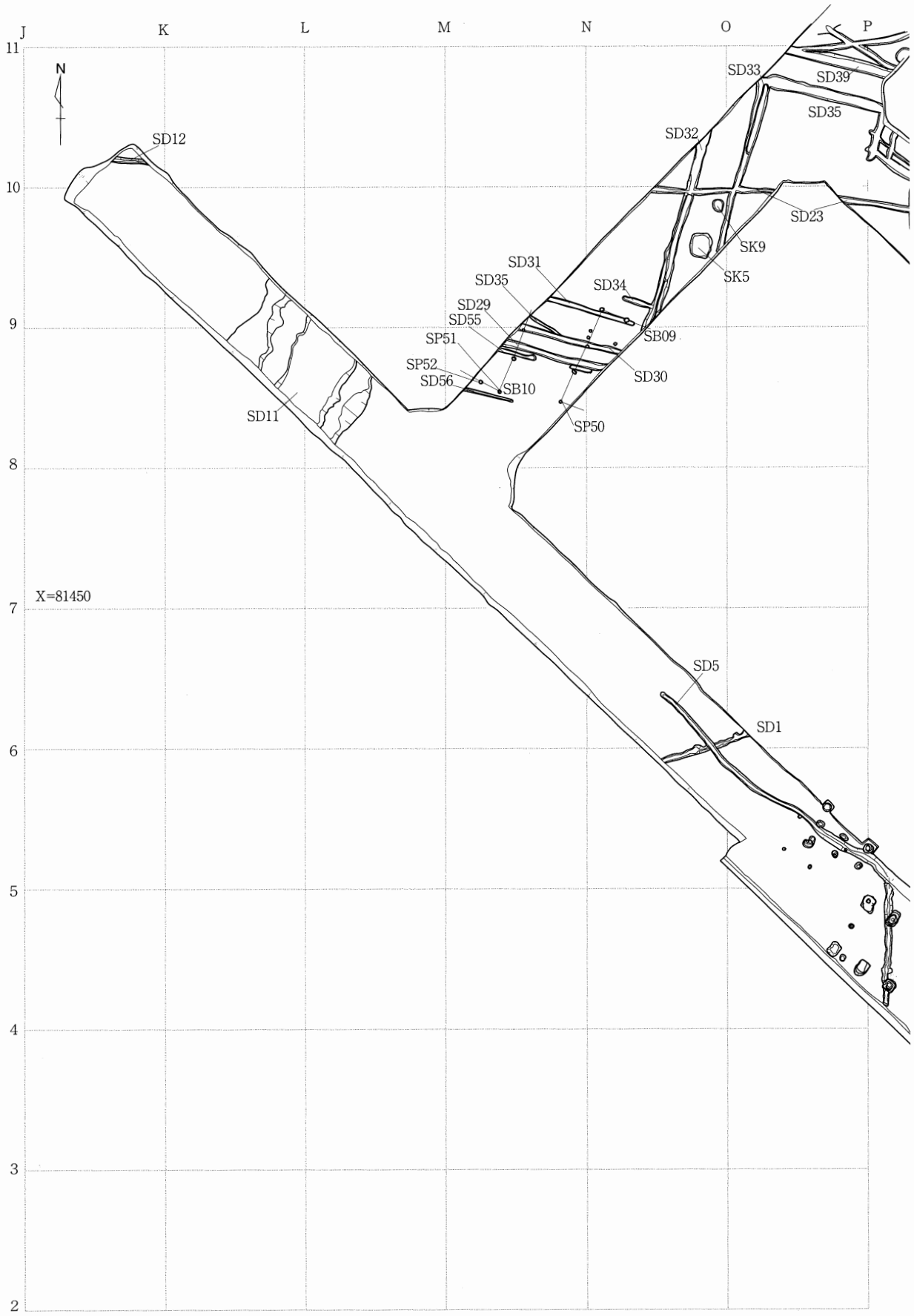
遺構実測図　区画整理２区　遺構全体図４

縮尺１／400

図面二〇　遺構実測図　中木津遺跡　区画整理２区



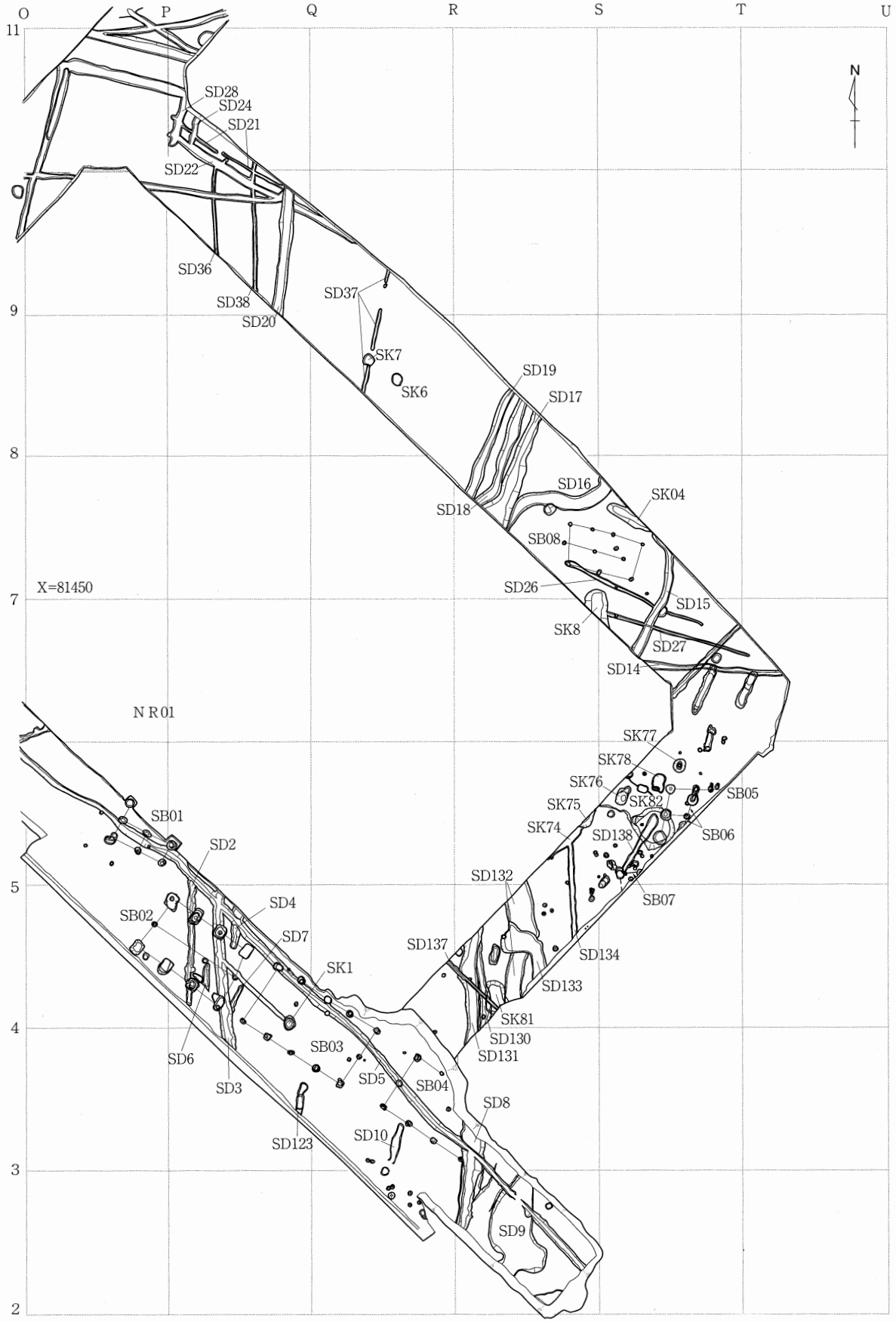
遺構実測図　区画整理２区　遺構全体図５　　縮尺１／400



遺構実測図　区画整理２区　遺構全体図６

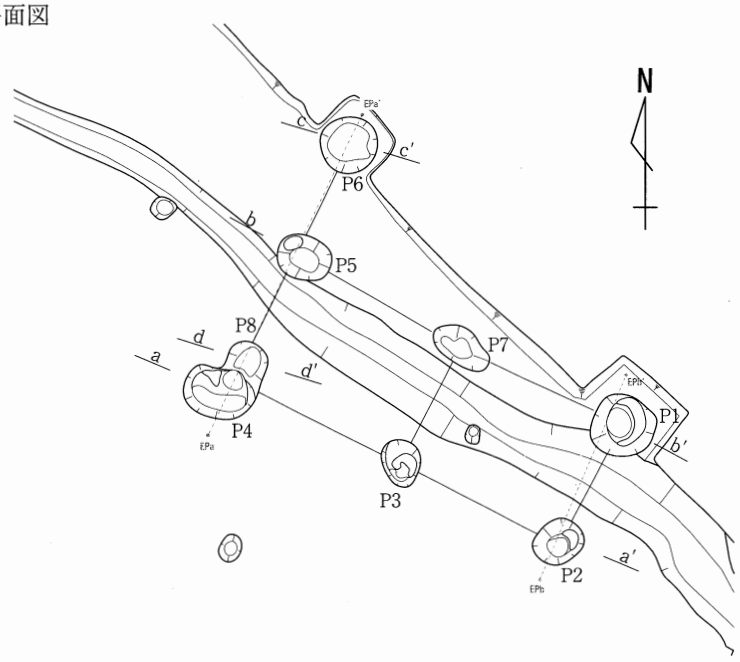
縮尺１／400

図面二二　遺構実測図　中木津遺跡　区画整理２区



遺構実測図　区画整理２区　遺構全体図７　　縮尺１／400

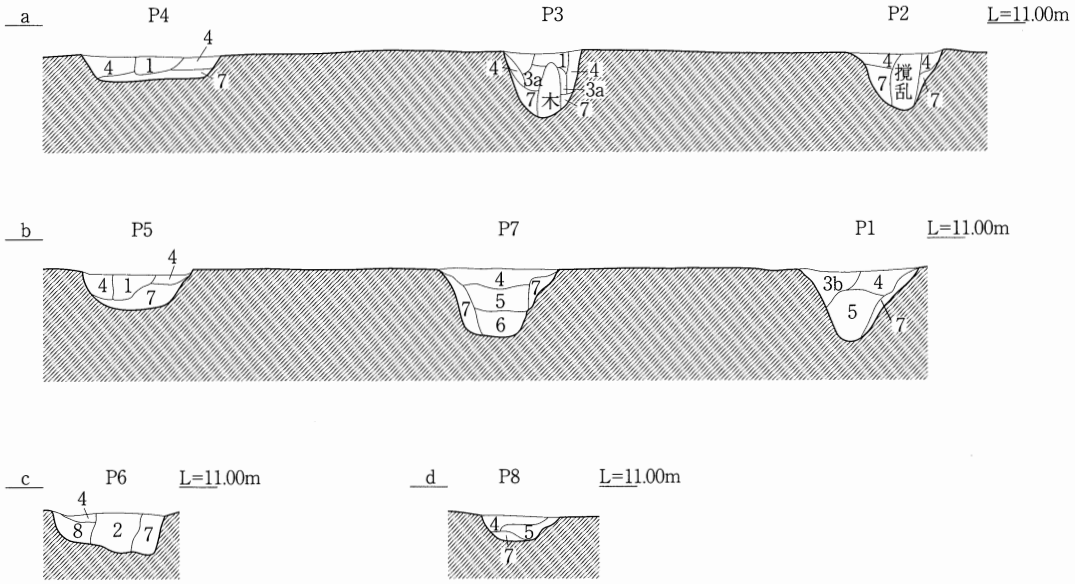
SB01 平面図



0　2　4m
S=1:80（平面図）

0　1　2m
S=1:40（断面図）

SB01 断面図

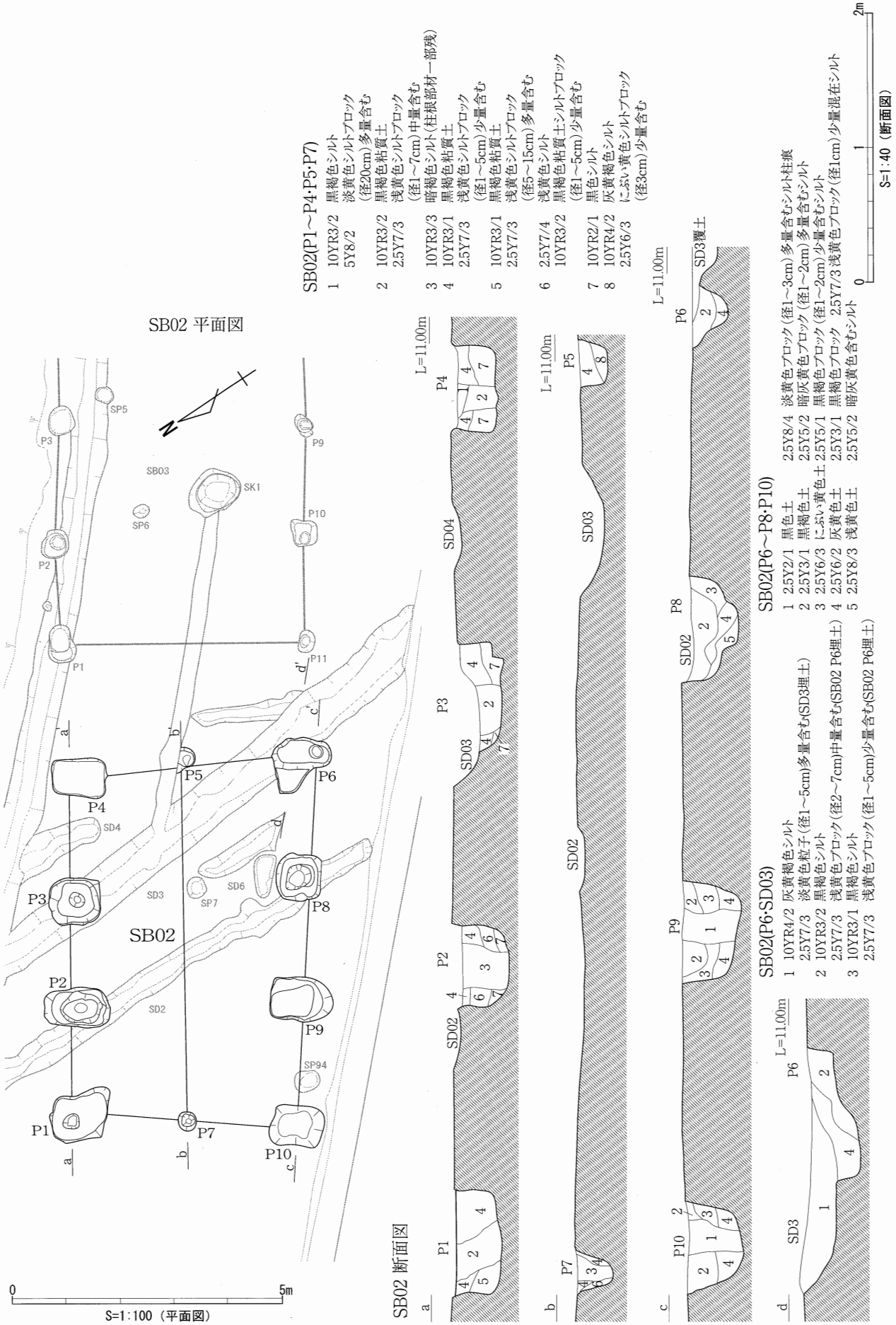


SB01(P1～8)

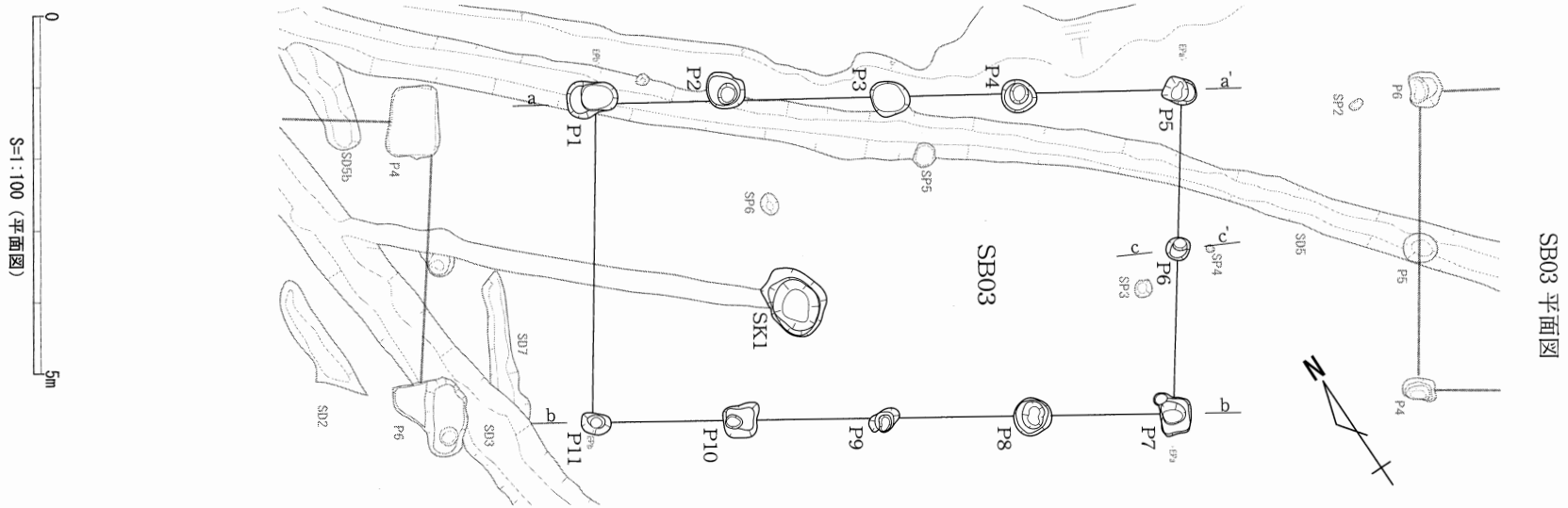
1	2.5Y2/1	黒色土	2.5Y8/3	淡黄色粒子(径1～5mm)微量含む　柱痕シルト
2	10YR4/1	褐灰色土	2.5Y8/3	淡黄色粒子(径1～5mm)多量含む　同色ブロック(径10～20mm)多量含む　柱痕シルト
3a	10YR4/2	灰黄褐色土	2.5Y8/4	淡黄色粒子(径1～5mm)少量含む　柱腐食土シルト
3b	10YR4/1	褐灰色土	2.5Y8/3	淡黄色粒子(径1～5mm)多量含む　柱痕シルト
4	10YR2/1	黒色土	2.5Y8/3	淡黄色粒子(径1～5mm)多量含む　同色ブロック(径10～20mm)少量含むシルト
5	10YR1.7/1	黒色土	2.5Y8/3	淡黄色粒子(径1～5mm)少量含む　粘質シルト
6	2.5Y2/1	黒色土	2.5Y8/3	淡黄色粒子(径10～20mm)少量含む　粘質シルト
7	2.5Y8/3	淡黄色土	2.5Y5/1	黄灰土を含む層シルト
8	2.5Y2/1	黒色土	2.5Y8/3	淡黄色粒子(径1～5mm)多量含む　同色ブロック(径10～20mm)多量含むシルト

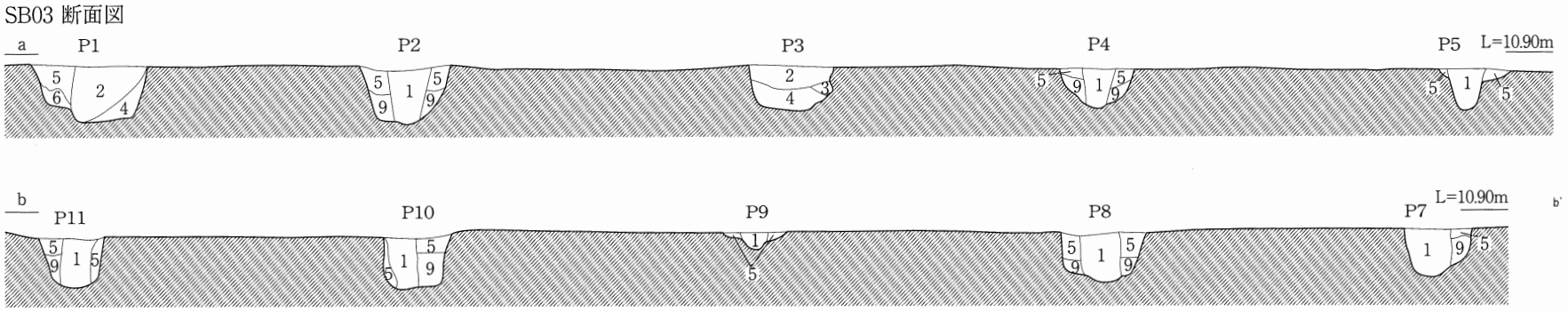
遺構実測図　区画整理２区　掘立柱建物ＳＢ01実測図　　縮尺１／80・１／40

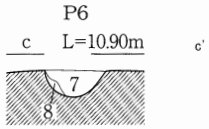
図面二四　遺構実測図　中木津遺跡　区画整理２区



遺構実測図　区画整理２区　掘立柱建物ＳＢ02実測図　　縮尺１／100・１／40







SB03(P1-P11)

1 2.5Y2/1 黒色土 2.5Y8/3 淡黄色粒子（径1～5mm）微量含む 柱痕シルト
2 2.5Y2/1 黒色土 2.5Y5/2 暗灰黄色粒子（径1～5mm）多量含む 同色ブロック(径10～20mm）少量含む柱抜き取り痕 シルト
3 2.5Y5/1 黄灰色土 2.5Y8/3 淡黄色粒子（径1～5mm）少量含む 同色ブロック（径10mm）少量含む シルト
4 10YR2/1 黒色土 2.5Y8/3 淡黄色粒子（径1～5mm）少量含む シルト
5 10YR1.7/1 黒色土 2.5Y8/3 淡黄色粒子（径1～5mm）少量含む 粘質シルト
6 2.5Y6/2 灰黄色土 10YR1.7/1 黒色土および2.5Y8/3淡黄色ブロック（径10～20mm）微量含む シルト
7 10YR2/1 黒色土 2.5Y8/3 淡黄色粒子（径1.5mm）多量含む同色ブロック（径10～20mm）多量含む シルト
8 2.5Y7/3 浅黄色土 2.5Y3/1 黒褐色土を少量含む シルト
9 2.5Y2/1 黒色土 2.5Y8/3 淡黄色粒子（径1～5mm）微量含む シルト

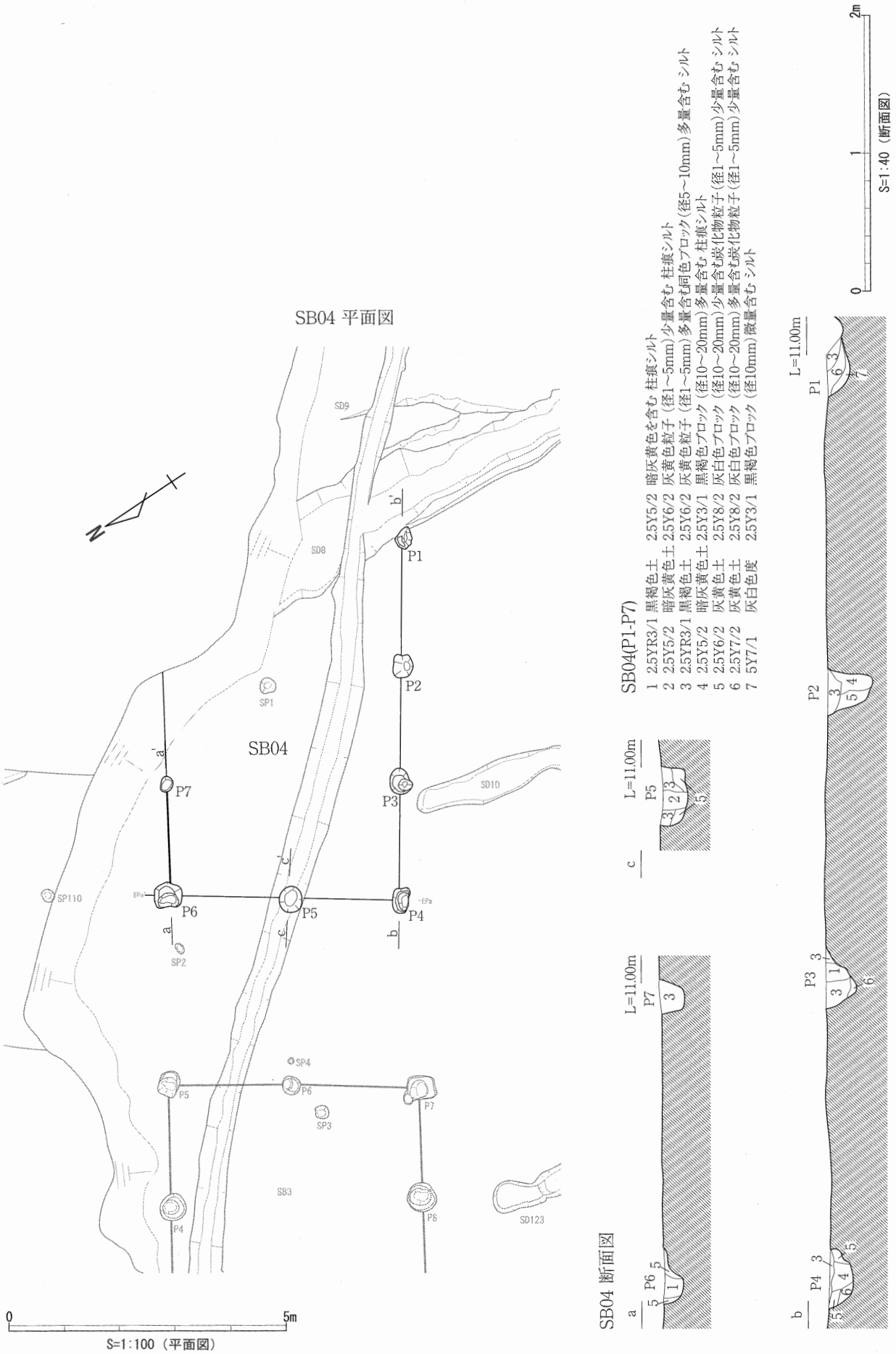
0 1 2m
S=1:40（断面図）

図面二五　遺構実測図　中木津遺跡　区画整理2区

遺構実測図　区画整理２区　掘立柱建物ＳＢ03実測図

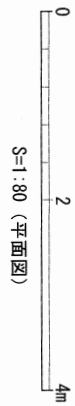
縮尺１／100・１／40

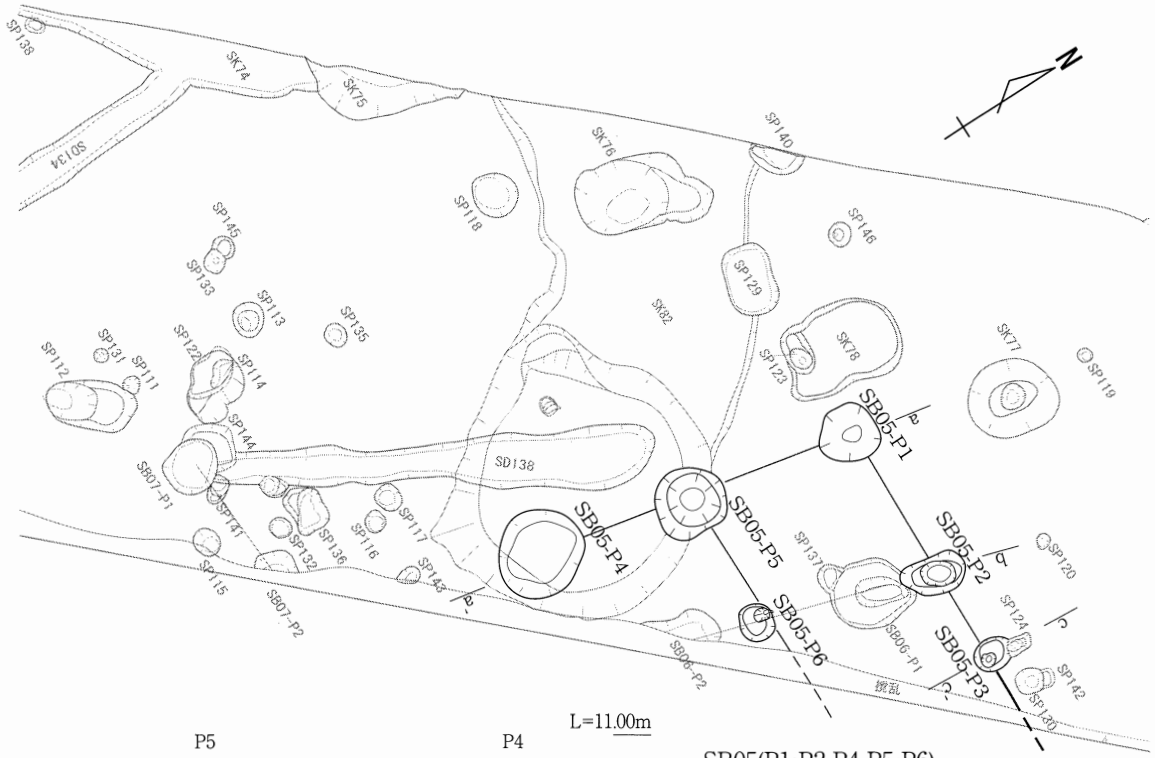
図面二六　遺構実測図　中木津遺跡　区画整理２区



遺構実測図　区画整理２区　掘立柱建物ＳＢ04実測図　　縮尺１／100・１／40

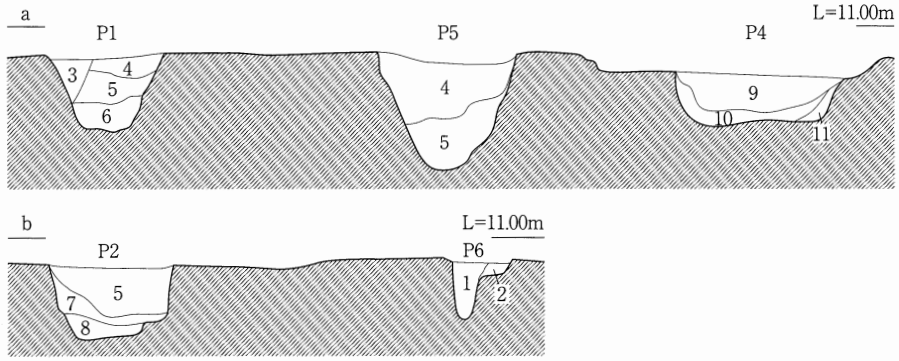
図面二七　遺構実測図　中木津遺跡　区画整理2区





SB05 平面図

SB05 断面図

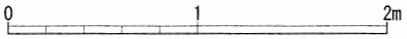


SB05(P3) SP124

1	2.5Y3/2 黒褐色土	10YR6/6	明黄褐色粒子(径1～5mm)少量含む	柱痕
2	2.5Y3/3 暗オリーブ褐色土	10YR6/6	明黄褐色粒子(径1～5mm)多量	
			同色ブロック　(径10～20mm)多量含む シルト	
3	2.5Y3/2 黒褐色土	2.5Y7/4	浅黄色粒子　(径1～5mm)多量含む	

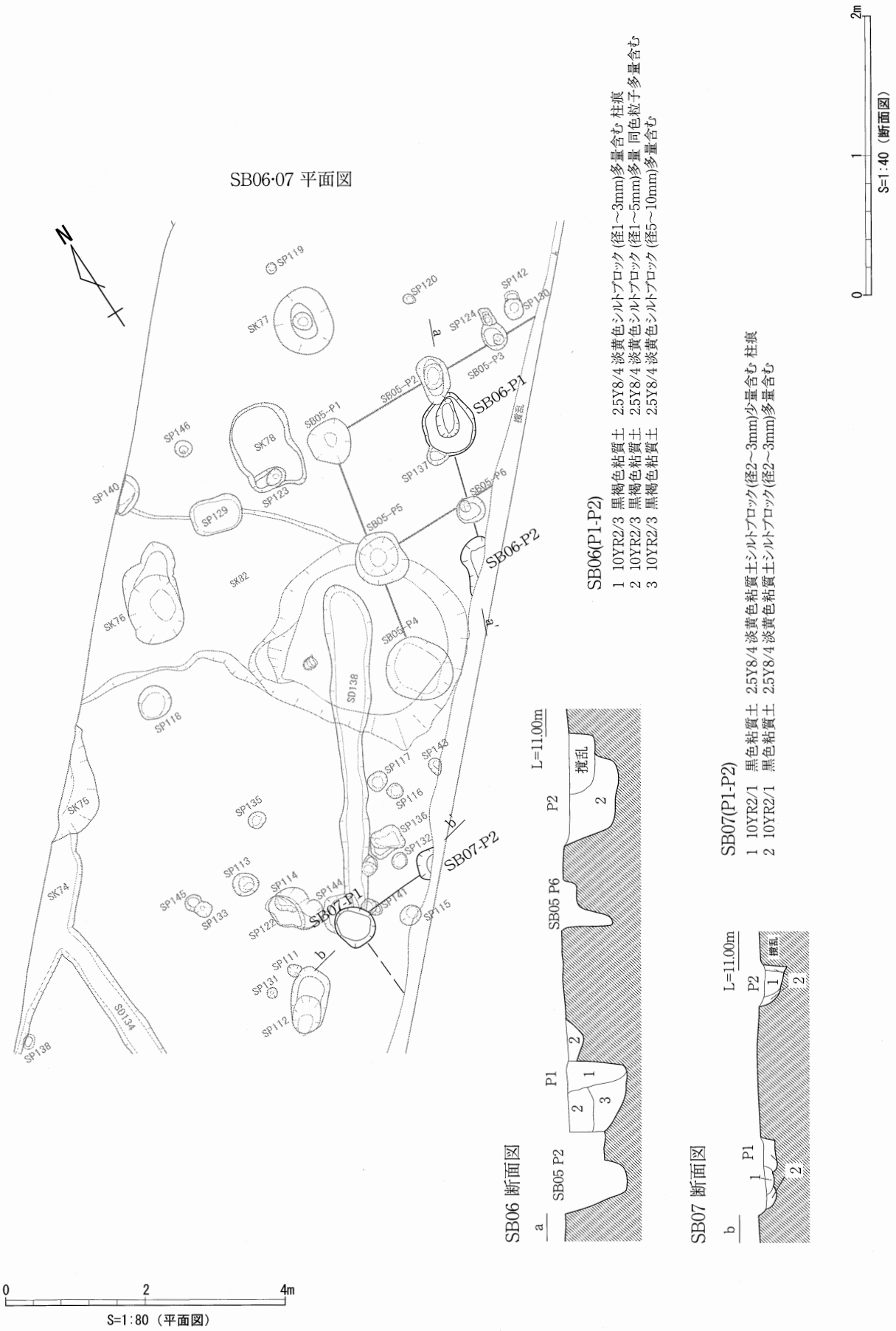
SB05(P1·P2·P4·P5·P6)

1	2.5Y3/2 黒褐色土	10YR6/6	明黄褐色粒子(径1～5mm)少量含む	柱痕
2	2.5Y3/3 暗オリーブ褐色土	10YR6/6	明黄褐色粒子(径1～5mm)多量含む	
			同色ブロック　(径10～20mm)多量含む シルト	
3	5Y5/1 灰色土	5Y7/4	浅黄色ブロック(径1～5mm)多量含む シルト	
4	5Y4/1 灰色土	5Y8/4	淡黄色ブロック(径20～30mm)少量含む シルト	
5	5Y4/1 灰色土	5Y8/4	淡黄色粒子　(径1～5mm)多量含む	
			同色ブロック　(径20～30mm)多量含む シルト	
6	5Y3/2 オリーブ黒色土	5Y8/4	淡黄色粒子　(径1～5mm)少量含む	
			同色ブロック　(径10～20mm)少量含む シルト	
7	5Y8/2 灰白色土	5Y3/1	オリーブ黒色土を含む	
8	5Y3/11オリーブ黒色土	5Y8/2	灰白色ブロック(径10～20mm)多量含む シルト	柱痕
9	10YR2/2 黒褐色土	2.5Y8/4	淡黄色粒子　(径1～10mm)少量含む シルト	
10	10YR2/1 黒色土	2.5Y8/3	淡黄色粒子　(径1～10mm)少量含む シルト	
11	10YR1.7/1黒色土	2.5Y8/3	淡黄色粒子　(径1～10mm)少量含む シルト	



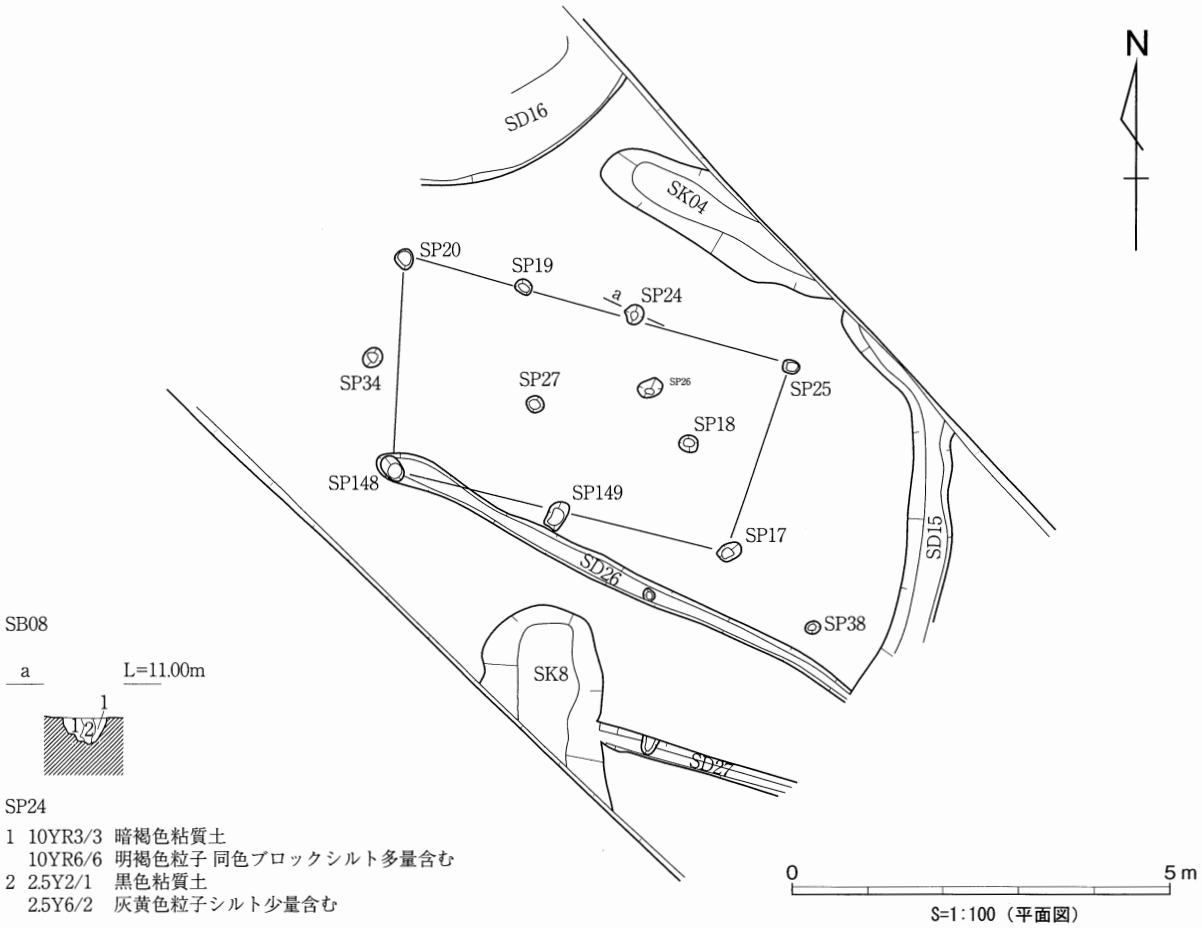
S=1:40（断面図）

図面二八　遺構実測図　中木津遺跡　区画整理２区



遺構実測図　区画整理２区　掘立柱建物ＳＢ06・07実測図　　縮尺１／80・１／40

図面二九　遺構実測図　中木津遺跡　区画整理２区



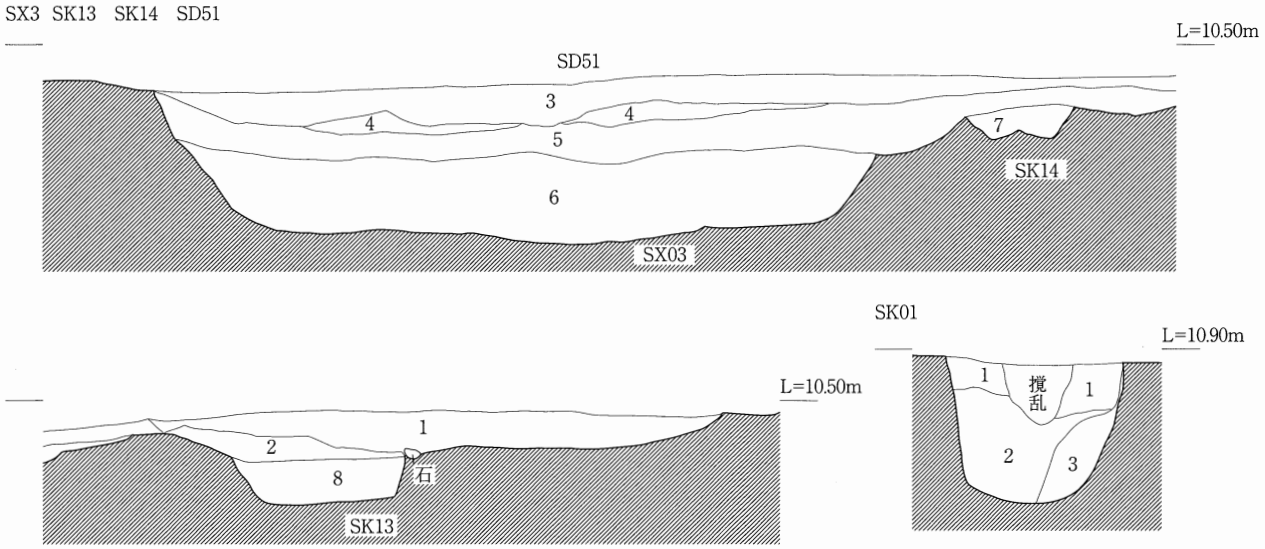
S=1:100（平面図）

SB08

SP24

1 10YR3/3 暗褐色粘質土
　10YR6/6 明褐色粒子 同色ブロックシルト多量含む
2 2.5Y2/1 黒色粘質土
　2.5Y6/2 灰黄色粒子シルト少量含む

SX3 SK13 SK14 SD51



SX3 ·SK13·SK14·SD51

1 10YR5/2 灰黄褐色粘質土 2.5Y7/6 明黄褐色シルトブロック (φ2～4cm)少量含む (SD51埋土)
2 10YR5/2 灰黄褐色粘質土 2.5Y8/3 淡黄色シルトブロック (φ5～50cm)多量含む (SD51埋土)
3 2.5Y8/3 淡黄色シルト 10YR5/2 灰黄褐色粘質土ブロック(φ2～10cm)多量および
　木片·土器·染付椀·皿·石·礫(φ5～10cm)多量含む (SD3 埋土)
4 10YR5/1 褐灰色粘質土 (SX3 埋土)
5 7.5YR3/2 黒褐色粘質土 植物遺体／木片多量含む (SX3 埋土)
6 10YR3/2 黒褐色粘質土 炭化物少量含む (SX3 埋土)
7 10YR4/1 褐灰色粘質土 (SK14 埋土)
8 10YR4/1 褐灰色粘質土 2.5Y8/3 淡黄色シルト少量含む (SK13 埋土)

SK01

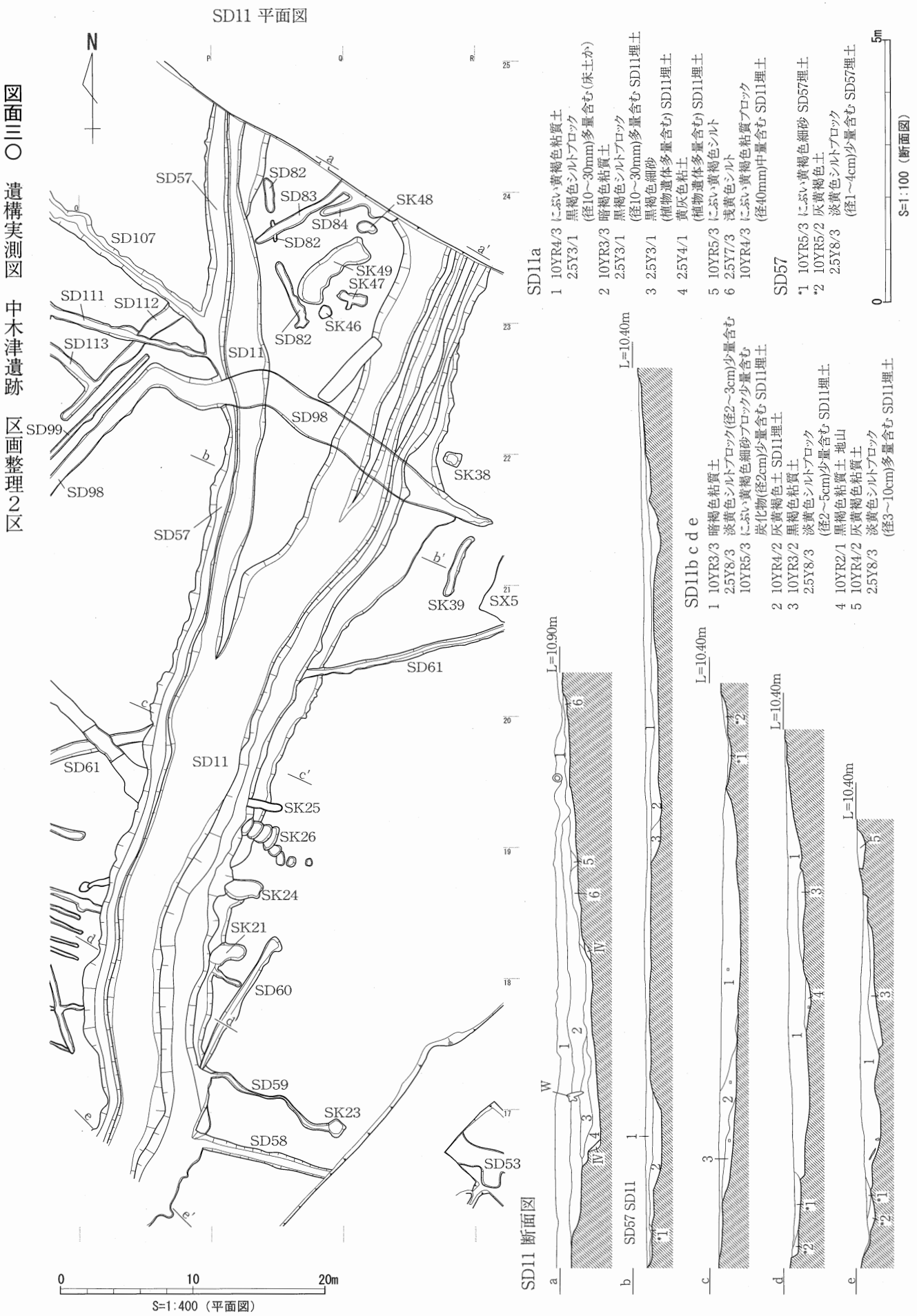
1 2.5Y3/1 黒褐色 2.5Y8/4 淡黄色粒子(φ1～3mm)
　同色ブロック(φ10～20mm)
　多量含む シルト
2 2.5Y2/1 黒色
　2.5Y8/4 淡黄色粒子(φ1～3mm) 微量含む シルト
3 2.5Y4/1 黄灰色 2.5Y8/4 淡黄色粒子(φ1～3mm)
　同色ブロック(φ10～20mm)
　微量含む シルト

0　1　2 m

S=1:40（断面図）

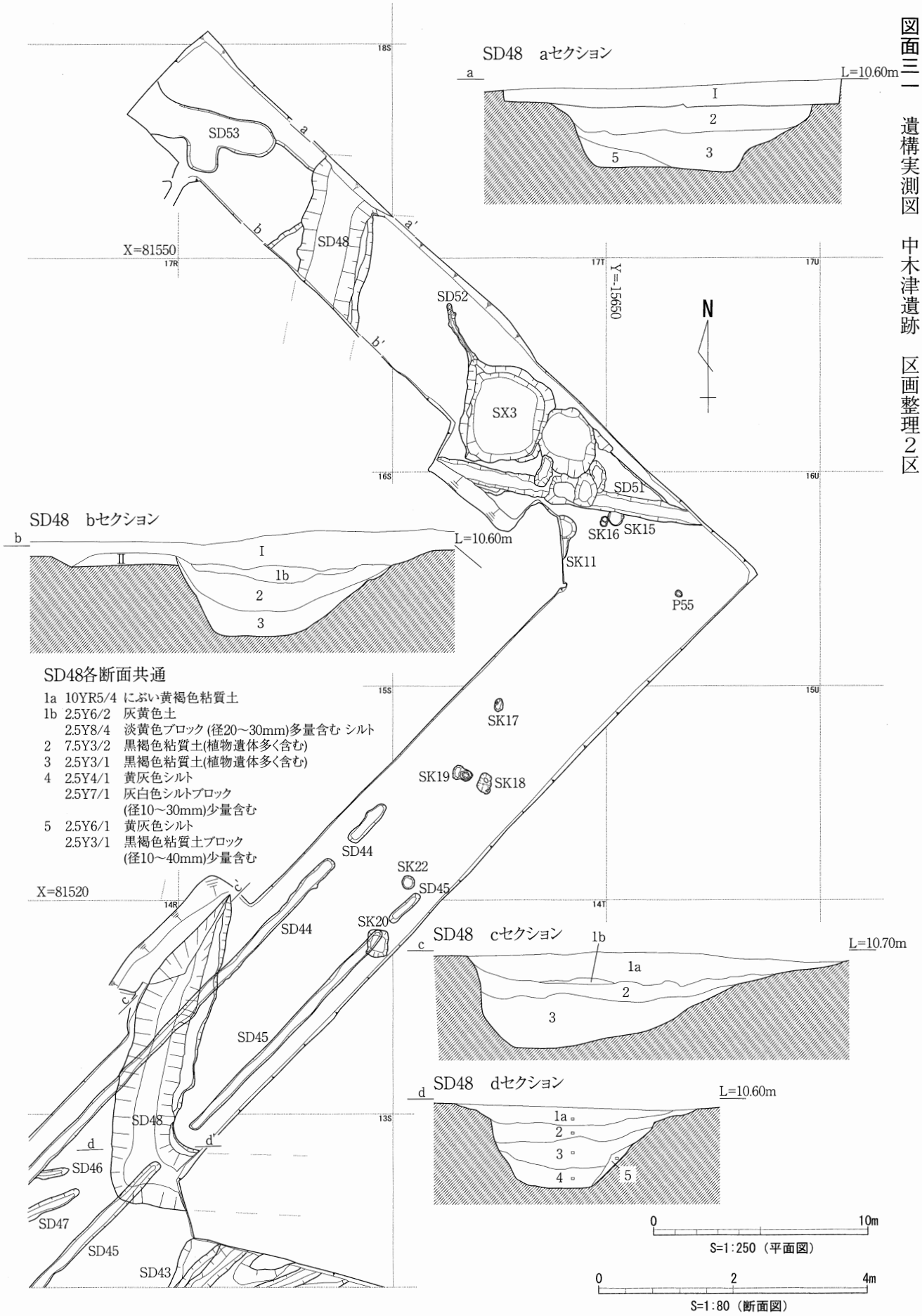
遺構実測図　区画整理２区　掘立柱建物ＳＢ08実測図　　縮尺１／100・１／40

図面三〇　遺構実測図　中木津遺跡　区画整理２区



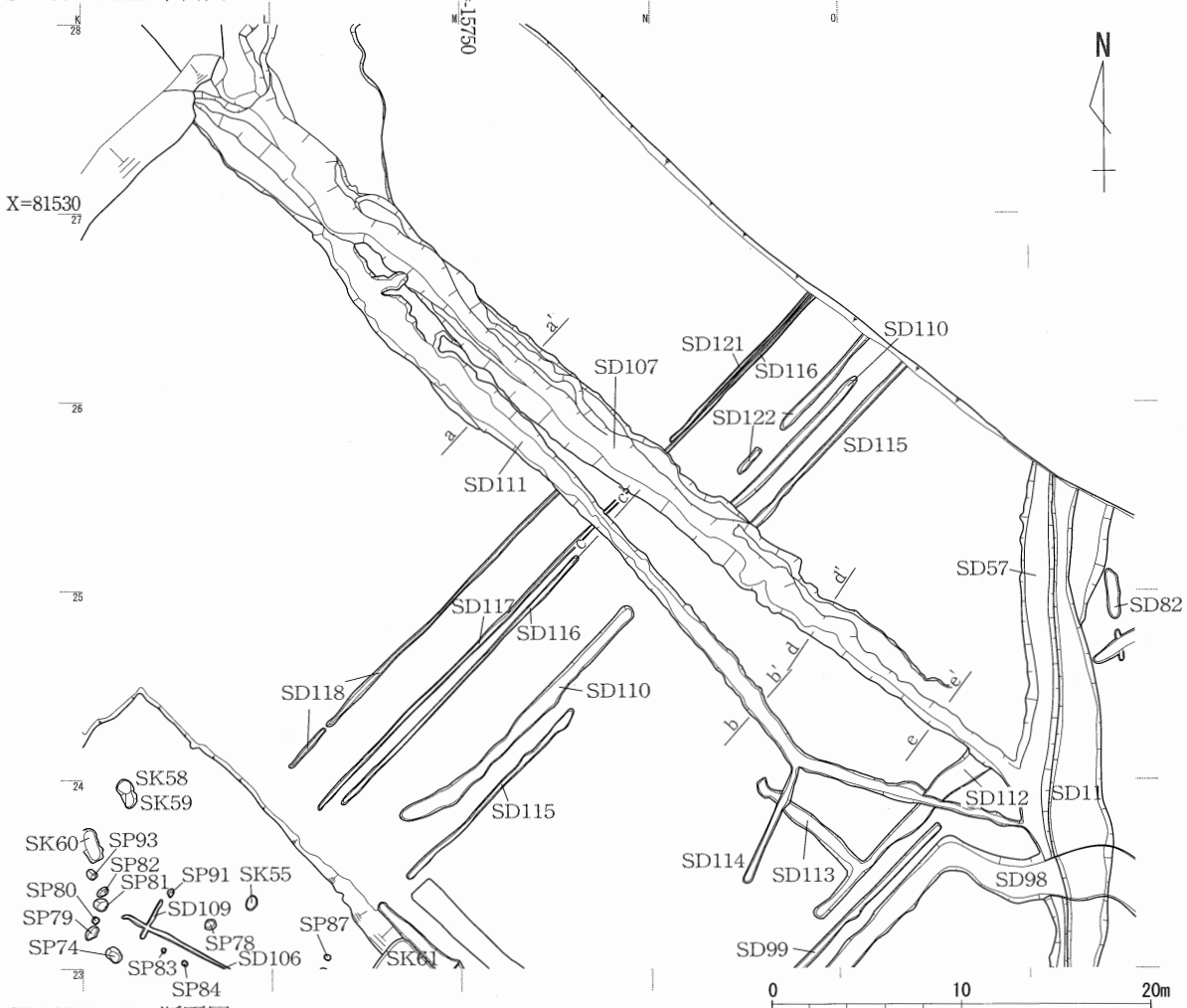
SD11 平･断面図

遺構実測図　区画整理２区　溝ＳＤ11実測図　　縮尺１／400・1/100

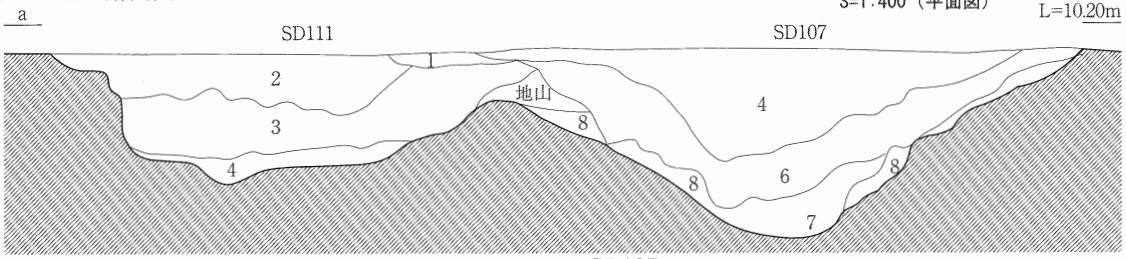


遺構実測図　区画整理２区　溝ＳＤ48実測図　　縮尺１／250・１／80

SD107·SD111 平面図



SD107·SD111 断面図

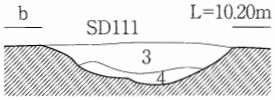


SD111

1 2.5Y8/3　淡黄色シルト 10YR3/2暗黄色シルトブロック (径20mm)少量含む
2 10YR5/2 暗灰色土　2.5Y8/4　淡黄色シルトブロック (径2～10mm)多量含む
3 2.5Y4/2　暗灰黄色土 2.5Y8/4　淡黄色シルトブロック (径10～20mm)少量含む
4 7.5YR3/1 黒褐色土

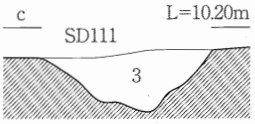
SD107

4 2.5Y8/3　淡黄色シルト　2.5Y8/8シルトブロック多量
10YR3/2 暗褐色粘質土ブロック(径30～50mm)多量含む
6 10YR5/2 暗灰黄色粘質土
7 10YR5/2 暗灰黄色粘質土 10YR5/2 暗灰黄色細砂礫 (径20mm)含む
8 10YR5/2 暗灰黄色粘質土 2.5Y8/1灰白色シルト粒子(径20mm)少量含む



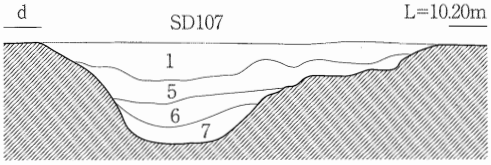
SD111 b

3 2.5Y4/2 暗灰黄色土
2.5Y8/4 淡黄色シルトブロック
(径10～20mm)少量含む
4 7.5YR3/1 黒褐色土



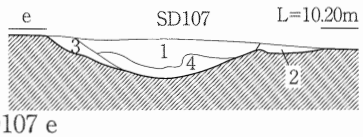
SD111 c

3 2.5Y4/2 暗灰黄色土
2.5Y8/4淡黄色シルトブロック
(径10～20mm)少量含む



SD107 d

1 2.5Y4/2　暗灰黄色土　2.5Y8/4 淡黄色シルトブロック(径10～20mm)少量含む
5 10YR5/2 暗灰黄色土　7.5YR3/1黒褐色土ブロック(径10～20mm)少量含む
6 10YR5/2 暗灰黄色粘質土
7 10YR5/2 暗灰黄色粘質土　10YR5/2暗灰黄色細砂礫(径20mm)含む

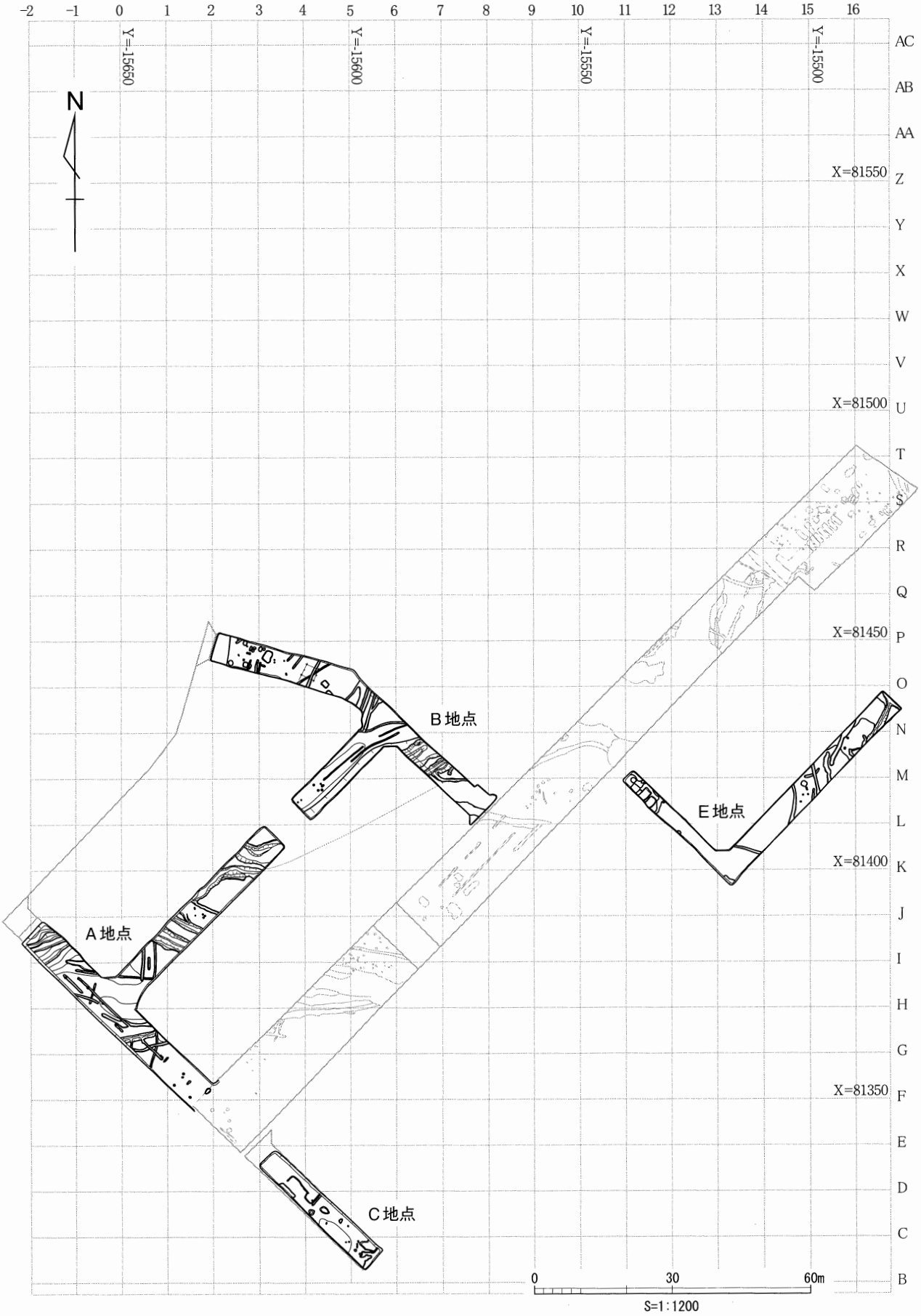


SD107 e

1 2.5Y4/2　暗灰黄色土
2.5Y8/4　淡黄色シルトブロック(径10～20mm)少量含む
2 7.5YR3/1 黒褐色土
3 2.5Y4/2　暗灰黄色土
10YR7/6 明黄褐色シルト粒子(径5mm)多量含む
4 10YR5/2 暗灰黄色砂質土　10YR5/2暗灰黄色細砂礫(径20mm)含む

遺構実測図　区画整理２区　溝ＳＤ107・111実測図　　縮尺１／400・１／40

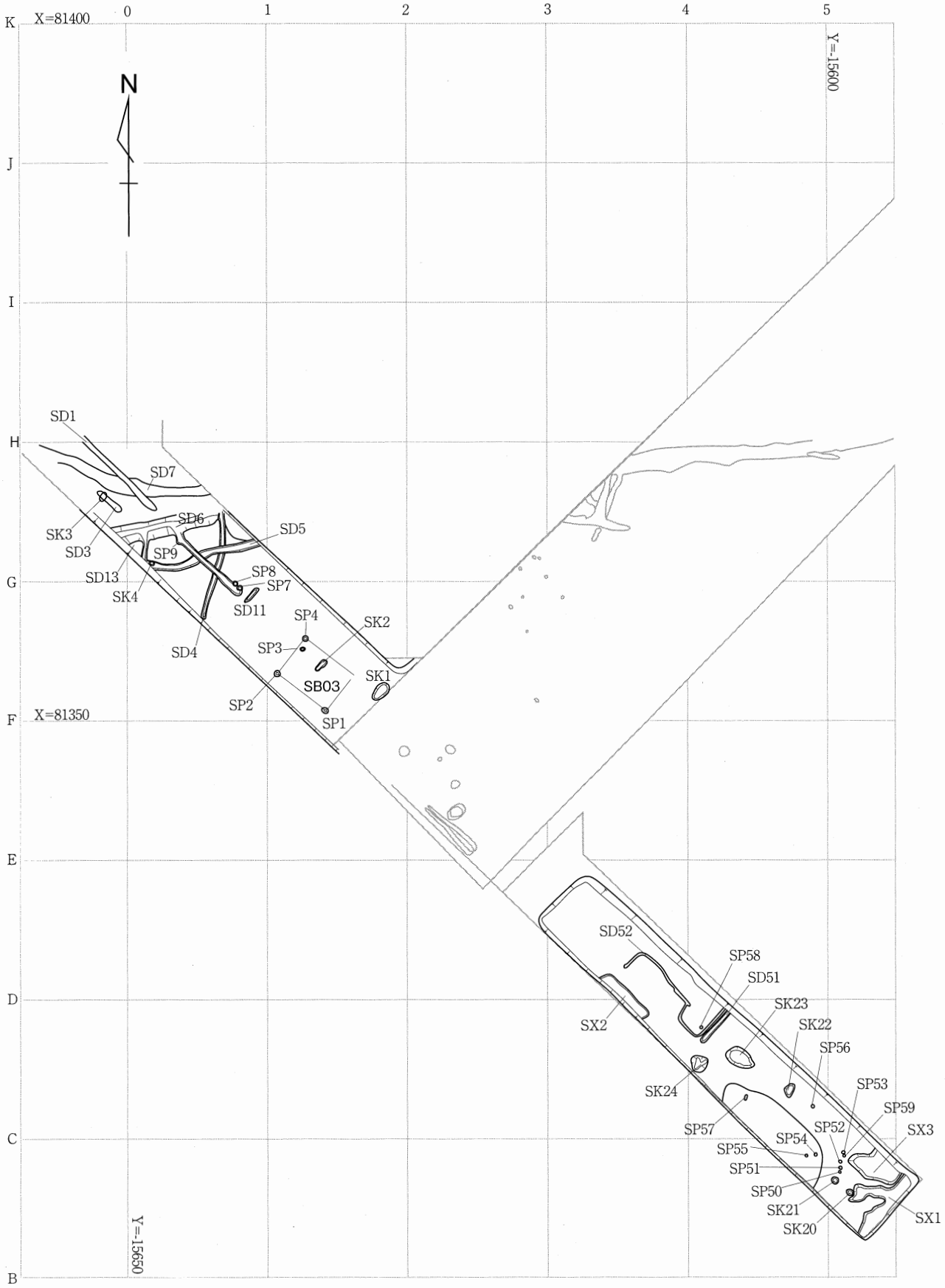
図面三三　遺構実測図　中木津遺跡　区画整理３区



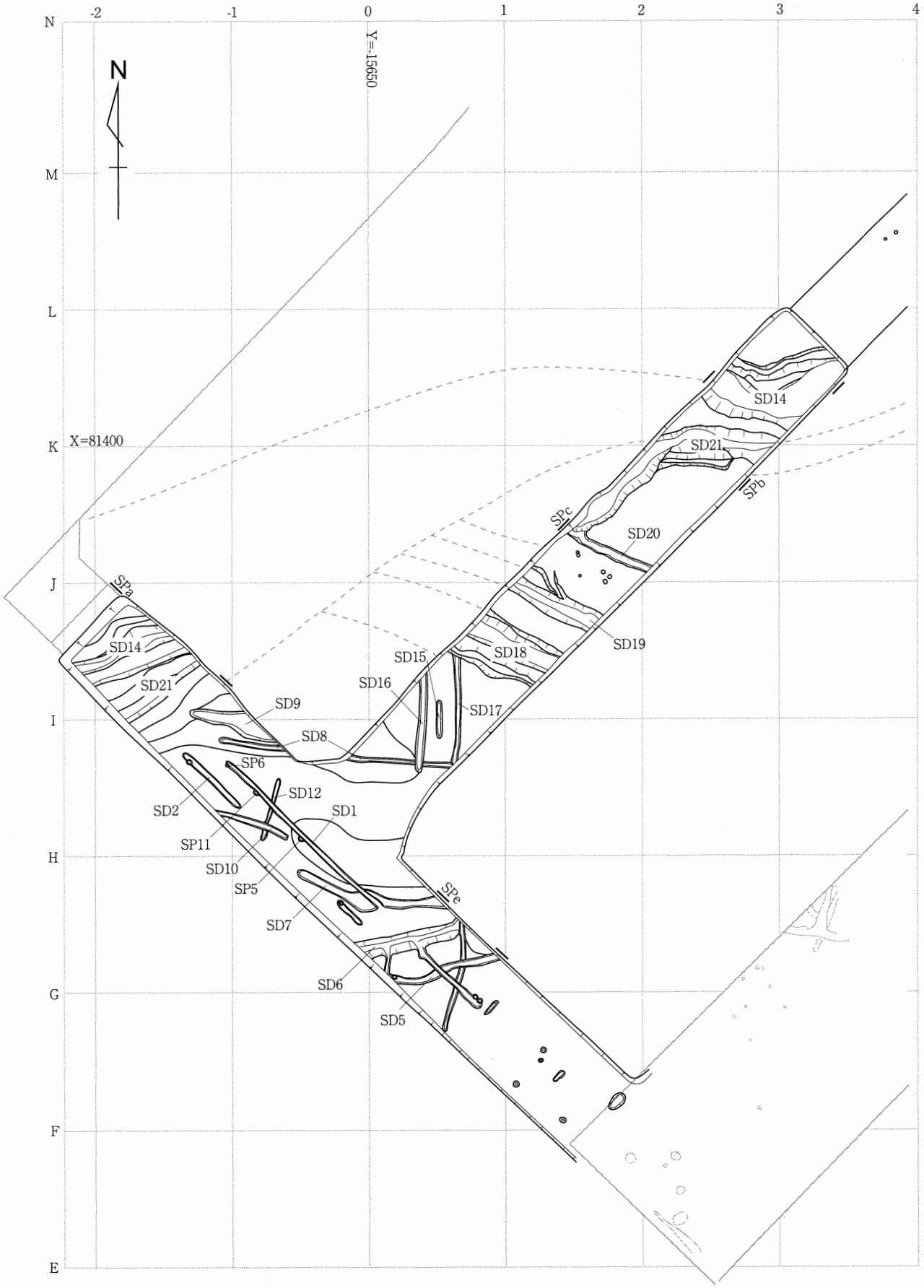
遺構実測図　区画整理３区　遺構全体図

縮尺１／1，200

図面三四　遺構実測図　中木津遺跡　区画整理３区



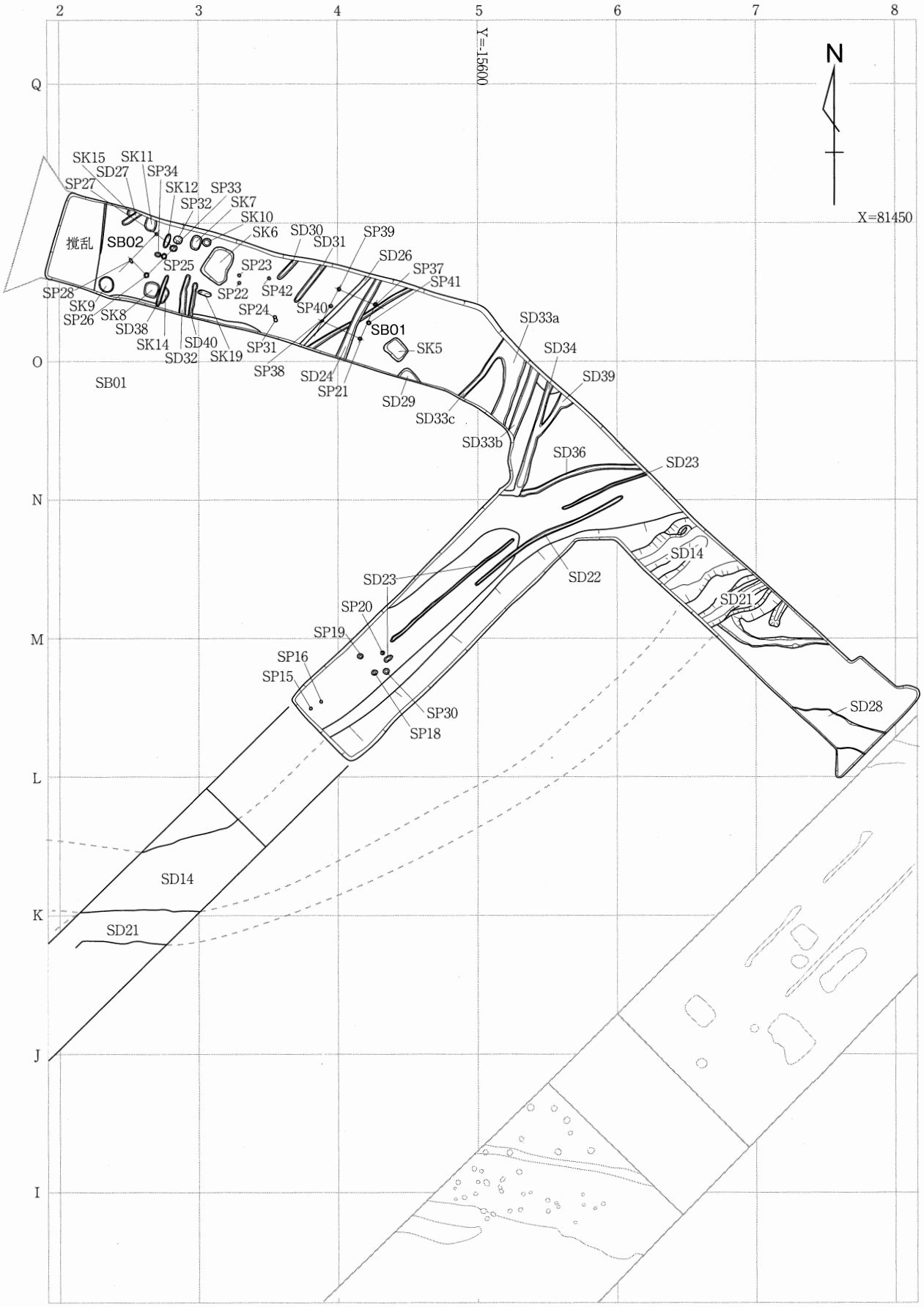
遺構実測図　区画整理３区　遺構全体図１　　縮尺１／400



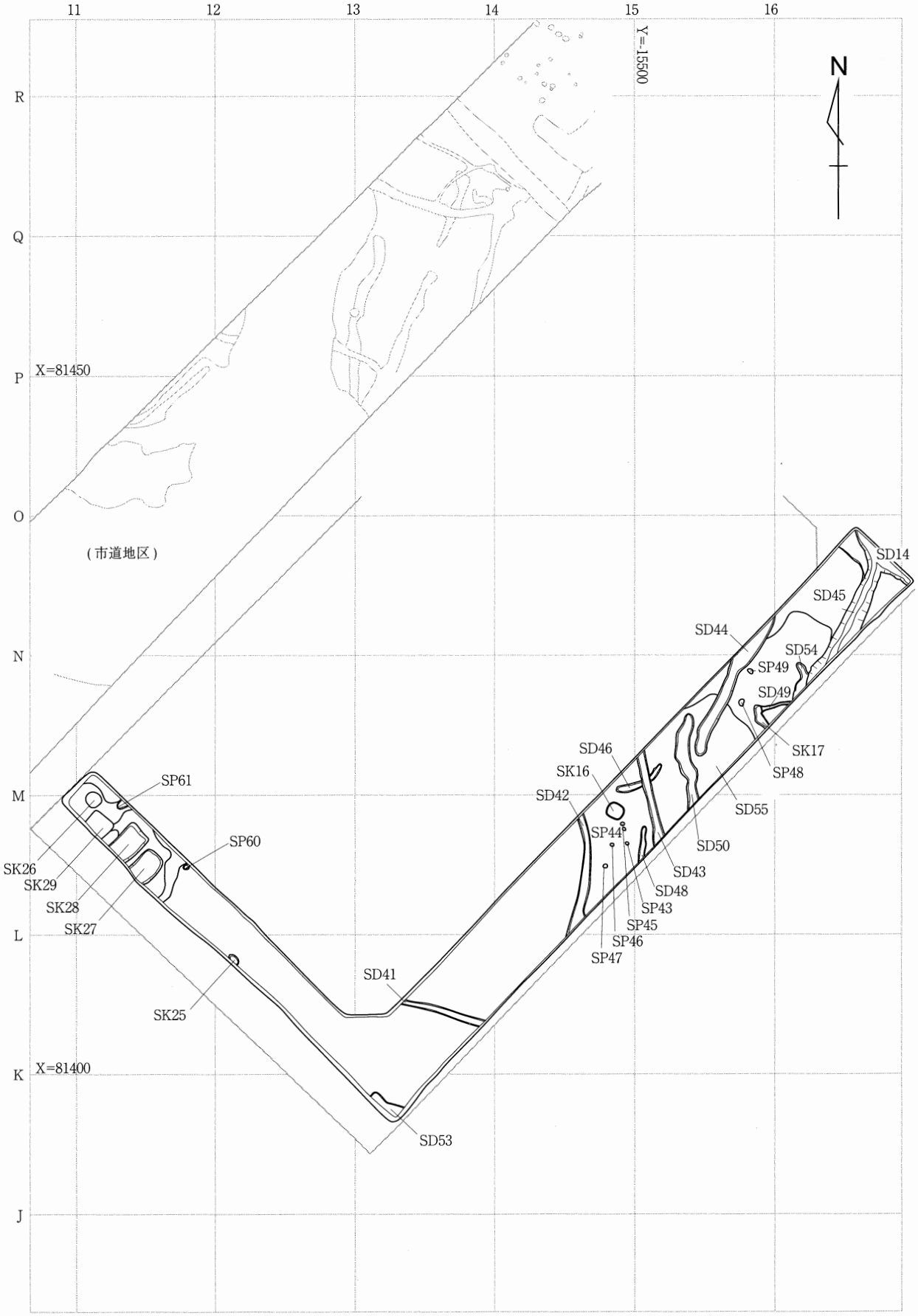
遺構実測図　区画整理３区　遺構全体図２

縮尺１／400

図面三六　遺構実測図　中木津遺跡　区画整理３区



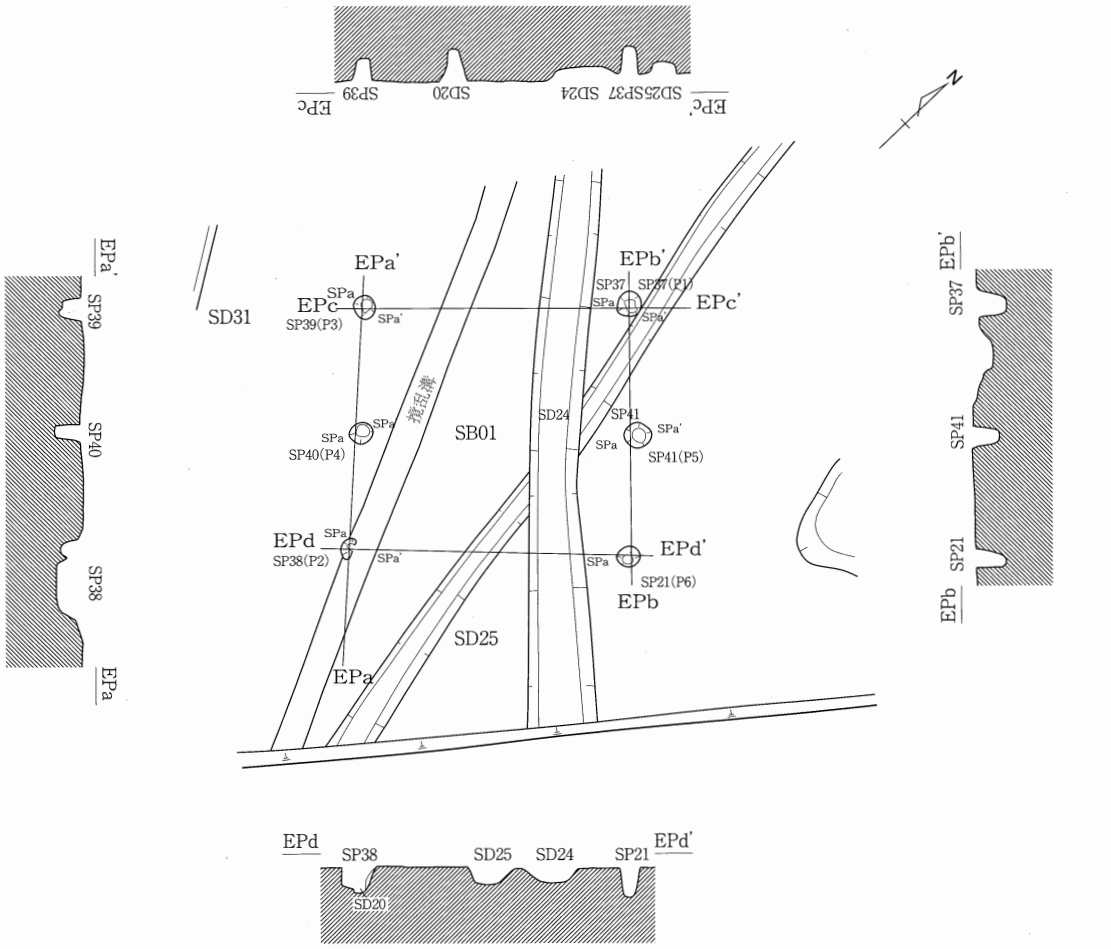
遺構実測図　区画整理３区　遺構全体図３　　縮尺１／400

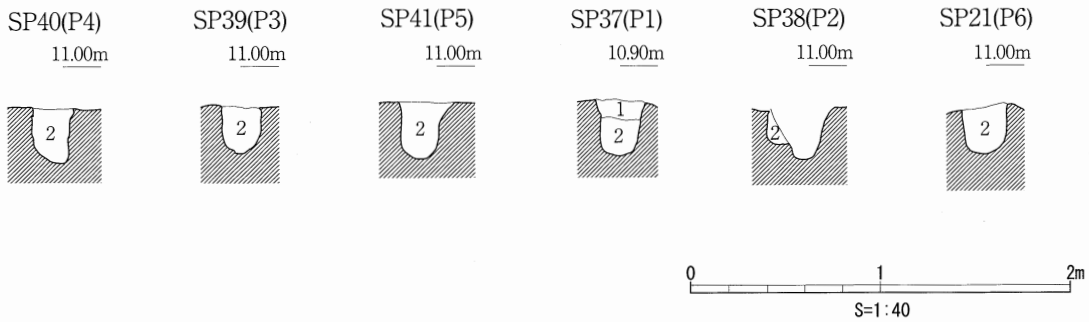


遺構実測図　区画整理３区　遺構全体図４

縮尺１／400

図面三八　遺構実測図　中木津遺跡　区画整理３区

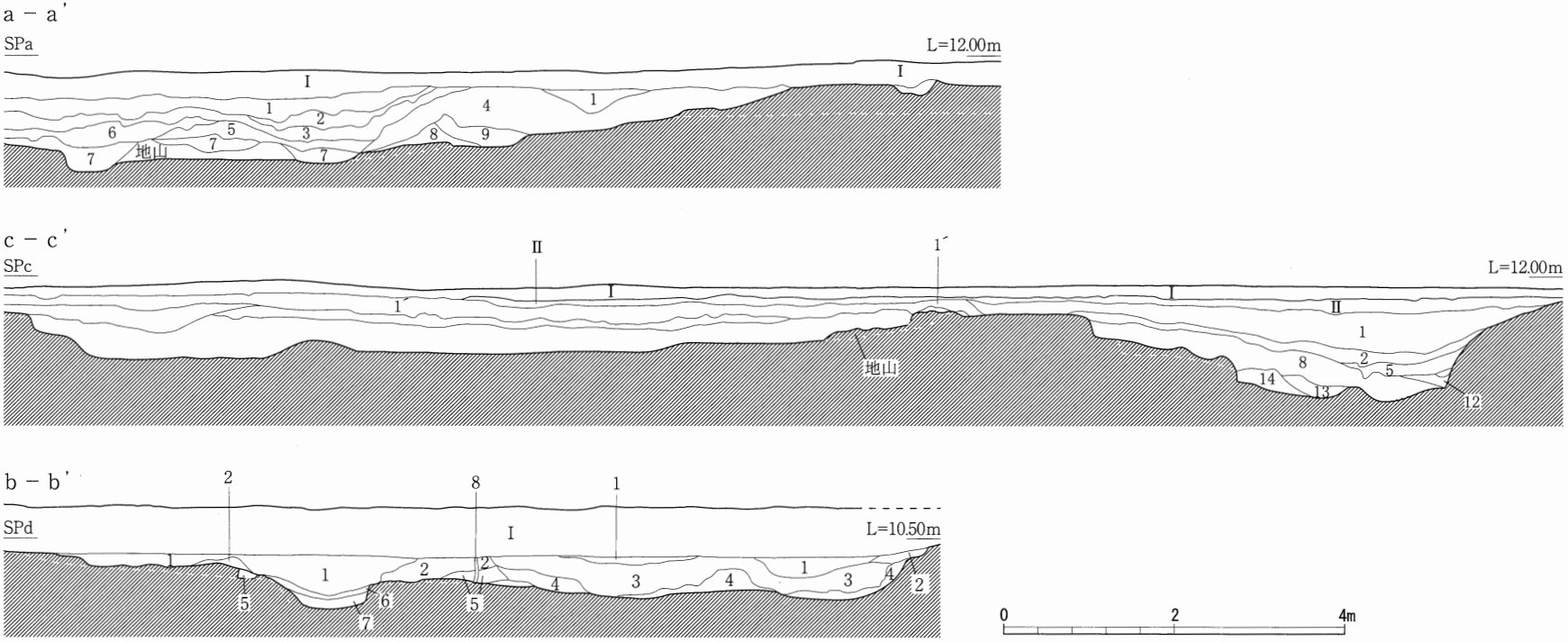




1	2.5Y2/1	黒色粘質土
	2.5Y8/6	黄色シルト粒子多く含む
2	2.5Y3/1	黒褐色粘質土
	2.5Y8/6	黄色シルト粒子多く含む

1－2　しまりあり

遺構実測図　区画整理３区　掘立柱建物ＳＢ01実測図　　縮尺１／80・１／40



S＝1：80

a－a'

Ⅰ	耕作土		
1	2.5Y3/1	黒褐色粘質土	鉄分粒子多く混ざる　しまりなし
2	2.5Y3/1	黒褐色粘質土	2.5Y7/2 灰黄細砂ブロック多混　しまりなし　炭化物粒子混
3	10YR3/1	黒褐色砂質土	2.5Y5/1 灰黄砂質土とラミナ状　しまりなし　炭化物粒子多混 5Y8/3 淡黄シルトブロック混
4	10YR5/3	鈍い黄褐色砂質土	5Y8/3 淡黄シルトブロック混　しまりあり
5	2.5Y5/2	暗灰黄色砂質土	やや粘性あり　しまりなし
6	2.5Y5/2	暗灰黄色粘質土	しまりなし
7	2.5Y6/1	黄灰色細砂	2.5Y3/1 黒褐色粘質土ブロック混
8	2.5Y2/1	黒色粘質土	しまりなし
9	2.5Y4/2	暗灰黄色粘質土	2.5Y8/3 淡黄シルトブロック少混

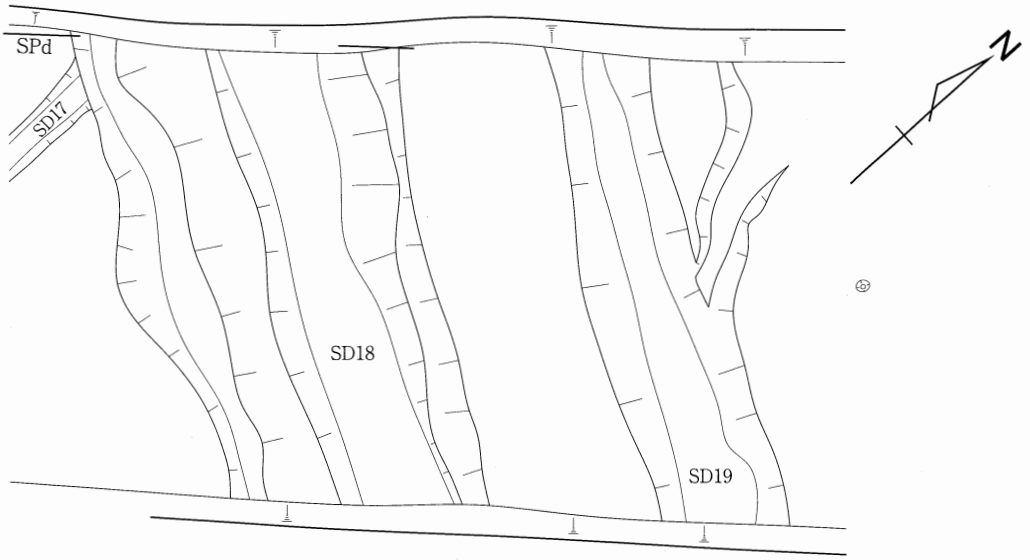
b－b'

Ⅰ	耕作土		
1	2.5Y2/1	黒色粘質土	鉄分沈着
2	2.5Y3/1	黒褐色粘質土	2.5Y8/6 黄色シルトブロック混入　しまりあり
3	2.5Y3/2	黒褐色砂質土	粘性あり
4	2.5Y3/2	黒褐色砂質土	2.5Y2/1 黒色粘質土ブロック　2.5Y8/6 黄シルトブロック多混
5	2.5Y3/1	黒褐色粘質土	鉄分沈着　しまりあり
6	2.5Y3/1	黒褐色砂質土	粘性あり
7	2.5Y4/1	黄灰色細砂	粘性あり
8	2.5Y5/2	暗黄灰色細砂	噴砂？

c－c'

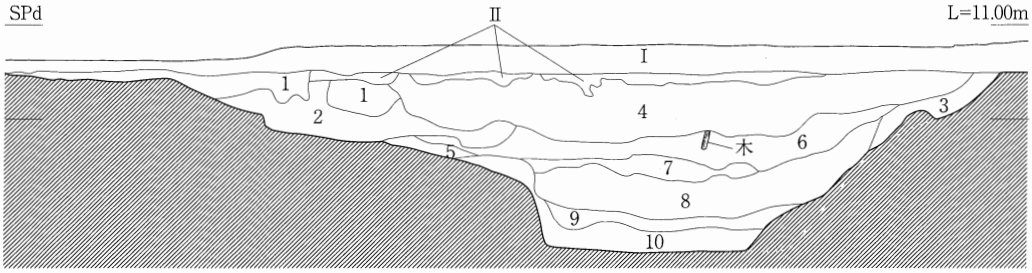
Ⅰ	耕作土		
Ⅱ			
1	2.5Y3/1	黒褐色粘質土	しまりあり
2	2.5Y2/1	黒色粘質土	炭化物少量混
3	2.5Y3/1	黒褐色粘質土	黄色シルト粒子・ブロック土多く含む
4	10YR3/1	黒褐色粘質土	しまりあり
5	10YR3/2	黒褐色粘質土	細砂混入　しまりあり
6	2.5Y3/1	黒褐色粘質土	粘性強い
7	2.5Y3/1	黒褐色粘質土	細砂混入
8	2.5Y4/1	黄灰色砂質土	やや粘性あり
9	2.5Y4/1	黄灰色砂質土	
10	10YR3/2	黒褐色粘質土	細砂混入
11	2.5Y4/1	黄灰色細砂	
12	2.5Y4/2	暗灰黄砂質土	2.5Y2/1 黒色？土黄粒子多　2.5Y8/6 黄色シルトブロック
13	2.5Y4/1	黄灰細砂	しまりあり
14	2.5Y4/1	黄灰細砂	2.5Y2/1 黒色粘質土ブロック 2.5Y8/6 黄色シルトブロック多混

図面三九　遺構実測図　中木津遺跡　区画整理３区



S=1:100（平面図）

SD18



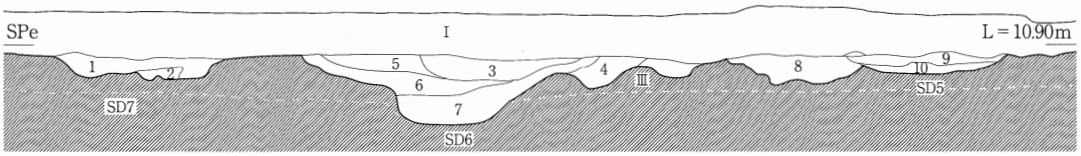
Ⅰ　耕作土
Ⅱ　床　　土　　やや粘性　しまりあり

1	2.5Y	3/1	黒褐砂質土	2.5Y 4/1 黄灰細砂ブロック多混	6	10YR 3/2	黒褐粘質土	10YR 8/8 黄橙粘土ブロック少混
2	2.5Y	4/1	黄灰砂質土	やや粘性あり	7	2.5Y 7/1	灰白細砂土	
3	2.5Y	6/1	黄灰砂質土	2.5Y 8/1 淡黄シルトブロック多混	8	2.5Y 2/1	黒粘質土	木質片混
4	2.5Y	3/1	黒褐粘質土	しまりあり　木質遺物片混	9	10YR 3/3	暗褐粘質土	
5	2.5Y	4/1	黄灰細砂土		10	5Y 6/1	灰細砂土	2.5Y 2/1 黒粘土ブロック少混

0　1　2m

S=1:40（断面図）

SD5・6・7



Ⅰ　耕作土

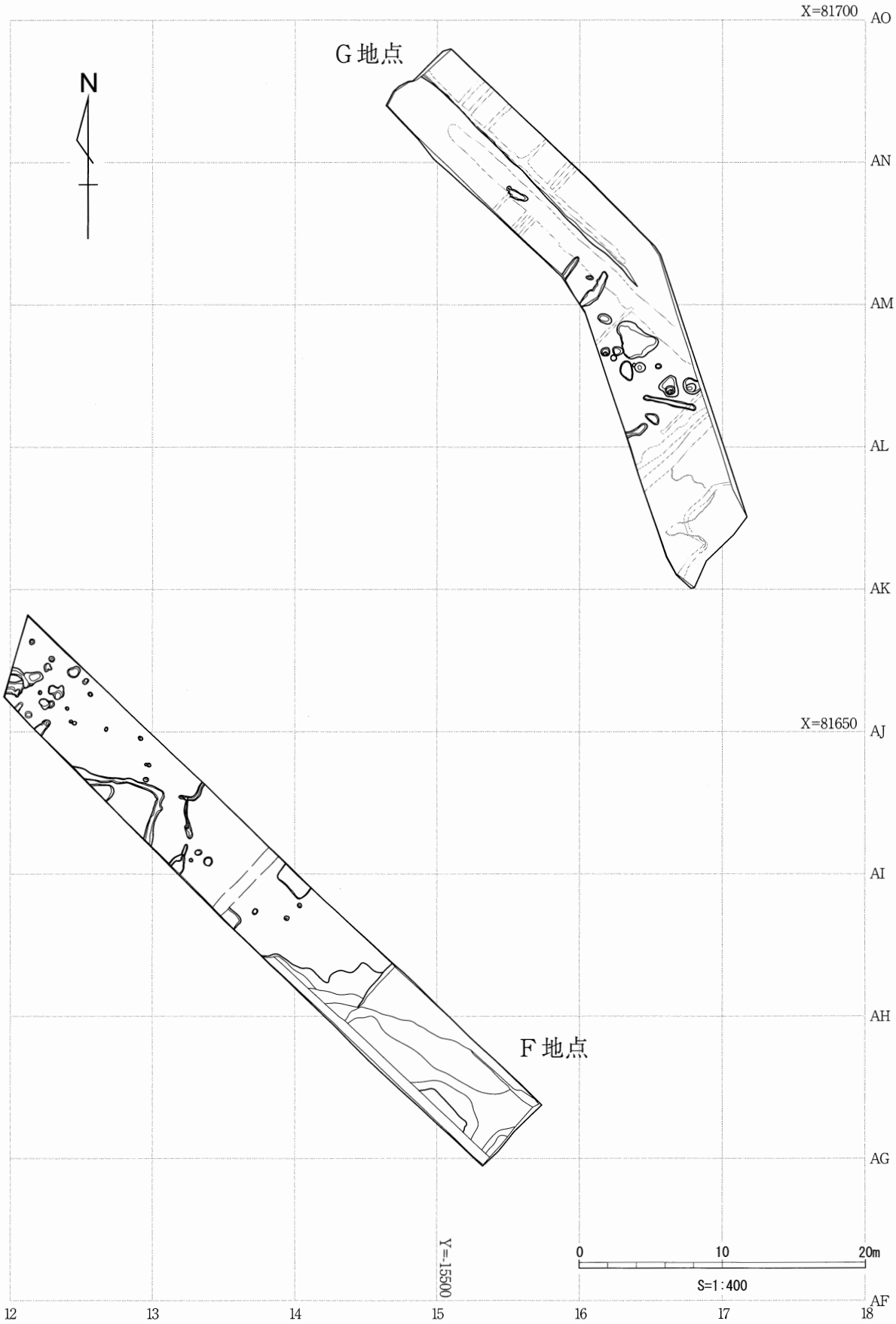
1	10YR3/3	褐色粘質度	細砂混 しまりあり
2	2.5YR8/6	黄色シルト	10YR3/3 暗褐色粘質しまりあり
3	10YR2/1	黒色粘土	細砂混 しまりあり（SD4 埋土）
4	10YR3/2	黒褐色粘土	細砂混 しまりあり（SD6 埋土）
5	10YR4/3	にぶい黄褐色細砂	（SD6 埋土）
6	10YR4/1	褐灰色細砂	粘性あり（SD6 埋土）
7	10YR3/2	黒褐色粘土	2.5Y8/6 黄色シルトブロック少し含む
8	10YR3/2	黒褐色粘土	2.5Y8/6 黄色シルトブロック少し含む
9	10YR3/2	黒褐色粘土	（SD5 埋土）
10	10YR4/1	褐灰色細砂	10YR3/2 黄褐色粘土ブロック少し含む（SD5 埋土）

0　1　2m

S=1:50（断面図）

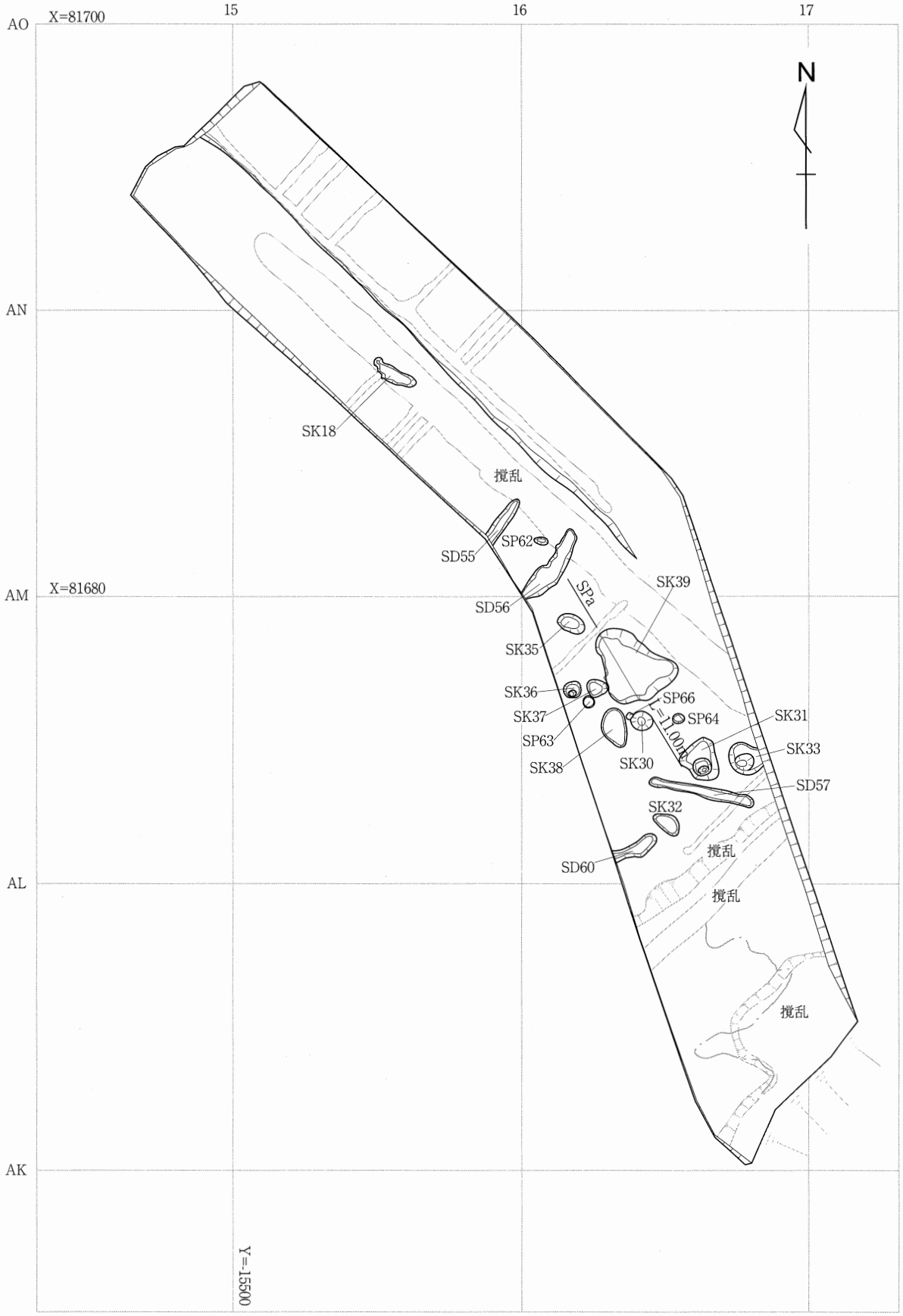
遺構実測図　区画整理３区　溝ＳＤ5・6・7・18・19実測図　　縮尺１／100・１／40・１／50

図面四一　遺構実測図　西木津遺跡　区画整理区

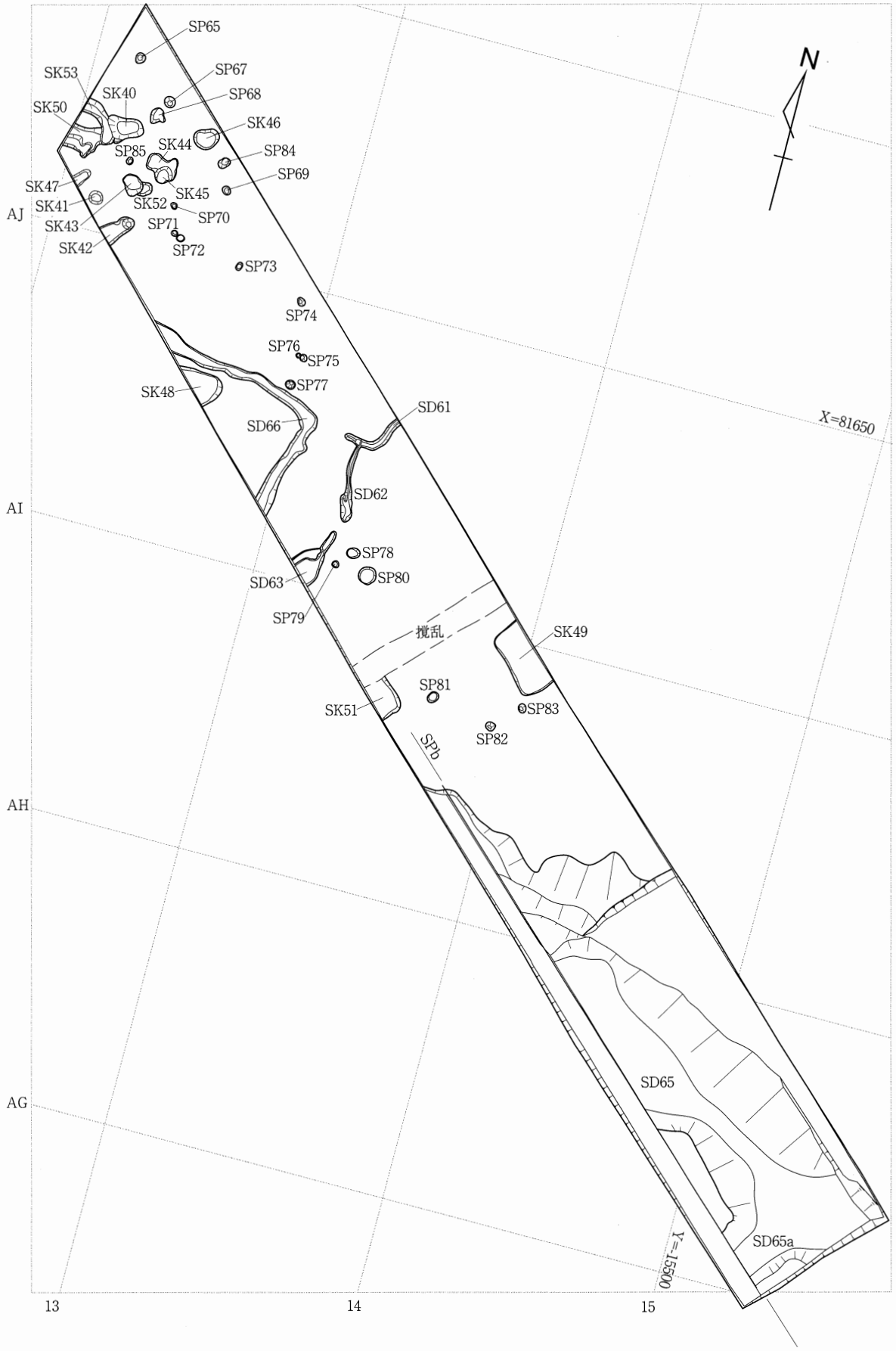


遺構全体図　区画整理区　遺構実測図　　縮尺１／400

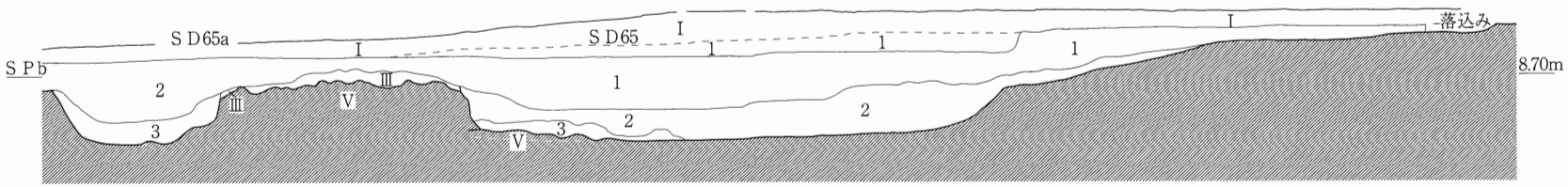
図面四二　遺構実測図　西木津遺跡　区画整理区



遺構実測図　区画整理区　G地点遺構概略図　　縮尺1／200



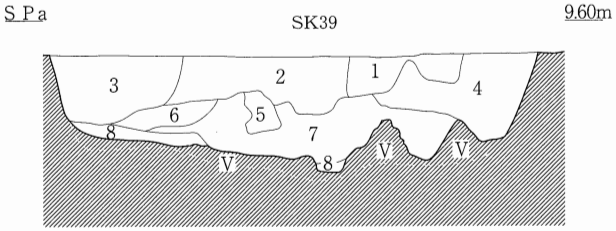
遺構実測図　区画整理区　F地点遺構概略図　　縮尺1／200

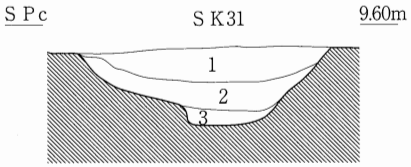


SD65

1　10YR3/3　暗褐色粘質土　2.5Y8/6 黄シルト (Ⅲ層由来) 粒子少　鉄分沈着ケンチョ
2　10YR2/2　黒褐色細砂混じり粘質土　炭化物混
3　10YR2/2　黒褐色細砂混じり粘質土　5Y6/1 灰色粘質土ブロック少混

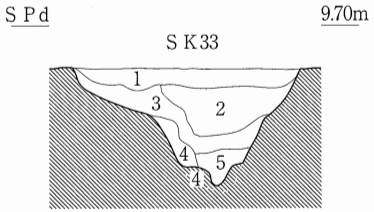
S=1:100（平面図）





SK31

1　2.5Y4/4　オリーブ褐粘質土しまり中
　　2.5Y6/6　明黄褐シルトブロック (φ10 ～ 20mm) 混入少
2　2.5Y4/3　オリーブ褐粘質土しまり中
　　2.5Y6/6　明黄褐シルトブロック (φ10 ～ 30mm) 混入多
3　2.5Y6/6　明黄褐シルトしまり強
　　2.5Y4/3　オリーブ褐ブロック (φ10 ～ 20mm) 混入中

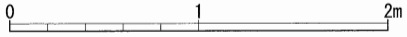


SK33

1　2.5Y4/3　オリーブ粘質土しまり中
　　2.5Y5/6　黄褐シルトブロック (φ10 ～ 20mm) 混入少
2　10YR4/3　にぶい黄褐粘質土しまり中
　　2.5Y6/4　にぶい黄シルトブロック (φ10 ～ 20mm) 混入少
3　10YR4/3　にぶい黄褐粘質土しまり中
　　2.5Y6/4　にぶい黄シルトブロック (φ10 ～ 20mm) 混入多
4　2.5Y6/4　にぶい黄シルトしまり強
　　10YR4/3　にぶい黄褐粒子混入少
5　10YR4/4　褐粘質土しまり中　鉄分粒子混入少
6　2.5Y6/6　明黄褐シルト　細砂混入しまり強

SK39

1　2.5Y4/3　オリーブ褐粘土質しまり中　10YR4/4 褐ブロック (φ10 ～ 20mm) 混入少
2　10YR4/3 にぶい黄褐粘質土しまり中　2.5Y5/4 黄褐粒子混入少　10YR4/6 褐　粒子混入少
3　2.5Y4/3　オリーブ褐粘質土しまり中　2.5Y5/4 黄褐シルトしまり強ブロック (φ10 ～ 50mm)
　　混入多　鉄分粒子混入少
4　2.5Y3/3　暗オリーブ褐粘質土しまり中　2.5Y5/4 黄褐シルトしまり強ブロック (φ10 ～ 50mm)
　　混入中　7.5Y5/8 明褐粒子混入少
5　2.5Y4/3　オリーブ褐粘質土鉄分粒子混入少
6　2.5Y3/2　黒褐粘質土しまり中　2.5Y5/6 黄褐粒子混入少
7　2.5Y4/4　オリーブ褐粘質土しまり中　2.5Y5/3 黄褐シルトブロック (φ10 ～ 30mm) 混入少
8　2.5Y4/3　オリーブ褐粘質土しまり中　鉄分粒子混入多



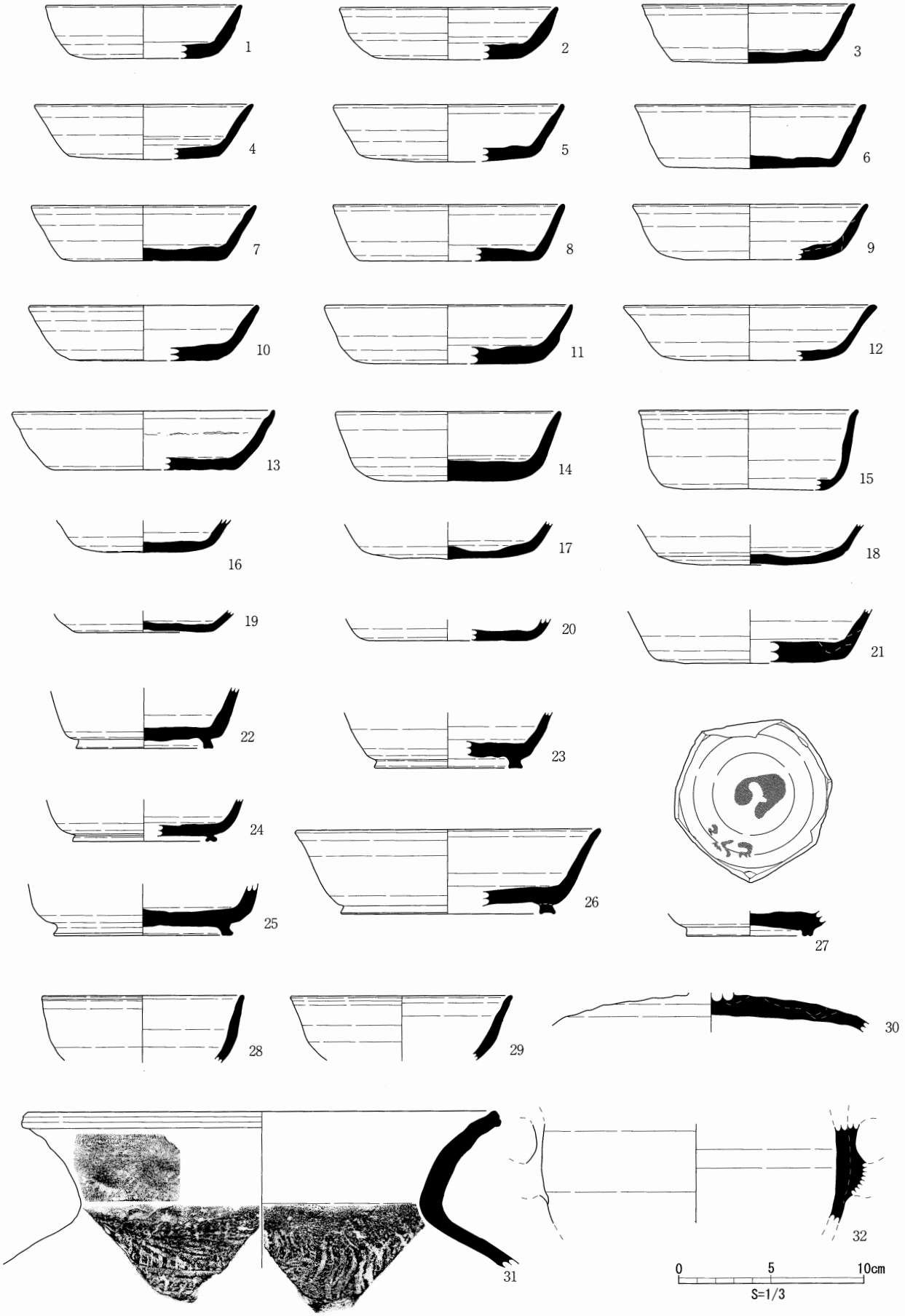
S=1:40（断面図）

SP67

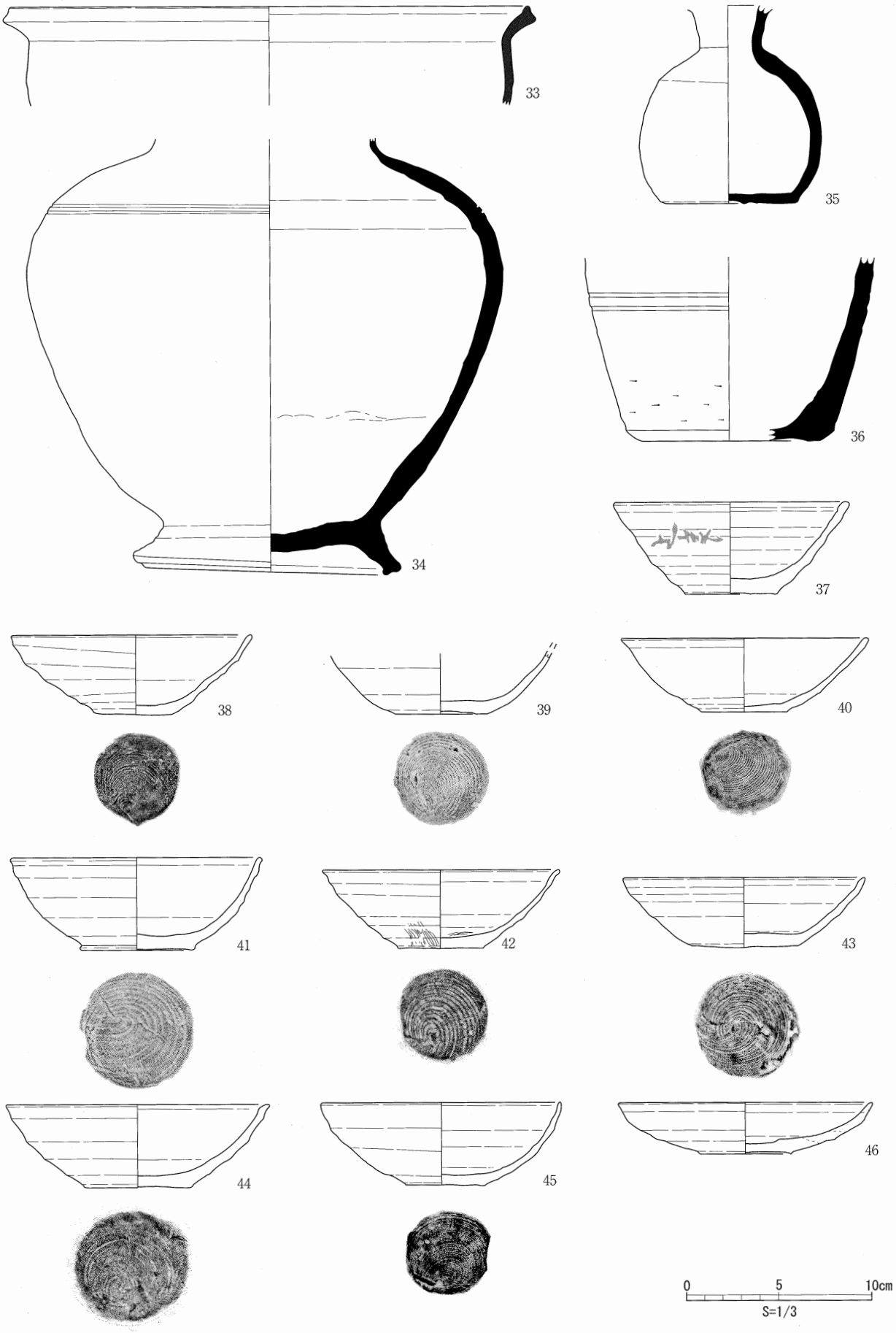
1　10YR3/3　暗褐粘質土
　　2.5Y8/6　黄シルト～粘質土 (Ⅲ層由来) ブロック多

SP69

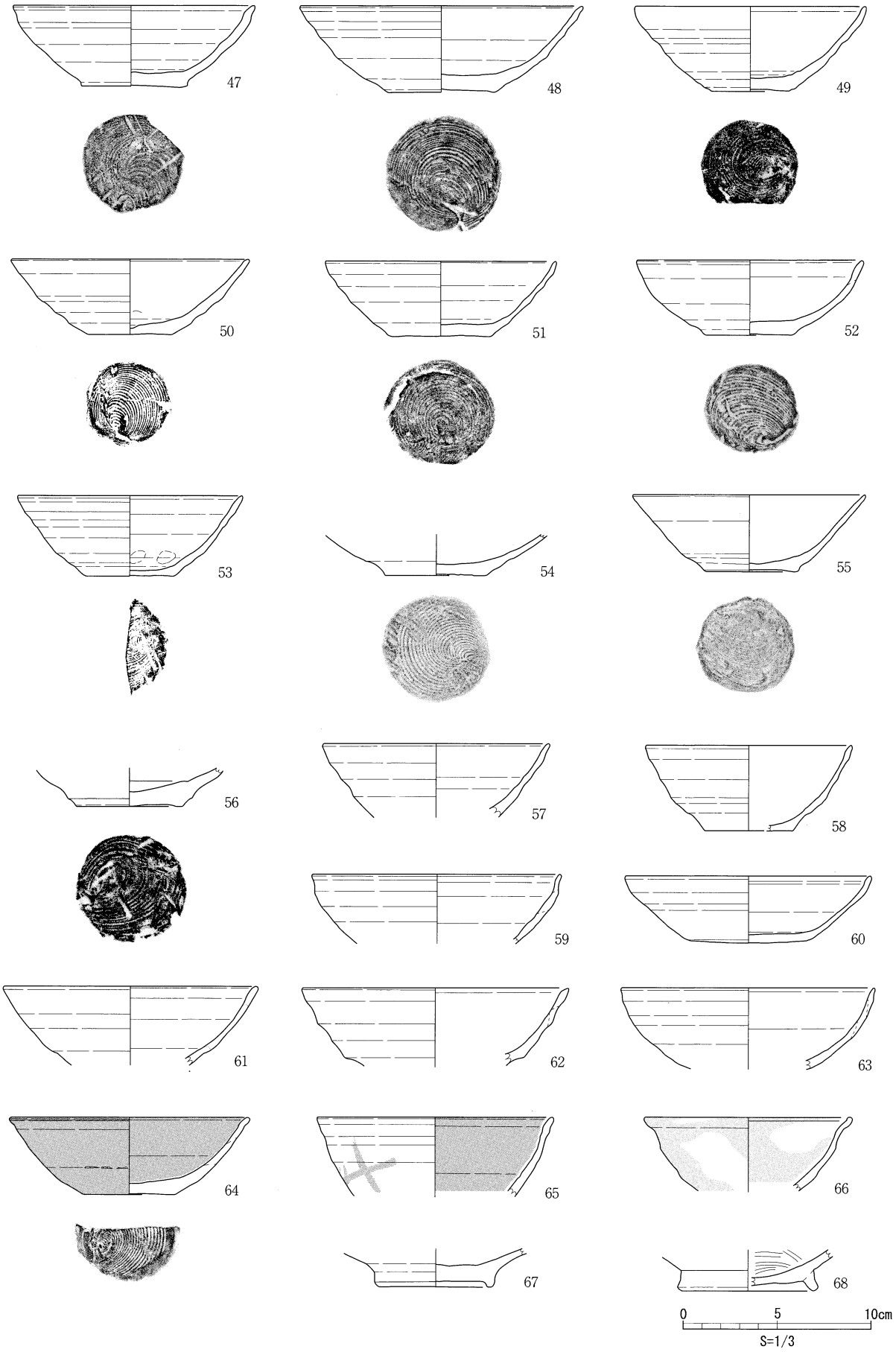
1　10YR3/3　暗褐粘質土　＋炭化物多
　　2.5Y8/6　黄シルト～粘質土 (Ⅲ層由来) ブロック少
2　10YR3/3　暗褐粘質土
　　2.5Y8/6　黄シルト～粘質土 (Ⅲ層由来) ブロック多



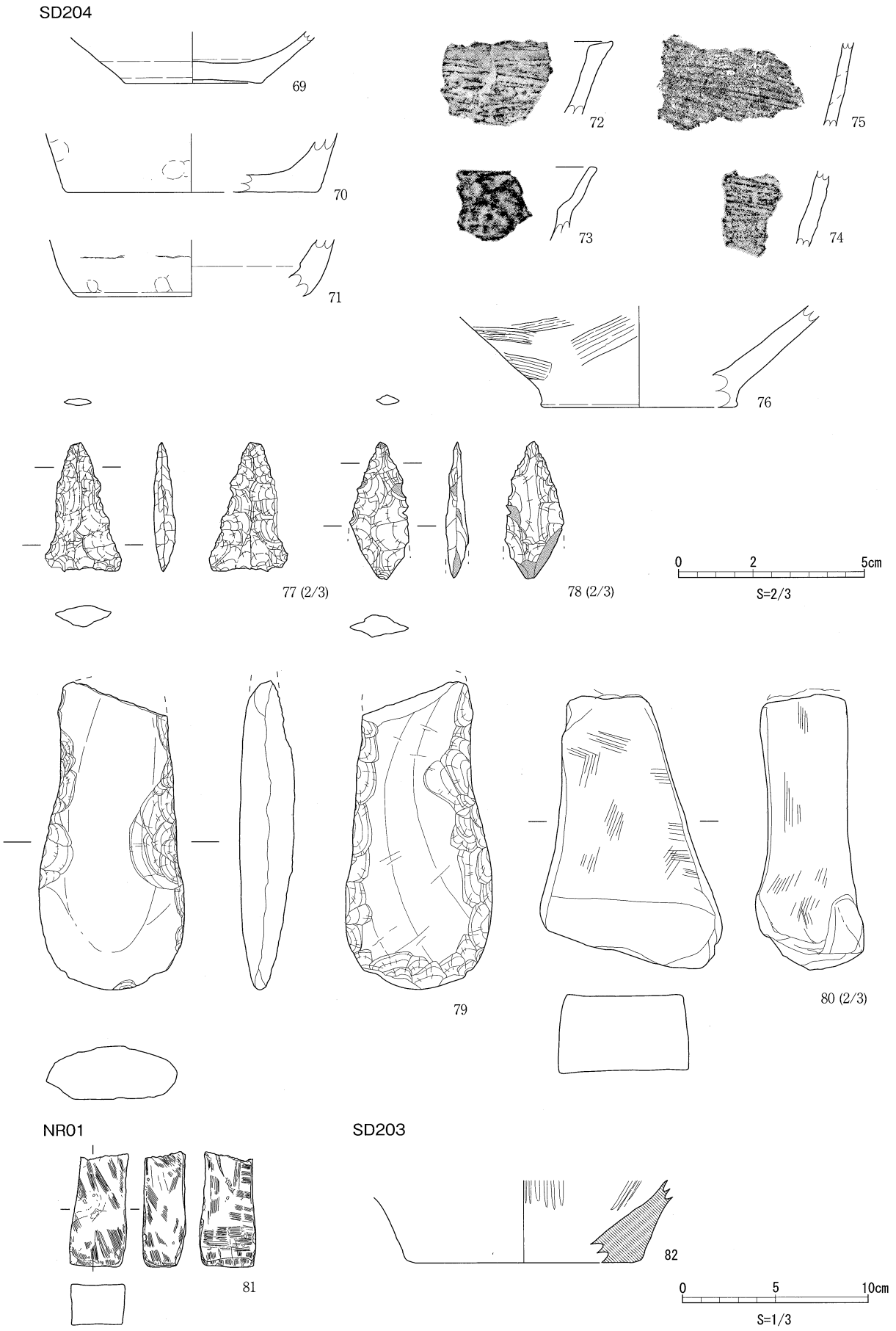
遺物実測図　１区　溝ＳＤ204〔１〕出土遺物　　縮尺１／３



遺物実測図　１区　溝ＳＤ204〔２〕出土遺物　　縮尺１／３

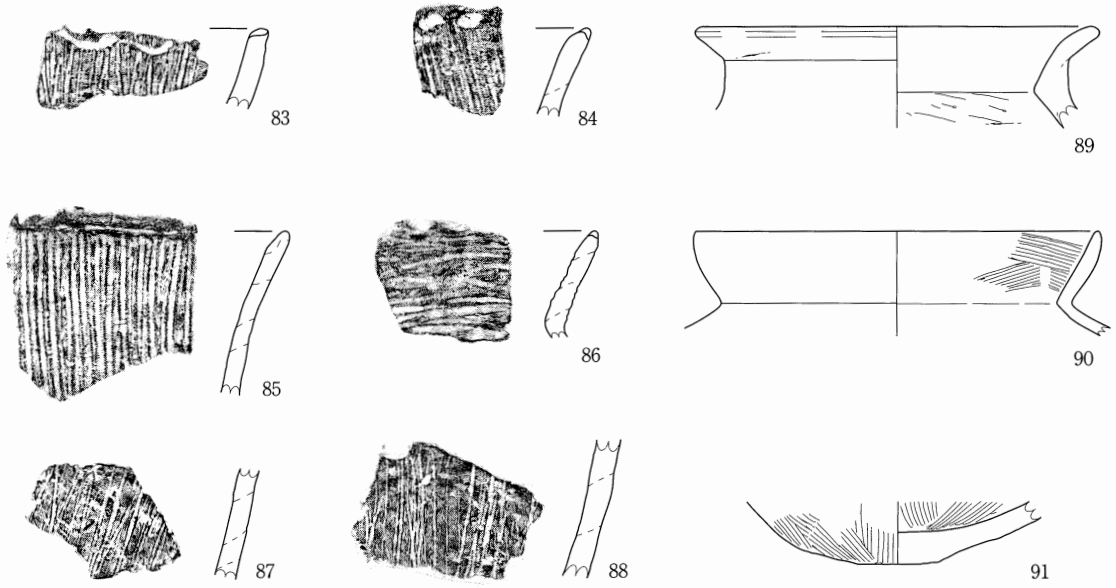


遺物実測図　１区　溝ＳＤ204〔３〕出土遺物　　縮尺１／３

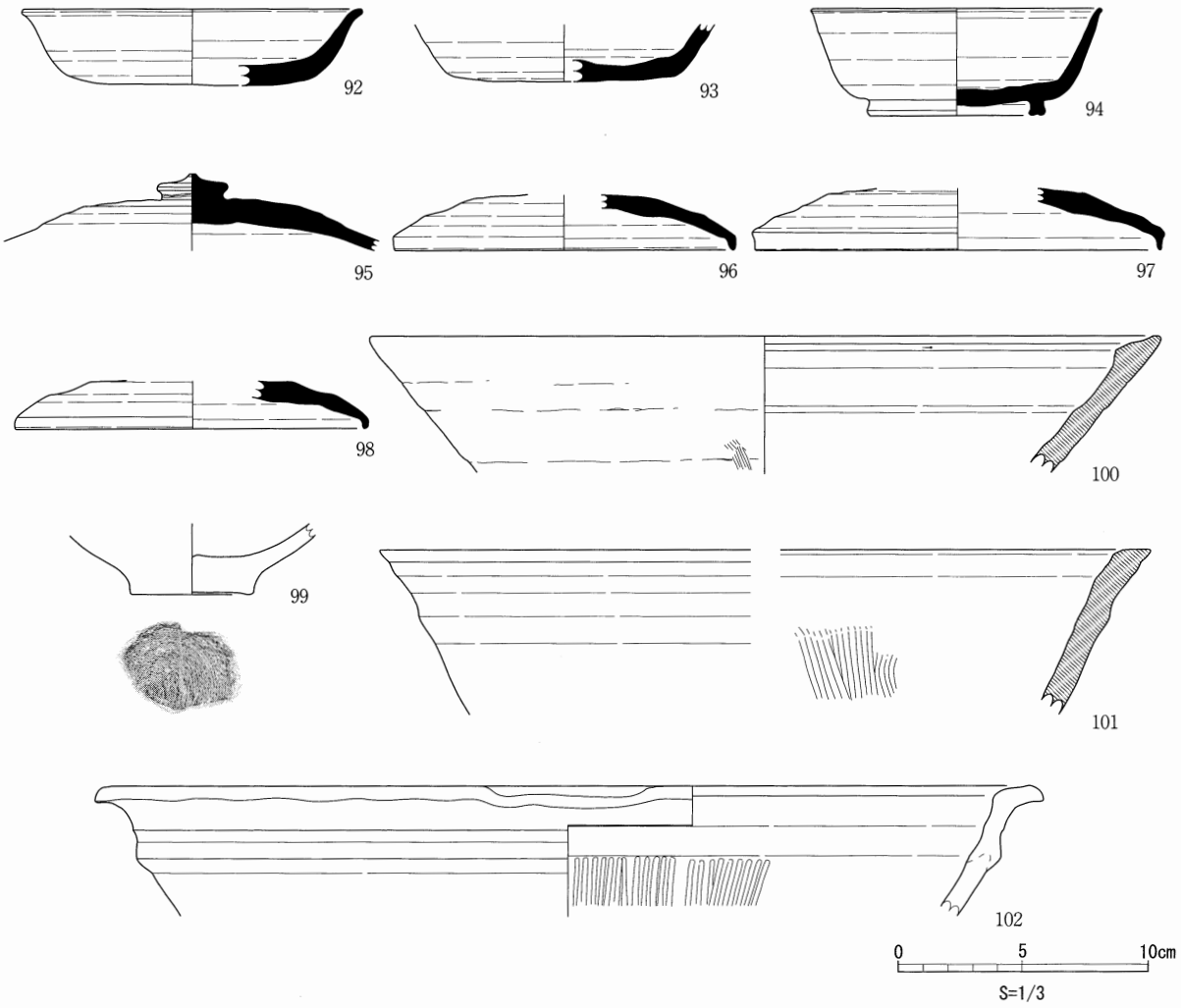


遺物実測図　１区　溝ＳＤ203、ＳＤ204〔４〕、ＮＲ01出土遺物　　縮尺１／３・２／３

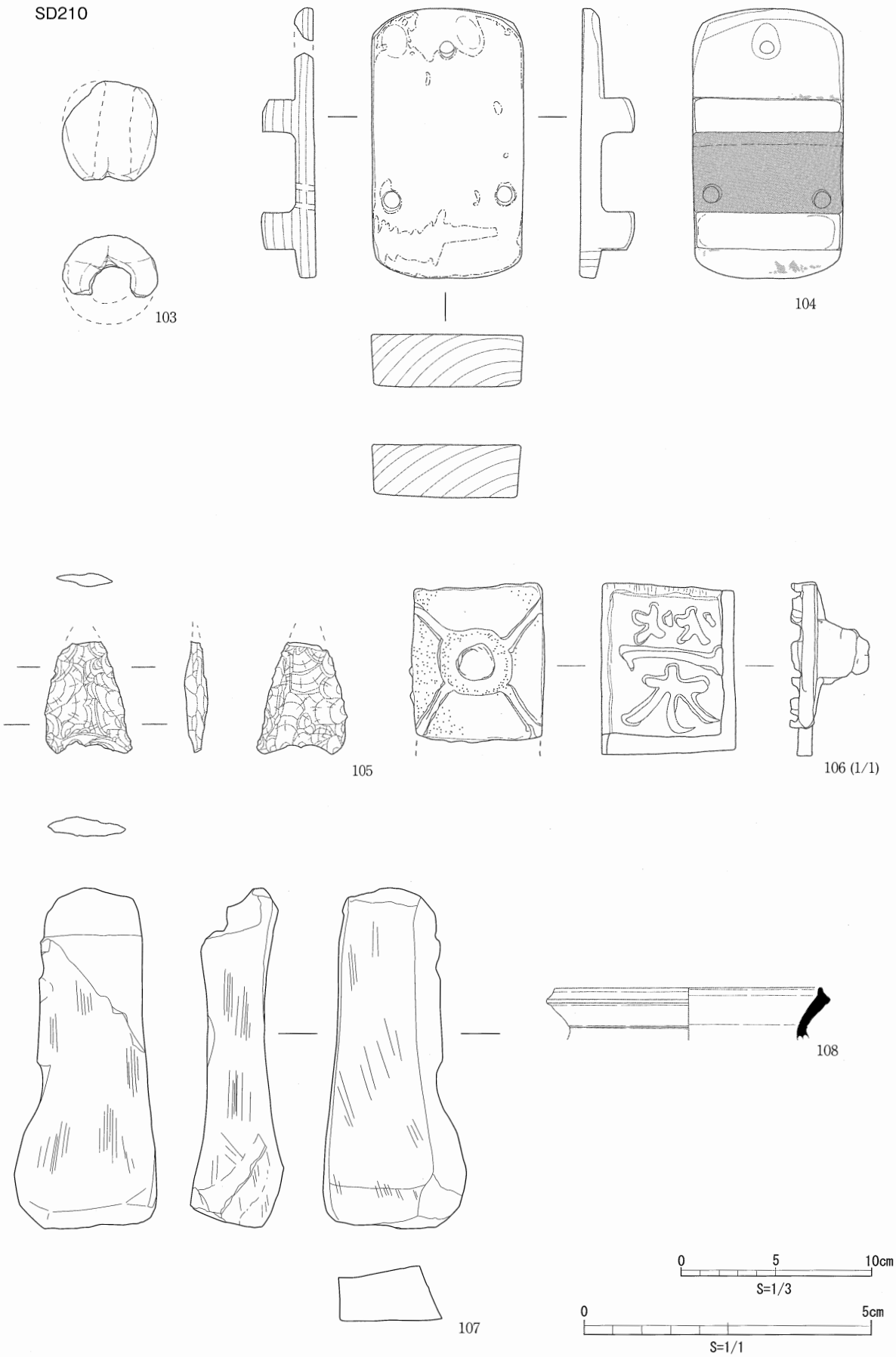
SD206



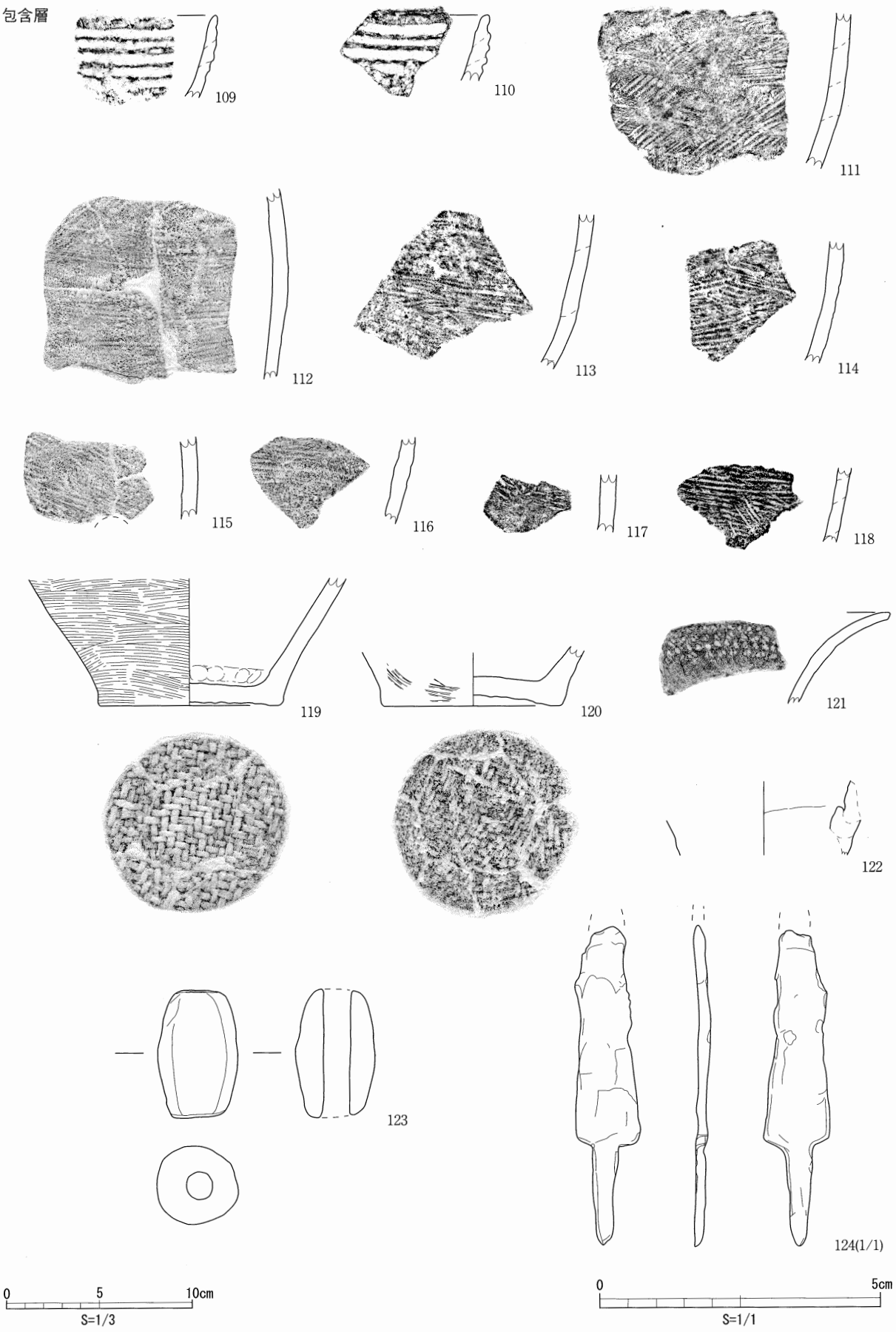
SD210



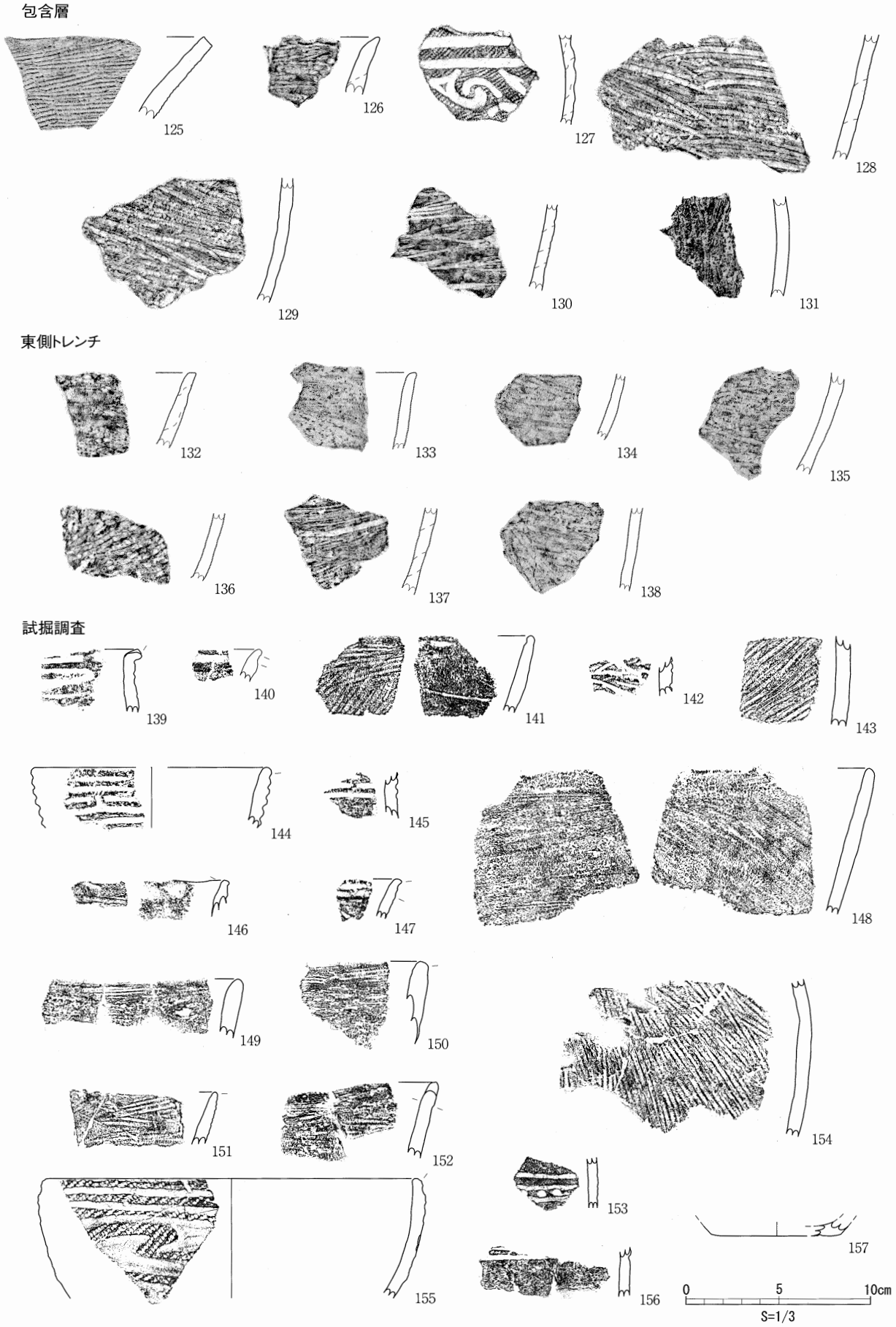
遺物実測図　１区　溝ＳＤ206、ＳＤ210〔１〕出土遺物　　縮尺１／３・１／４



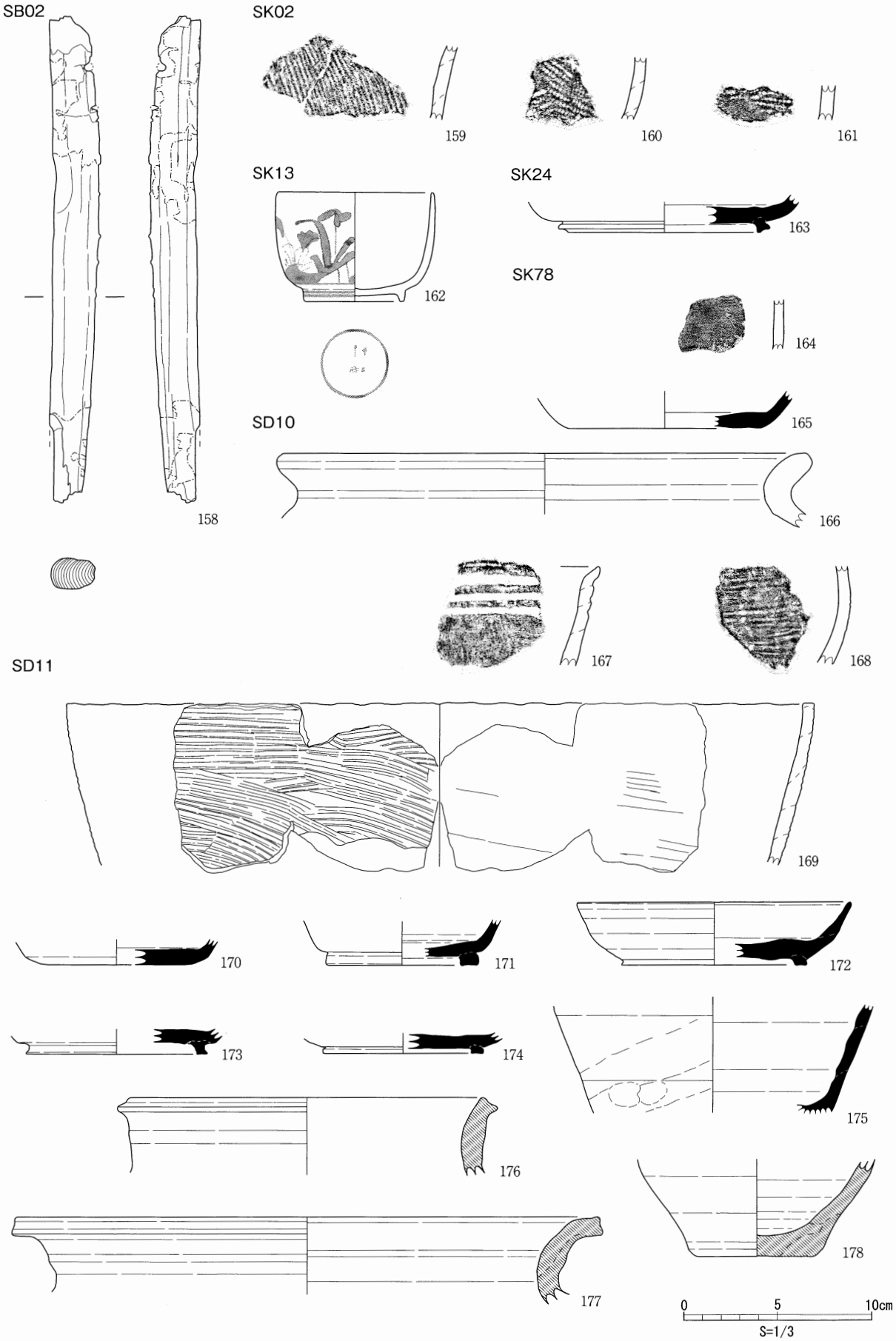
遺物実測図　１区　溝ＳＤ210〔２〕、ＳＤ214・237、ＳＸ505、ＳＰ1119出土遺物　　縮尺１／１・１／３



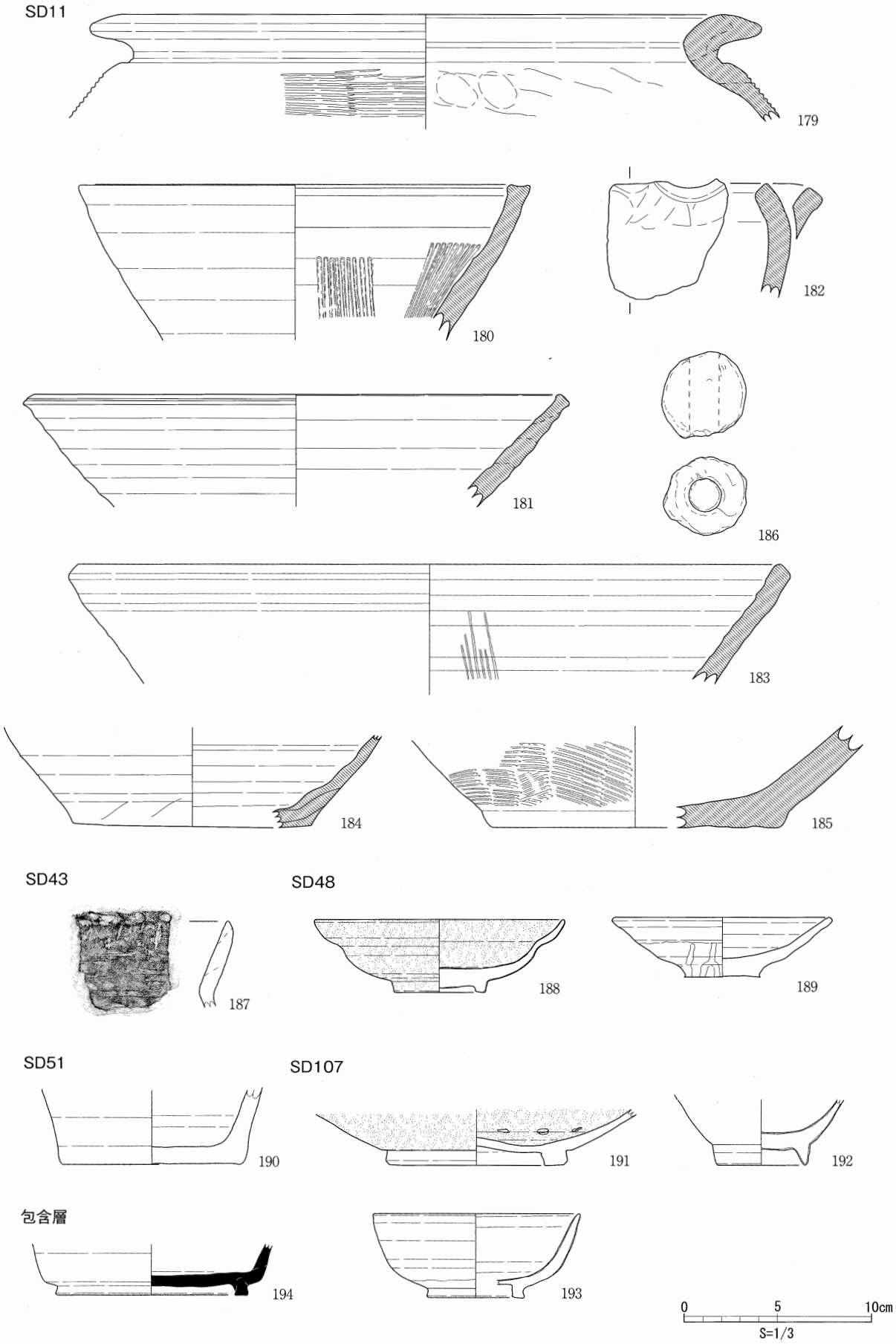
遺物実測図　１区　遺構外出土遺物〔１〕　　縮尺１／１・１／３



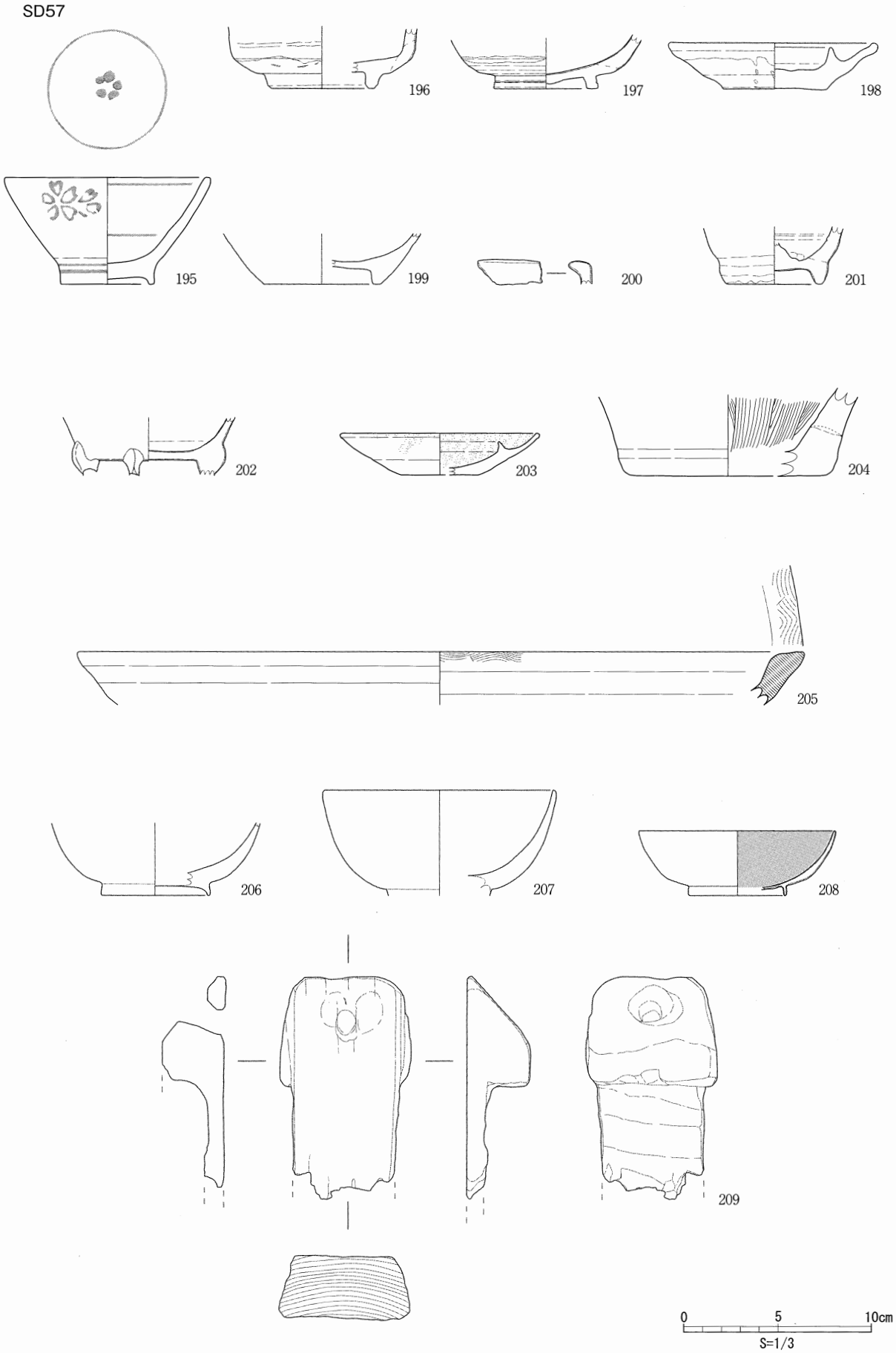
遺物実測図　１区　遺構外出土遺物〔２〕、下層トレンチ、試掘ＳＸ07他出土遺物　　縮尺１／３



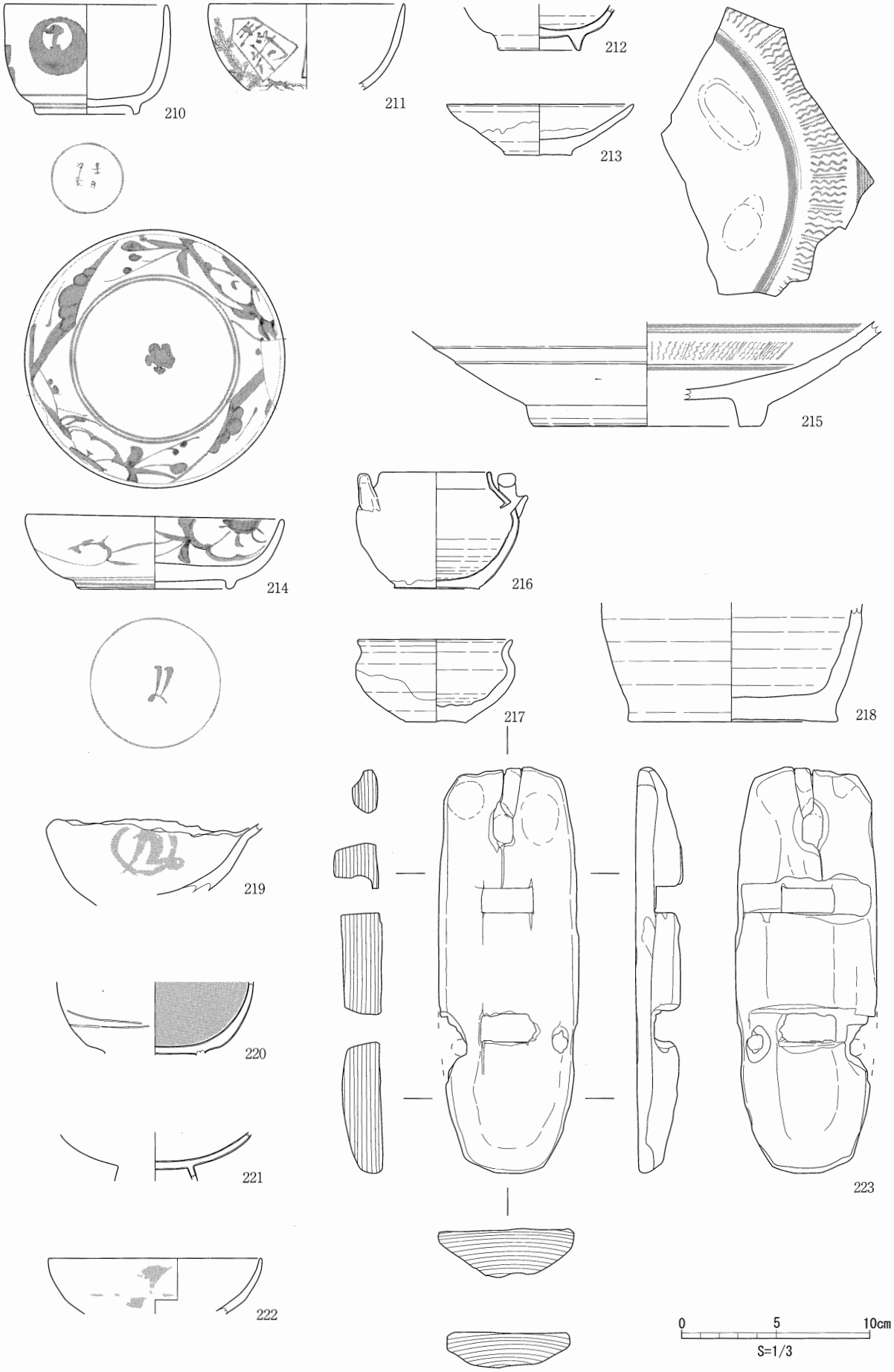
遺物実測図　２区　建物・溝出土遺物　　縮尺１／３



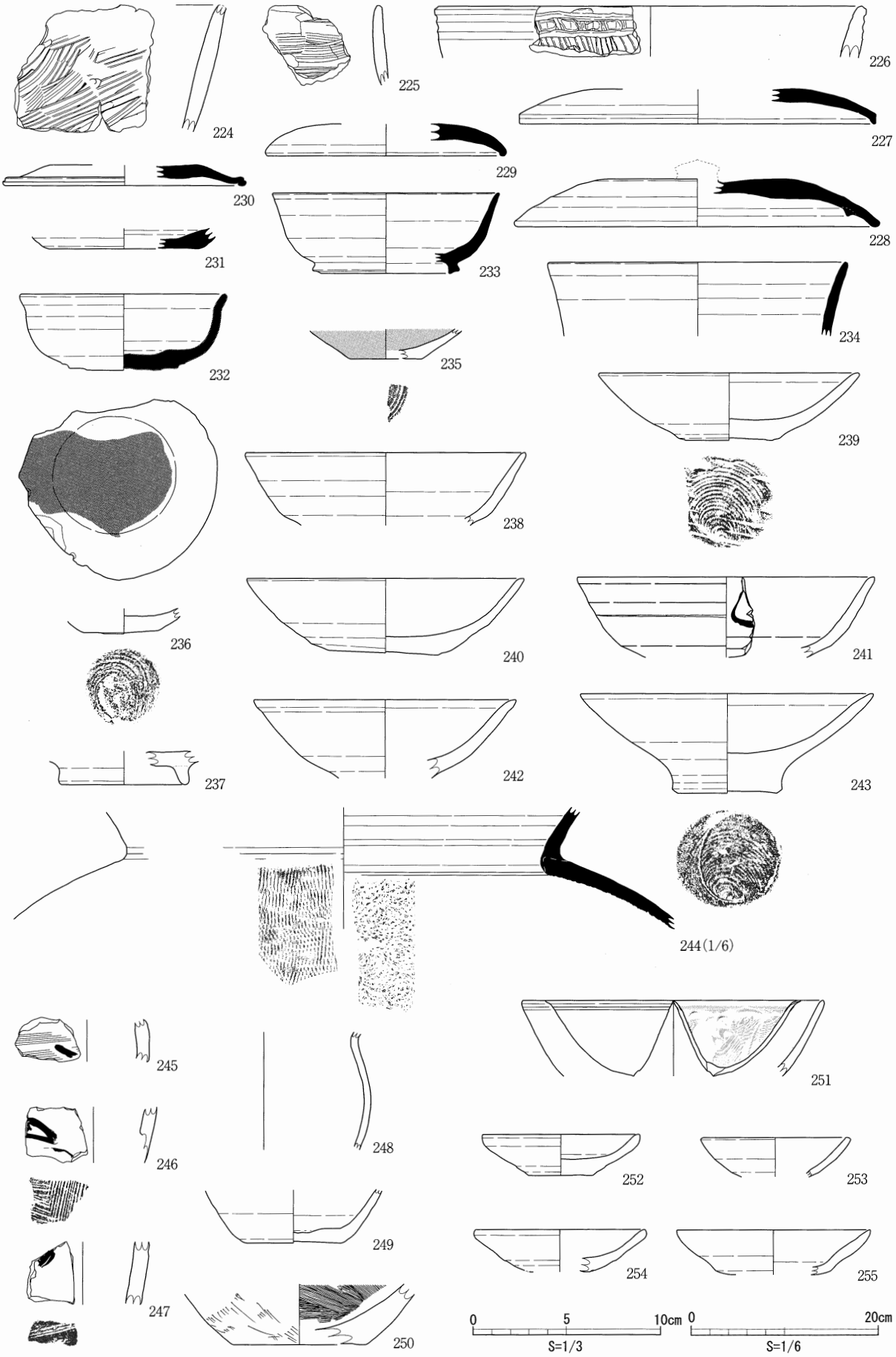
遺物実測図　２区　溝ＳＤ11・43・51・107出土遺物　　縮尺１／３



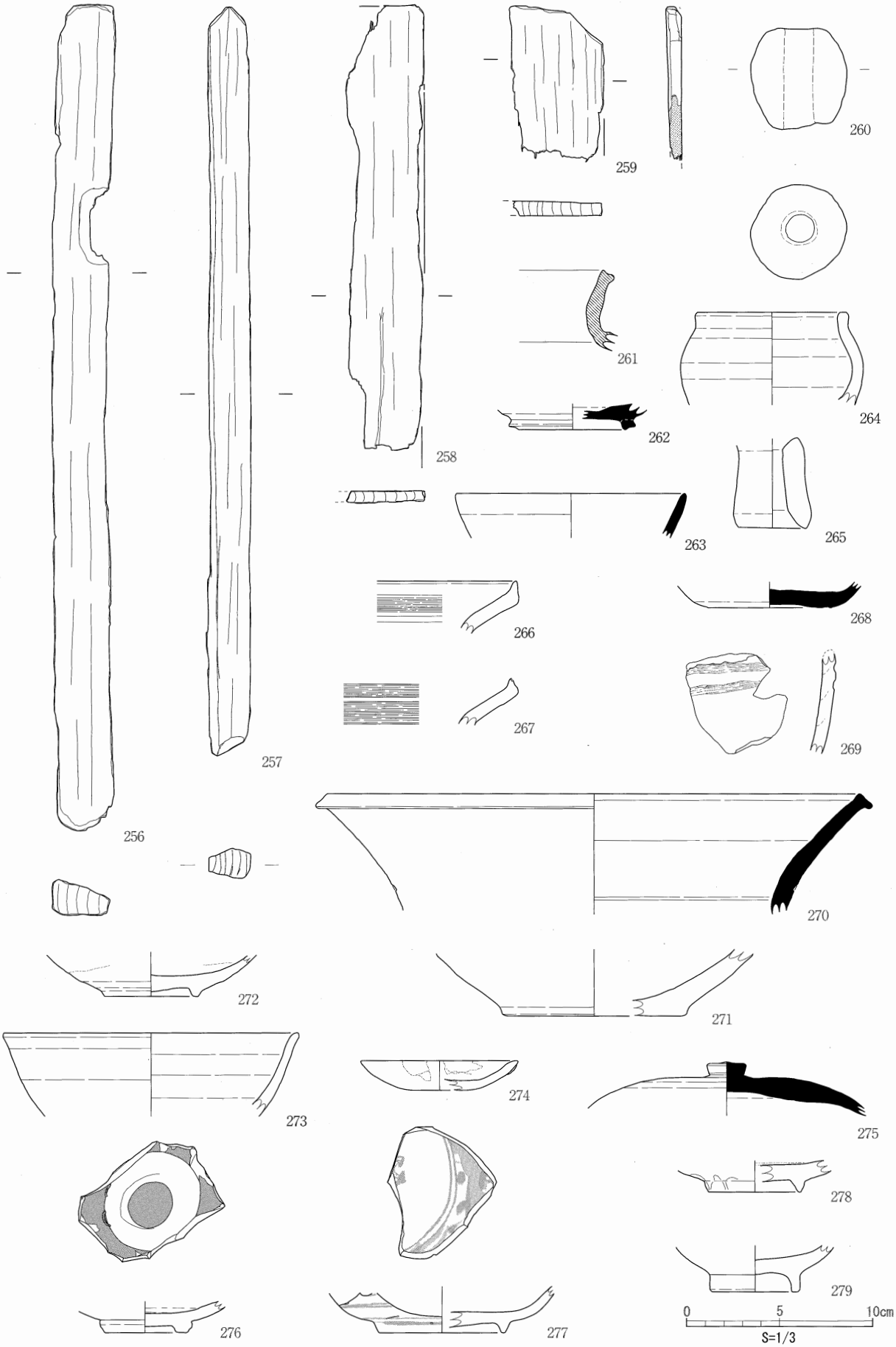
遺物実測図　２区　溝ＳＤ57出土遺物　　縮尺１／３



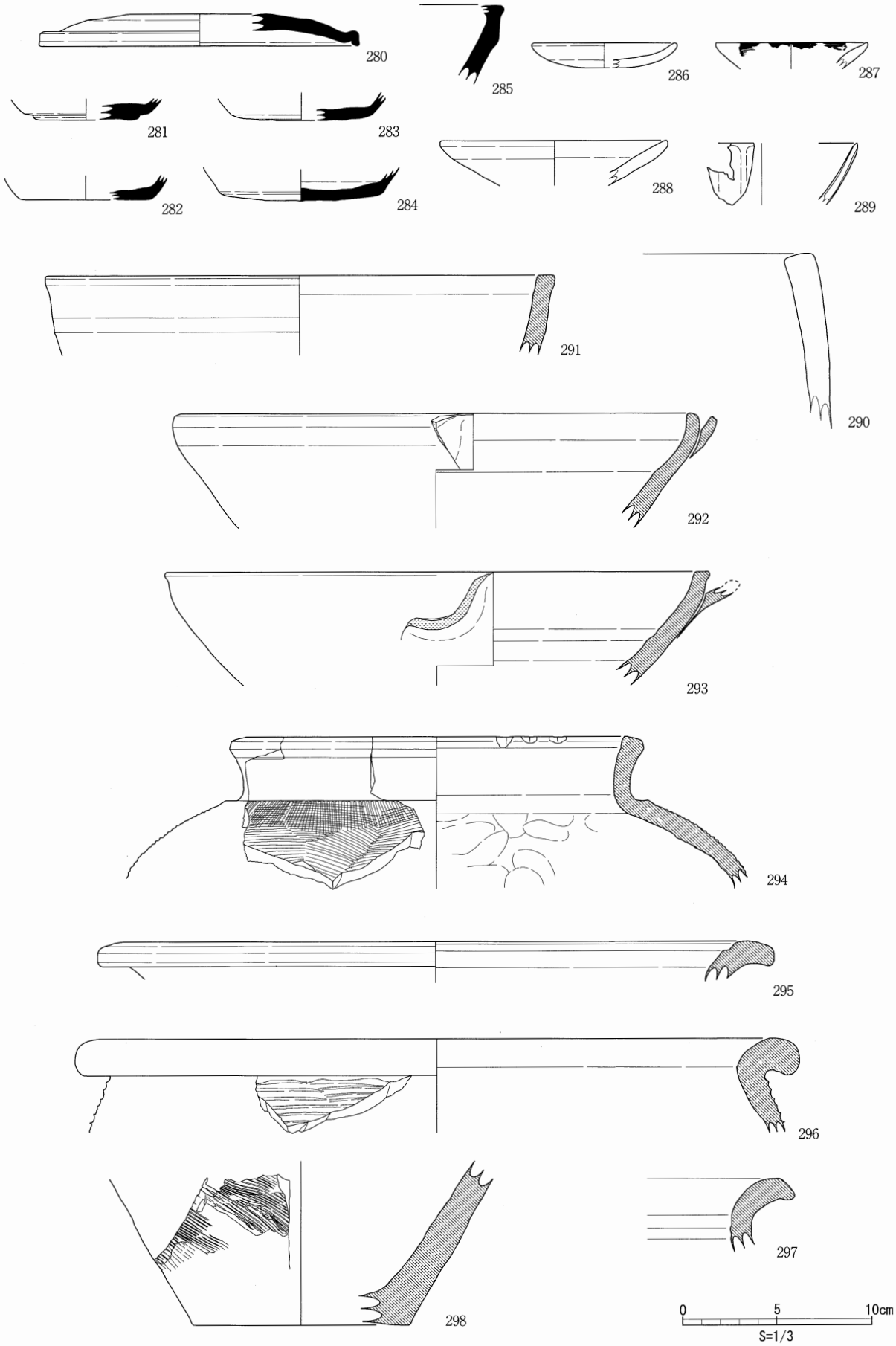
遺物実測図　２区　不明土坑ＳＸ03出土遺物　　縮尺１／３



遺物実測図　３区　溝ＳＤ14出土遺物　　縮尺１／３・１／６

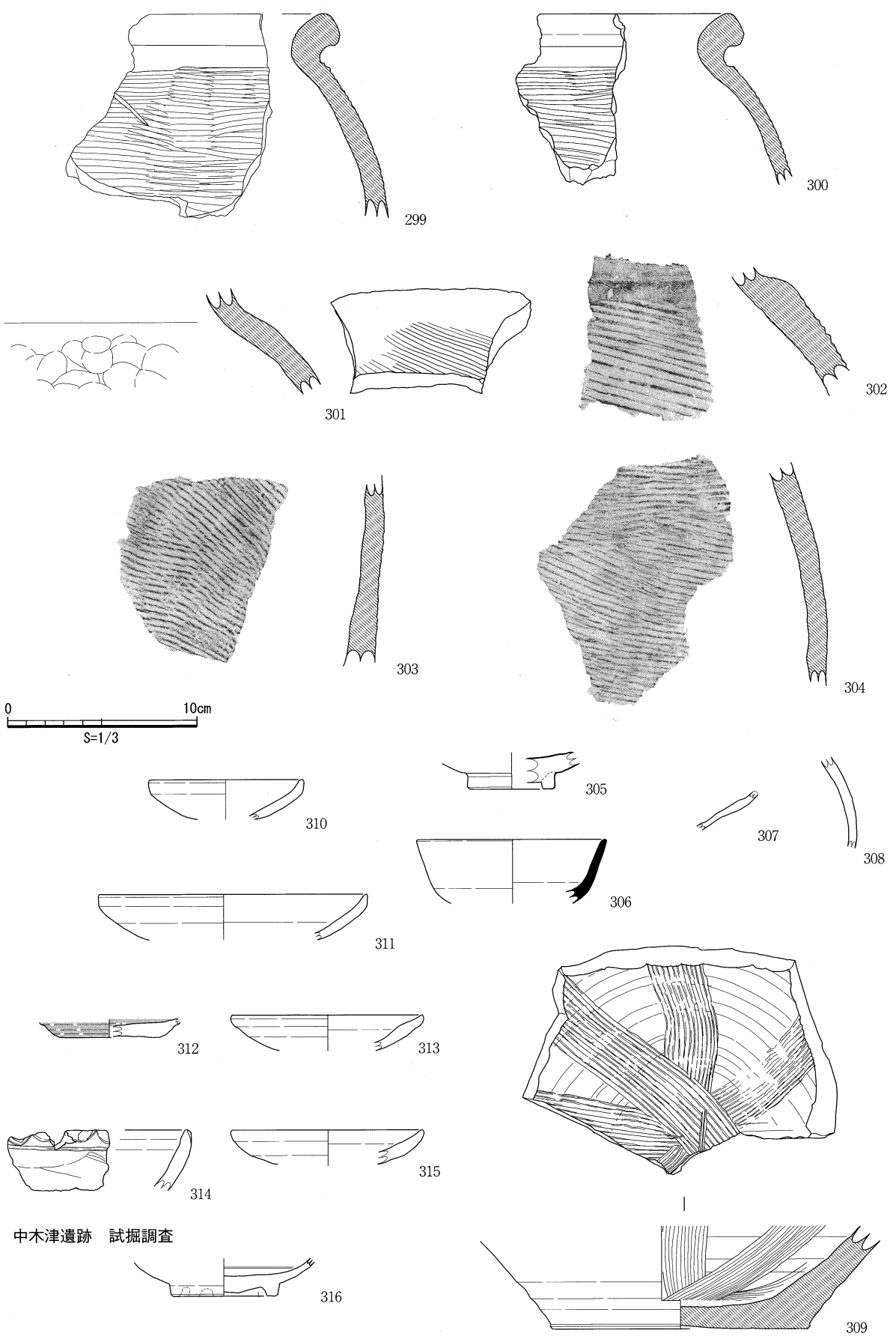


遺物実測図　３区　柱穴ＳＰ43・50・51、土坑ＳＫ７・27、溝ＳＤ６・18・21・33出土遺物　　縮尺１／３



遺物実測図　区画整理区　溝ＳＤ65〔１〕出土遺物　　縮尺１／３

図面六〇　遺物実測図　西木津遺跡

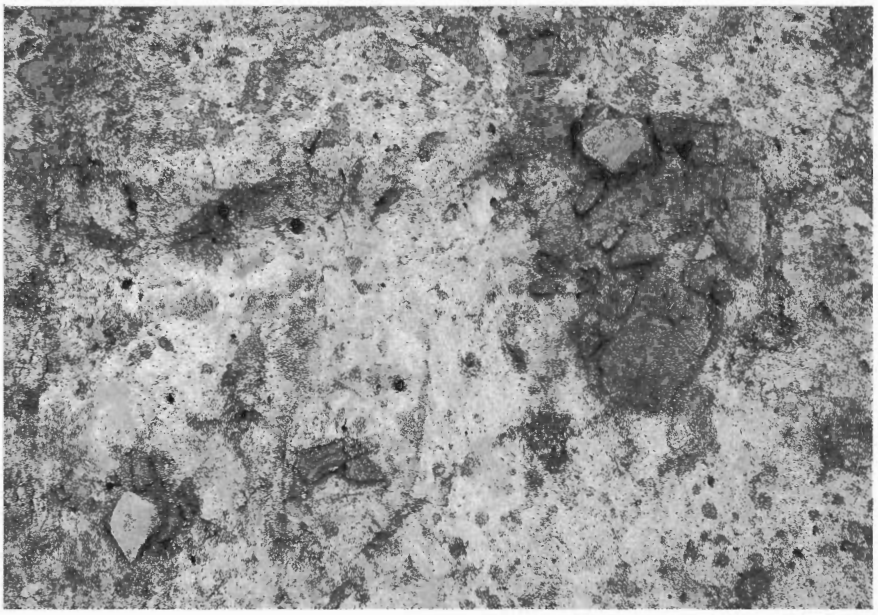


遺物実測図　区画整理区　溝ＳＤ65〔２〕、他柱穴・土坑・溝出土遺物　　縮尺１／３

図　　版

1．D区　第４トレンチ北東
遺構検出状況（南）

2．D区　第４トレンチ
土坑ＳＸ07検出状況（北）

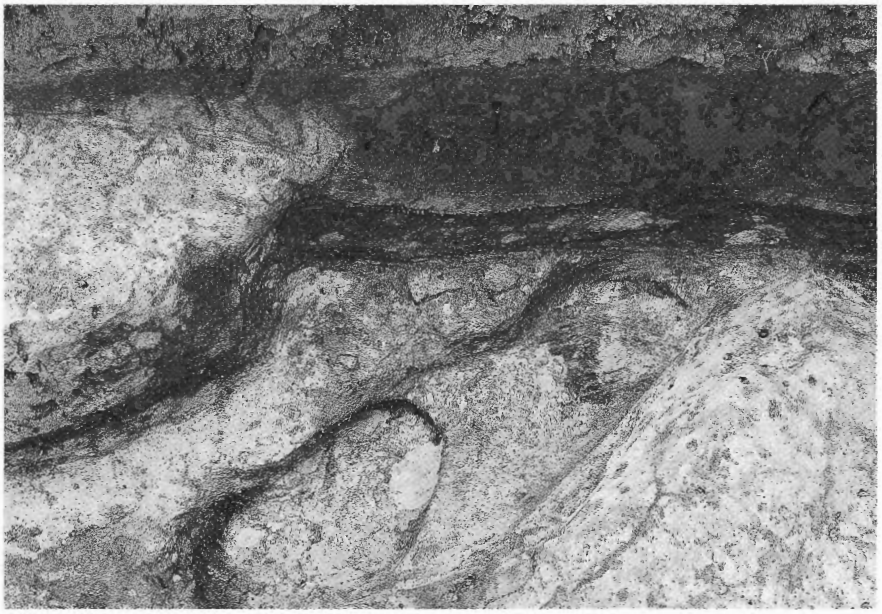


3．D区　第４トレンチ
土坑ＳＸ07
縄文土器出土状況（南）

図版〇二　遺構写真　木津神社遺跡（中木津遺跡）試掘調査

1．D区　第８トレンチ
土層確認断面（西）

2．D区　第８トレンチ
縄文土器出土状況１（西）



3．D区　第８トレンチ
縄文土器出土状況２（西）

１．遺跡遠景（南）

２．区画整理１－１区全景（南東）

図版〇四　遺構写真　中木津遺跡区画整理１区

１．１－２区全景（南）

２．１－３区西側全景（北西）

1．掘立柱建物ＳＢ01全景（南）

2．掘立柱建物ＳＢ02全景（南東）

1．掘立柱建物ＳＢ03・柵址ＳＡ01・02全景（南）

2．溝ＳＤ210全景（北）

1．溝ＳＤ201全景（東）

2．溝ＳＤ206全景（南）

1．溝ＳＤ204南側全景（北西）

2．溝ＳＤ204西側全景（南西）

1．溝ＳＤ204遺物出土状況（西）

2．溝ＳＤ204遺物出土状況（北西）

3．溝ＳＤ204遺物出土状況（南）

1．調査区北側垂直写真（上が北東）

2．調査区南側垂直写真（上が北西）

1．掘立柱建物SB02～04南側拡張部全景（北東）

2．掘立柱建物SB01～04全景（南東）

図版一二　遺構写真　中木津遺跡　区画整理2区

1．掘立柱建物ＳＢ01
完掘状況（西）

2．掘立柱建物ＳＢ02
完掘状況（西）

3．掘立柱建物ＳＢ02
拡張部完掘状況（西）

1．掘立柱建物ＳＢ03
完掘状況（西）

2．掘立柱建物ＳＢ04
完掘状況（西）

3．掘立柱建物ＳＢ05
完掘状況（北）

図版一四　遺構写真　中木津遺跡　区画整理２区

1．掘立柱建物ＳＢ06
完掘状況（北）

2．掘立柱建物ＳＢ07
完掘状況（南）

3．溝ＳＤ11完掘状況
（南）

1．溝ＳＤ43完掘状況
（東）

2．溝ＳＤ43分岐部
完掘状況（南）

3．溝ＳＤ48全景
（北）

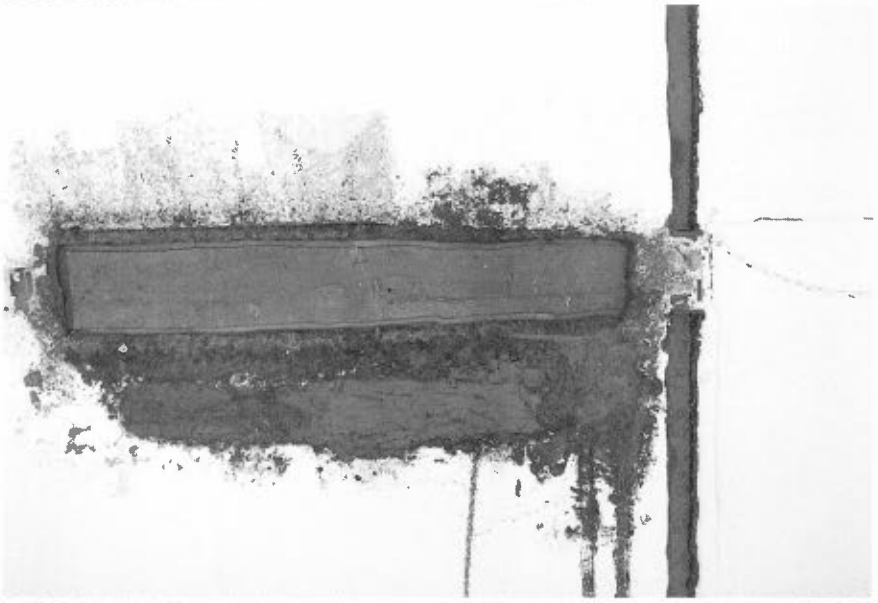
図版一六　遺構写真　中木津遺跡　区画整理2区

1．調査区全景
（南西）

2．A地点垂直写真
（上が南西）

3．調査区北側全景
（北東）

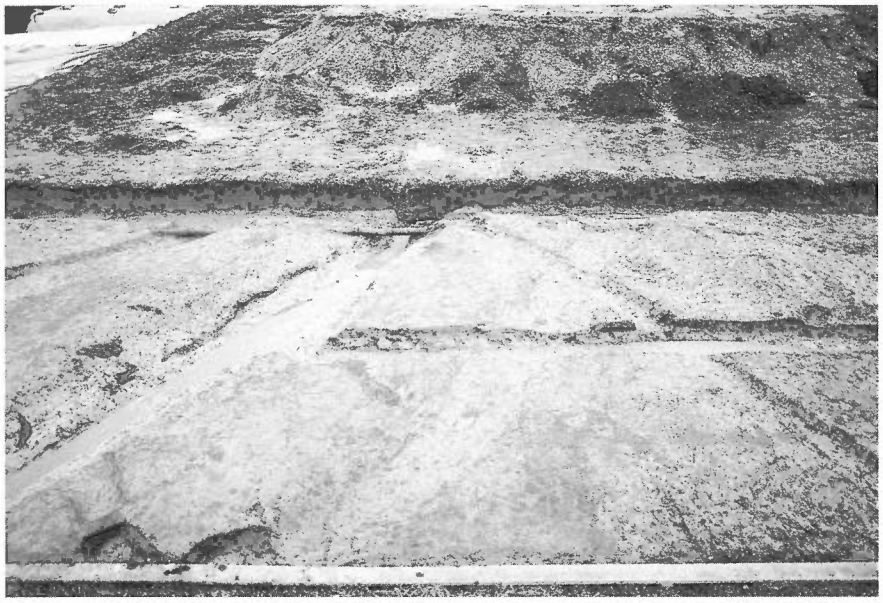
1．B地点垂直写真
（上が北東）



2．C地点垂直写真
（上が南西）

3．E地点垂直写真
（上が南東）

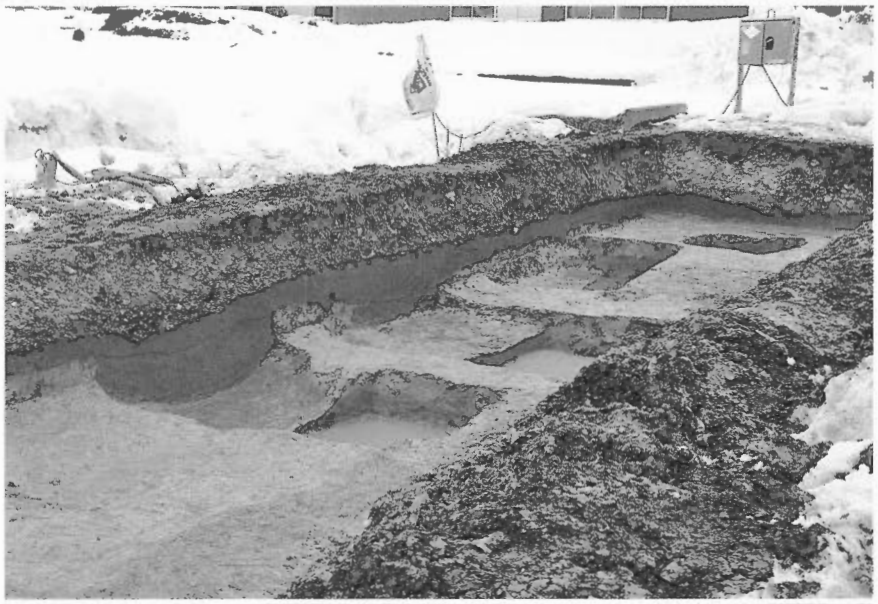
1．Ｃ地点掘立柱建物ＳＢ01
完掘状況（北東）



2．Ａ地点溝ＳＤ４・５・６
完掘状況（南西）

3．Ａ地点溝ＳＤ16・17
完掘状況（南）

1．Ｂ地点溝ＳＤ14・21
完掘状況（南西）

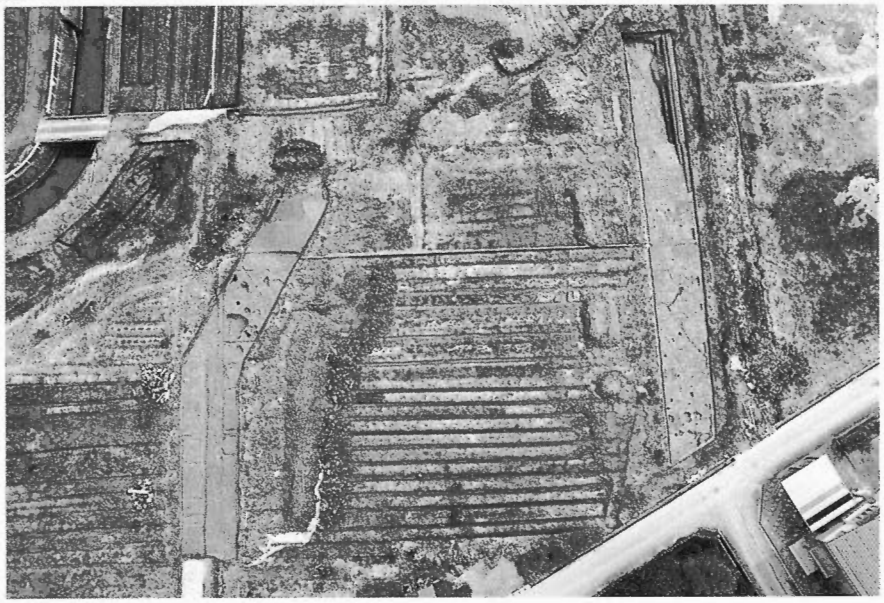


2．Ｅ地点土坑ＳＫ27・28・29
完掘状況（北東）

3．Ｅ地点北壁土層断面
（南）

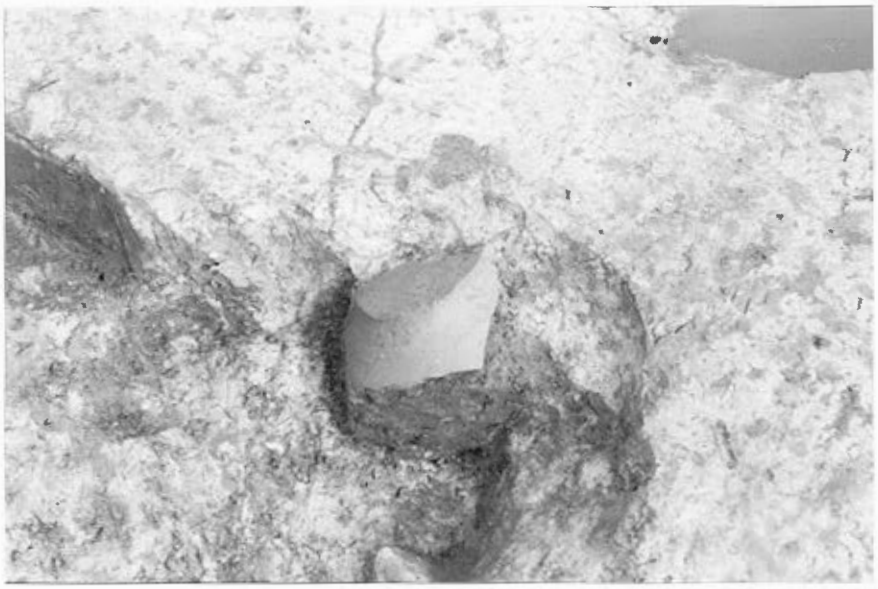
図版二〇　遺構写真　西木津遺跡　区画整理区

1．遺跡遠景（北）



2．F・G地点垂直写真
（上が南東）

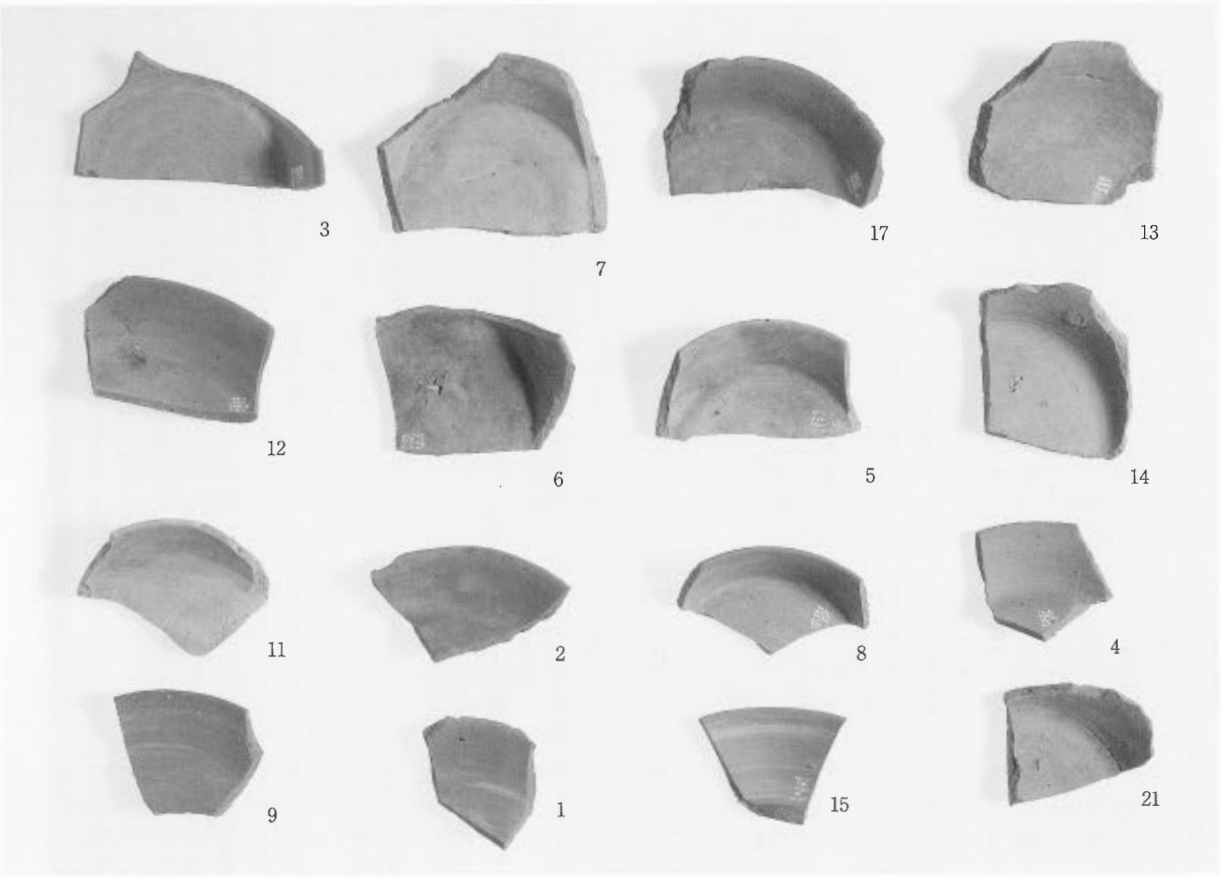
3．G地点土坑SK39完掘状況
（南）

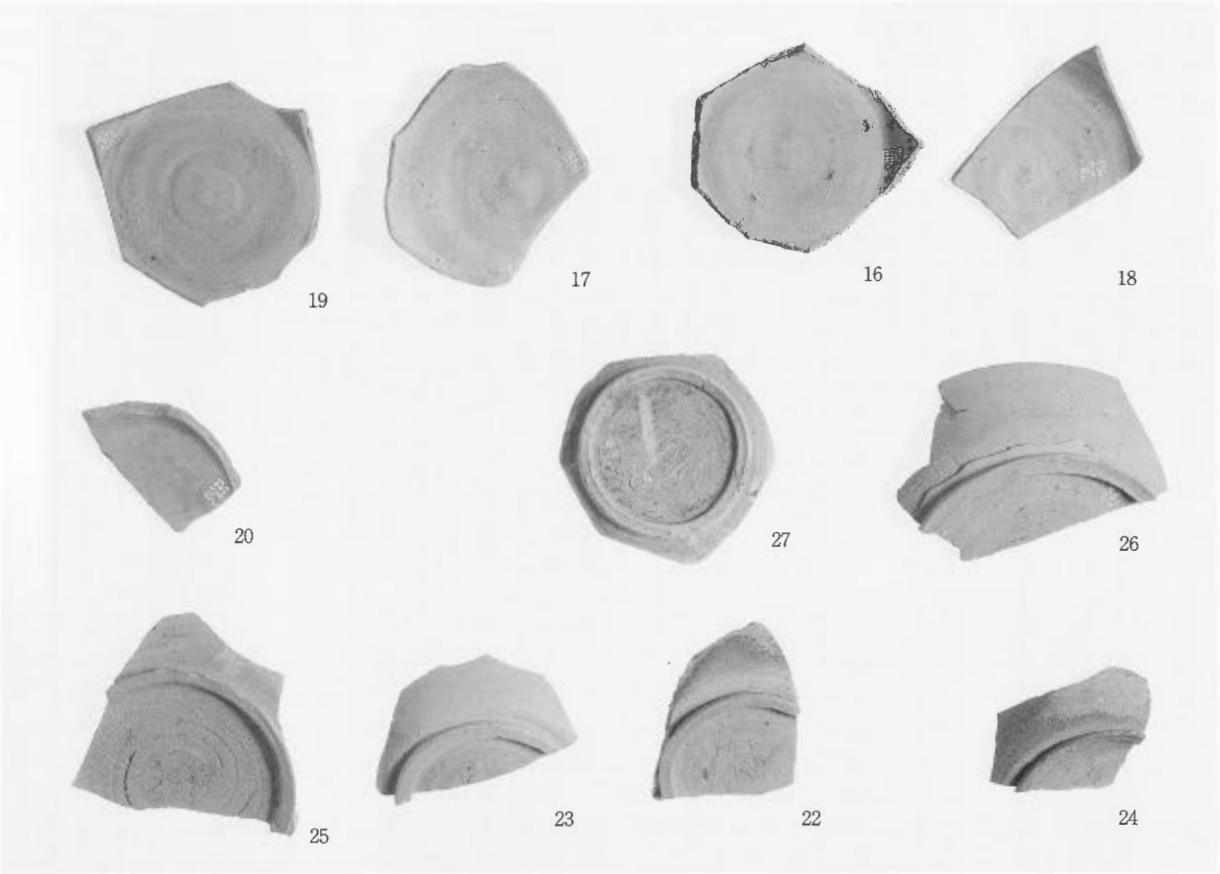


1．Ｆ地点土坑ＳＫ52
遺物出土状況（南）

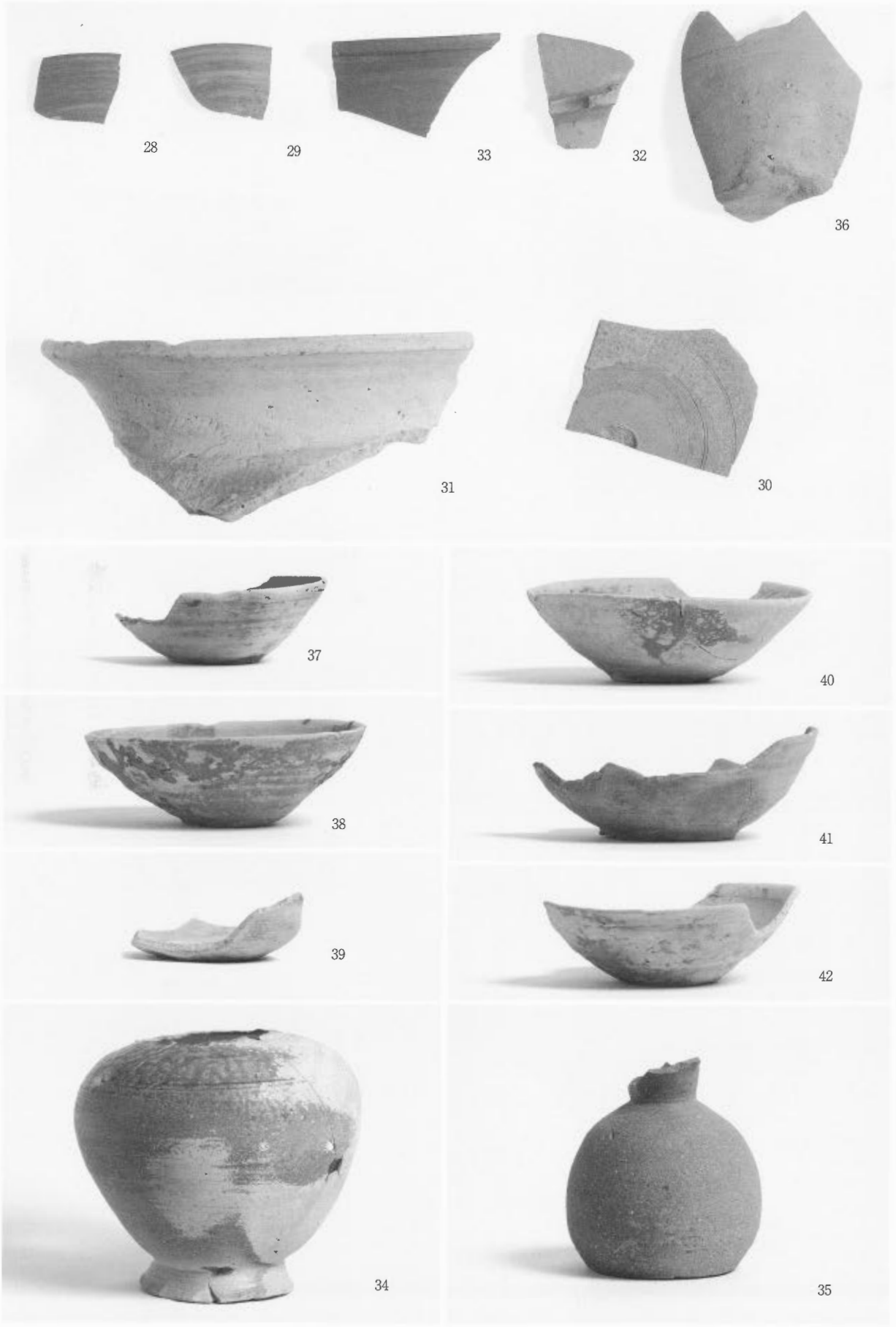
2．Ｆ地点溝ＳＤ65完掘状況
（西）

3．Ｆ地点溝ＳＤ65
遺物出土状況（北東）





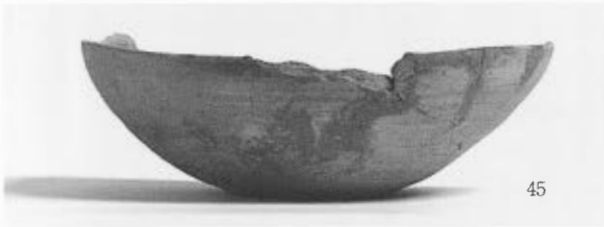
土器類　古代



土器類　古代

43

44


45

46

47

48

49

50

51

52

54

55

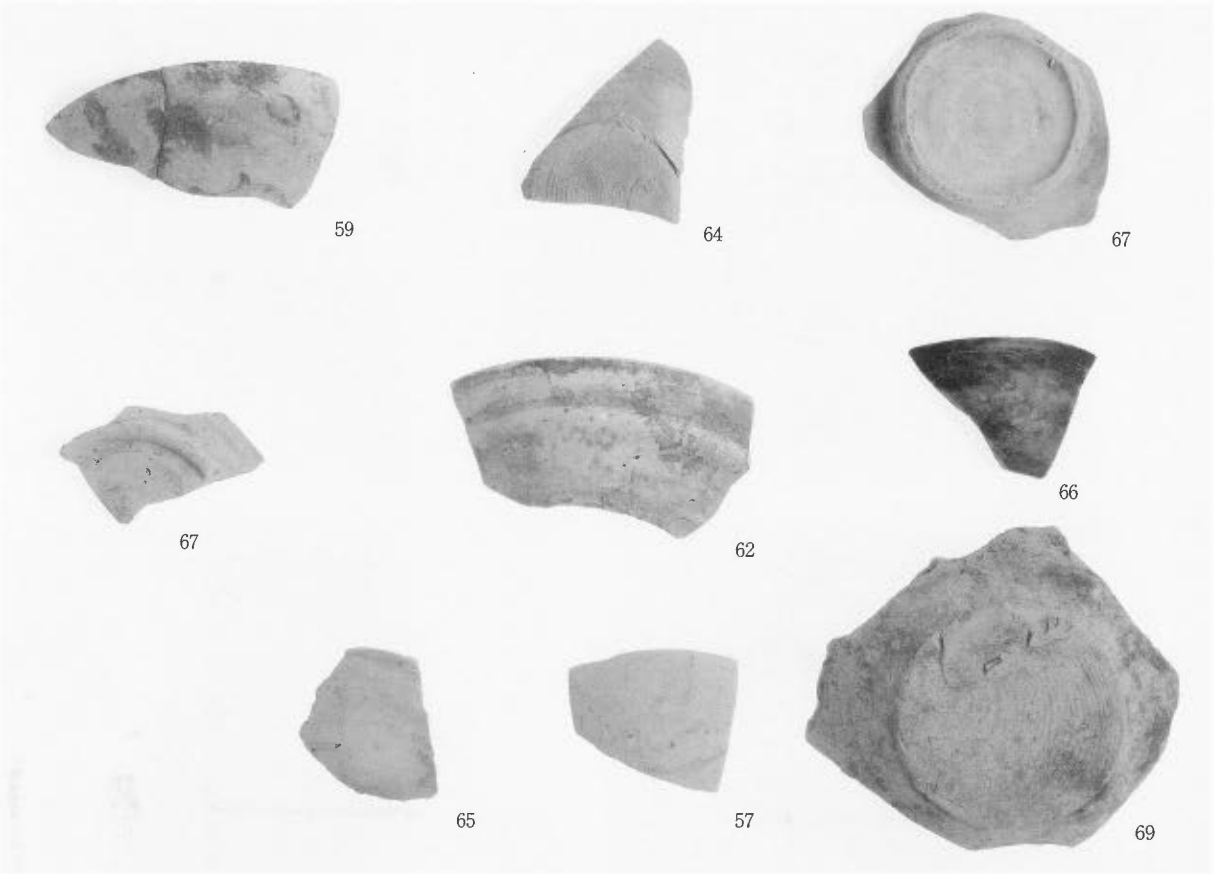
60

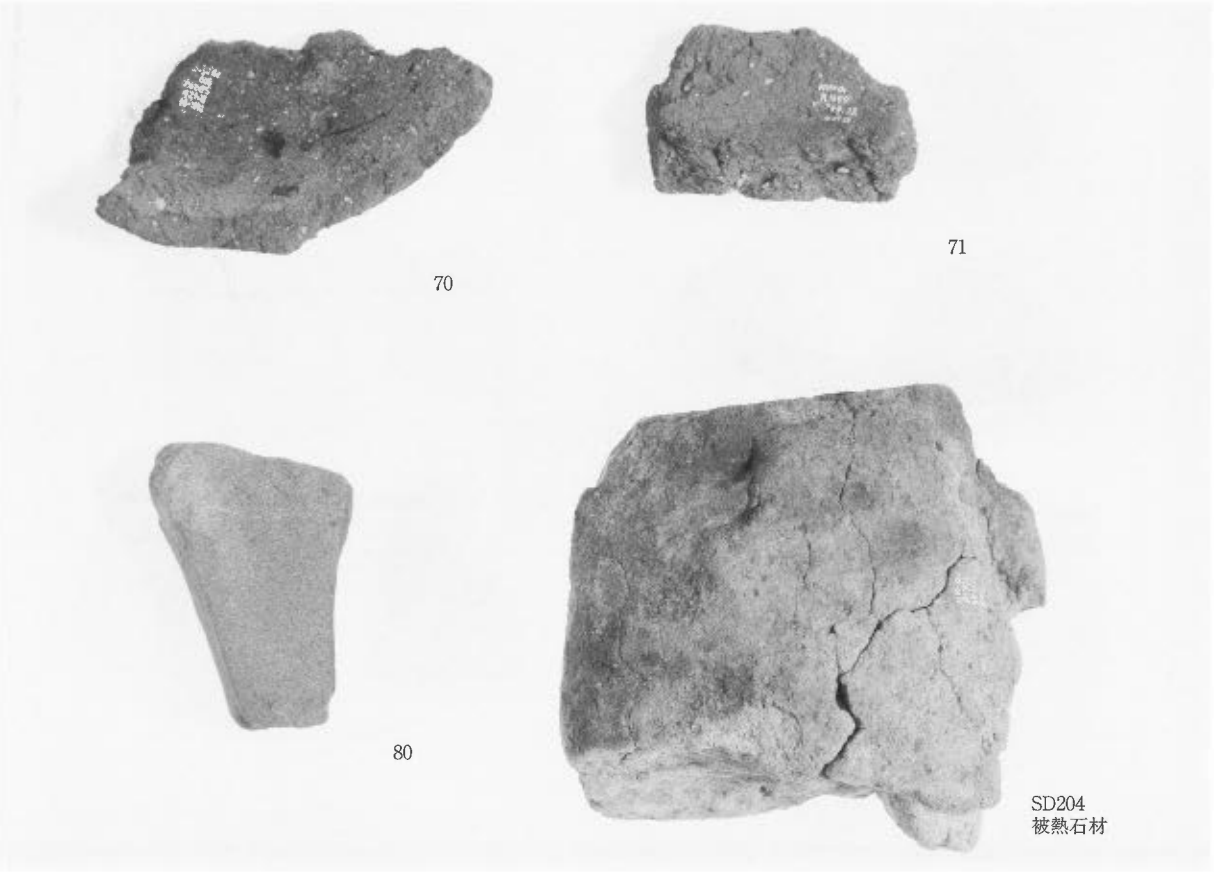
67

82

108

土器・陶器類　古代・中世

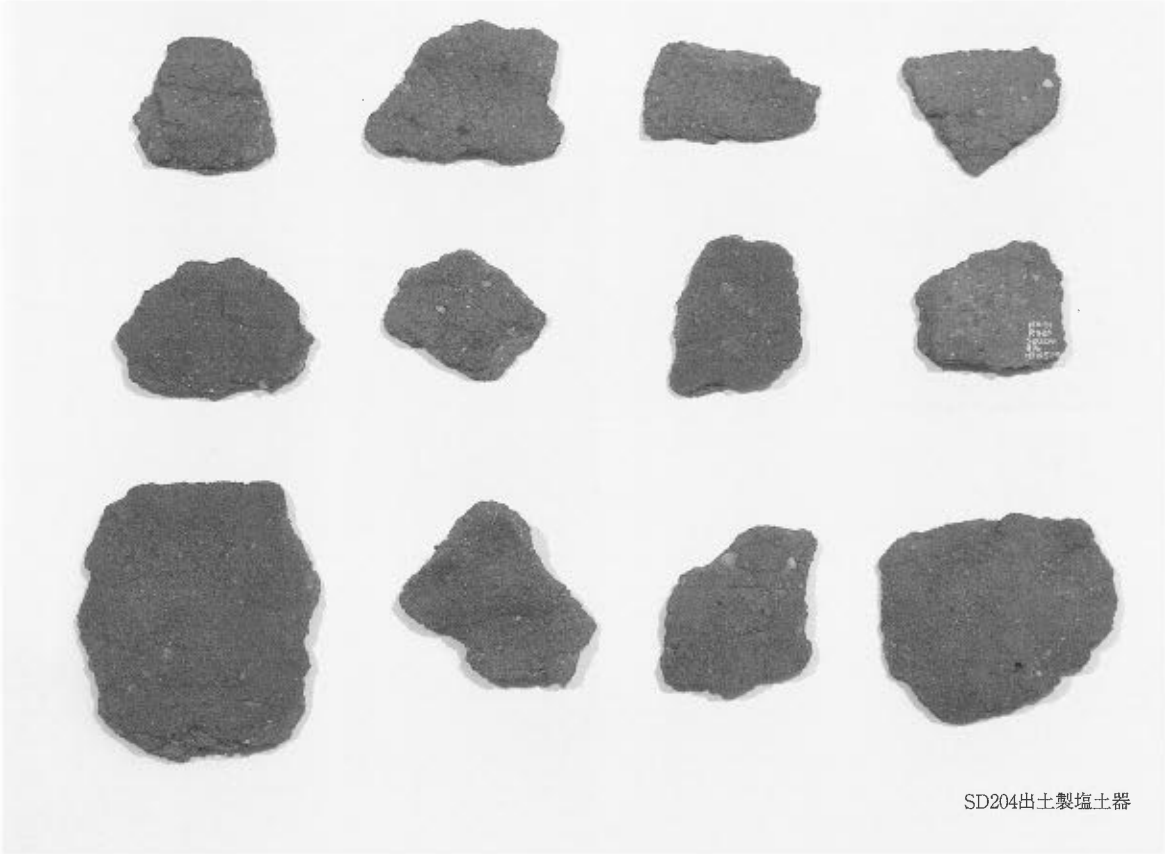

59
64
67
67
62
66
65
57
69


70
71
80
SD204
被熱石材

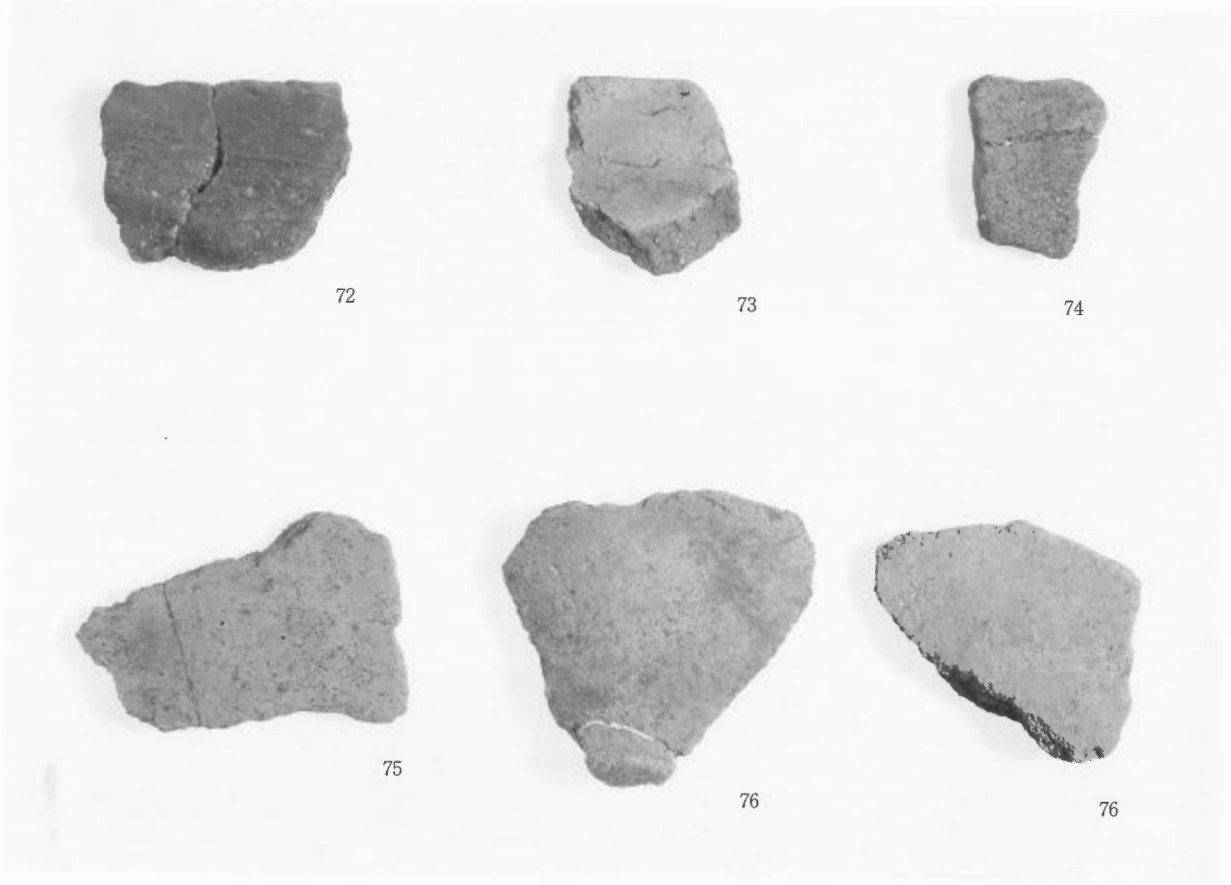
37

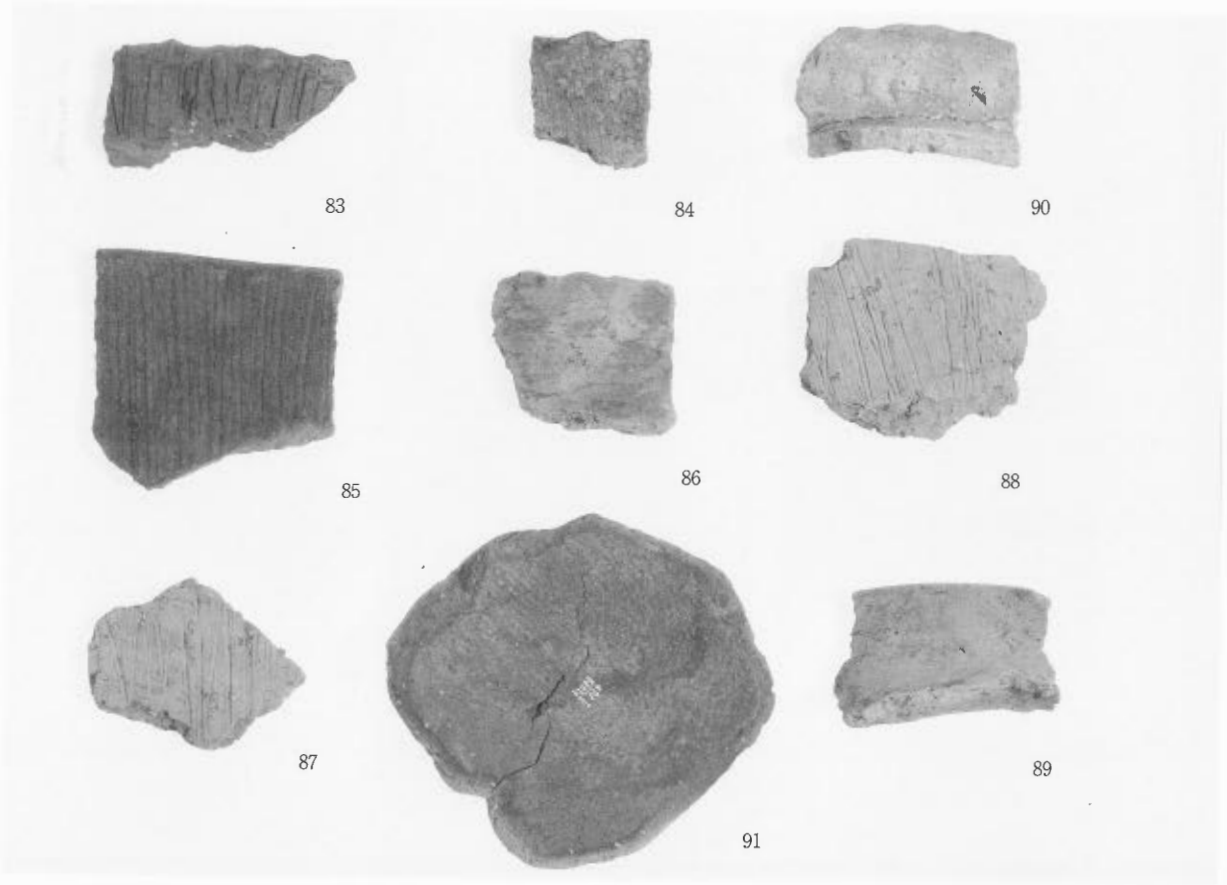
27

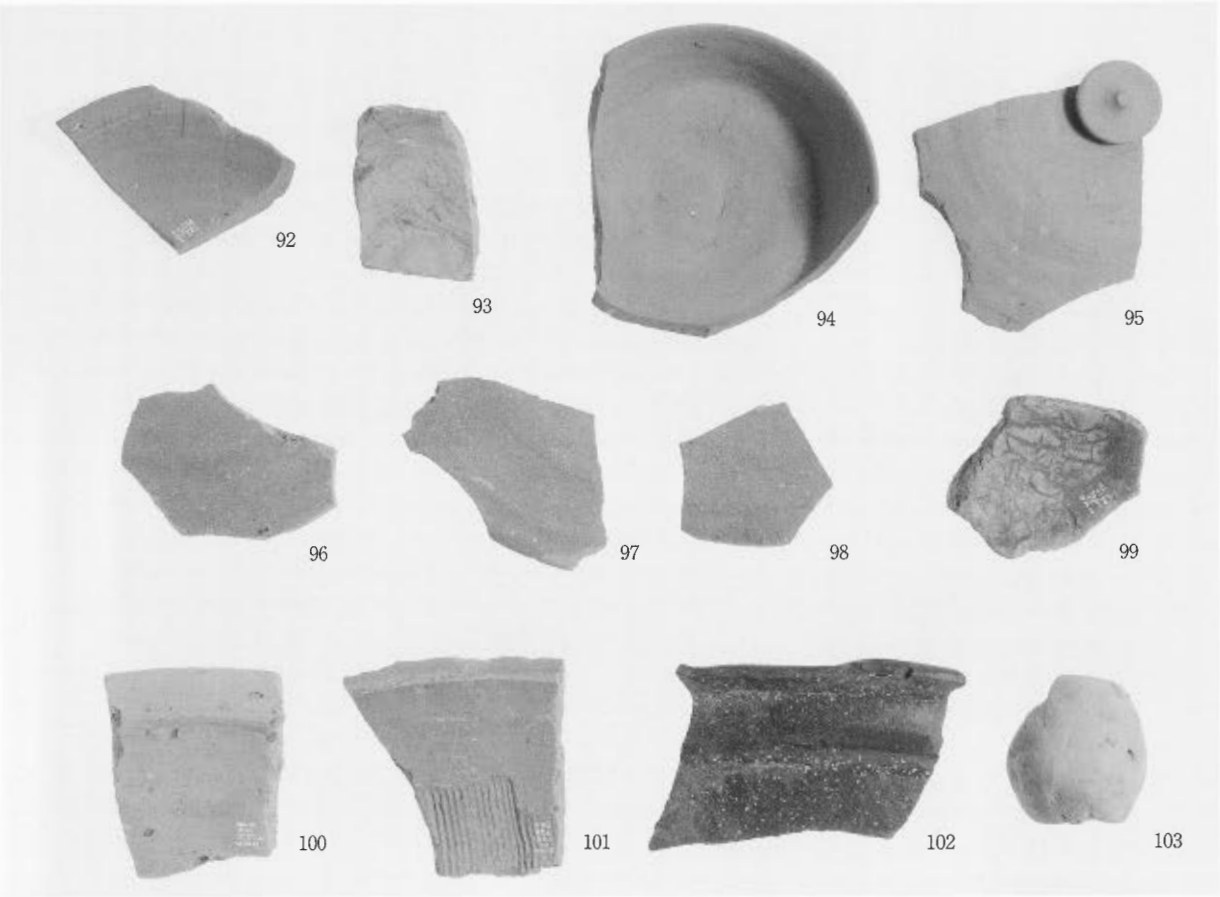
65

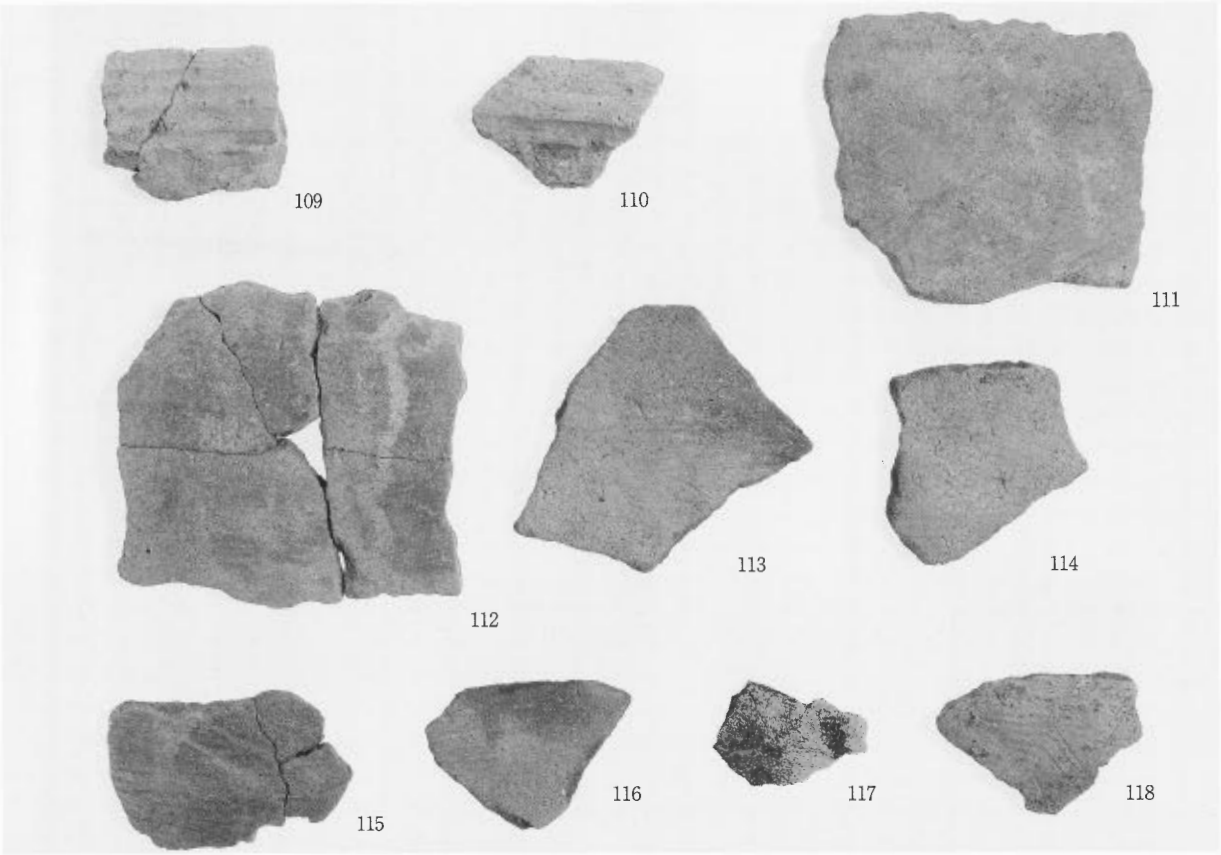


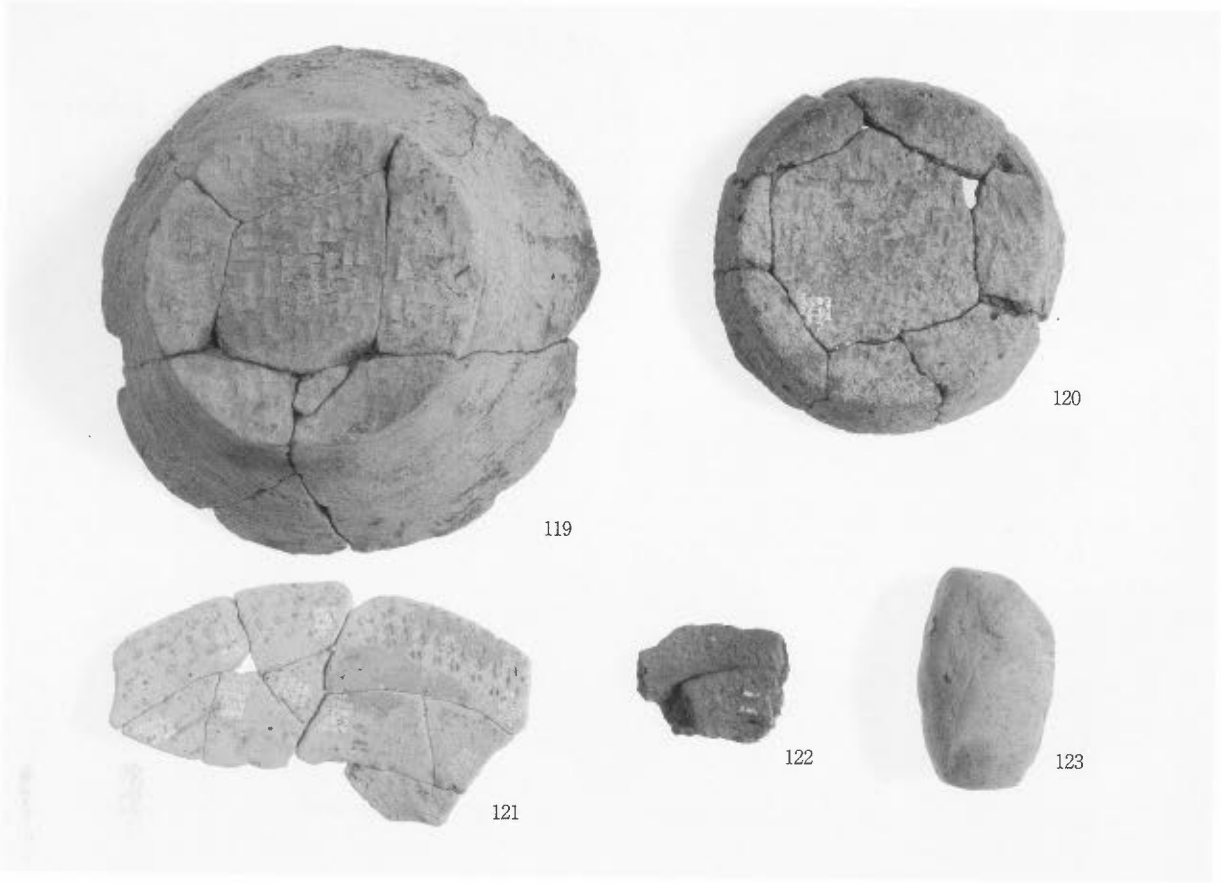
SD204出土製塩土器

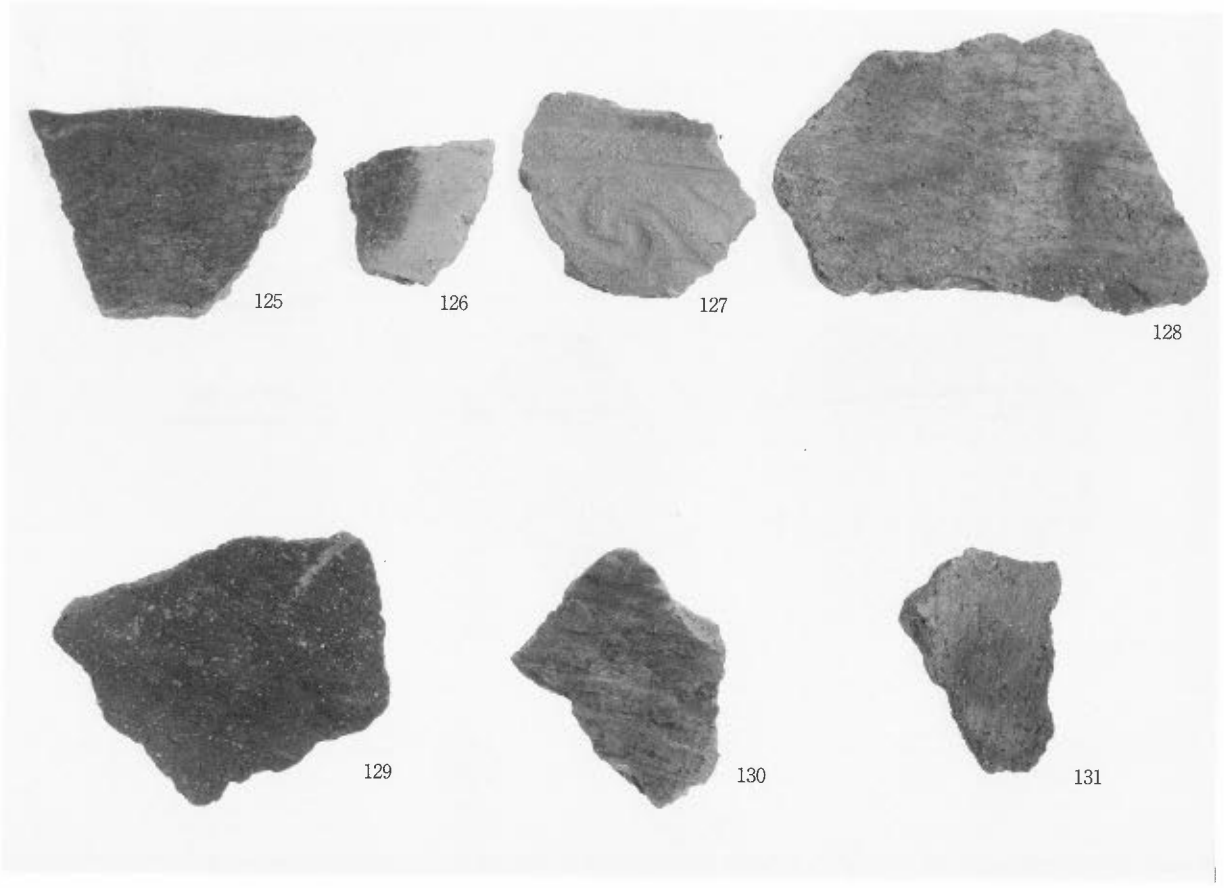

72
73
74
75
76
76


83
84
90
85
86
88
87
91
89

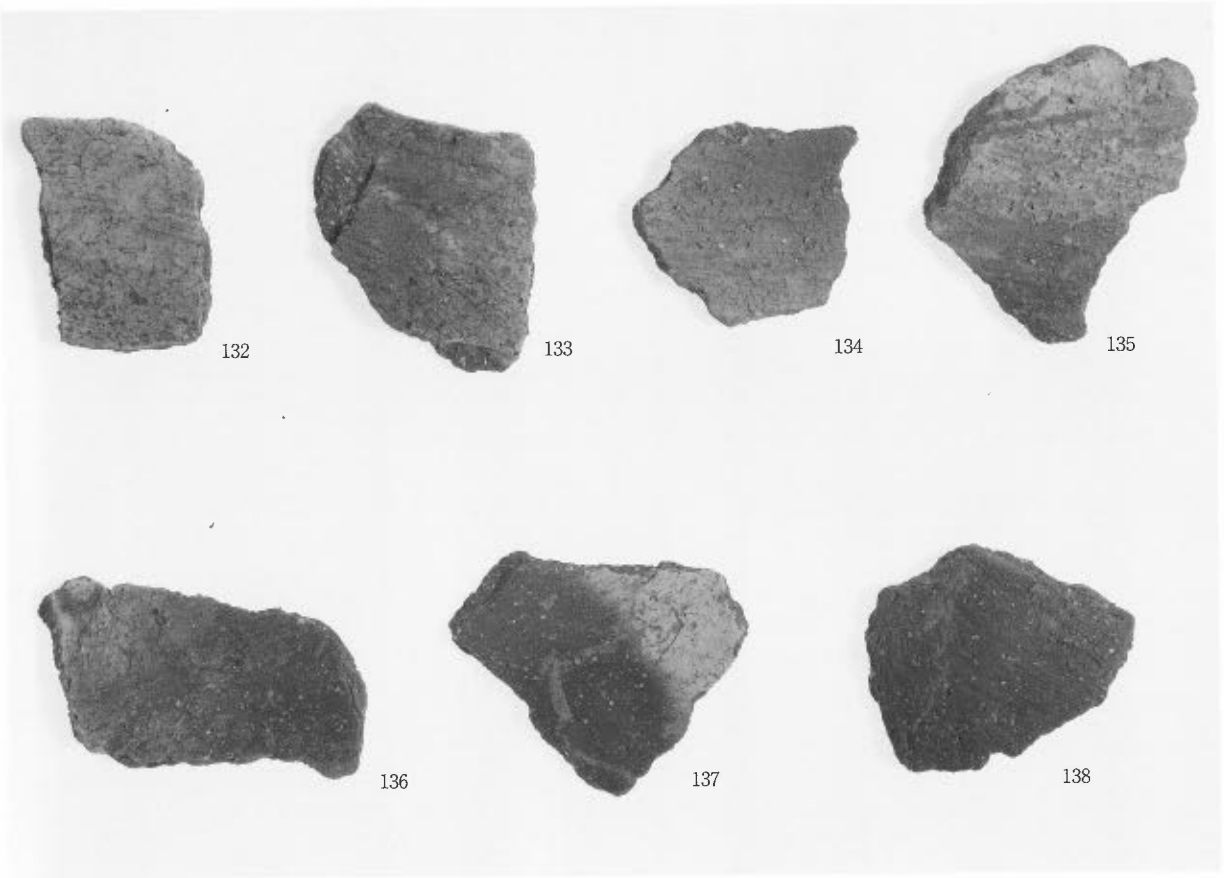

92
93
94
95
96
97
98
99
100
101
102
103

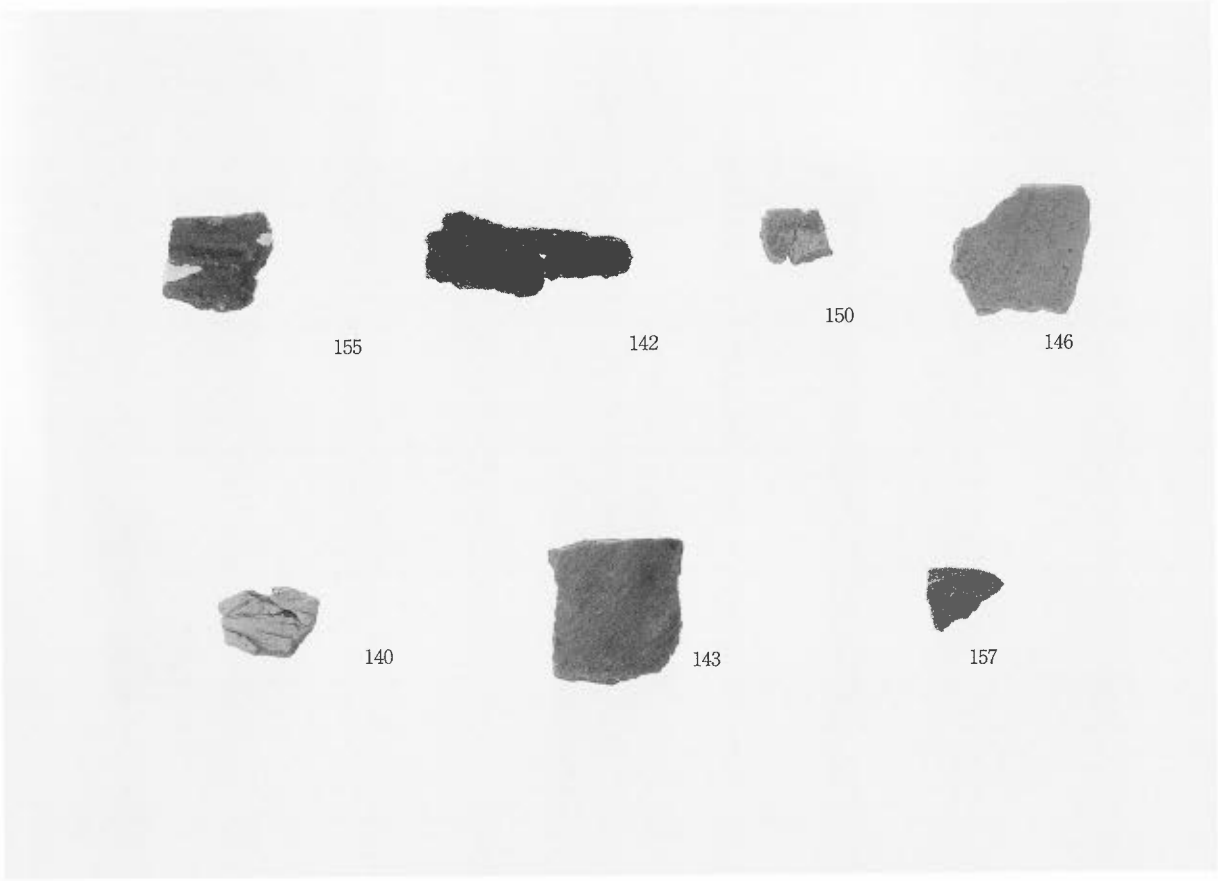

109
110
111
112
113
114
115
116
117
118

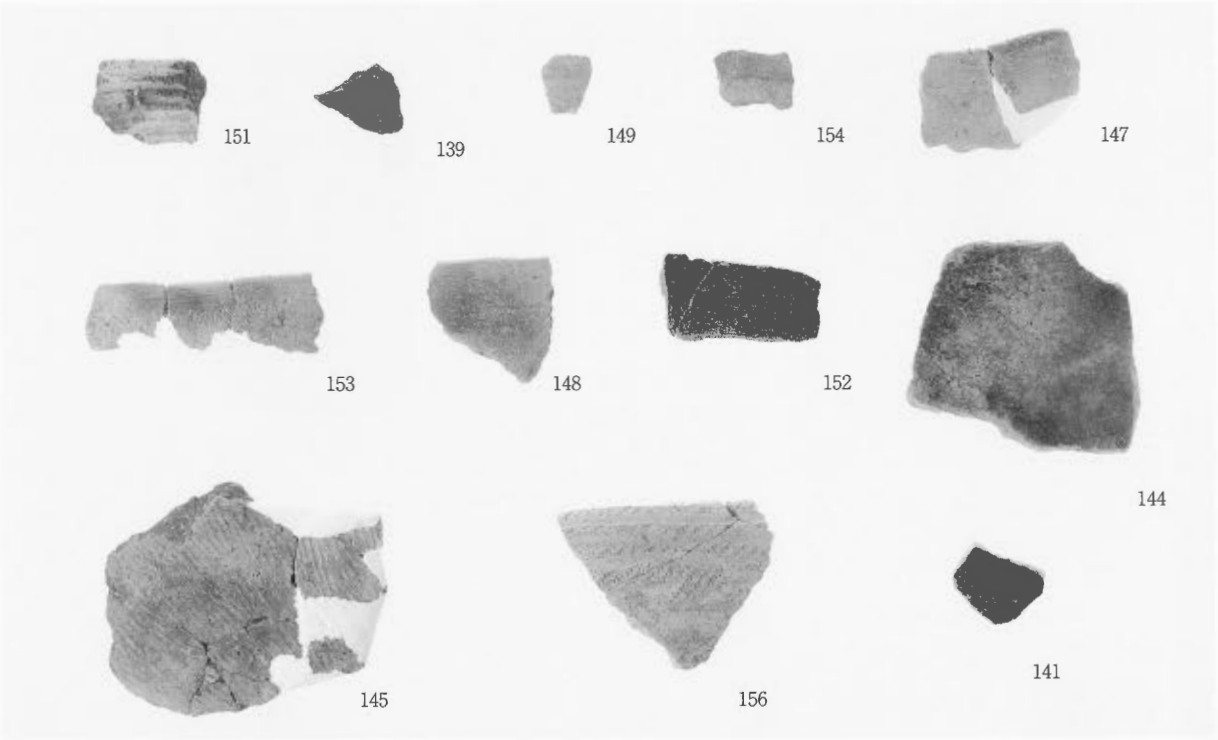

119
120
121
122
123

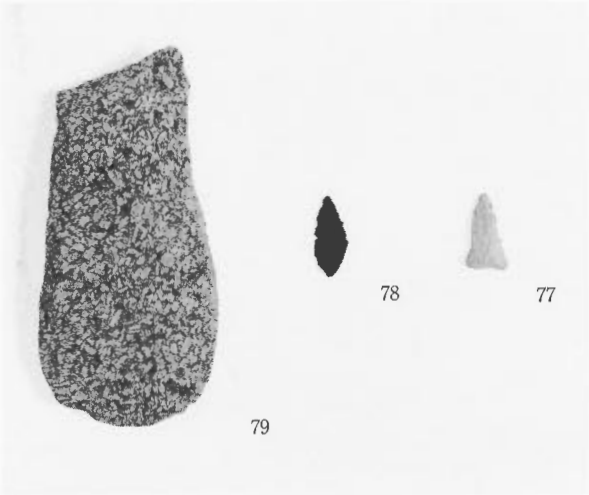

125
126
127
128
129
130
131

図版三〇　遺物写真　中木津遺跡






151
139
149
154
147
153
148
152
144
145
156
141

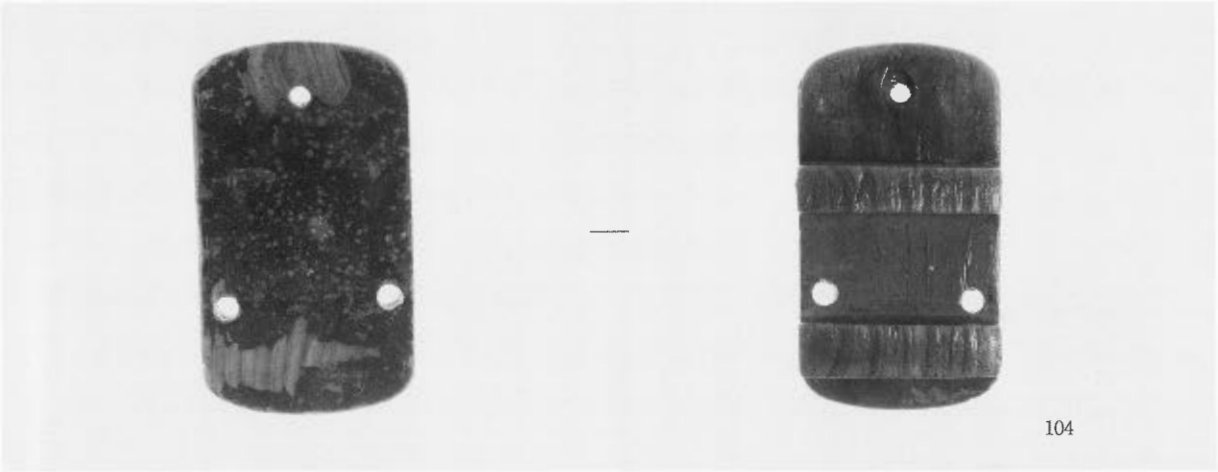

78
77
79

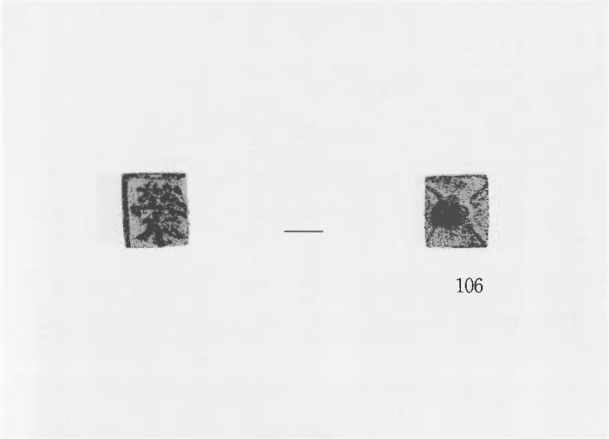
81

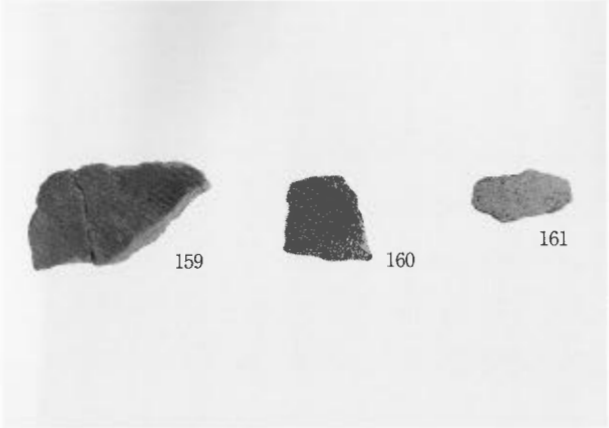
105

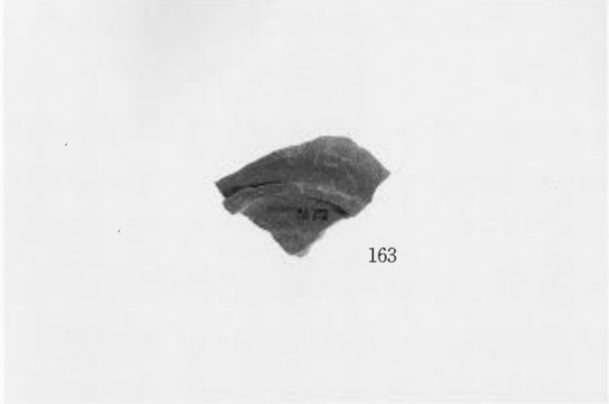
107

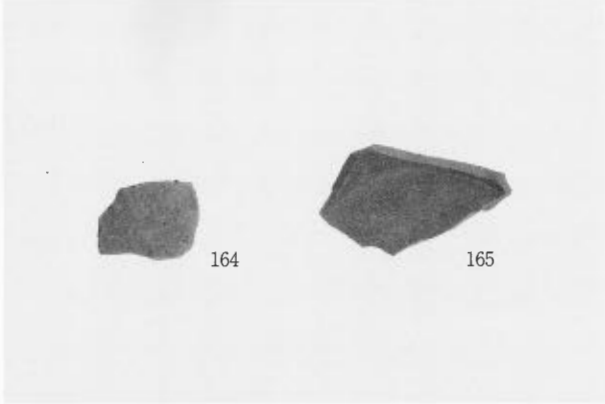
図版三二　遺物写真　中木津遺跡











166

169

167

168

170

172

171

173

174

175

177

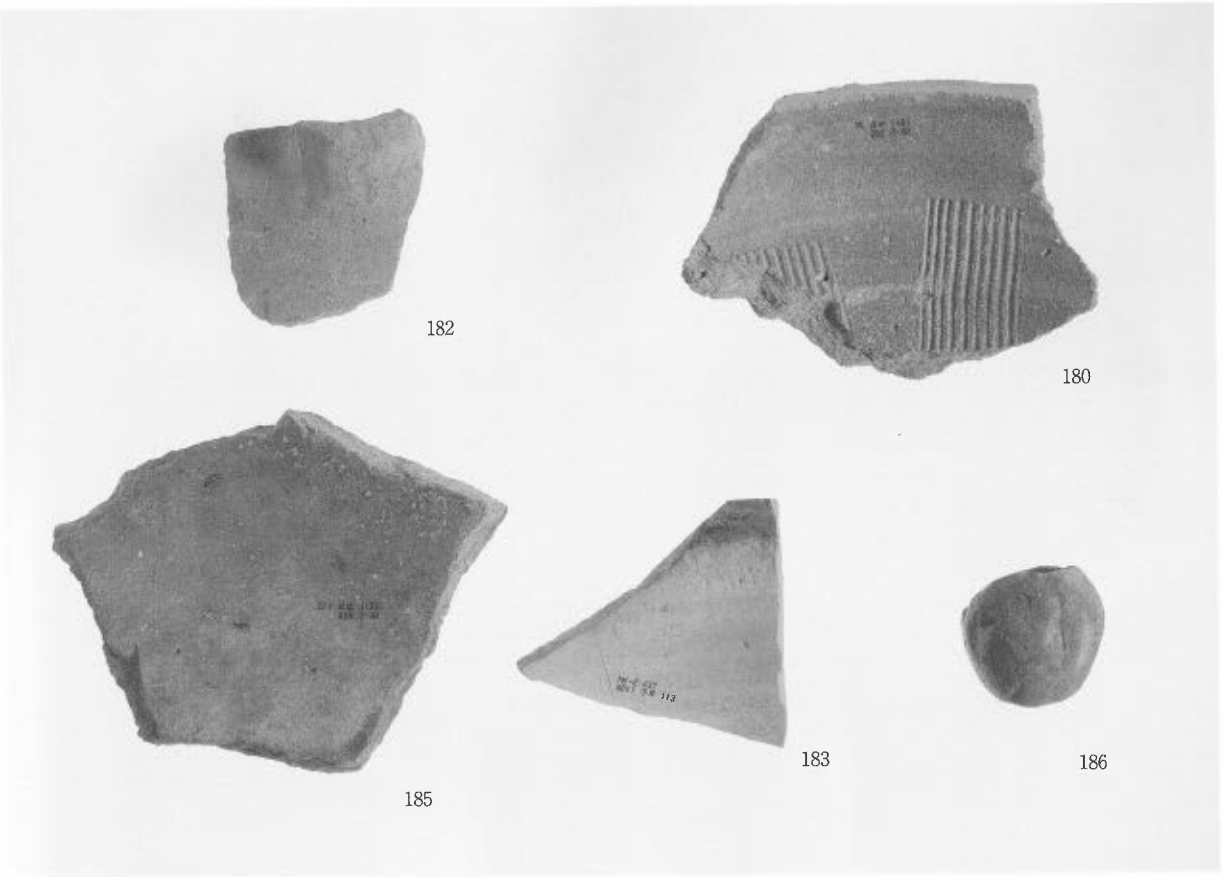
176

178

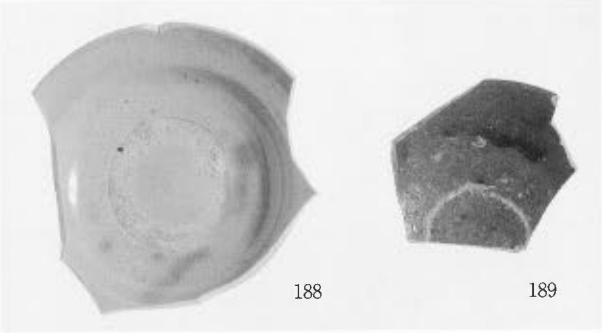
179

181

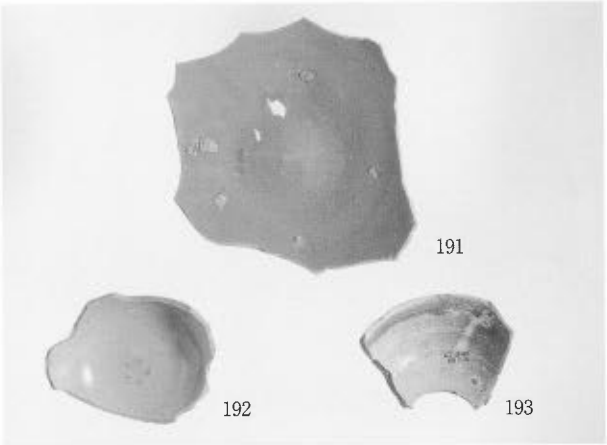
184


182
180
185
183
186

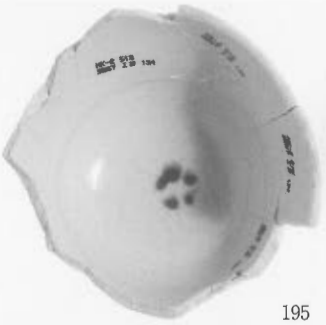
187


188
189

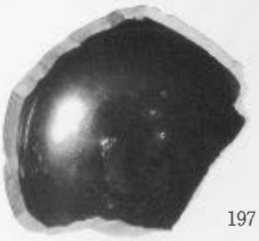
190


191
192
193

194


195

196


197

198

199

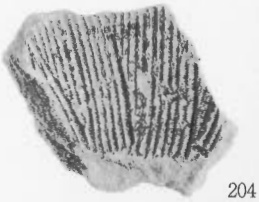
200

201

202

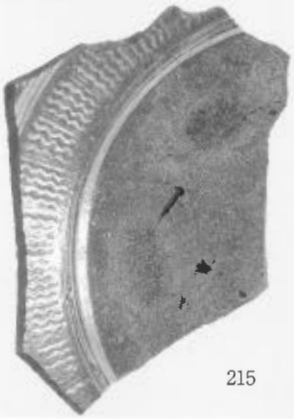
203

205


204

210

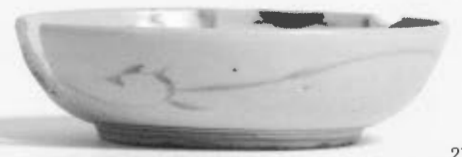
211


215

212

213

216


214

217

図版三六　遺物写真　中木津遺跡

218

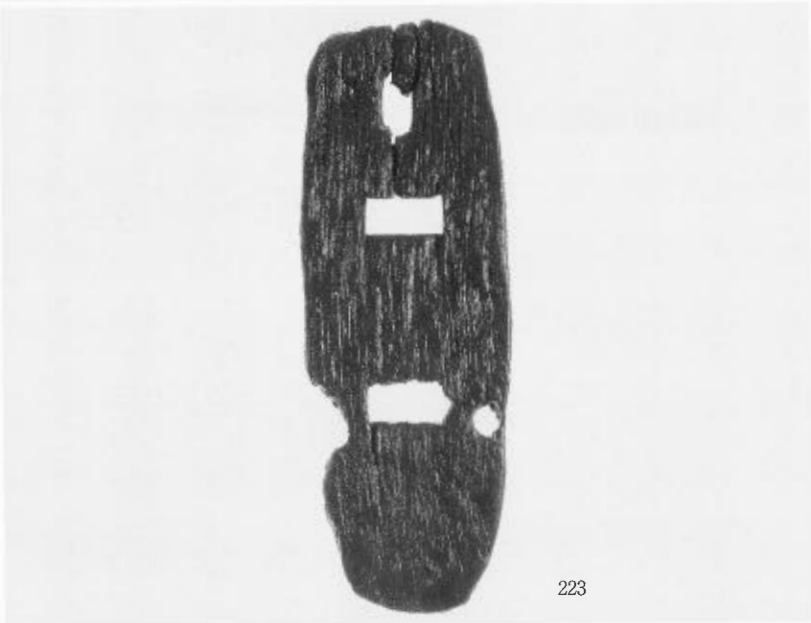
220

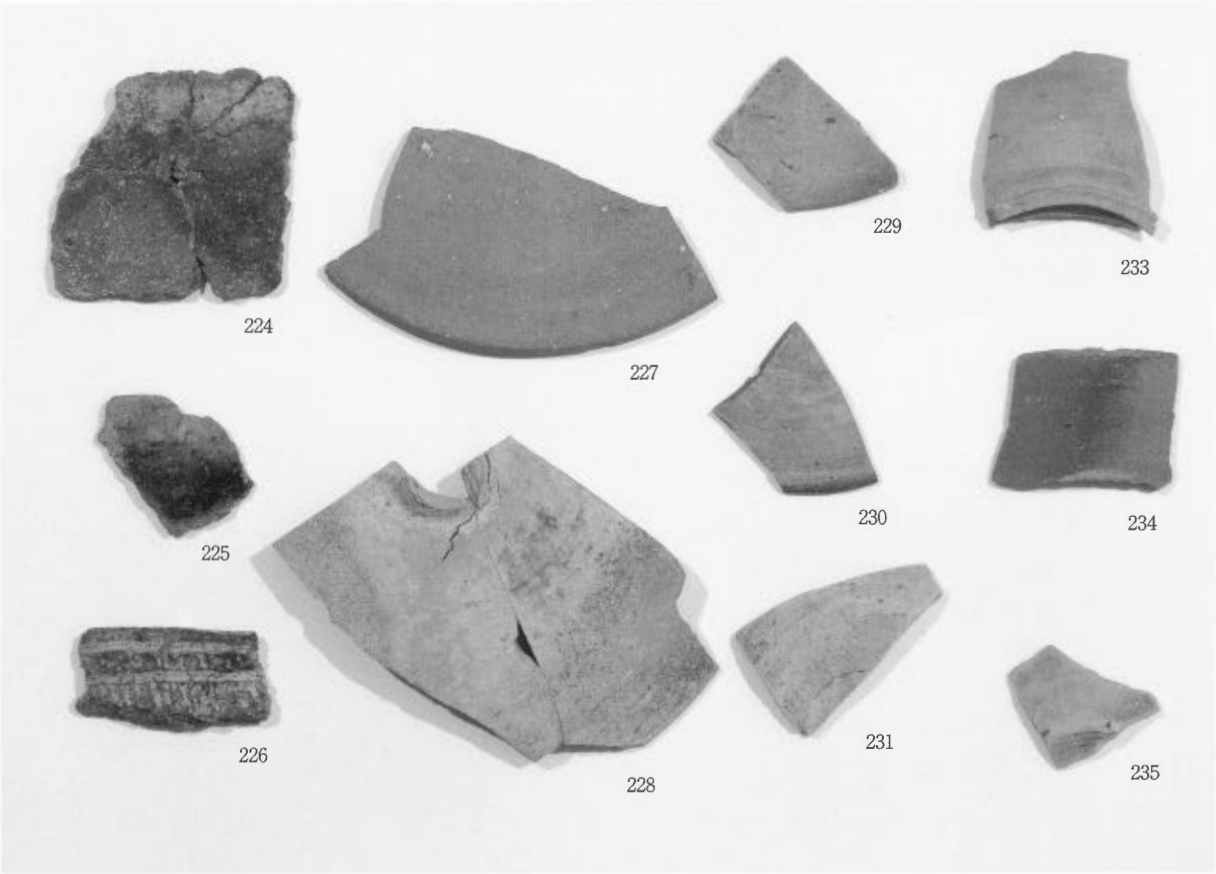
219

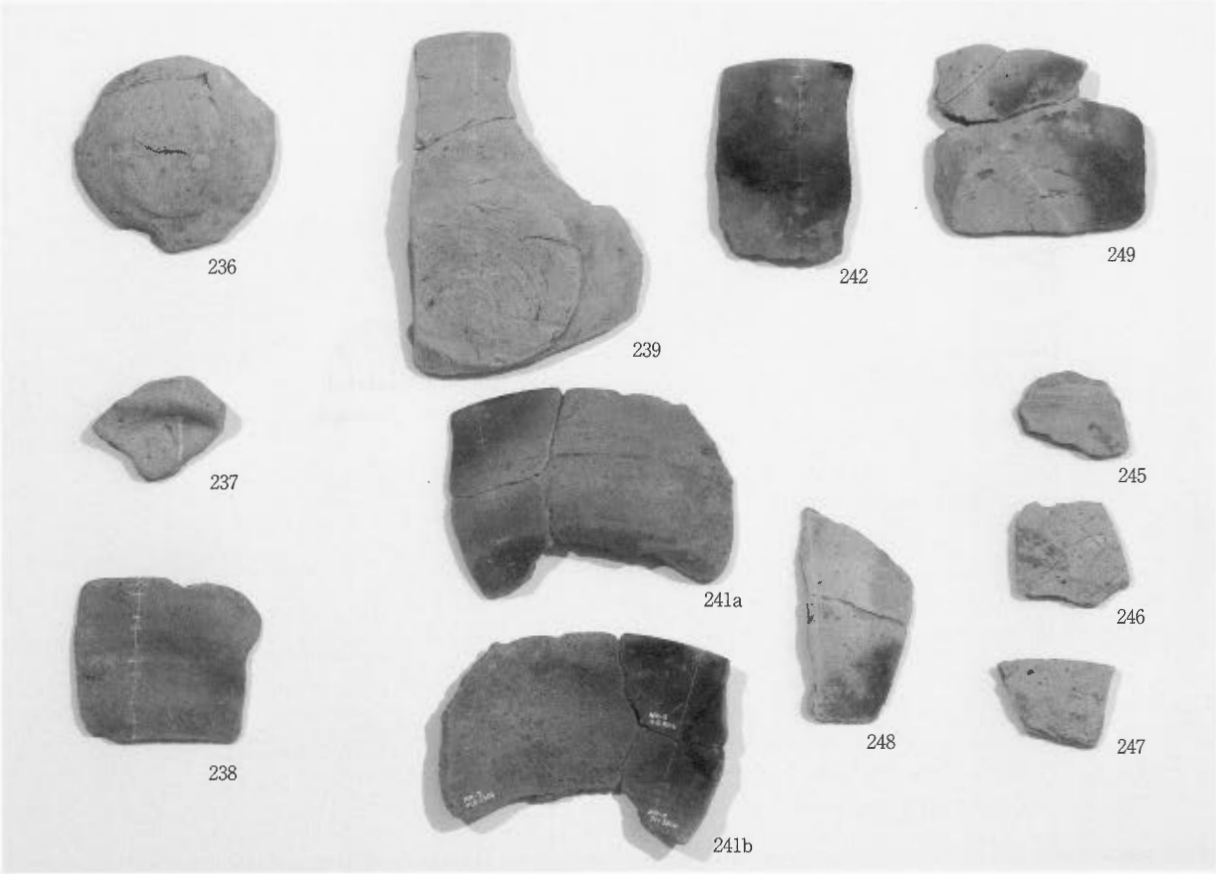
221

158

209

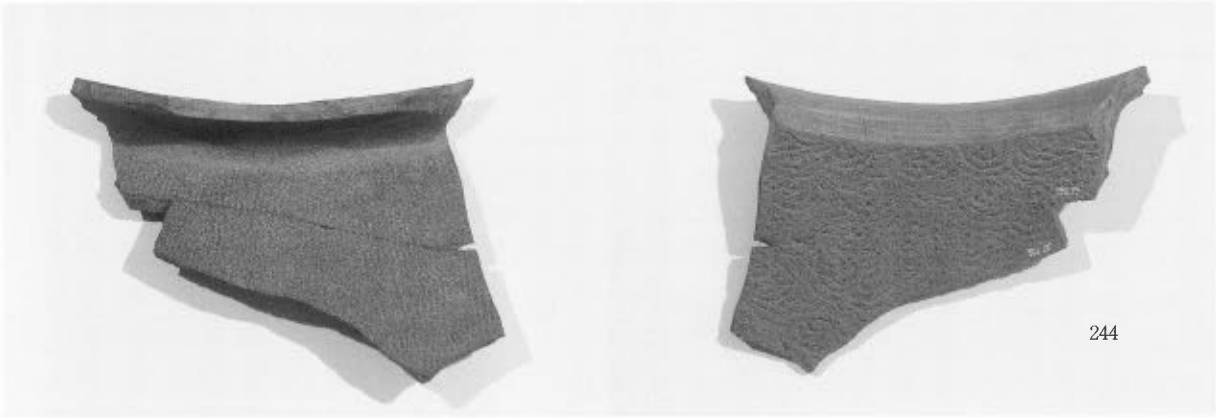

223

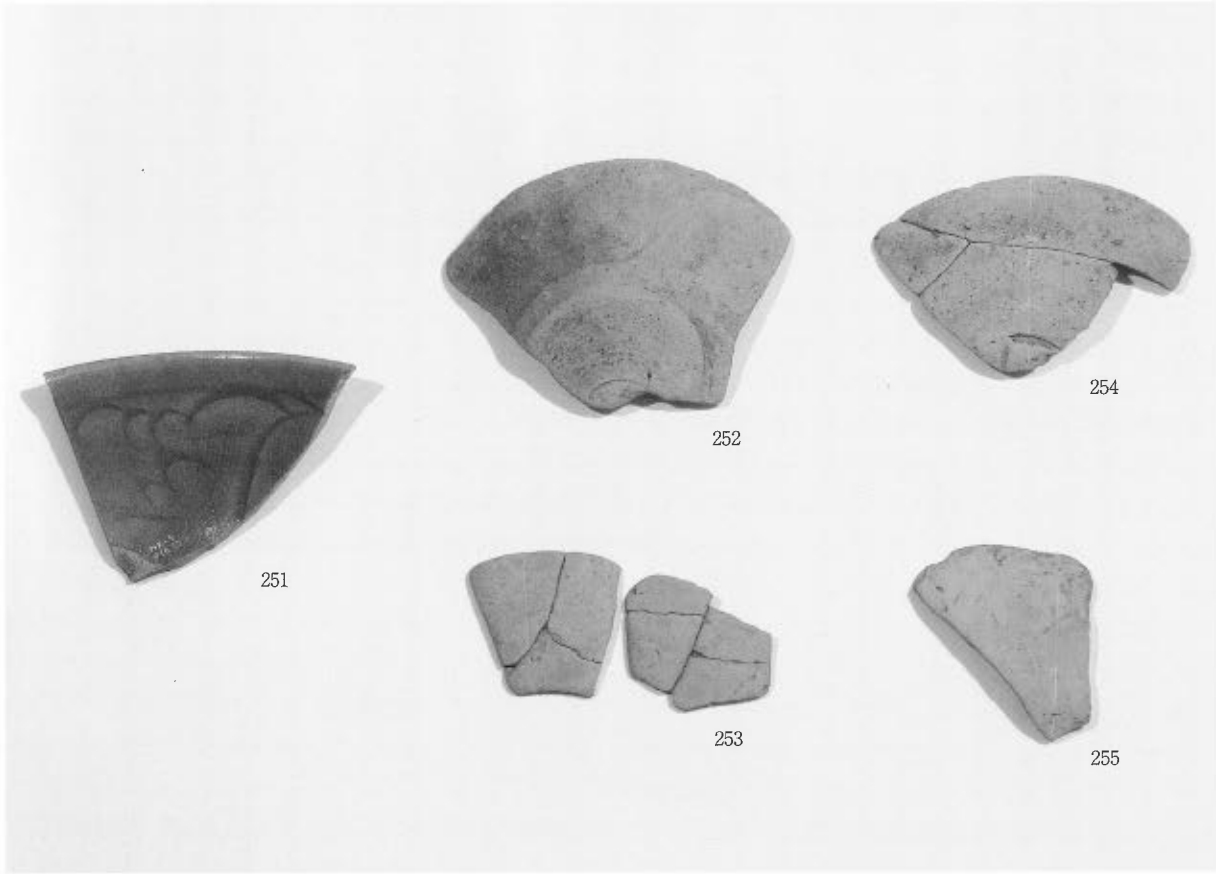

224
227
229
233
225
230
234
226
228
231
235

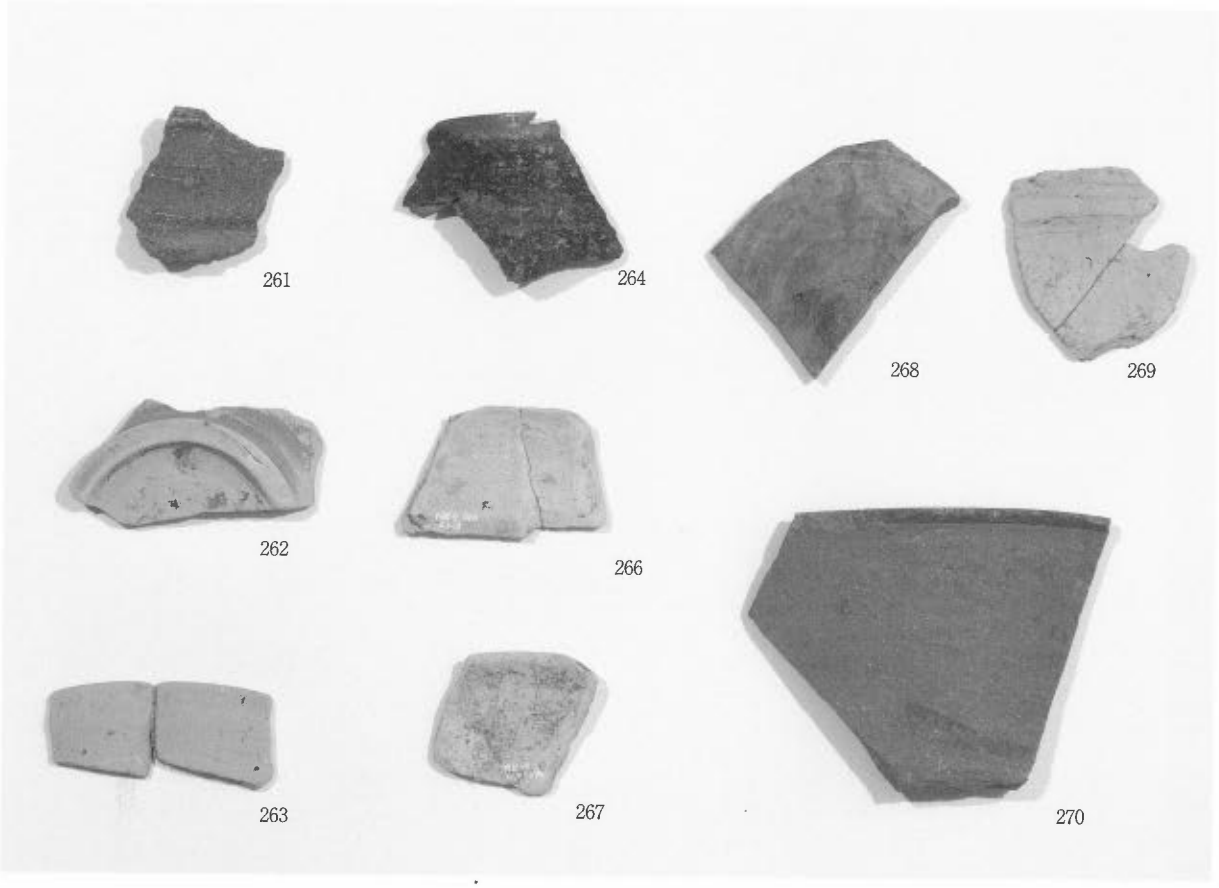

236
239
242
249
237
245
241a
246
238
248
247
241b

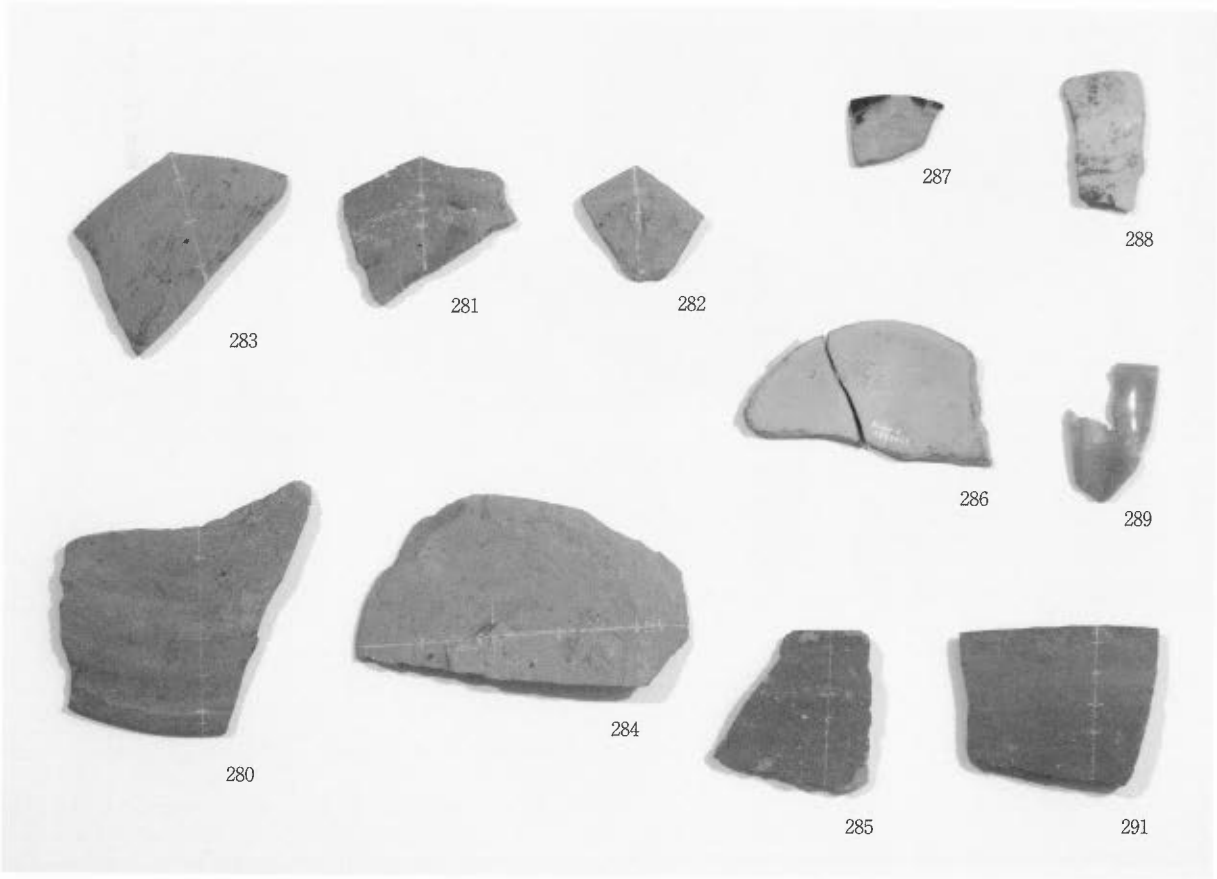
232

243


244


251
252
253
254
255


261
264
268
269
262
266
263
267
270


287
288
283
281
282
286
289
280
284
285
291

304

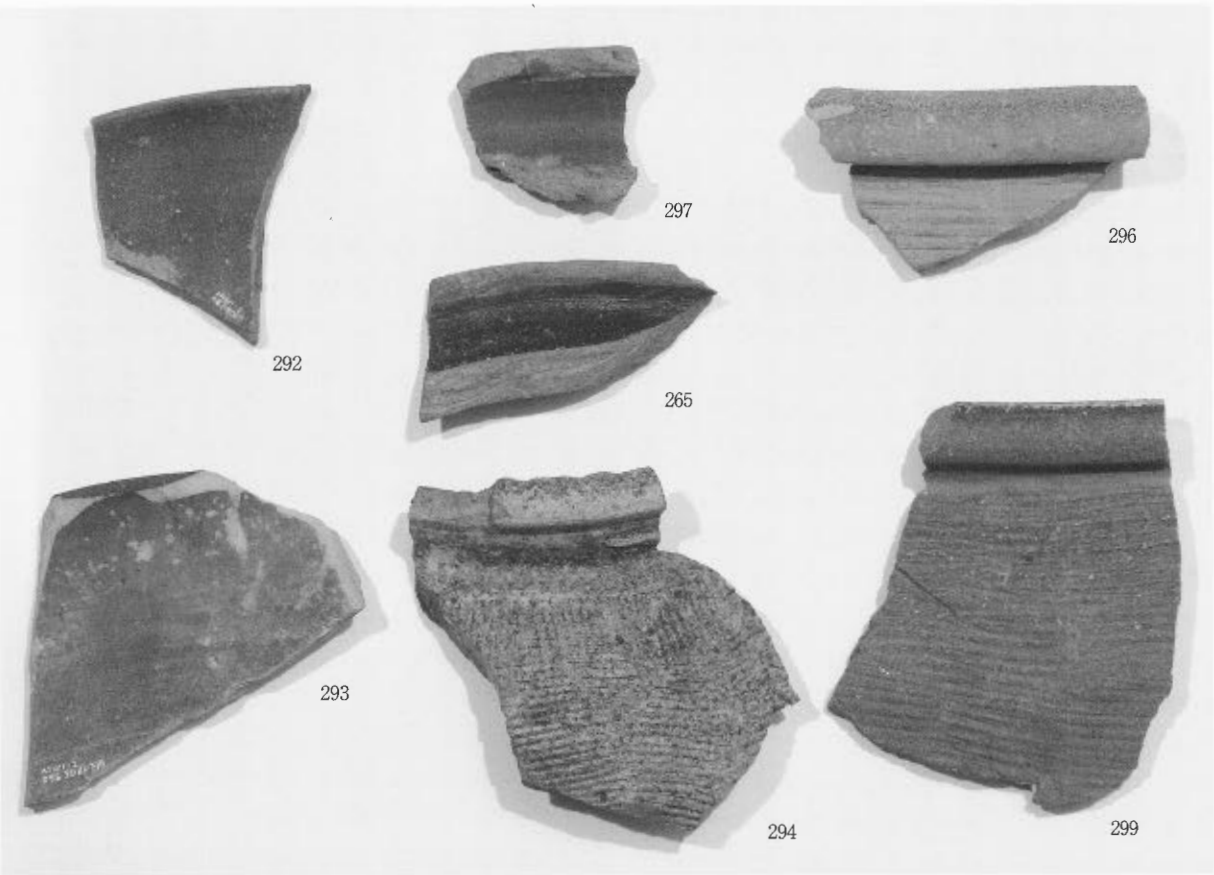

297
296
292
265
293
294
299

表２　遺構一覧

区画整理１区

掘立建物址

遺構名	グリッド	規模	構造・方位・平面形態	出土遺物	備考	図面No.
ＳＢ01	(21～23、27～30)	桁行4間(9.28m)×梁行2間(4.3m)以上	南北棟、総柱の建物。座標北に対して16.3度東へ偏る。円形ないし不整円形。	—	北東側に梁行１間分の庇を持つ。柱穴Ｐ３－２とＰ３－３の間に間柱あり。	図面○八 図面○九
ＳＢ02	(15・16、34～36)	桁行3間(7.2m)×梁行3間(6.14m)	南北棟、総柱の建物。座標北に対して17.7度西に偏る。不整楕円形ないし不整円形。	—	柱通りが悪い。中世に帰属か。	図面○五 図面一○
ＳＢ03	(10・11、34～36)	桁行2間(5.08m)×梁行2間(4.7m)	南北棟、側柱の建物。座標北に対して13.7度東へ偏る。不整楕円形ないし円形。	土師器、須恵器	ＳＫ130に切られる。ＳＡ01・02と軸を揃えており重複する。	図面○七 図面一一

柵址

遺構名	グリッド	規模	構造・方位・平面形態	出土遺物	備考	図面No.
ＳＡ01	(12、34～37)	7間(11.2m)	南北方向。座標北に対し14.2°東に偏る。楕円ないし不整楕円形。	土師器　砥石	ＳＡ02・ＳＢ03と軸を揃えており重複する。	図面○七 図面一二
ＳＡ02	(11、34・35)	2間(2.94m)	東西方向。座標北に対し76.2°西に偏る。不整楕円ないし不整円形。	—	ＳＡ01・ＳＢ03と軸を揃えており重複する。	図面○七 図面一二
ＳＡ03	(12、36・37)	5間(7.8m)	南北方向。座標北に対し15°東に偏る。不整楕円ないし不整円形。	—	ＳＡ01とほぼ軸を揃える。	図面○七 図面一二

土坑

遺構名	グリッド	平面形	規模	出土遺物	備考	図面No.
ＳＫ101	(8、41・42)	不整楕円形	長軸：1.32m 短軸：1.10m 深さ：56cm	—	近現代	
ＳＫ104	(17、31)	不整楕円形	長軸：0.88m 短軸：0.68m 深さ：12cm	伊万里	近現代	
ＳＫ105	(15・16、29)	不整楕円形	長軸：1.12m 短軸：0.80m 深さ：7cm	—	近現代	
ＳＫ106	(25、25)	不整形	長軸：0.90m 短軸：0.23m 深さ：25cm	—	近現代	
ＳＫ107	(26、32)	不整形	長軸：0.52m 短軸：0.34m 深さ：15cm	—	近現代	
ＳＫ108	(24、25)	不整形	長軸：1.00m 短軸：0.50m 深さ：31cm	—	近現代	
ＳＫ109	(26・27、37)	不整形	長軸：1.90m 短軸：1.06m 深さ：11cm	土師器	近現代	
ＳＫ110	(26、34)	楕円形	長軸：1.04m 短軸：0.28m 深さ：30cm	—	近現代	
ＳＫ111	(27、31)	不整楕円形	長軸：0.72m 短軸：0.30m 深さ：22cm	—	近現代	
ＳＫ112	(27、35)	不整形	長軸：0.64m 短軸：0.42m 深さ：9cm	—	近現代	
ＳＫ114	(19、43)	楕円形	長軸：1.02m 短軸：0.56m 深さ：22cm	—	ＳＤ252と同一	
ＳＫ121	(14、35・36)	不整形	長軸：1.74m 短軸：0.88m 深さ：17cm	—	ＳＤ277と同一	
ＳＫ122	(14、35)	不整楕円形	長軸：0.80m 短軸：0.58m 深さ：17cm	—		
ＳＫ125	(16、36)	不整形	長軸：0.72m 短軸：0.52m 深さ：31cm	—		
ＳＫ126	(13、34)	不整形	長軸：0.62m 短軸：0.42m 深さ：9cm	—		
ＳＫ129	(10・11、34・35)	不整形	長軸：1.28m 短軸：1.12m 深さ：39cm	瓦質土器	ＳＢ01を切り、ＳＫ103に切られる。	
ＳＫ130	(10、34・35)	不整楕円形	長軸：2.70m 短軸：0.63m 深さ：37cm	—	ＳＢ01・ＳＫ129を切る。	

溝状遺構

遺構名	グリッド	方向	規模	出土遺物	備考	図面No.
ＳＤ201	(17～21、20・21)	東西	長さ20.02m以上 幅1.46～1.70m 深さ33～55cm	弥生土器、鉄製品（刀子）	東側および南側は調査地区外に延びる。	
ＳＤ202	(15～23、23～36)	南西～北東	長さ82.64m以上 幅0.43～2.02m 深さ6～21cm	土師器、須恵器、珠洲、越中瀬戸、伊万里、肥前、鉄製品	ＳＤ236・238に切られる。ＳＤ223を分岐、ＳＤ203と合流。ＳＤ212と重複。南端は調査地区外へ延びる。	図面一三
ＳＤ203	(15～17、23～27)	南西～北東	長さ20.77m 幅0.33～1.88m 深さ18cm	土師器、須恵器、珠洲、越中瀬戸	ＳＤ238に切られる。ＳＤ202と合流。南側は調査区外に延びる。	
ＳＤ204	(7～13、25～44)	南西～北東（蛇行）	長さ124.16m以上 幅0.64～5.53m 深さ11～135cm	縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、珠洲、白磁、青磁、青花、伊万里、肥前、製塩土器、土製品（土錘、フイゴ羽口、炉壁、焼成粘土塊）、石製品（打製石斧、砥石、剥片他）	ＳＤ206と重複する。南側と北側は調査地区外に延びる。１区・２区にわたって検出。	図面一三
ＳＤ206	(11～24、27～40)	南北	長さ91.56m以上 幅1.04～2.24m 深さ17～47cm	縄文土器、土師器、須恵器、越中瀬戸、瀬戸美濃	ＳＤ247・250・279・281に切られる。ＳＤ204と重複する。ＳＤ211を分流する。２区ＳＤ75に続き、南側は調査区外に延びる。	図面一三
ＳＤ207	(13・14、24～26)	南東～北西	長さ7.22m 幅0.28～0.49m 深さ8～14cm	縄文土器、須恵器	ＳＤ204と重複する。南東側は調査区外に延びる。	
ＳＤ208	(5～9、33～41)	南北	長さ42.60m以上 幅0.25～1.50m 深さ4～31cm	縄文土器、土師器、須恵器、肥前、伊万里、数珠玉	南側は調査区外に延びる。北側は段丘で切られる。	
ＳＤ209	(4・5、33～35)	南北～東西へ屈曲	長さ8.14m以上 幅0.62～1.18m 深さ21～27cm	須恵器、越中瀬戸、京焼、伊万里、木製品（漆・板材）	南側は調査区外に延びる。	

ＳＤ210＝２区SD11	(27～31、27～34)	南北	長さ31.66m以上 幅5.92～8.46m 深さ32～51cm	縄文土器、土師器、須恵器、珠洲、瀬戸美濃、白磁、越中瀬戸、関西系磁器、京焼、肥前、伊万里、土製品（土錘他）、木製品（漆器、下駄、板材、部材、曲物他）、石製品（砥石）、鉄滓	SD246を分流する。SD221・230・231と重複する。２区SD11へ続き、南側は調査区外に延びる。	図面一三
ＳＤ211	(22～26、38・39)	南西～北東	長さ16.56m 幅0.76～1.28m 深さ14～30cm	土師器、須恵器	ＳＤ206から分流する。北東側の２区ＳＤ61に続く。	図面一三
ＳＤ212	(22、35～37)	南西～北東	長さ10.22m 幅0.26～1.06m 深さ1～11cm	瀬戸美濃、青磁	ＳＤ202と重複する。北側は調査区外に延びる。	
ＳＤ214	(17～20、29～34)	南西～北東	長さ25.20m 幅0.42～1.18m 深さ2～15cm	土師器、須恵器、珠洲、瀬戸美濃、越中瀬戸、京焼、伊万里、石製品（石鏃）	カクランに切られる。近現代の溝。	
ＳＤ216	(20・21、31・32)	南西～北東	長さ4.40m 幅0.3～0.4m 深さ3～5cm	—	近現代の溝。	
ＳＤ217	(18、29・30)	南西～北東	長さ5.90m 幅0.18～0.28m 深さ4～6cm	須恵器	ＳＸ503を切る。近現代の溝。	
ＳＤ218	(16・17、30・31)	南西～北東	長さ8.80m 幅0.14～0.33m 深さ6～24cm	—	ＳＤ219・225と同一。近現代の溝。	
ＳＤ219	(17、32)	南西～北東	長さ1.14m 幅0.22～0.32m 深さ8cm	—	ＳＤ218・225と同一。近現代の溝。	
ＳＤ221	(27、28・29)	東西	長さ1.70m 幅0.46～0.90m 深さ22～26cm	—	ＳＤ210と重複する。	
ＳＤ222	(19～21、28～32)	南西～北東	長さ21.50m 幅0.34～0.62m 深さ8cm	—	ＳＤ229・233～235と重複する。近現代の溝。	図面一三
ＳＤ223	(19～21、29～34)	南西～北東	長さ22.28m 幅0.24～0.84m 深さ2～21cm	土師器	ＳＤ202と分流する。	図面一三
ＳＤ224	(15・16、27～30)	南西～北東	長さ15.28m以上 幅0.22～0.42m 深さ3～25cm	珠洲、越中瀬戸、伊万里	近現代の溝。	
ＳＤ225	(14～16、26～30)	南西～北東	長さ19.60m 幅0.06～0.46m 深さ5～34cm	—	ＳＤ218・219と同一。近現代の溝。	
ＳＤ228	(21、32)	南北	長さ2.12m 幅0.38～0.54m 深さ10～26cm	—	ＳＤ233と重複する。近現代の溝。	
ＳＤ229	(21～25、30～32)	南東～北西	長さ24.46m 幅0.14～0.42m 深さ5～20cm	土師器	ＳＤ222と重複する。近現代の溝。	
ＳＤ230	(27・28、29～31)	南北	長さ12.18m 幅0.30～0.74m 深さ13～18cm	—	ＳＤ210と重複する。	
ＳＤ231	(30・31、33)	南北	長さ1.94m 幅0.76～0.88m 深さ14～30cm	—	ＳＤ210と重複する。	
ＳＤ232	(24～26、25～29)	南北から東西へ屈曲	長さ21.72m以上 幅0.24～0.40m 深さ5～22cm	—	東側は調査区外に延びる。近現代の溝。	
ＳＤ233	(21～24、31・32)	南東～北西	長さ17.10m 幅0.18～0.36m 深さ6～20cm	越中瀬戸	ＳＤ222・228と重複する。カクランに切られる。近現代の溝。	
ＳＤ234	(21～25、29～31)	南東～北西	長さ24.96m 幅0.24～0.44m 深さ5～18cm	—	ＳＤ222と重複するカクランに切られる。近現代の溝。	
ＳＤ235	(21～25、29～31)	南東～北西	長さ24.46m 幅0.14～0.32m 深さ3～12cm	—	ＳＤ222と重複するカクランに切られる。近現代の溝。	
ＳＤ236	(16～24、24～27)	南西～北東	長さ41.46m以上 幅0.18～0.40m 深さ3～15cm	—	ＳＤ202を切る。東側は調査区外に延びる。近現代の溝。	
ＳＤ237	(20・21、22)	東西	長さ4.54m以上 幅0.44～0.80m 深さ5～14cm	印章、鉄滓	近現代の溝。	
ＳＤ238	(14～22、23～27)	南東～北西	長さ46.46m以上 幅0.22～0.56m 深さ2～30cm	須恵器、越中瀬戸、肥前	ＳＤ202・203・244を切る。近現代の溝。	
ＳＤ239	(18～20、21～23)	南東～北西	長さ12.62m 幅0.24～0.88m 深さ5～10cm	肥前	ＳＤ240に切られる。	
ＳＤ240	(18～21、21・22)	南東～北西	長さ15.62m以上 幅0.26～0.46m 深さ8～18cm	—	ＳＤ239を切る。東側は調査区外へ延びる。近現代の溝。	
ＳＤ241	(24～27、32～38)	南東～北西	長さ32.64m 幅0.12～1.22m 深さ3～17cm	—		
ＳＤ242	(22、36)	南西～北東	長さ1.86m 幅0.16～0.28m 深さ4～5cm	—		
ＳＤ243	(22・23、31・32)	南東～北西	長さ7.70m 幅0.18～0.4m 深さ3～11cm	—	近現代の溝。	
ＳＤ244	(15・16、25～27)	南北	長さ8.12m 幅0.40～0.97m 深さ0～21cm	—	ＳＤ238に切られる。	
ＳＤ246	(29・30、33・34)	南東～北西	長さ0.68m以上 幅0.62～0.76m 深さ52cm	—	ＳＤ210と重複する。	
ＳＤ247	(14・15、31)	南東～北西	長さ5.64m 幅0.16～0.26m 深さ1～3cm	—	ＳＤ206を切る。近現代の溝。	
ＳＤ248	(16、32・33)	南東～北西	長さ1.12m 幅0.18～0.20m 深さ2cm	—	近現代の溝。	
ＳＤ249	(16、33)	南東～北西	長さ1.58m 幅0.18～0.24m 深さ3～4cm	—	近現代の溝。	
ＳＤ250	(16・17、33)	南東～北西	長さ3.84m 幅0.2～0.29m 深さ4～10cm	土師器	ＳＤ206を切る。近現代の溝。	
ＳＤ251	(17～22、41～43)	南東～北西	長さ26.06m 幅0.28～0.84m 深さ2～19cm	伊万里	ＳＰ1045・1046を切り、ＳＤ263～266に切られる。近現代の溝。	
ＳＤ252	(20～22、42・43)	南東～北西	長さ7.40m以上 幅0.02～1.04m 深さ3～30cm	伊万里	北側は調査地区外へ延びる。ＳＤ272・ＳＫ114・ＳＰ1058と２区ＳＫ54は同一になるか。近現代の溝。	
ＳＤ253	(23、40)	南西～北東	長さ2.04m 幅0.22～0.38m 深さ2～9cm	—	近現代の溝。	
ＳＤ254	(23・24、40・41)	南西～北東	長さ6.10m以上 幅0.22～0.46m 深さ5～9cm	—	近現代の溝。	
ＳＤ255	(21～23、39・40)	南東～北西	長さ10.04m 幅0.10～0.28m 深さ2～5cm	—	近現代の溝。	
ＳＤ256	(18～20、41・42)	南東～北西	長さ13.46m 幅0.14～0.36m 深さ5～21cm	越中瀬戸	ＳＤ263・266に切られる。近現代の溝。	
ＳＤ257	(21、42)	南東～北西	長さ1.28m 幅0.24～0.52m 深さ14～28cm	—		
ＳＤ260	(17～19、37～39)	南東～北西	長さ14.45m 幅0.16～0.42m 深さ2～16cm	—	ＳＤ262・274・275と重複する。近現代の溝。	
ＳＤ262	(18・19、39)	南西～北東	長さ5.64m 幅0.15～0.25m 深さ5～11cm	—	ＳＤ276と重複する。近現代の溝。	
ＳＤ263	(18～21、41～43)	南西～北東	長さ16.22m 幅0.07～0.21m 深さ3～18cm	瀬戸美濃	ＳＤ251・287を切り、ＳＤ264と重複する。近現代の溝。	
ＳＤ264	(20～22、40～42)	南西～北東	長さ13.20m 幅0.05～0.26m 深さ2～9cm	—	ＳＤ263・266と重複する。近現代の溝。	

ＳＤ266	(18～21、40～43)	南東～北西	長さ21.62m 幅0.07～0.32m 深さ1～15cm	—	ＳＤ256・287を切り、ＳＤ264・265と重複する。近現代の溝。	
ＳＤ267	(20、44)	南東～北西	長さ1.68m 幅0.10～0.22m 深さ3～11cm	土師器、須恵器	近現代の溝。	
ＳＤ268	(17～20、40～43)	南東～北西	長さ16.84m 幅0.12～0.35m 深さ3～11cm	—	ＳＤ287を切り、ＳＤ264と重複する。近現代の溝。	
ＳＤ269	(19、40)	南東～北西	長さ3.76m 幅0.16～0.24m 深さ1～16cm	—	ＳＸ504と重複する。近現代の溝。	
ＳＤ270	(17～19、40～42)	南東～北西	長さ17.48m 幅0.14～0.24m 深さ2～18cm	—	ＳＸ504と重複する。近現代の溝。	
ＳＤ271	(18・19、41)	南東～北西	長さ1.86m 幅0.12～0.20m 深さ2～13cm	—	近現代の溝。	
ＳＤ272	(18・19、43)	南東～北西	長さ4.50m 幅0.19～0.34m 深さ4～24cm	—	北側は調査地区外へ延びる。ＳＤ252・ＳＫ114・ＳＰ1058と２区ＳＫ54は同一になるか。近現代の溝。	
ＳＤ274	(16～19、39～42)	南東～北西	長さ17.46m 幅0.14～0.25m 深さ1～6cm	—	ＳＤ206と重複する。近現代の溝。	
ＳＤ275	(17～19、39～41)	南東～北西	長さ16.51m 幅0.11～0.22m 深さ1～15cm	—	ＳＤ206と重複する。近現代の溝。	
ＳＤ276	(17・18、40)	東西	長さ4.35m 幅0.38～0.80m 深さ7～22cm	—	ＳＤ262と重複する。近現代の溝。	
ＳＤ277	(13・14、34・35)	南西～北東	長さ1.66m 幅0.50～0.56m 深さ11～15cm	—	ＳＤ121と同一。	
ＳＤ278	(11、38)	—	長さ0.70m 幅0.18～0.22m 深さ10～12cm	—	ＳＡ02　Ｐ1-1	
ＳＤ279	(14～17、31～33)	南東～北西	長さ18.12m 幅0.14～0.24m 深さ1～8cm	—	ＳＤ206を切る。近現代の溝。	
ＳＤ280	(13・14、32～33)	南東～北西	長さ5.20m 幅0.12～0.20m 深さ1～8cm	—	近現代の溝。	
ＳＤ281	(13～15、30～32)	南東～北西	長さ14.34m 幅0.12～0.34m 深さ1～12cm	—	ＳＤ206を切り、ＳＤ283と重複する。近現代の溝。	
ＳＤ282	(13・14、31・32)	南東～北西	長さ7.00m 幅0.24～0.30m 深さ3～7cm	—	ＳＤ206を切り、ＳＤ283と重複する。近現代の溝。	
ＳＤ283	(13、31・32)	南西～北東	長さ3.46m 幅0.16～0.20m 深さ4～12cm	—	ＳＤ281・282と重複する。近現代の溝。	
ＳＤ285	(17・18、43・44)	南西～北東	長さ6.02m 幅0.28～0.36m 深さ3～7cm	土師器		
ＳＤ286	(24・25、39～48)	南北	長さ8.60m以上 幅0.46～0.62m 深さ5～6cm	—	ＳＤ202・212と同一。北側は調査区外に延びる。	
ＳＤ287	(20、40・41)	南西～北東	長さ6.84m以上 幅0.22～0.32m 深さ9～33cm	—	ＳＤ233・236・238に切られる。近現代に溝。	

凹地

遺構名	グリッド	平面形	規模	出土遺物	備考	図面No.
ＳＸ501	(8・9、30・31)	不整形	長軸：6.80m　短軸：0.48～1.60m 深さ：5～45cm	縄文土器、須恵器、珠洲、瀬戸美濃、青磁、越中瀬戸、京焼、肥前、伊万里	根カクランか。	
ＳＸ502	(6・7、32)	不整形	長軸：2.63m　短軸：0.54m 深さ：43cm	—	根カクランか。	
ＳＸ503	(17・18、29)	隅丸長方形	長軸：3.54m　短軸：2.24m 深さ：19cm	越中瀬戸		
ＳＸ504	(19・20、39・40)	不整形	長軸：7.70m　短軸：0.48m 深さ：43cm	—	ＳＤ269・270に切られる。根カクランか。	
ＳＸ505	(10・11、33・34)	不整形	長軸：6.54m　短軸：1.06m 深さ：47cm	縄文土器、土師器、須恵器、珠洲、瀬戸美濃、越中瀬戸、石製品（砥石）	根カクランか。	

自然流路

遺構名	グリッド	規模	出土遺物	方向	切り合い	図面No.
ＮＲ01	(1～14、35～50)	長さ：94.71m以上 幅：6.78～6.85m 深さ：47～220cm	土師器、須恵器、伊万里、石製品（砥石）	南西～北東	圃場整備前の自然流路。流路は２区に続き、南側に延びる。	

区画整理２区

掘立柱建物

遺構名	グリッド	規模	構造・方位・平面形態	方向	切り合い	図面No.
ＳＢ01	(6、0・P)	桁行2間(2.8m)×梁行2間(3.8m)以上	南北棟、総柱の建物。 座標北に対して26度東に偏る。 不整楕円ないし不整円形。	木製品	P1はＳＤ5を切る。 Ｐ３は柱痕の遺存する。 北東側は調査区外へ延びる。	図面二二 図面二三
ＳＢ02	(5、O・P)	桁行3間(7.0m)×梁行2間(4.6m)	北西～南東棟、側柱の建物。 座標西に対し35度北に偏る。 隅丸方形ないし不整楕円形。	須恵器・木製品	ＳＤ３を切り、ＳＤ2に切られる。Ｐ2は柱痕が遺存する。ＳＰ7が間柱になる可能性あり。ＳＢ03・ＳＢ04と軸を揃	図面二二 図面二四
ＳＢ03	(4・5、P・Q)	桁行4間(8.2m)×梁行2間(4.5m)	北西～南東棟、側柱の建物。 座標西に対し35度北に偏る。 隅丸方形ないし不整円形。	—	ＳＤ5を切る。	図面二二 図面二五
ＳＢ04	(4、Q・R)	桁行3間(6.6m)以上×梁行2間(4.1m)以上	北西～南東棟、側柱の建物。 座標北に対して26度東に偏る。 不整方形ないし不整楕円。	土師器・須恵器・陶磁器	Ｐ５はＳＤ5を切り、Ｐ１はＳＤに切られる。北東側は調査区外へ延びる。ＳＢ03とほぼ同軸。	図面二二 図面二六
ＳＢ05	(5、S)	桁行2間(3.5m)以上×梁行2間(3.4m)	東西棟、総柱の建物。 座標北に対して13度北に偏る。 隅丸方形ないし不整楕円。	土師器	Ｐ２はＳＢ６－Ｐ１を切り、Ｐ４・５はＳＫ82を切る。ＳＢ06より新相を示す。東側は調査区外へ延びる。	図面二二 図面二七
ＳＢ06	(6、S)	桁または梁行２間以上(6.0m)	棟方向不明、建物構造不明。 不整楕円ないし不整円形。	土師器	ＳＢ06-Ｐ1はＳＢ05-Ｐ2に切られる。 南側・東側は調査区外へ延びる。	図面二二 図面二八
ＳＢ07	(6、S)	桁または梁行1間以上(4.5m以上)	棟方向不明、建物構造不明。 不整楕円ないし不整円形。	土師器	P1はＳＤ138・ＳＰ141・144を切る。 東側は調査区外へ延びる。ＳＢ05とほぼ同軸。	図面二二 図面二八
ＳＢ08	(8、R・S)	桁行3間(最大5.3m)×梁行1or2間(2.5m)	東西棟、総柱の建物。（束柱） 座標西に対して14度北に偏る。 不整楕円ないし不整円形。	—	ＳＰ148.・ＳＰ149はＳＤ26に切られる。柱通りが悪い。 ＳＰ34が東柱になる可能性がある。	図面二二 図面二九
ＳＢ09	(9、R・S)	桁行3間(7.2m)×梁行2間(3.4m以上)	南北棟、側柱の建物か。 座標北に対して24度東に偏る。 不整楕円ないし不整円形。	—	ＳＰ43・44はＳＤ31を切り、ＳＰ53はＳＤ30に切る。ＳＢ10と軸を同じくする。	図面二一

ＳＢ10	(10、Ｒ・Ｓ)	桁行２間(5.5m以上)×梁行１間(2.1m以上)	南北棟、側柱の建物。座標北に対して20度西に偏る。不整楕円ないし不整円形。	―	ＳＰ54はＳＤ30を切る。ＳＢ09と軸を同じくする。北西と東側へ延びる。	図面二一

土坑　　撹乱を除く

遺構名	グリッド	平面形	規模	出土遺物	備考	図面No.
ＳＫ1	(Ｐ、4・5)	隅丸方形	長軸：0.9m 短軸：0.7m 深さ：77cm	土師質土器		図面二九
ＳＫ2	(Ｒ、8)	円形	長軸：0.9m 短軸：0.7m 深さ：50cm	縄文土器、土師器、須恵器、珠洲、陶器、青磁	ＳＤ16を切る。	
ＳＫ3	(Ｓ、7)	隅丸方形	長軸：0.80m 短軸：0.4m 深さ：5cm	―	ＳＤ26を切り、ＳＤ15に切られる。	
ＳＫ4	(Ｓ、8)	隅丸方形	長軸：4.5m 短軸：0.8m 深さ：57cm	―		
ＳＫ5	(Ｎ、10)	隅丸方形	長軸：1.9m 短軸：1.5m 深さ：23cm	磁器、陶器、石製品		
ＳＫ6	(Ｑ、9)	円形	長軸：0.9m 短軸：0.6m 深さ：10cm	磁器、陶器、石製品		
ＳＫ7	(Ｑ、9)	円形	長軸：0.7m 短軸：0.7m 深さ：12cm	―	ＳＤ37に切られる。	
ＳＫ8	(Ｒ・Ｓ、7・8)	隅丸方形	長軸：2.5m 短軸：1.6m 深さ：71cm	―	ＳＤ27に切られる。	
ＳＫ9	(Ｎ、10)	楕円形	長軸：1.0m 短軸：0.8m 深さ：15cm	―		
ＳＫ10	(Ｐ、11)	方形	長軸：1.2m 短軸：0.7m 深さ：14cm	―		
ＳＫ11	(Ｓ、16)	楕円形	長軸：1.0m 短軸：0.6m 深さ：35cm	―		
ＳＫ12	(Ｓ、16・17)	楕円形	長軸：1.4m 短軸：1.0m 深さ：27cm	陶器、磁器、木製品、軽石	ＳＫ13・ＳＤ51を切る。	
ＳＫ13	(Ｓ、16・17)	楕円形	長軸：1.2m 短軸：0.7m 深さ：32cm	磁器	ＳＤ51を切り、ＳＫ12に切られる。	図面二九
ＳＫ14	(Ｓ、16)	楕円形	長軸：1.4m 短軸：0.6m 深さ：20cm	―	ＳＤ48の下層で検出。	図面二九
ＳＫ15	(Ｔ、15)	円形	長軸：0.7m 短軸：0.5m 深さ：6cm	―	ＳＤ51に切られる。	
ＳＫ16	(Ｓ・Ｔ、16)	楕円形	長軸：0.5m 短軸：0.3m 深さ：16cm	―		
ＳＫ17	(Ｓ、15)	楕円形	長軸：0.7m 短軸：0.4m 深さ：22cm	―		
ＳＫ18	(Ｓ、15)	楕円形	長軸：0.8m 短軸：0.6m 深さ：47cm	―		
ＳＫ19	(Ｓ、15)	楕円形	長軸：0.9m 短軸：0.5m 深さ：9cm	―		
ＳＫ20	(Ｒ、14)	方形	長軸：1.3m 短軸：1.0m 深さ：44cm	―		
ＳＫ21	(Ｐ、20)	楕円形	長軸：2.2m 短軸：1.8m 深さ：24cm	―	ＳＤ11を切る。	
ＳＫ22	(Ｓ、15)	円形	長軸：0.6m 短軸：0.6m 深さ：2cm	―		
ＳＫ23	(Ｐ、18)	隅丸方形	長軸：1.0m 短軸：0.8m 深さ：7cm	―	ＳＤ59を切る。	
ＳＫ24	(Ｐ、20)	方形	長軸：2.2m 短軸：1.3m 深さ：15cm	須恵器、木製品	ＳＤ11を切る。	
ＳＫ25	(Ｐ、21)	方形	長軸：1.3m 短軸：0.6m 深さ：28cm	―	ＳＤ11に切られる。	
ＳＫ26	(Ｐ、20・21)	隅丸方形	長軸：1.4m 短軸：1.2m 深さ：13cm	―	ＳＤ11に切られる。	
ＳＫ27	(Ｓ、23)	隅丸方形	長軸：2.1m 短軸：1.7m 深さ：27cm	―		
ＳＫ28	(Ｒ、23)	円形	長軸：1.2m 短軸：0.9m 深さ：6cm	―		
ＳＫ29	(Ｒ、23)	隅丸方形	長軸：4.6m 短軸：0.6m 深さ：7cm	―		
ＳＫ30	(Ｔ、22)	楕円形	長軸：0.9m 短軸：0.4m 深さ：11cm	―		
ＳＫ31	(Ｔ、22)	隅丸方形	長軸：1.7m 短軸：0.4m 深さ：21cm	磁器		
ＳＫ32	(Ｔ、22)	楕円形	長軸：1.6m 短軸：0.4m 深さ：6cm	―		
ＳＫ33	(Ｔ、22)	円形	長軸：0.8m 短軸：0.5m 深さ：8cm	―		
ＳＫ34	(Ｓ、22・23)	隅丸方形	長軸：2.6m 短軸：0.6m 深さ：8cm	―		
ＳＫ35	(Ｔ、23)	円形	長軸：0.5m 短軸：0.4m 深さ：7cm	―		
ＳＫ36	(Ｓ・Ｔ、24)	隅丸方形	長軸：1.8m 短軸：1.4m 深さ：19cm	磁器		
ＳＫ37	(Ｒ、24・25)	隅丸方形	長軸：5.1m 短軸：2.1m 深さ：19cm	須恵器、陶器、磁器、石製品（砥石）		
ＳＫ38	(Ｑ、23・24)	隅丸方形	長軸：1.3m 短軸：1.0m 深さ：14cm	―		
ＳＫ39	(Ｑ、22・23)	隅丸方形	長軸：4.9m 短軸：0.6m 深さ：9cm	土師質土器、陶器		
ＳＫ40	(Ｎ・Ｏ、20)	方形	長軸：1.5m 短軸：1.0m 深さ：8cm	須恵器	ＳＤ73に切られる。	
ＳＫ41	(Ｍ、21)	隅丸方形	長軸：1.9m 短軸：1.0m 深さ：5cm	―	ＳＤ61に切られる。	
ＳＫ42	(Ｍ・Ｎ、21)	隅丸方形	長軸：4.1m 短軸：0.7m 深さ：6cm	―	ＳＤ77を切る。	
ＳＫ43	(Ｍ、22)	隅丸方形	長軸：0.8m 短軸：0.8m 深さ：16cm	―	ＳＤ75に切られる。	
ＳＫ44	(Ｍ、21・22)	隅丸方形	長軸：2.8m 短軸：0.7m 深さ：4cm	―		
ＳＫ45	(Ｍ、22)	隅丸方形	長軸：1.5m 短軸：0.8m 深さ：5cm	―	ＳＤ74を切る。	
ＳＫ46	(Ｐ、25)	円形	長軸：1.2m 短軸：0.9m 深さ：15cm	―		

ＳＫ47	（Ｐ・Ｑ、25）	楕円形	長軸：2.4m 短軸：0.7m 深さ：13cm	—		
ＳＫ48	（Ｑ、25）	楕円形	長軸：1.3m 短軸：0.7m 深さ：14cm	—		
ＳＫ49	（Ｐ・Ｑ、25）	隅丸方形	長軸：5.4m 短軸：1.6m 深さ：-cm	—		
ＳＫ50	（Ｍ、21）	円形	長軸：0.7m 短軸：0.6m 深さ：4cm	—		
ＳＫ51	（Ｌ、22）	円形	長軸：0.9m 短軸：0.8m 深さ：9cm	—	ＳＤ85を切る。	
ＳＫ52	（Ｍ、23）	隅丸方形	長軸：1.6m 短軸：1.4m 深さ：6cm	須恵器		
ＳＫ53	（Ｌ、22）	楕円形	長軸：1.5m 短軸：0.7m 深さ：36cm	—	ＳＤ88に切られる。	
ＳＫ54	（Ｋ、23）	隅丸方形	長軸：1.3m 短軸：0.7m 深さ：10cm	—		
ＳＫ55	（Ｋ、24）	楕円形	長軸：0.7m 短軸：0.4m 深さ：22cm	—		
ＳＫ56	（Ｊ、23）	隅丸方形	長軸：1.5m 短軸：1.5m 深さ：45cm	—	ＳＤ94を切る。	
ＳＫ57	（Ｍ・Ｎ、23）	隅丸方形	長軸：4.6m 短軸：3.1m 深さ：8cm	—	ＳＤ99に切られる。	
ＳＫ58	（Ｋ、24）	円形	長軸：0.8m 短軸：0.7m 深さ：37cm	珠洲	ＳＫ59を切る。	
ＳＫ59	（Ｋ、24）	円形	長軸：0.8m 短軸：0.6m 深さ：43cm	—		
ＳＫ60	（Ｊ・Ｋ、24）	隅丸方形	長軸：1.8m 短軸：0.9m 深さ：45cm	—		
ＳＫ61	（Ｌ、23・24）	方形	長軸：3.7m 短軸：3.2m 深さ：43cm	—		
ＳＫ62	（Ｌ、22）	楕円形	長軸：2.8m 短軸：0.7m 深さ：30cm	—	ＳＤ87を切る。	
ＳＫ63	（Ｕ、11・12）	隅丸方形	長軸：1.4m 短軸：0.8m 深さ：30cm	—	ＳＤ124を切る。	
ＳＫ64	（Ｔ・Ｕ、12）	方形	長軸：1.0m 短軸：1.0m 深さ：15cm	—		
ＳＫ65	（Ｕ、12）	円形	長軸：0.5m 短軸：0.4m 深さ：-cm	—	ＳＤ124を切る。	
ＳＫ66	（Ｔ、12）	方形	長軸：1.2m 短軸：0.7m 深さ：17cm	鉄製品	ＳＤ125を切る。	
ＳＫ67	（Ｔ、12）	方形	長軸：1.8m 短軸：1.3m 深さ：17cm	—	ＳＤ126を切る。	
ＳＫ68	（Ｔ、12）	方形	長軸：2.4m 短軸：0.9m 深さ：15cm	—		
ＳＫ69	（Ｔ、12）	隅丸方形	長軸：0.8m 短軸：0.4m 深さ：12cm	—		
ＳＫ70	（Ｓ、12）	楕円形	長軸：1.2m 短軸：0.4m 深さ：14cm	—		
ＳＫ71	—	楕円形	長軸：-m 短軸：-m 深さ：27cm	—	下層で検出。	
ＳＫ72	（Ｒ、5）	隅丸方形	長軸：1.4m 短軸：0.6m 深さ：38cm	—		
ＳＫ73	（Ｑ・Ｒ、5）	楕円形	長軸：0.4m 短軸：0.4m 深さ：11cm	—		
ＳＫ74	（Ｒ、6）	楕円形	長軸：3.0m 短軸：0.5m 深さ：10cm	—	ＳＤ134を切り、ＳＫ75に切られる。	
ＳＫ75	（Ｒ、6）	楕円形	長軸：1.7m 短軸：0.5m 深さ：49cm	—	ＳＫ75を切る。	
ＳＫ76	（Ｓ、6）	楕円形	長軸：1.4m 短軸：0.7m 深さ：60cm	—		
ＳＫ77	（Ｓ、6）	円形	長軸：0.9m 短軸：0.7m 深さ：46cm	—		
ＳＫ78	（Ｓ、6）	方形	長軸：1.2m 短軸：0.8m 深さ：7cm	—		
ＳＫ79	（Ｓ、7）	楕円形	長軸：3.8m 短軸：0.6m 深さ：27cm	—		
ＳＫ80	（Ｓ、7）	隅丸方形	長軸：0.7m 短軸：0.4m 深さ：13cm	—		
ＳＫ81	（Ｒ、5）	楕円形	長軸：1.4m 短軸：0.7m 深さ：25cm	—	ＳＤ132を切り、ＳＤ13・137に切られる。	
ＳＫ82	（Ｒ・Ｓ、6）	楕円形	長軸：1.2m 短軸：0.8m 深さ：32cm	—	ＳＤ138に切られる。	

溝状遺構

遺構名	グリッド	方向	規模	出土遺物	備考	図面No.
ＳＤ1	（Ｎ・Ｏ、6・7）	南西～北東	長さ6.1m以上 幅0.4m 深さ9cm	土師器、須恵器	ＳＤ5を切る。 東端・西端は調査区外に延びる。	
ＳＤ2	（Ｐ、5・6）	南北	長さ9.7m以上 幅0.5m 深さ5cm	土師質土器	ＳＤ5を切る。 北端・南橋は調査地区外へ延びる。	
ＳＤ3	（Ｐ、4・5）	南北	長さ10.7m以上 幅0.8m 深さ24cm	陶器、磁器、珠洲	ＳＤ5・7を切る。 北端・南橋は調査区外に延びる。	
ＳＤ4	（Ｐ、5）	南西～北東	長さ3.0m以上 幅0.6m 深さ13cm	磁器	ＳＤ5を切る。北端は調査区外に延びる。	
ＳＤ5	（Ｎ～Ｒ、4～7）	南東～北西	長さ47.4m以上 幅0.6m 深さ20cm	陶器	ＳＤ1～4・8に切られる。南側は調査区外に延びる。	
ＳＤ6	（Ｐ、5）	南北	長さ2.0m 幅0.4m 深さ3cm	—		
ＳＤ7	（Ｐ、5）	南西～北東	長さ1.8m以上 幅0.3m 深さ8cm	—	ＳＤ3に切られる。	
ＳＤ8	（Ｑ・Ｒ、3・4）	南北	長さ7.6m以上 幅1.1m 深さ24cm	須恵器、土師質土器、陶器	ＳＤ5に切られる。北側はＳＤ130・131と北側の溝群に、南側は調査区外に延びる。	
ＳＤ9	（Ｒ、3・4）	南北	長さ8.0m以上 幅1.5m 深さ18cm	土師器、須恵器		
ＳＤ10	（Ｑ、4）	北北東～南南西	長さ2.8m 幅0.7m 深さ29cm	珠洲		

ＳＤ11	(Ｋ・Ｌ,Ｏ～Ｒ、9・10,17～26)	南西～北東	長さ173.8m 深さ40～56cm	縄文土器、土師器、須恵器、陶器、珠洲、青磁、磁器、石製品、鉄製品、土師質土器、土製品、木製品、骨、焼石他	ＳＤ57～61・66・71・73・98・107、ＳＫ24～26を切り、ＳＫ21に切られる。ＳＤ57と重複する。南側は１区ＳＤ210等に続き、北側は調査区外に延びる。	図面三〇
ＳＤ12	(Ｊ、11)	東西	長さ2.0m以上 幅0.6m 深さ6cm	—	東端・西端は調査区外に延びる。	
ＳＤ13	(Ｒ、3・4)	南北	長さ8.0m以上 幅3.5m 深27cm	—	北端・南端は調査区外に延びる。	
ＳＤ14	(Ｓ・Ｔ、7)	東西	長さ9.3m以上 幅0.4m 深さ4cm	土師器	東端・西端は調査区外に延びる。	
ＳＤ15	(Ｓ、7・8)	北北東～南南西	長さ7.4m以上 幅0.7m 深さ7cm	—	ＳＤ26・27・ＳＫ3を切る。北端・南端は調査区外に延びる。	
ＳＤ16	(Ｒ・Ｓ、8)	南西～北東（蛇行）	長さ7.9m以上 幅1.1m 深さ6cm	珠洲	ＳＤ17を切り、ＳＫ2に切られる。東端・西端は調査区外に延びる。	
ＳＤ17	(Ｒ、8・9)	北北東～南南西	長さ7.8m以上 幅0.9m 深さ11cm	須恵器	ＳＤ16・18に切られる。北端・南端は調査区外に延びる。	
ＳＤ18	(Ｒ、8・9)	北北東～南南西	長さ7.8m以上 幅0.6m 深さ22cm	土師器	ＳＤ17を切る。北端・南端は調査区外に延びる。	
ＳＤ19	(Ｒ、8・9)	北北東～南南西	長さ7.9m以上 幅0.6m 深さ19cm	—	北端・南端は調査区外に延びる。	
ＳＤ20	(Ｐ、9・10)	南北	長さ8.6m以上 幅1.0m 深さ27cm	須恵器・陶器・磁器	ＳＤ22・23を切る。北端・南端は調査区外に延びる。	
ＳＤ21	(Ｐ、10・11)	南東～北西	長さ9.4m以上 幅0.2m 深さ10cm	陶器	ＳＤ38を切り、ＳＤ24・28に切られる。東端は調査区外に延びる。	
ＳＤ22	(Ｐ・Ｑ、10・11)	南東～北西	長さ12.8m以上 幅0.6m 深さ5cm	陶器	ＳＤ36・38を切り、ＳＤ20・23・28・33に切られる。東端・西橋は調査区外に延びる。	
ＳＤ23	(Ｎ～Ｐ、10)	東西	長さ23.1m以上 幅0.5m 深さ10cm	—	ＳＤ36・38を切り、ＳＤ20・22・32・33に切られる。	
ＳＤ24	(Ｐ、11)	北北東～南南西	長さ2.0m以上 幅0.4m 深さ11cm	—	ＳＤ21を切る。北端は調査区外に延びる。	
ＳＤ25	(Ｓ、6)	南北	長さ0.6m 幅0.3m 深さ3cm	土師器		
ＳＤ26	(Ｓ・Ｒ、7・8)	南東～北西	長さ10.6m 幅0.3m	—	ＳＫ8・ＳＤ15に切られる。	
ＳＤ27	(Ｓ・Ｔ、7)	東南東～西北西	長さ10.3m以上 幅0.3m 深さ16cm	—	ＳＤ15・ＳＫ8に切られる。	
ＳＤ28	(Ｏ・Ｐ、11)	北北東～南南西	長さ3.5m以上 幅0.5m 深さ16cm	—	ＳＤ21・22・35に切られる。北端は調査区外に延びる。	
ＳＤ29	(Ｍ・Ｎ、9)	東南東～西北西	長さ6.9m以上 幅0.5m 深さ12cm	陶器	ＳＤ54に切られる。東端・西端は調査区外に延びる。	
ＳＤ30	(Ｍ・Ｎ、9・10)	東南東～西北西	長さ7.1m以上 幅0.4m 深さ10cm	—	ＳＤ35を切る。東側・西側は調査区外に延びる。	
ＳＤ31	(Ｍ・Ｎ、10)	東南東～西北西	長さ6.4m以上 幅0.4m 深さ10cm	—	ＳＰ44に切られる。西側は調査区外に延びる。	
ＳＤ32	(Ｎ、10・11)	北北東～南南西	長さ13.2m以上 幅0.6m 深さ29cm	陶器・磁器・木製品	ＳＤ23・34を切る。北側・南側は調査区外に延びる。	
ＳＤ33	(Ｎ・Ｏ、10・11)	北北東～南南西	長さ12.6m以上 幅0.6m 深さ7cm	陶器・木製品	ＳＤ23・35を切る。北側・南側は調査区外に延びる。	
ＳＤ34	(Ｎ、10)	東南東～西北西	長さ2.2m以上 幅0.4m 深さ4cm	—	ＳＤ32に切られる。	
ＳＤ35	(Ｏ・Ｐ、11)	南東～北西	長さ8.1m以上 幅0.8m 深さ5～15cm	—	ＳＤ28・30・33に切られる。東側は調査区外に延びる。	
ＳＤ36	(Ｐ、10・11)	南北	長6.0m以上 幅0.2m 深さ10cm	—	ＳＤ22・23に切られる。南側は調査区外へ延びる。	
ＳＤ37	(Ｑ、9・10)	東南東～西北西	長さ8.5m以上 幅0.2m	—	ＳＫ7に切られる。北側・南側は調査区外に延びる。	
ＳＤ38	(Ｐ、10・11)	南北	長さ9.0m以上 幅0.3m 深さ6cm	—	ＳＤ21～23に切られる。北側・南側は調査区外に延びる。	
ＳＤ39	(Ｏ・Ｐ、11)	東南東～西北西	長さ7.3m以上 幅0.8m 深さ22cm	—	ＳＤ42を切る。東側・西側は調査区外に延びる。	
ＳＤ40	(Ｏ・Ｐ、11・12)	南東～北西	長さ4.8m以上 幅0.6m 深さ8cm	—	ＳＤ42を切る。東側は調査区外に延びる。	
ＳＤ42	(Ｏ～Ｒ、11～13)	南西～北東	長さ32.8m以上 幅0.6m 深さ7cm	—	ＳＤ43を切り、ＳＤ39・40に切られる。東側・西側は調査区外に延びる。	
ＳＤ43	(Ｏ～Ｒ、12・13)	南西～北東	長さ28.9m以上 幅2.5m 深さ61cm	縄文・土師器・珠洲・陶器	ＳＤ42に切られる。東側・西側は調査区外に延びる。	
ＳＤ44	(Ｐ～Ｒ、12～15)	南西～北東	長さ35.1m 幅0.5m 深さ10cm	土師質土器・陶器	ＳＤ46・48を切る。	
ＳＤ45	(Ｐ～Ｓ、12～15)	南西～北東	長さ33.4m 幅0.5m 深さ10cm	須恵器・陶器・磁器	ＳＤ46・48、ＳＫ20を切る。	
ＳＤ46	(Ｑ、12・13)	東西、南北	長さ12.8m 幅0.6m 深さ17cm	—	ＳＤ44・45に切られる。北側・南側は調査区外に延びる。２方向の溝は別の溝の可能性あり。	
ＳＤ47	(Ｑ、13)	南西～北東	長さ4.1m 幅0.5m 深さ10cm	—	ＳＤ46の南北方向の溝に合流する。	
ＳＤ48	(Ｑ・Ｒ、13～15・17・18)	北北東～南南西	長さ49.6m以上 幅3.2m 深さ141cm	土師器・須恵器・珠洲・陶器・磁器・木製品・動物遺体	ＳＤ44・45に切られる。南東側・北側は調査区外に延びる。	図面三一
ＳＤ49	(Ｍ、32)	南西～北東	長さ2.2m 幅0.3m	—	北側は調査区外に延びる。	
ＳＤ50	(Ｍ、32)	南西～北東	長さ6.9m以上 幅0.6m	—	北側・南側は調査区外に延びる。	
ＳＤ51	(Ｓ・Ｔ、16)	東南東～西北西	長さ8.3m以上 幅1.0m 深さ26cm	須恵器・陶器・磁器・石製品・木製品	ＳＫ15を切り、ＳＫ12・13に切られる。東側・西側は調査区外に延びる。	図面二九
ＳＤ52	(Ｓ、17)	南東～北西	長さ3.0m 幅0.4m 深さ14cm	—	ＳＸ3に切られる。	
ＳＤ53	(Ｑ・Ｒ、18)	東南東～西北西	長さ7.0m 幅1.5m 深さ30cm	—	西側は調査区外に延びる。	
ＳＤ54	(Ｍ・Ｎ、9)	東南東～西北西	長さ2.2m 幅0.3m 深さ4cm	—	ＳＤ29を切る。ＳＤ55と同一の溝か。	
ＳＤ55	(Ｍ、9)	東南東～西北西	長さ2.2m以上 幅0.3m 深さ6cm	—	ＳＤ29と同一の溝か。西側は調査区外に延びる。	
ＳＤ56	(Ｍ、9)	東南東～西北西	長さ3.2m以上 幅0.2m 深さ8cm	—	西側は調査区外に延びる。	

ＳＤ57	(Ｏ・Ｐ、18～26)	南北	長さ78.9m以上 幅1.6m 深さ17cm	縄文土器・土師器・須恵器・珠洲・青磁・陶器・磁器・土師質土器・木製品・鉄製品	ＳＤ11に切られる。北側は調査区外に延びる。南側は１区ＳＤ230ないしＳＤ210左岸に続く。	
ＳＤ58	(Ｏ・Ｐ、18)	東南東～西北西	長さ9.8m以上 幅0.9m 深さ19cm	陶器	ＳＤ11に切られる。西側は調査区外に延びる。	
ＳＤ59	(Ｏ・Ｐ、18・19)	東西（蛇行）	長さ9.9m 幅0.4m 深さ5cm	―	ＳＤ11・ＳＫ23に切られる。	
ＳＤ60	(Ｐ、19・20)	南西～北東	長さ8.3m 幅0.8m 深さ12cm	―	ＳＤ11に切られる。	
ＳＤ61	(Ｌ～Ｖ、20～24)	南西～北東	長さ102.4m以上 幅0.9m 深さ22cm	縄文土器	ＳＤ64・70、ＳＫ41を切り、ＳＤ57・77・78に切られる。南西側は１区ＳＤ211に続き、東側は調査区外に延びる。	
ＳＤ62	(Ｒ～Ｔ、21・22)	南西～北東	長さ20.6m以上 幅0.4m 深さ5cm	―	東側は調査区外に延びる。	
ＳＤ63	(Ｕ、23)	南北	長さ1.2m 幅0.3m 深さ13cm	―		
ＳＤ64	(Ｎ、19～22)	南南東～北北西	長さ33.2m 幅0.4m 深さ6cm	土師器・須恵器	ＳＤ65・66・71・72を切り、ＳＤ61・67・68・69・70・76に切られる。	
ＳＤ65	(Ｎ、19)	南東～北西	長さ2.7m 幅0.2m	―	ＳＤ64に切られる。	
ＳＤ66	(Ｎ・Ｏ、19)	東西（蛇行）	長さ4.4m 幅0.4m	―	ＳＤ57・64に切られる。東側はＳＤ11と合流する。	
ＳＤ67	(Ｎ・Ｏ、19)	北北東～南南西	長さ4.4m 幅0.4m	―	ＳＤ57・64に切られる。	
ＳＤ68	(Ｍ～Ｏ、20)	北北東～南南西	長さ14.4m 幅0.2m 深さ6cm	―	ＳＤ57・65に切られる。西側の一部が南北方向に屈曲する。	
ＳＤ69	(Ｎ・Ｏ、20)	北北東～南南西	長さ6.3m 幅0.2m 深さ6cm	―	ＳＤ64に切られる。	
ＳＤ70	(Ｍ・Ｎ、20・21)	北北東～南南西	長さ20.6m 幅0.2m 深さ6cm	―	ＳＤ61・64を切り、ＳＤ68に切られる。	
ＳＤ71	(Ｎ・Ｏ、20)	北北東～南南西	長さ8.7m 幅0.4m	―	ＳＤ57・64に切られる。	
ＳＤ72	(Ｎ、21)	北北東～南南西	長さ5.1m 幅0.4m	―	ＳＤ64に切られる。	
ＳＤ73	(Ｏ、21)	南西～北東	長さ1.9m 幅0.4m	―	ＳＤ57・ＳＫ40に切られる。	
ＳＤ74	(Ｌ～Ｍ、21・22)	南西～北東	長さ18.4m 幅1.1m 深さ9cm	珠洲	ＳＤ81を切り、ＳＤ79・ＳＫ45に切られる。南側は１区ＳＤ286に続き、北側はＳＤ81に続く。	
ＳＤ75	(Ｌ・Ｍ、21～23)	南西～北東	長さ18.8m以上 幅1.0m 深さ41cm	―	ＳＤ81・ＳＫ43を切る。南側は１区ＳＤ206に続く。	
ＳＤ76	(Ｎ、21・22)	南東～北西	長さ5.4m 幅0.2m 深さ3cm	―	ＳＤ64・77を切る。	
ＳＤ77	(Ｍ・Ｎ、21・22)	南西～北東	長さ14.8m 幅0.2m 深さ6cm	―	ＳＤ61を切り、ＳＤ76・ＳＫ42に切られる。	
ＳＤ78	(Ｍ、21)	南西～北東	長さ8.0m 幅0.2m 深さ4cm	―	ＳＤ61に切られる。	
ＳＤ79	(Ｌ・Ｍ、21)	南東～北西	長さ5.4m 幅0.3m 深さ7cm	―	ＳＤ74に切られる。	
ＳＤ80	(Ｎ、21)	南西～北東	長さ1.8m 幅0.2m 深さ4cm	―		
ＳＤ81	(Ｌ・Ｍ、22)	南西～北東	長さ10.1m 幅0.9m 深さ22cm	―	ＳＤ74・75に切られる。北側はＳＤ99と同一か。	
ＳＤ82	(Ｐ、24～26)	南東～北西	長さ12.2m 幅0.7m 深さ6cm	―	ＳＤ83を切る。	
ＳＤ83	(Ｐ、25・26)	南西～北東	長さ7.6m以上 幅0.7m 深さ6cm	―	ＳＤ82を切る。北側は調査区外に延びる。	
ＳＤ84	(Ｐ・Ｑ、25)	南西～北東	長さ2.6m以上 幅0.7m 深さ8cm	―	北側は調査区外に延びる。	
ＳＤ85	(Ｌ、21・22)	南西～北東	長さ4.5m 幅0.2m 深さ2cm	―	ＳＤ51に切られる。	
ＳＤ86	(Ｌ、22)	南西～北東	長さ5.3m以上 幅0.4m 深さ15cm	―	ＳＤ91を切り、ＳＤ87に切られる。南側は１区ＳＤ254に続き、北側はＳＤ87に合流する。	
ＳＤ87	(Ｌ、22)	南西～北東	長さ6.8m以上 幅0.5m 深さ9cm	珠洲・陶器・磁器	ＳＤ86・ＳＫ62を切る。南側は１区溝状落ち込みに続き、北側はＳＤ88に続くか。	
ＳＤ88	(Ｌ・Ｍ、22・23)	南西～北東	長さ12.5m 幅0.5m 深さ7cm	―	ＳＤ89・90・ＳＫ53を切る。南側はＳＤ87に続くか。	
ＳＤ89	(Ｌ・Ｍ、22・23)	南西～北東	長さ12.7m 幅0.7m 深さ8cm	―	ＳＤ90を切り、ＳＤ88に切られる。	
ＳＤ90	(Ｌ、22・23)	南東～北西	長さ12.5m 幅0.5m 深さ14cm	―	ＳＤ95・96・97を切り、ＳＤ88・89に切られる。	
ＳＤ91	(Ｋ・Ｌ、22)	南東～北西	長さ2.2m 幅0.3m	―	ＳＤ86に切られる。	
ＳＤ92	(Ｋ、22)	南東～北西	長さ5.1m 幅0.2m 深さ5cm	―	ＳＤ86に切られる。東側はＳＤ91に続くか。	
ＳＤ93	(Ｌ、22)	南北（蛇行）	長さ2.1m 幅0.5m 深さ25cm	―		
ＳＤ94	(Ｊ～Ｌ、22・23)	南東～北西	長さ15.6m 幅0.5m 深さ7cm	―	ＳＤ100・105・ＳＫ56に切られる。	

ＳＤ95	（L、23）	南西～北東	長さ1.0m 幅0.2m	―	ＳＤ90に切られる。	
ＳＤ96	（L、23）	南西～北東	長さ1.1m 幅0.2m	―	ＳＤ90に切られる。	
ＳＤ97	（L、23）	南西～北東	長さ1.2m 幅0.2m	―	ＳＤ90に切られる。	
ＳＤ98	（N～P、23・24）	南西～北東 北西～南東	長さ25.7m 幅1.5m 深さ0.17cm	―	ＳＤ57に切られる。北東方向に流路蛇行。	
ＳＤ99	（N～P、23・24）	南西～北東	長さ29.5m 幅0.2m 深さ4cm	―	ＳＤ57に切られる。	
ＳＤ100	（J・K、23）	南東～北西	長さ7.8m 幅0.7m 深さ7cm	古銭	ＳＤ94を切り、ＳＤ102・105に切られる。	
ＳＤ101	（K、22）	南東～北西	長さ3.1m 幅0.2m 深さ5cm	―	ＳＤ92に切られる。	
ＳＤ102	（K、22・23）	南東～北西	長さ2.1m 幅0.2m 深さ5cm	―	ＳＤ100・103を切る。	
ＳＤ103	（K、22・23）	南東～北西	長さ3.0m 幅0.2m 深さ9cm	―	ＳＤ102に切られる。	
ＳＤ104	（K、22・23）	南西～北東	長さ2.6m 幅0.2m 深さ3cm	―	南側は１区ＳＤ265に続く。	
ＳＤ105	（K、22・23）	南西～北東	長さ9.6m 幅0.2m 深さ5cm	―	ＳＤ94・100を切る。南側は１区ＳＤ264に続く。	
ＳＤ106	（J～L、23・24）	南東～北西	長さ15.3m 幅0.2m 深さ4cm	―	ＳＤ109に切られる。	
ＳＤ107	（L～O、24～27）	南東～北西	長さ58.5m 幅2.5m 深さ99cm	縄文土器・須恵器・珠洲・陶器・磁器・平瓦・木製品・鉄製品	ＳＤ110・112・115を切り、ＳＤ57に切られる。東はＳＤ57・11に接し西でＳＤ110に合流。自然流路へ続く。	図面三二
ＳＤ109	（K、24）	南西～北東	長さ2.3m 幅0.2m 深さ4cm	―	ＳＤ107を切る。	
ＳＤ110	（L～O、24～27）	南西～北東	長さ32.4m 幅0.8m 深さ6cm	磁器	ＳＤ107に切られる。	
ＳＤ111	（L～O、24～27）	南東～北西	長さ46.6m 幅1.0m 深さ68cm	須恵器・珠洲・陶器・磁器・木製品	ＳＤ112を切り、ＳＤ117・118に切られる。東はＳＤ57・11に接し西でＳＤ110に合流。	図面三二
ＳＤ112	（N・O、24・25）	南西～北東	長さ11.2m 幅1.0m 深さ5cm	―	ＳＤ113を切り、ＳＤ107・111に切られる。	
ＳＤ113	（N・O、24）	南西～北東 北西～南東	長さ6.9m 幅0.6m 深さ14cm	須恵器	ＳＤ112・114に切られる。	
ＳＤ114	（N、24・25）	南西～東北	長10.0m 幅0.3m 深さ10cm	―	ＳＤ113を切る。	
ＳＤ115	（L～O、24～27）	南西～北東	長さ36.9m以上 幅0.2m 深さ3cm	―	ＳＤ107に切られる。北側は調査区外に延びる。	
ＳＤ116	（L・M、24～26）	南西～北東	長さ17.9m 幅0.2m 深さ12cm	縄文		
ＳＤ117	（L～N、24～27）	南西～北東	長さ36.3m以上 幅0.2m 深さ10cm	―	ＳＤ107・111を切る。北側は調査区外に延びる。	
ＳＤ118	（L・M、25・26）	南西～北東	長さ25.7m 幅0.1m 深さ4cm	―	ＳＤ111を切る。	
ＳＤ119	（J、23・24）	南西～北東	長さ3.5m 幅0.3m 深さ6cm	―		
ＳＤ120	（J、23）	南東～北西	長さ4.7m 幅0.2m 深さ5cm	―		
ＳＤ121	（N、26・27）	南西～北東	長さ10.7m以上 幅0.2m 深さ4cm	―	ＳＤ116と並行する。	
ＳＤ122	（N・O、26・27）	南西～北東	長さ11.8m 幅0.3m 深さ5cm	―	北側は調査区外に延びる。	
ＳＤ123	（P、4）	南北	長さ1.8m以上 幅0.5m 深さ6cm	―	南側は調査区外に延びる。	
ＳＤ124	（U、11・12）	北北東～南南西	長さ4.8m以上 幅0.8m 深さ26cm	―	ＳＫ63・65に切られる。北側・南側は調査区外に延びる。	
ＳＤ125	（T・U、12）	北北東～南南西	長さ4.8m以上 幅0.4m 深さ8cm	―	ＳＫ66に切られる。北側・南側は調査区外に延びる。	
ＳＤ126	（T、12）	南西～北東	長さ1.0m以上 幅0.3m 深さ12cm	―	ＳＫ67に切られる。北側・南側は調査区外に延びる。	
ＳＤ127	（S・T、12）	南西～北東	長さ5.5m以上 幅0.4m 深さ4cm	―	北側・南側は調査区外に延びる。	
ＳＤ128	（S・T、12）	北北東～南南西	長さ4.7m以上 幅0.7m 深さ9cm	―	北側・南側は調査区外に延びる。	
ＳＤ129	（下層）	―	長さ―m 幅1.3m 深さ42cm	―	下層で検出。	
ＳＤ130	（R、4・5）	南北	長さ5.7m以上 幅0.8m 深さ18cm	―	ＳＫ81を切り、ＳＤ131・137に切られる。北側・南側は調査区外に延びる。	
ＳＤ131	（R、4・5）	南北	長さ7.1m以上 幅1.1m 深さ26cm	―	ＳＤ130を切り、ＳＤ137に切られる。北側・南側は調査区外に延びる。	
ＳＤ132	（R、5・6）	南北	長さ7.6m以上 幅1.7m 深さ11cm	―	ＳＤ133、ＳＫ81に切られる。北側・南側は調査区外に延びる。	
ＳＤ133	（R、5）	南北	長さ4.3m以上 幅1.3m 深さ12cm	―	ＳＤ132を切る。南側は調査区外に延びる。	
ＳＤ134	（R、5・6）	南北	長さ6.3m以上 幅0.4m 深さ0.2cm	―	ＳＫ74に切られる。南側は調査区外に延びる。	
ＳＤ135	（S、7）	南西～北東	長さ6.2m以上 幅0.4m 深さ0.2cm	―	北側・南側は調査区外に延びる。	
ＳＤ136	（S・T、7）	南西～北東	長さ2.7m 幅0.6m 深さ33cm	―		
ＳＤ137	（Q・R、5）	南東～北西	長さ4.8m以上 幅0.3m 深さ23cm	―	ＳＤ130・131を切り、ＳＫ81を切る。北側・南側は調査区外に延びる。	
ＳＤ138	（S、6）	南西～北東	長さ4.6m 幅0.5m 深さ7cm	―	ＳＫ82を切る。	
ＳＤ139	（M、9・10）	―	長さ4.7m 幅0.3m 深さ5cm	―		

凹地

遺構名	グリッド	平面形	規模	出土遺物	備考	図面No.
ＳＸ03	（T、16）	隅丸方形・不整楕円形	長軸：6.80m 短軸：4.7m 深さ：90cm	肥前系磁器、肥前系陶器、唐津、越中瀬戸、漆器、木製品（連歯下駄ほか）	ＳＫ12・13とＳＤ51を切り、ＳＫ14に切られる。近世のゴミ穴か。	図面三一

区画整理３区

掘立柱建物

遺構名	グリッド	規模	構造・方位・平面形態	方向	切り合い	図面No.
ＳＢ01	(3・4、O)	桁行2間(2.8m)×梁行2間(3.8m)以上	南北棟、総柱の建物。 座標北に対して26度東に偏る。 不整楕円ないし不整円形	木製品	P1はＳＤ5を切る。 Ｐ３は柱痕の遺存する。	図面三六 図面三八
ＳＢ02	(3・4、O)	桁行2間(2.9m)×梁行1間(1.8m)	南北棟、側柱の建物。 座標北に対して46度東に偏る。 不整楕円ないし不整円形	—	ＳＤ27とほぼ軸を揃える。	図面三六
ＳＢ03	(3・5、O)	桁行１間(4.3m)×梁行１間(3.3m)	北西―南東棟、側柱の建物。 座標北に対して42度西に偏る。 不整楕円ないし不整円形。	—		図面三四

土坑　　撹乱を除く

遺構名	グリッド	平面形	規模	出土遺物	備考	図面No.
ＳＫ1	(F～H、-1～0)	楕円形	長軸：1.5m 短軸：0.9m 深さ：19cm	—		
ＳＫ2	(F、-1)	不整楕円形	長軸：1.0m 短軸：0.4m 深さ：20cm	—		
ＳＫ3	(G、-1)	楕円形	長軸：0.3m 短軸：0.2m 深さ：22cm	—	ＳＤ3を切る。	
ＳＫ4	(G、0)	楕円形	長軸：0.4m 短軸：0.3m 深さ：20cm	—	ＳＤ5を切る。	
ＳＫ5	(N・O、4)	隅丸方形	長軸：1.6m 短軸：1.2m 深さ：20cm	土師器		
ＳＫ6	(O、3)	不整楕円形	長軸：2.6m 短軸：1.7m 深さ：10～35cm	磁器、陶器		
ＳＫ7	(O、2)	楕円形	長軸：1.0m 短軸：0.7m 深さ：31cm	磁器、陶器		
ＳＫ8	(O、2)	隅丸方形	長軸：1.1m 短軸：1.0m 深さ：13cm	磁器、陶器		
ＳＫ9	(O、2)	楕円形	長軸：1.1m 短軸：1.1m 深さ：25cm	珠洲		
ＳＫ10	(O、3)	楕円形	長軸：0.6m 短軸：0.5m 深さ：15cm	—		
ＳＫ11	(O・P、2)	楕円形	長軸：0.9m以上 短軸：0.8m 深さ：8cm	—	東側は調査区外に延びる。	
ＳＫ12	(O、2)	不整楕円形	長軸：0.9m 短軸：0.4m 深さ：10cm	—		
ＳＫ14	(O、2)	楕円形	長軸：1.2m 短軸：0..4m以上	—	ＳＤ38に切られる。	
ＳＫ15	(P、2)	楕円形	長軸：0.6m 短軸：―m 深さ：5cm	—	ＳＤ27に切られる。東側は調査区外に延びる。	
ＳＫ16	(L、15)	不整形	長軸：1.2m 短軸：1.1m 深さ：13cm	—		
ＳＫ17	(M、15)	不整形	長軸：1.7m以上 短軸：0.6m 深さ：20cm	土師器	ＳＤ49を切る。	
ＳＫ19	(O、3)	不整楕円形	長軸：1.0m 短軸：0.3m 深さ：8cm	—		
ＳＫ20	(B、5)	楕円形	長軸：0.5m 短軸：0.4m 深さ：5cm	—		
ＳＫ21	(B、5)	楕円形	長軸：0.6m 短軸：0.5m 深さ：6cm	須恵器		
ＳＫ22	(C、4)	不整楕円形	長軸：1.0m 短軸：0.65m 深さ：5cm	—		
ＳＫ23	(C、4)	不整楕円形	長軸：2.2m 短軸：1.3m 深さ：5cm	—		
ＳＫ24	(C、4)	楕円形	長軸：1.3m 短軸：1.1m 深さ：26cm	—		
ＳＫ25	(K、12)	楕円形	長軸：0.9m 短軸：0.4m以上 深さ：16cm	—	北側は調査区外に延びる。	
ＳＫ26	(L・M、11)	楕円形	長軸：1.1m 短軸：1.1m 深さ：35cm	—		
ＳＫ27	(L、11)	不整楕円形	長軸：2.3m以上 短軸：1.8m 深さ：26cm	土師器	北側は調査区外に延びる。	
ＳＫ28	(L、11)	不整楕円形	長軸：2.5m以上 短軸：1.8m 深さ：22cm	須恵器	北側は調査区外に延びる。	
ＳＫ29	(L、11)	不整楕円形	長軸：1.8m以上 短軸：1.3m 深さ：34cm	—	北側は調査区外に延びる。	

溝状遺構　　撹乱を除く

遺構名	グリッド	方向	規模	出土遺物	備考	図面No.
ＳＤ1	(F～H、-1～0)	南西～北東	長さ：26.3m以上 幅：―m 深さ：26cm	陶器、磁器		
ＳＤ2	(H、-2・-1)	南西～北東	長さ：5.7m 幅：0.6m 深さ：17cm	—		
ＳＤ3	(G、-1)	南東～北西	長さ：2.4m 幅：0.5m 深さ：5cm	—		
ＳＤ4	(F・G、0)	南北	長さ：8.1m以上 幅：0.65m 深さ：10cm	—	ＳＤ1・5に切られる。北側は調査区外に延びる。	
ＳＤ5	(G、0)	南東～北西	長さ：8.1m以上 幅：0.65m 深さ：10cm	—	ＳＤを切り、ＳＤ1、ＳＫ4に切られる。南側・北側は調査区外に延びる。	図面四○
ＳＤ6	(G、-1・0)	南東～北西	長さ：7.2m以上 幅：1.4m 深さ：40cm	土師器	ＳＤ4に切られる。南側・北側は調査区外に延びる。	図面四○
ＳＤ7	(G、-1・0)	南東～北西	長さ：10.6m以上 幅：0.8m 深さ：18cm	—	ＳＤ1・5に切られる。北側は調査区外に延びる。	図面四○
ＳＤ8	(H、-2・0)	東西	長さ：17.0m以上 幅：0.4m 深さ：9cm	土師器、須恵器	ＳＤ16・17に切られる。東側は調査区外に延びる。	
ＳＤ9	(H・I、-2・-1)	東西	長さ：6.5m以上 幅：0.3～2.0m	—	東側は調査区外に延びる。	
ＳＤ10	(H、-2・-1)	南東～北西	長さ：5.6m以上 幅：0.5m 深さ：10cm	陶器、磁器	ＳＤ12を切る。南側は調査区外に延びる。	

ＳＤ11	（F、0）	南西～北東	長さ：1.4m 幅：0.3m 深さ：8cm	—		
ＳＤ12	（H、-1）	南西～北東	長さ：4.7m 幅：0.4m 深さ：4cm	—	ＳＤ1・10に切られる。	
ＳＤ14	（３区全域）	東西（蛇行）	長さ：約210m程度 幅：2.5～5.0m	土師器、赤彩土師器、黒色土器、須恵器、土製品（土錘）　石製品　墨書土器		図面三九
ＳＤ15	（H・Ｉ、0）	南北	長さ：2.8m 幅：0.4m 深さ：—cm	—		
ＳＤ16	（H・Ｉ、0）	南北	長さ：7.1m以上 幅：0.6m 深さ：—cm	—	ＳＤ8に切られる。北側は調査区外に延びる。	
ＳＤ17	（H・Ｉ、0）	南北	長さ：7.7m以上 幅：0.5m 深さ：15cm	—	ＳＤ18を切り、ＳＤ8に切られる。南側・北側は調査区外に延びる。	
ＳＤ18	（Ｉ、0・1）	北西～南東	長さ：48m以上 幅：2.0m	師器		図面四〇
ＳＤ19	（Ｉ、1）	北西～南東	長さ：42m以上 幅：0.7m	—		図面四〇
ＳＤ20	（Ｊ、1）	北西～南東	長さ：6.5m以上 幅：0.7m	—		
ＳＤ21	（３区全域）	東西（蛇行）	長さ：約210m程度 幅：1.0m	土師器、須恵器、墨書土器		図面三九
ＳＤ22	（M、5・6）	南東～北西	長さ：12.2m 幅：0.4m 深さ：3cm	—		
ＳＤ23	（M・N、4～6）	南西～北東	長さ：21.7m以上 幅：0.3m 深さ：5cm	—		
ＳＤ24	（O、3.・4）	南西～北東	長さ：6.2m以上 幅：0.4～0.7m 深さ：15cm	—	ＳＤ25を切る。南側・北側は調査区外に延びる。	
ＳＤ25	（O、3・4）	南西～北東	長さ：8.5m以上 幅：0.4m 深さ：20cm	—	ＳＤ24に切られる。南側・北側は調査区外に延びる。	
ＳＤ27	（P、2）	南西～北東	長さ：1.5m以上 幅：0.4m 深さ：20cm	—	ＳＫ15を切る。東側は調査区外に延びる。	
ＳＤ28	（L、7）	東西	長さ：6.8m以上 幅：2.0m 深さ：3cm	—	東側・西側は調査区外に延びる。	
ＳＤ29	（N、4）	—	長さ：1.5m以上 幅：0.7m以上	—	西側は調査区外に延びる。	
ＳＤ30	（O、3）	南西～北東	長さ：1.9m以上 幅：0.4m 深さ：5cm	—	東側は調査区外に延びる。	
ＳＤ31	（O、3）	南西～北東	長さ：3.5m以上 幅：0.4m 深さ：5cm	—	東側は調査区外に延びる。	
ＳＤ32	（O、2）	南北	長さ：3.0m以上 幅：0.4m 深さ：6cm	—	南側は調査区外に延びる。	
ＳＤ33-a	（N・O、5）	南西～北東	長さ：5.0m以上 幅：1.1～2.3m 深さ：18～35cm	土師器、須恵器、陶器、磁器、石製品	ＳＤ33－cが合流し、南側・北側は調査区外に延びる。	
ＳＤ33-b	（N・O、5）	南西～北東	長さ：4.8m以上 幅：0.6m 深さ：10cm	土師器、珠洲、陶器、磁器	南側・北側は調査区外に延びる。	
ＳＤ33-c	（N、5）	南西～北東	長さ：4.0m以上 幅：0.4m 深さ：14cm	—	ＳＤ33－aに合流し、南側・北側は調査区外に延びる。	
ＳＤ34	（N、5）	南西～北東	長さ：8.5m以上 幅：0.4～0.7m 深さ：20cm	土師器、須恵器、陶器、磁器	ＳＤ39を分流する。北側は調査区外に延びる。	
ＳＤ36	（N、5・6）	東西	長さ：9.0m以上 幅：0.4m 深さ：6～10cm	土師器		
ＳＤ38	（O、2）	南北	長さ：2.4m 幅：0.3m 深さ：10cm	—	ＳＫ14を切る。	
ＳＤ39	（N、5）	南西～北東	長さ：2.8m以上 幅：0.4m 深さ：10cm	—	ＳＤ34から分流する。北側は調査区外に延びる。	
ＳＤ40	（O、2）	南北	長さ：2.5m以上 幅：0.3m 深さ：7cm	—	南側は調査区外に延びる。	
ＳＤ41	（K、13）	南西～北東	長さ：6.0m以上 幅：0.5m 深さ：15cm	—	南側・北側は調査区外に延びる。	
ＳＤ42	（L、14）	東西	長さ：8.4m以上 幅：0.7m 深さ：6～12cm	陶器、磁器	東側・西側は調査区外に延びる。	
ＳＤ43	（L・M、15）	南北	長さ：6.2m以上 幅：0.6m 深さ：17cm	珠洲、陶器、磁器	ＳＤ46を切る。南側・北側は調査区外に延びる。	
ＳＤ44	（M・N、15）	南西～北東	長さ：11.5m以上 幅：1.0m以上 深さ：10～25cm	土師器、須恵器、珠洲	北側は調査区外に延びる。	
ＳＤ45	（M・N、16）	南西～北東	長さ：9.7m以上 幅：0.9m 深さ：20cm	—	南側は調査区外に延び、北側はＳＤ14を分流する。	
ＳＤ46	（M、14・15）	南西～北東	長さ：3.7m 幅：0.5m 深さ：29cm	土師器、須恵器	ＳＤ43に切られる。	
ＳＤ48	（L、15）	南北	長さ：2.5m以上 幅：0.4m 深さ：6cm	—	南側は調査区外に延びる。	
ＳＤ49	（M、15・16）	東西	長さ：2.4m以上 幅：0.2m 深さ：12cm	—	ＳＫ17に切られ、ＳＤ45を分流する。	
ＳＤ50	（L・M、15）	南北	長さ：6.8m以上 幅：1.0m 深さ：13～25cm	土師器、須恵器、珠洲	南側は調査区外に延びる。	
ＳＤ51	（C、4）	南東～北西	長さ：3.0m以上 幅：0.4m 深さ：20～35cm	陶器、磁器		
ＳＤ52	（C・D、3）	南西～北東	長さ：6.8m以上 幅：0.2m 深さ：8cm	—		
ＳＤ53	（Ｊ、13）	南東～北西	長さ：2.4m以上 幅：1.1m以上 深さ：7cm	—	南側は調査区外に延びる。	
ＳＤ54	（M、16）	南北	長さ：2.6m以上 幅：0.6m 深さ：10cm	—	ＳＤ45に切られる。南側は調査区外に延びる。	

西木津遺跡　区画整理区

柵址

遺構名	グリッド	規模	出土遺物	出土遺物	切り合い	図面No.
ＳＡ01	（ＡＬ、17）	2間以上(3.0m)	南北方向。座標北に対して２～３度西に偏る。 不整楕円ないし不整形	—		図面四三

土坑

遺構名	グリッド	平面形	規模	出土遺物	備考	図面No.
ＳＫ18	（AM、16）	不整楕円形	長軸：1.7m 短軸：0.5m 深さ：10cm	土師器		
ＳＫ30	（ＡＬ、17）	不整楕円形	長軸：0.85m 短軸：0.7m 深さ：30cm	—	ＳＡ１柱穴。ＳＰ66を切る。	
ＳＫ31	（ＡＬ、17）	不整形	長軸：1.4m 短軸：1.0m 深さ：40cm	土師器		図面四四
ＳＫ32	（ＡＬ、17）	不整楕円形	長軸：1.1m 短軸：0.6m 深さ：25cm	—		
ＳＫ33	（ＡＬ、17）	不整楕円形	長軸：1.2m 短軸：1.0m以上 深さ：61cm	—	ＳＡ１柱穴。東側は調査区外に延びる。	図面四四
ＳＫ35	（ＡＬ、17）	楕円形	長軸：1.0m 短軸：0.6m 深さ：27cm	—		
ＳＫ36	（ＡＬ、17）	楕円形	長軸：0.6m 短軸：0.6m 深さ：40cm	土師器	ＳＡ１柱穴。	
ＳＫ37	（ＡＬ、17）	不整楕円形	長軸：0.7m 短軸：0.6m 深さ：15cm	—		
ＳＫ38	（ＡＬ、17）	不整楕円形	長軸：1.4m 短軸：0.9m 深さ：10cm	土師器		
ＳＫ39	（ＡＬ、17）	不整楕円形	長軸：3.8m 短軸：2.4m	青磁椀、土師器		図面四四
ＳＫ40	（ＡＪ、12）	不整楕円形	長軸：1.1m 短軸：0.9m 深さ：30cm	土師器、須恵器	ＳＫ53を切る。	
ＳＫ41	（ＡＪ、12）	楕円形	長軸：0.5m 短軸：0.4m 深さ：10cm	—		
ＳＫ42	（ＡＪ、12）	不整形	長軸：1.1m以上 短軸：0.7m 深さ：15cm	—	東側は調査区外に延びる。	
ＳＫ43	（ＡＪ、12）	不整形	長軸：0.8m 短軸：0.6m 深さ：15cm	—	ＳＫ52を切る。	
ＳＫ44	（ＡＪ、12）	不整形	長軸：1.2m 短軸：0.6m 深さ：20cm	—	ＳＫ45を切る。	
ＳＫ45	（ＡＪ、12）	不整円形	長軸：0.6m 短軸：0.55m 深さ：38cm	土師器、須恵器	ＳＫ44に切られる。	
ＳＫ46	（ＡＪ、12）	楕円形	長軸：0.9m 短軸：0.75m 深さ：28cm	土師器		
ＳＫ47	（ＡＪ、12）	不整形	長軸：0.65m 短軸：0.4m 深さ：15cm	—	東側は調査区外に延びる。	
ＳＫ48	（ＡＩ、12）	楕円形	長軸：1.6m 短軸：1.0m以上 深さ：12cm	—	東側は調査区外に延びる。	
ＳＫ49	（AI・AJ、13・14）	隅丸長方形	長軸：2.6m以上 短軸：1.2m 深さ：7cm	—	西側は調査区外に延びる。	
ＳＫ50	（ＡＪ、12）	不整形	長軸：1.3m以上 短軸：0.5m 深さ：17cm	—	ＳＫ53に切られる。東側は調査区外に延びる。	
ＳＫ51	（AH、13）	隅丸長方形	長軸：0.9m 短軸：0.8m 深さ：20cm	珠洲	南側・北側は調査区外に延びる。	
ＳＫ52	（ＡＪ、12）	不整形	長軸：0.5m以上 短軸：0.35m 深さ：22cm	珠洲	ＳＫ43に切られる。	
ＳＫ53	（ＡＪ、12）	不整形	長軸：1.8m以上 短軸：0.5m 深さ：25cm	—	ＳＫ50を切り、ＳＫ40に切られる。東側は調査区外に延びる。	

溝状遺構

遺構名	グリッド	方向	規模	出土遺物	備考	図面No.
ＳＤ55	（AM、16）	南西～北東	長さ：1.8m以上 幅：0.4m	—	南側は調査区外に延びる。	
ＳＤ56	（AM、17）	南西～北東	長さ：2.9m以上 幅：0.5～0.8m	—	南側は調査区外に延びる。	
ＳＤ60	（ＡＬ、17）	南西～北東	長さ：1.7m以上 幅：0.5m	—	西側は調査区外に延びる。	
ＳＤ61	（ＡＩ、13）	南西～北東	長さ：2.5m以上 幅：0.3m	—	ＳＤ62と合流する。北側は調査区外に延びる。	
ＳＤ62	（ＡＩ、13）	南東～北西	長さ：2.8m 幅：0.2m	土師器	ＳＤ61と合流する。ＳＤ63につながるか。	
ＳＤ63	（ＡＩ、13）	南西～北東	長さ：2.1m以上 幅0.2m	—	ＳＤ64を切る。ＳＤ62につながるか。	
ＳＤ65	（ＡＩ～ＡＧ、13～15）	北西～南東	長さ：約22m 幅：4.0m 深さ：180cm	土師器、須恵器、珠洲、陶器、磁器、石製品		図面四四
ＳＤ66	（ＡＩ、12・13）	南南西～北北東（屈曲）	幅：0.4～0.6m	土師器、珠洲	南側・東側は調査区外に延びる。区画溝か。	

表３　遺物一覧

中木津遺跡　区画整理各区　土器類・土製品遺物観察表

図面番号	No.	出土遺構	器種	大きさ （ ）内は復元・残存	色調	焼成・胎土	器形・成形・文様・調整の特徴	残存率
45	1	1区 SD204	須恵器 杯A	口縁部径(10.5cm) 器高2.9cm 底部径(6.0cm)	外面　緑灰(7.5GY6/1) 内面　緑灰(7.5GY6/1)	焼成　良好 胎土　白色砂粒含む	内外面回転ナデ、底面回転ヘラ切り。	口縁部～底部 1/10
45	2	1区 SD204	須恵器 杯A	口縁部径(11.7cm) 器高2.3cm 底部径(7.0cm)	外面　青灰(5B6/1) 内面　青灰(5B6/1)	焼成　良好 胎土　砂粒含む	内外面回転ナデ、底面回転ヘラ切り。	口縁部～底部 1/6
45	3	1区 SD204	須恵器 杯A	口縁部径(11.4cm) 器高3.2cm 底部径(8.3cm)	外面　オリーブ灰(5GY6/1) 内面　オリーブ灰(5GY6/1)	焼成　良好 胎土　白色砂粒含む	内外面回転ナデ、底面回転ケズリ後ナデ。	口縁部～底部 1/4
45	4	1区 SD204	須恵器 杯A	口縁部径(11.7cm) 器高3.0cm 底部径(8.1cm)	外面　緑灰(5GY) 内面　緑灰(5GY)	焼成　良好 胎土　砂粒・酸化鉄含む	内外面回転ナデ、底面回転ヘラ切り。	口縁部～底部 1/5
45	5	1区 SD204	須恵器 杯A	口縁部径(12.3cm) 器高3.1cm 底部径(8.1cm)	外面　灰黄褐(10YR6/2) 内面　にぶい黄橙(10YR7/3)	焼成　やや不良 胎土　砂粒含む	内外面回転ナデ、底面回転ヘラ切り。	口縁部～底部 1/4
45	6	1区 SD204	須恵器 杯A	口縁部径(12.3cm) 器高3.5cm 底部径(9.2cm)	外面　明黄褐(2.5Y6/6) 内面　明黄褐(2.5Y6/6)	焼成　良好 胎土　砂粒含む	内外面回転ナデ、底面回転ヘラ切り。	口縁部～底部 1/4
45	7	1区 SD204	須恵器 杯A	口縁部径(12.1cm) 器高3.0cm 底部径(8.3cm)	外面　明黄褐(10YR6/6) 内面　褐灰(10YR6/1)	焼成　やや不良 胎土　砂粒・酸化鉄含む	内外面回転ナデ、底面回転ヘラ切り。	口縁部～底部 2/3
45	8	1区 SD204	須恵器 杯A	口縁部径(12.4cm) 器高3.0cm 底部径(9.7cm)	外面　緑灰(5GY) 内面　緑灰(5GY)	焼成　良好 胎土　砂粒含む	内外面回転ナデ。	口縁部～底部 1/5
45	9	1区 SD204	須恵器 杯A	口縁部径(12.6cm) 器高3.0cm 底部径(7.2cm)	外面　青灰(10BG5/1) 内面　青灰(10BG5/1)	焼成　良好 胎土　白色砂粒含む	内外面回転ナデ、底面回転ヘラ切り。	口縁部～底部 1/8
45	10	1区 SD204	須恵器 杯A	口縁部径(12.6cm) 器高3.0cm 底部径(8.4cm)	外面　緑灰(5G5/1) 内面　緑灰(5G6/1)	焼成　良好 胎土　砂粒・酸化鉄含む	内外面回転ナデ、底面回転ヘラ切り。	口縁部～底部 1/4
45	11	1区 SD204	須恵器 杯A	口縁部径(13.3cm) 器高3.2cm 底部径(8.3cm)	外面　灰白(2.5Y7/1) 内面　灰黄(2.5Y7/2)	焼成　不良 胎土　砂粒含む	内外面回転ナデ、底面回転ヘラ切り。	口縁部～底部 1/5
45	12	1区 SD204	須恵器 杯A	口縁部径(13.5cm) 器高3.0cm 底部径(8.0cm)	外面　緑灰(10GY6/1) 内面　緑灰(10GY6/1)	焼成　良好 胎土　砂粒・酸化鉄含む	内外面回転ナデ、底面回転ヘラ切り。	口縁部～底部 1/5
45	13	1区 SD204	須恵器 杯A	口縁部径(14.0cm) 器高3.2cm 底部径(9.8cm)	外面　緑灰(7.5GY6/1) 内面　緑灰(7.5GY6/1)	焼成　良好 胎土　白色砂粒含む	内外面回転ナデ、底面回転ヘラ切り。	口縁部～底部 1/4
45	14	1区 SD204	須恵器 杯A	口縁部径(12.1cm) 器高3.8cm 底部径(8.0cm)	外面　明緑灰(10G7/1) 内面　明緑灰(10G7/1)	焼成　良好 胎土　砂粒含む	内外面回転ナデ。	口縁部～底部 1/4
45	15	1区 SD204	須恵器 杯A	口縁部径(11.8cm) 器高4.3cm 底部径(9.0cm)	外面　緑灰(7.5GY5/1) 内面　緑灰(7.5GY5/1)	焼成　良好 胎土　白色砂粒含む	内外面回転ナデ、底面回転ヘラ切り。	口縁部～底部 1/10
45	16	1区 SD204	須恵器 杯A	口縁部径- 器高(1.7cm) 底部径(6.8cm)	外面　青灰(5B6/1) 内面　青灰(5B6/1)	焼成　良好 胎土　砂粒含む	内外面回転ナデ、底面回転ヘラ切り。	底部1/4
45	17	1区 SD204	須恵器 杯A	口縁部径- 器高(2.0cm) 底部径(8.0cm)	外面　緑灰(5G6/1) 内面　緑灰(5G6/1)	焼成　やや不良 胎土　砂粒・酸化鉄含む	内外面回転ナデ、底面回転ヘラ切り。	底部1/3
45	18	1区 SD204	須恵器 杯A	口縁部径- 器高(2.1cm) 底部径(8.5cm)	外面　緑灰(5G6/1) 内面　緑灰(5G6/1)	焼成　良好 胎土　砂粒・酸化鉄含む	内外面回転ナデ、底面回転ヘラ切り。	底部1/5
45	19	1区 SD204	須恵器 杯A	口縁部径- 器高(1.0cm) 底部径7.2cm	外面　灰(N6/) 内面　灰(N6/)	焼成　良好 胎土　砂粒含む	内外面回転ナデ、底面回転ヘラ切り。	底部1/4
45	20	1区 SD204	須恵器 杯A	口縁部径- 器高(1.2cm) 底部径(8.3cm)	外面　緑灰(7.5GY) 内面　緑灰(7.5GY)	焼成　良好 胎土　砂粒含む	内外面回転ナデ、底面回転ケズリ。	底部1/10
45	21	1区 SD204	須恵器 杯A	口縁部径- 器高(2.7cm) 底部径(10.2cm)	外面　青灰(5BG6/1) 内面　青灰(5BG6/1)	焼成　良好 胎土　白色砂粒含む	内外面回転ナデ、底面回転ヘラ切り。	底部1/5
45	22	1区 SD204	須恵器 杯B	口縁部径- 器高(3.1cm) 底部径(7.4cm)	外面　青灰(5BG6/1) 内面　明青灰(5BG7/1)	焼成　良好 胎土　砂粒・酸化鉄含む	内外面回転ナデ、底面回転ナデ・ヘラ切り。	底部1/4
45	23	1区 SD204	須恵器 杯B	口縁部径- 器高(3.0cm) 底部径(8.0cm)	外面　青灰(5BG6/1) 内面　青灰(5BG6/1)	焼成　良好 胎土　白色砂粒含む	内外面回転ナデ、底面回転ナデ・ヘラ切り。	底部1/3
45	24	1区 SD204	須恵器 杯B	口縁部径- 器高(2.2cm) 底部径(7.8cm)	外面　青灰(5PB5/1) 内面　青灰(5PB6/1)	焼成　良好 胎土　砂粒・酸化鉄含む	内外面回転ナデ、底面回転ヘラ切り後ナデ。	底部1/5
45	25	1区 SD204	須恵器 杯B	口縁部径- 器高(2.8cm) 底部径(9.6cm)	外面　青灰(5BG6/1) 内面　青灰(10BG6/1)	焼成　良好 胎土　砂粒含む	内外面回転ナデ、底面回転ヘラケズリ。	底部1/4
45	26	1区 SD204	須恵器 杯B	口縁部径(16.4cm) 器高4.6cm 底部径(11.6cm)	外面　緑灰(7.5GY) 内面　緑灰(7.5GY)	焼成　良好 胎土　砂粒含む	内外面回転ナデ、底面回転ナデ。	口縁部～底部 1/3
45	27	1区 SD204	須恵器 杯B （転用硯）	口縁部径- 器高(1.3cm) 底部径5.8cm	外面　緑灰(7.5GY6/1) 内面　緑灰(7.5GY5/1)	焼成　良好 胎土　白色砂粒含む	内外面回転ナデ、底面回転糸切り。内面中心部に墨跡が僅かに残存。転用硯。	底部1/3
45	28	1区 SD204	須恵器 杯	口縁部径(10.8cm) 器高(3.5cm) 底部径-	外面　緑灰(10G6/1) 内面　緑灰(10G6/1)	焼成　良好 胎土　砂粒含む	内外面回転ナデ。	口縁部1/6
45	29	1区 SD204	須恵器 杯	口縁部径(11.9cm) 器高(3.5cm) 底部径-	外面　緑灰(5GY) 内面　緑灰(5GY)	焼成　良好 胎土　砂粒含む	内外面回転ナデ。	口縁部1/10
45	30	1区 SD204	須恵器 蓋	口縁部径- 器高(2.1cm) 底部径-	外面　緑灰(10GY6/1) 内面　緑灰(10GY6/1)	焼成　良好 胎土　白色砂粒含む	外面回転ヘラケズリ・ナデ、内面回転ナデ。	上部1/4
45	31	1区 SD204	須恵器 大甕	口縁部径(25.4cm) 器高(8.5cm) 底部径-	外面　浅黄橙(10YR8/3) 内面　灰白(2.5Y8/2)	焼成　不良 胎土　砂粒含む	外面口縁部ハケメ後ナデ、胴部タタキ。内面口縁部ヨコナデ、胴部タタキ・青海波文。胴部内外面に煤付着。	口縁部～頸部 1/3
45	32	1区 SD204	須恵器 双耳壺	口縁部径- 器高(6.0cm) 底部径-	外面　青灰(5PB6/1) 内面　青灰(5PB6/1)	焼成　良好 胎土　砂粒・酸化鉄含む	内外面回転ナデ、耳部ヘラケズリ。	胴部1/10
46	33	1区 SD204	須恵器 壺	口縁部径(22.0cm) 器高(5.9cm) 底部径-	外面　暗緑灰(10G4/1) 内面　緑灰(10G5/1)	焼成　良好 胎土　白色砂粒含む	内外面回転ナデ。	口縁部1/10

図面番号	No.	出土遺構	器種	大きさ （ ）内は復元・残存	色調	焼成・胎土	器形・成形・文様・調整の特徴	残存率
46	34	1区 SD204	須恵器 短頸壺	口縁部径- 器高(23.5cm) 底部径12.7cm	外面 オリーブ灰(10Y5/2) 内面 灰白(5Y8/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	口縁部と胴部の一部欠損。外面ヨコナデ・ヘラケズリ、内面ヨコナデ。底面ヨコナデ・ナデ。内外面に自然釉。	胴部～底部3/5
46	35	1区 SD204	須恵器 小型壺	口縁部径- 器高(10.8cm) 底部径6.7cm	外面 オリーブ灰(2.5GY5/1) 内面 オリーブ灰(2.5GY5/1)	焼成 良好 胎土 白色砂粒含む	口縁部欠損。外面ヨコナデ、底面回転ヘラケズリ。ヤキムラあり。	頸部～底部4/5
46	36	1区 SD204	須恵器 壺	口縁部径- 器高(9.9cm) 底部径(9.8cm)	外面 オリーブ灰(5GY6/1) 内面 オリーブ灰(5GY6/1)	焼成 良好 胎土 白色砂粒含む	外面回転ナデ・ヘラケズリ、内面ヨコナデ、底面未調整。内面タール付着。	底部1/4
46	37	1区 SD204	土師器 椀A （墨書土器）	口縁部径(12.5cm) 器高5.0cm 底部径5.0cm	外面 灰黄(2.5Y7/2) 内面 灰黄(2.5Y7/2)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	内外面回転ナデ、底面回転糸切り。外面中段部に墨書「木津カ」。内面スス付着。	口縁部～底部2/3
46	38	1区 SD204	土師器 椀A	口縁部径12.4cm 器高4.4cm 底部径4.2cm	外面 にぶい橙(5YR6/4) 内面 にぶい橙(5YR7/3)	焼成 良好 胎土 砂粒・酸化鉄含む	内外面回転ナデ、底面回転糸切り。	完形
46	39	1区 SD204	黒色土器 椀A	口縁部径- 器高(3.3cm) 底部径4.7cm	外面 にぶい黄橙(10YR7/4) 内面 浅黄(2.5Y7/3)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	内外面回転ナデ、底面回転糸切り。内面黒色。	底部1/3
46	40	1区 SD204	土師器 椀A	口縁部径13.2cm 器高4.0cm 底部径4.6cm	外面 浅黄(2.5Y7/4) 内面 浅黄(2.5Y7/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面ヨコナデ・ナデ、内面ナデ、底面回転糸切り。	ほぼ完形9/10
46	41	1区 SD204	土師器 椀A	口縁部径(13.3cm) 器高5.0cm 底部径6.15cm	外面 にぶい黄橙(10YR7/3) 内面 にぶい黄橙(10YR3/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	内外面回転ナデ、底面回転糸切り。外面煤付着、内面一部黒斑有。	口縁部～底部1/3
46	42	1区 SD204	土師器 椀A	口縁部径(12.7cm) 器高4.3cm 底部径4.6cm	外面 にぶい橙(5YR6/4) 内面 にぶい橙(5YR6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒・酸化鉄含む	内外面回転ナデ、底面回転糸切り。内外面に底面糸切り後ユビナデ痕有。	口縁部～底部3/4
46	43	1区 SD204	土師器 椀A	口縁部径(12.8cm) 器高3.8cm 底部径5.6cm	外面 にぶい橙(10YR7/3) 内面 にぶい橙(10YR7/3)	焼成 良好 胎土 砂粒・酸化鉄含む	内外面回転ナデ、底面回転糸切り。内外面口縁部に煤付着。	口縁部～底部2/3
46	44	1区 SD204	土師器 椀A	口縁部径(14.2cm) 器高4.5cm 底部径5.5cm	外面 明褐灰(5YR7/1) 内面 にぶい橙(5YR7/3)	焼成 良好 胎土 砂粒・酸化鉄含む	内外面回転ナデ、底面回転糸切り。	口縁部～底部2/3
46	45	1区 SD204	土師器 椀A	口縁部径(12.7cm) 器高4.5cm 底部径(4.1cm)	外面 にぶい橙(5YR7/3) 内面 にぶい橙(5YR7/3)	焼成 良好 胎土 白色砂粒含む	内外面回転ナデ、底面回転糸切り。	口縁部～底部1/2
46	46	1区 SD204	土師器 椀A	口縁部径(13.6cm) 器高2.8cm 底部径(5.0cm)	外面 にぶい橙(5YR7/3) 内面 にぶい橙(5YR7/3)	焼成 良好 胎土 砂粒・酸化鉄含む	内外面回転ナデ、底面回転糸切り。	口縁部～底部3/4
47	47	1区 SD204	土師器 椀A	口縁部径(12.8cm) 器高4.3cm 底部径5.5cm	外面 にぶい黄橙(10YR7/2) 内面 にぶい黄橙(10YR7/2)	焼成 良好 胎土 砂粒・酸化鉄含む	内外面回転ナデ、底面回転糸切り。	口縁部～底部3/4
47	48	1区 SD204	土師器 椀A	口縁部径(14.9cm) 器高4.6cm 底部径5.6cm	外面 にぶい橙(5YR7/3) 内面 にぶい橙(5YR6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒・酸化鉄含む	内外面回転ナデ、底面回転糸切り。	口縁部～底部2/3
47	49	1区 SD204	土師器 椀A	口縁部径(12.3cm) 器高4.5cm 底部径4.1cm	外面 明黄褐(2.5Y7/6) 内面 明黄褐(2.5Y7/6)	焼成 良好 胎土 砂粒・酸化鉄含む	内外面回転ナデ、底面回転糸切り。	口縁部～底部1/2
47	50	1区 SD204	土師器 椀A	口縁部径(12.6cm) 器高4.0cm 底部径4.4cm	外面 にぶい橙(5YR7/3) 内面 にぶい橙(5YR7/3)	焼成 良好 胎土 砂粒・酸化鉄含む	内外面回転ナデ、底面回転糸切り。内面底部に指頭圧痕有。内外面スス付着。	口縁部～底部2/5
47	51	1区 SD204	土師器 椀A	口縁部径(12.2cm) 器高4.0cm 底部径5.4cm	外面 にぶい橙(5YR6/4) 内面 にぶい橙(5YR6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒・酸化鉄含む	内外面回転ナデ、底面回転糸切り。	口縁部～底部2/3
47	52	1区 SD204	土師器 椀A	口縁部径(11.9cm) 器高4.0cm 底部径4.6cm	外面 橙(5YR7/6) 内面 橙(5YR7/6)	焼成 良好 胎土 砂粒・酸化鉄含む	内外面回転ナデ、底面回転糸切り。	口縁部～底部4/5
47	53	1区 SD204	土師器 椀A	口縁部径(10.8cm) 器高4.2cm 底部径(4.4cm)	外面 にぶい橙(10YR7/3) 内面 にぶい橙(10YR7/3)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	内外面回転ナデ、底面回転糸切り。内面底部に指頭圧痕有。	口縁部～底部1/3
47	54	1区 SD204	土師器 椀A	口縁部径- 器高(2.2cm) 底部径5.3cm	外面 にぶい黄橙(10YR6/3) 内面 にぶい黄橙(10YR6/3)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	内外面回転ナデ、底面回転糸切り。	底部1/5
47	55	1区 SD204	土師器 椀A	口縁部径(12.3cm) 器高4.1cm 底部径5.4cm	外面 にぶい黄橙(10YR7/3) 内面 にぶい橙(7.5YR7/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	内外面磨耗により不明、底面回転糸切り。	口縁部～底部1/2
47	56	1区 SD204	土師器 椀A	口縁部径- 器高(1.4cm) 底部径5.7cm	外面 明黄褐(2.5Y7/6) 内面 明黄褐(2.5Y7/6)	焼成 やや不良 胎土 砂粒・酸化鉄含む	内外面回転ナデ、底面回転糸切り。	底部1/5
47	57	1区 SD204	土師器 椀	口縁部径(12.0cm) 器高(3.9cm) 底部径-	外面 にぶい黄橙(10YR7/3) 内面 にぶい黄橙(10YR7/3)	焼成 不良 胎土 砂粒含む	内外面磨耗により不明。	口縁部1/6
47	58	1区 SD204	土師器 椀A	口縁部径(11.2cm) 器高4.4cm 底部径(4.4cm)	外面 にぶい褐(7.5YR5/3) 内面 浅黄橙(7.5YR8/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	内外面回転ナデ。	口縁部～底部1/2
47	59	1区 SD204	土師器 椀A	口縁部径(13.3cm) 器高(3.7cm) 底部径-	外面 にぶい橙(5YR6/3) 内面 にぶい橙(5YR6/3)	焼成 良好 胎土 砂粒・酸化鉄含む	内外面回転ナデ。	口縁部1/5
47	60	1区 SD204	土師器 椀A	口縁部径(13.1cm) 器高3.6cm 底部径(6.1cm)	外面 橙(5YR7/6) 内面 橙(5YR7/6)	焼成 良好 胎土 砂粒・酸化鉄含む	内外面回転ナデ、底面回転糸切り。	口縁部～底部1/3
47	61	1区 SD204	土師器 椀	口縁部径(13.4cm) 器高(4.3cm) 底部径-	外面 黄橙(10YR8/6) 内面 浅黄橙(10YR8/4)	焼成 良好 胎土 砂粒・酸化鉄含む	内外面回転ナデ。	口縁部1/5
47	62	1区 SD204	土師器 椀	口縁部径(14.1cm) 器高(3.8cm) 底部径-	外面 にぶい橙(5YR5/3) 内面 にぶい橙(5YR5/3)	焼成 良好 胎土 砂粒・酸化鉄含む	内外面回転ナデ。	口縁部1/4
47	63	1区 SD204	土師器 椀A	口縁部径(13.4cm) 器高(4.3cm) 底部径-	外面 浅黄橙(10YR8/3) 内面 浅黄橙(10YR8/3)	焼成 良好 胎土 白色砂粒含む	内外面回転ナデ。	口縁部1/5
47	64	1区 SD204	土師器 椀A	口縁部径(13.0cm) 器高(4.2cm) 底部径5.2cm	外面 にぶい橙(5YR7/3) 内面 にぶい橙(5YR7/3)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	内外面回転ナデ、底面回転糸切り。内外面に赤彩。	口縁部～底部1/5
47	65	1区 SD204	土師器 椀 （墨書土器）	口縁部径(12.5cm) 器高(4.2cm) 底部径-	外面 浅黄橙(2.5Y7/3) 内面 浅黄橙(2.5Y7/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	内外面回転ナデ。外面中段部に墨書銘有、判読不明。内面赤彩。	口縁部1/5
47	66	1区 SD204	土師器 椀	口縁部径(10.8cm) 器高(4.9cm) 底部径-	外面 にぶい橙(5YR6/3) 内面 にぶい橙(7.5YR7/3)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	内外面回転ナデ、煤付着。	口縁部1/4
47	67	1区 SD204	土師器 椀B	口縁部径- 器高(1.8cm) 底部径(5.7cm)	外面 明黄褐(2.5Y7/6) 内面 明黄褐(2.5Y7/6)	焼成 良好 胎土 白色砂粒含む	内外面・底面回転ナデ。	底部1/5

図面番号	No.	出土遺構	器種	大きさ （ ）内は復元・残存	色調	焼成・胎土	器形・成形・文様・調整の特徴	残存率
47	68	1区 SD204	黒色土器 椀B	口縁部径- 器高(2.2cm) 底部径(7.0cm)	外面　浅黄(2.5Y7/4) 内面　暗灰(N3/)	焼成　良好 胎土　砂粒含む	外面回転ナデ、黒色処理・ミガキ	底部1/4
48	69	1区 SD204	土師器 甕	口縁部径- 器高(2.5cm) 底部径7.3cm	外面　にぶい橙(7.5YR7/4) 内面　にぶい橙(7.5YR7/3)	焼成　良好 胎土　砂粒・酸化鉄含む	内外面回転ナデ、底面回転糸切り。	底部1/10
48	70	1区 SD204	製塩土器	口縁部径- 器高(3.2cm) 底部径(13.4cm)	外面　明褐(7.5YR5/8) 内面　灰黄褐(10YR5/2)	焼成　良好 胎土　砂粒含む	外面ユビ押さえ・ナデ、内面ナデ、底面ケズり。	底部1/10
48	71	1区 SD204	製塩土器	口縁部径- 器高(3.2cm) 底部径(12.1cm)	外面　黄褐(10YR5/6) 内面　黄褐(10YR5/6)	焼成　不良 胎土　砂粒含む	外面ユビ押さえ・ナデ、内面ナデ。	底部1/10
48	72	1区 SD204	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(4.0cm) 底部径-	外面　にぶい黄褐(10YR4/3) 内面　にぶい黄褐(10YR4/3)	焼成　良好 胎土　白色砂粒含む	外面条痕文、内面ナデ。	口縁部1/10
48	73	1区 SD204	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(4.0cm) 底部径-	外面　にぶい橙(2.5YR6/4) 内面　にぶい橙(5YR6/4)	焼成　良好 胎土　砂粒含む	内外面ヨコナデ。	口縁部1/20
48	74	1区 SD204	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(3.7cm) 底部径-	外面　暗灰黄(2.5Y5/2) 内面　黒褐(2.5Y3/2)	焼成　不良 胎土　雲母粒含む	外面条痕文、内面ナデ。	胴部1/10
48	75	1区 SD204	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(5.3cm) 底部径-	外面　にぶい橙(5YR6/3) 内面　にぶい橙(5YR6/3)	焼成　良好 胎土　砂粒・雲母含む	外面条痕文、内面ナデ。	胴部1/10
48	76	1区 SD204	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(14.2cm) 底部径-	外面　黄褐(2.5Y5/3) 内面　暗灰黄(2.5Y4/2)	焼成　不良 胎土　白色砂粒含む	外面縄文、内面ナデ。	胴部～底部1/10
48	82	1区 SD203	珠洲 すり鉢	口縁部径- 器高(4.5cm) 底部径(12.1cm)	外面　オリーブ灰(5GY6/1) 内面　灰白(10Y7/1)	焼成　良好 胎土　白色・黒色砂粒含む	内外面ヨコナデ、内面すり目。底面ハケメ。	底部1/3
49	83	1区 SD206	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(3.2cm) 底部径-	外面　褐灰(5YR5/1) 内面　褐灰(5YR5/1)	焼成　良好 胎土　白色砂粒含む	外面条痕文、内面ナデ、口唇部に刻み。	口縁部1/10
49	84	1区 SD206	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(3.5cm) 底部径-	外面　褐灰(5YR6/1) 内面　褐灰(5YR6/1)	焼成　良好 胎土　砂粒含む	外面条痕文、内面ナデ。	口縁部1/10
49	85	1区 SD206	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(6.5cm) 底部径-	外面　暗褐(10YR3/3) 内面　暗褐(10YR3/3)	焼成　良好 胎土　砂粒・雲母含む	外面条痕文、内面ナデ。	口縁部1/10
49	86	1区 SD206	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(4.2cm) 底部径-	外面　褐灰(5YR6/1) 内面　褐灰(5YR6/1)	焼成　良好 胎土　砂粒・雲母含む	内外面条痕文。	口縁部1/10
49	87	1区 SD206	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(4.3cm) 底部径-	外面　にぶい橙(5YR6/3) 内面　にぶい橙(5YR6/3)	焼成　良好 胎土　白色砂粒含む	外面条痕文、内面ナデ。	胴部1/10
49	88	1区 SD206	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(5.5cm) 底部径-	外面　にぶい橙(5YR7/3) 内面　にぶい橙(5YR7/3)	焼成　良好 胎土　砂粒・雲母含む	外面条痕文、内面ナデ。	胴部1/10
49	89	1区 SD206	土師器 甕	口縁部径(15.4cm) 器高(4.0cm) 底部径-	外面　にぶい黄橙(10YR7/4) 内面　にぶい黄橙(10YR7/3)	焼成　良好 胎土　砂粒含む	内外面ヨコナデ、内面ケズり。	口縁部1/12
49	90	1区 SD206	土師器 甕	口縁部径- 器高(3.8cm) 底部径-	外面　明褐灰(5YR7/1) 内面　明褐灰(5YR7/1)	焼成　良好 胎土　砂粒・酸化鉄含む	外面ナデ、内面ナデ・ハケ。	口縁部1/10
49	91	1区 SD206	土師器 甕	口縁部径- 器高(2.5cm) 底部径3.0cm	外面　浅黄(2.5Y7/3) 内面　灰(10Y6/1)	焼成　良好 胎土　砂粒含む	内外面ハケ。	底部
49	92	1区 SD210	須恵器 杯A	口縁部径13.7cm 器高3.1cm 底部径(7.3cm)	外面　緑灰(10G6/1) 内面　緑灰(10G6/1)	焼成　良好 胎土　砂粒含む	内外面回転ナデ、底面回転ヘラ切り後ナデ 。	口縁部～底部1/5
49	93	1区 SD210	須恵器 杯A	口縁部径- 器高(2.4cm) 底部径(9.0cm)	外面　褐灰(10YR6/1) 内面　褐灰(10YR6/1)	焼成　良好 胎土　砂粒含む	内外面回転ナデ、底面回転ヘラ切り。	底部1/5
49	94	1区 SD210	須恵器 杯B	口縁部径(11.6cm) 器高4.3cm 底部径(7.0cm)	外面　青灰(5PB6/1) 内面　青灰(5PB6/1)	焼成　良好 胎土　白色砂粒含む	内外面回転ナデ、底面回転ナデ。底面に幅1mm長さ5mmほどの工具痕8ケ所が円形に残存。	口縁部～底部2/3
49	95	1区 SD210	須恵器 蓋	口縁部径- 器高(2.8cm) 底部径-	外面　灰(10Y6/1) 内面　灰(10Y6/1)	焼成　良好 胎土　砂粒含む	内外面回転ナデ、外面一部回転ヘラヘズり後回転ナデ。	上部1/4
49	96	1区 SD210	須恵器 蓋	口縁部径(13.1cm) 器高(2.2cm) 底部径-	外面　緑灰(10G6/1) 内面　緑灰(10G6/1)	焼成　良好 胎土　砂粒・酸化鉄含む	内外面回転ナデ。	裾部1/5
49	97	1区 SD210	須恵器 蓋	口縁部径(16.2cm) 器高(2.5cm) 底部径-	外面　緑灰(10G6/1) 内面　明緑灰(10G7/1)	焼成　良好 胎土　白色砂粒含む	内外面回転ナデ。	裾部1/4
49	98	1区 SD210	須恵器 蓋	口縁部径(14.2cm) 器高(2.0cm) 底部径-	外面　青灰(5B6/1) 内面　青灰(5B6/1)	焼成　良好 胎土　砂粒含む	内外面回転ナデ。	裾部1/5
49	99	1区 SD210	土師器 椀又は皿	口縁部径- 器高(2.8cm) 底部径(4.8cm)	外面　浅黄(2.5Y7/3) 内面　灰黄(2.5Y7/2)	焼成　良好 胎土　砂粒含む	内外面磨耗により不明、底面回転糸切り。	底部1/10
49	100	1区 SD210	珠洲 擂鉢	口縁部径(31.8cm) 器高(5.5cm) 底部径-	外面　灰黄(2.5Y7/2) 内面　浅黄(2.5Y7/3)	焼成　不良 胎土　砂粒含む	内外面回転ナデ。	口縁部1/12
49	101	1区 SD210	珠洲 擂鉢	口縁部径- 器高(6.7cm) 底部径-	外面　灰(5Y6/1) 内面　灰(5Y6/1)	焼成　良好 胎土　砂粒含む	内外面回転ナデ。内面すり目。	口縁部1/8
49	102	1区 SD210	越前 擂鉢	口縁部径(37.0cm) 器高(5.3cm) 底部径-	外面　灰黄褐(10YR4/2) 内面　灰黄褐(10YR4/2)	焼成　良好 胎土　砂粒含む	内外面回転ナデ。内面すり目。	口縁部1/10
50	103	1区 SD210	土製品 土錘	最大長5.22cm 最大幅5.0cm 穿孔径2.3cm	外面　浅黄橙(7.5YR8/6)	焼成　良好 胎土　砂粒含む	外面風化、穿孔有。	全体1/2
50	108	1区 SX505	須恵器 壺・瓶類	口縁部径(14.0cm) 器高(2.7cm) 底部径-	外面　青灰(5PB6/1) 内面　青灰(5PB6/1)	焼成　良好 胎土　砂粒含む	内外面回転ナデ。	口縁部1/10
51	109	1区 地山直上	縄文 鉢	口縁部径- 器高(4.4cm) 底部径-	外面　灰白(5YR8/2) 内面　橙(5YR7/6)	焼成　良好 胎土　砂粒含む	外面半截竹管による平行沈線、内面ナデ。	口縁部1/10
51	110	1区 地山直上	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(3.5cm) 底部径-	外面　にぶい橙(7.5YR7/3) 内面　にぶい橙(7.5YR7/3)	焼成　良好 胎土　砂粒含む	外面半截竹管による平行沈線、内面ナデ＋ユビ押さえナデ。	口縁部1/10

図面番号	No.	出土遺構	器種	大きさ ( )内は復元・残存	色調	焼成・胎土	器形・成形・文様・調整の特徴	残存率
51	111	1区 地山直上	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(8.2cm) 底部径-	外面 にぶい橙(5YR7/4) 内面 にぶい橙(5YR7/4)	焼成 良好 胎土 砂粒・雲母含む	外面条痕文、内面ナデ。	胴部1/10
51	112	1区 地山直上	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(10.3cm) 底部径-	外面 にぶい黄橙(10YR6/4) 内面 にぶい黄橙(10YR7/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面条痕文、内面ナデ。	胴部1/10
51	113	1区 地山直上	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(8.0cm) 底部径-	外面 にぶい黄橙(5YR6/4) 内面 にぶい黄橙(5YR7/4)	焼成 良好 胎土 砂粒・雲母含む	外面条痕文、内面ナデ。	胴部1/10
51	114	1区 地山直上	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(6.0cm) 底部径-	外面 にぶい赤褐(5YR5/3) 内面 にぶい赤褐(5YR5/3)	焼成 良好 胎土 砂粒・雲母含む	外面縄文、内面ナデ。	胴部1/10
51	115	1区 地山直上	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(4.4cm) 底部径-	外面 にぶい黄褐(10YR5/3) 内面 灰白(5Y7/2)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面条痕文、内面風化。円形穿孔。	胴部1/10
51	116	1区 地山直上	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(4.6cm) 底部径-	外面 オリーブ黄(5Y6/3) 内面 オリーブ黄(5Y6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面条痕文＋ナデ、内面風化。	胴部1/10
51	117	1区 地山直上	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(3.0cm) 底部径-	外面 にぶい橙(5YR7/3) 内面 にぶい橙(5YR7/3)	焼成 良好 胎土 砂粒・雲母含む	外面条痕文、内面ナデ。	胴部1/10
51	118	1区 地山直上	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(4.0cm) 底部径-	外面 にぶい橙(5YR6/3) 内面 にぶい橙(5YR6/3)	焼成 良好 胎土 砂粒・雲母含む	外面条痕文、内面ナデ。	胴部1/10
51	119	1区 地山直上	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(6.8cm) 底部径(9.6cm)	外面 にぶい黄橙(10YR7/4) 内面 にぶい黄橙(10YR7/3)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面条痕文、内面ナデ＋ユビ押さえ。底面籠目文。	底部
51	120	1区 地山直上	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(2.9cm) 底部径(9.6cm)	外面 浅黄橙(10YR8/4) 内面 明黄褐(10YR6/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面条痕文、内面風化。底面籠目文。	底部
51	121	1区 地山直上	弥生 壺	口縁部径- 器高(4.9cm) 底部径-	外面 灰白(5Y8/2) 内面 灰白(7.5Y8/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面風化のため調整不明。内面ヨコナデ＋刺突文。	口縁部1/20
51	122	1区 地山直上	製塩土器	口縁部径- 器高(3.9cm) 底部径-	外面 橙(7.5YR6/6) 内面 明褐(7.5YR5/6)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面ナデ、内面ナデ。 接合痕が明瞭にのこる。	-
51	123	1区 地山直上	土製品 土錘	最大長6.9 最大幅4.25cm 穿孔径1.5cm	外面 浅黄橙(7.5YR8/4)	焼成 良好 胎土 砂粒・小礫含む	外面風化、穿孔有。	一部欠損9/10
52	125	1区 Ⅲ層	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(4.5cm) 底部径-	外面 褐灰(10YR4/1) 内面 灰黄褐(10YR6/2)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面条痕文、内面ナデ。	口縁部1/10
52	126	1区 Ⅲ層	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(3.2cm) 底部径-	外面 にぶい黄橙(10YR6/3) 内面 褐灰(10YR6/1)	焼成 良好 胎土 白色砂粒含む	内外面条痕文、内面ナデ。	口縁部1/10
52	127	1区 Ⅲ層	縄文 鉢	口縁部径- 器高(4.6cm) 底部径-	外面 にぶい橙(5YR6/4) 内面 褐灰(5YR4/3)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面入組三叉文＋縄文、沈線文。内面ナデ。	胴部1/10
52	128	1区 Ⅲ層	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(6.7cm) 底部径-	外面 褐灰(10YR5/1) 内面 褐灰(10YR6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒・雲母含む	外面条痕文、内面ナデ。	胴部1/10
52	129	1区 Ⅲ層	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(6.4cm) 底部径-	外面 黒褐(10YR3/1) 内面 褐灰(10YR6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面条痕文、内面ナデ。	胴部1/10
52	130	1区 Ⅲ層	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(4.6cm) 底部径-	外面 褐灰(10YR4/1) 内面 褐灰(10YR5/1)	焼成 良好 胎土 砂粒・酸化鉄含む	外面条痕文、内面ナデ。	胴部1/10
52	131	1区 Ⅲ層	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(3.8cm) 底部径-	外面 にぶい黄(2.5YR6/3) 内面 にぶい黄橙(10YR6/4)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	内外面ケズリ。	胴部1/10
52	132	1区 東トレンチ	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(4.1cm) 底部径-	外面 にぶい黄橙(10YR7/2) 内面 灰白(10YR7/1)	焼成 良好 胎土 白色砂粒含む	外面条痕文、内面ナデ。	口縁部1/10
52	133	1区 東トレンチ	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(4.2cm) 底部径-	外面 にぶい黄褐(10YR5/3) 内面 褐灰(10YR4/1)	焼成 不良 胎土 白色砂粒含む	外面条痕文、内面ナデ。	1/10以下
52	134	1区 東トレンチ	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(3.2cm) 底部径-	外面 褐灰(10YR4/1) 内面 灰黄褐(10YR6/2)	焼成 不良 胎土 白色砂粒含む	外面条痕文、内面ナデ。	1/10以下
52	135	1区 東トレンチ	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(5.0cm) 底部径-	外面 灰黄褐(10YR6/2) 内面 にぶい黄橙(10YR7/2)	焼成 良好 胎土 白色砂粒含む	外面条痕文、内面ナデ。	1/10以下
52	136	1区 東トレンチ	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(3.6cm) 底部径-	外面 褐灰(10YR5/1) 内面 褐灰(10YR5/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面条痕文、内面ナデ。	1/10以下
52	137	1区 東トレンチ	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(4.8cm) 底部径-	外面 褐灰(10YR4/1) 内面 褐灰(10YR5/1)	焼成 良好 胎土 白色砂粒含む	外面条痕文、内面ナデ。	1/10以下
52	138	1区 東トレンチ	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(4.0cm) 底部径-	外面 黒褐(10YR3/1) 内面 にぶい黄褐(10YR5/3)	焼成 不良 胎土 白色砂粒含む	外面条痕文、内面ナデ。	1/10以下
52	139	H20試掘	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(3.4cm) 底部径-	外面 褐灰(10YR4/1) 内面 褐灰(10YR5/1)	焼成 良好 胎土 白色砂粒含む	口縁部。口縁外面に沈線による工字文風の文様帯を持つ。口縁はほぼ垂直に伸び、端部が外反する。内面ナデ。晩期下野式	1/10以下
52	140	H20試掘	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(1.8cm) 底部径-	外面 褐灰(10YR5/1) 内面 褐灰(10YR5/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	口縁部。外面端部沈線1条、内面ナデ。晩期下野式	1/10以下
52	141	H20試掘	縄文 深鉢？	口縁部径- 器高(4.2cm) 底部径-	外面 にぶい黄橙(10YR7/2) 内面 灰白(10YR7/1)	焼成 良好 胎土 白色砂粒含む	口縁外面横位二枚貝条痕文、内面口縁端部に沈線1条。口縁はやや内湾気味に伸び、端部は直線的に延びる。晩期下野式	1/10以下
52	142	H20試掘	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(2.2cm) 底部径-	外面 にぶい黄褐(10YR5/3) 内面 褐灰(10YR4/1)	焼成 不良 胎土 白色砂粒含む	体部。外面沈線による横位綾杉状文様を連続して施す。内面ナデ。晩期下野式	1/10以下
52	143	H20試掘	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(4.9cm) 底部径-	外面 褐灰(10YR5/1) 内面 褐灰(10YR5/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	体部。外面に斜行方向の二枚貝による条痕を施す。内面ナデ。晩期下野式	1/10以下
52	144	H20試掘	縄文 深鉢	口縁部径(12.5cm) 器高(3.3cm) 底部径-	外面 褐灰(10YR4/1) 内面 褐灰(10YR5/1)	焼成 良好 胎土 白色砂粒含む	口縁部。外面口縁部に沈線による文様帯、工字文を施す。内面ナデ。口縁は直線的にやや開く。晩期下野式	1/10以下
52	145	H20試掘	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(2.5cm) 底部径-	外面 にぶい黄橙(10YR7/2) 内面 灰白(10YR7/1)	焼成 良好 胎土 白色砂粒含む	体部。外面沈線による工字文風の文様を施す。内面ナデ。晩期下野式	1/10以下
52	146	H20試掘	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(2.0cm) 底部径-	外面 褐灰(10YR5/1) 内面 褐灰(10YR5/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	口縁部。外面口縁端部上面、内面をユビオサエにより波状口縁となる。口縁外面直下に貼り付け帯ないし文様が剥離している。内面ナデ。晩期下野式	1/10以下
52	147	H20試掘	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(2.2cm) 底部径-	外面 灰黄褐(10YR6/2) 内面 にぶい黄橙(10YR7/2)	焼成 良好 胎土 白色砂粒含む	口縁部。外面口縁端部沈線2条、横方向条痕文、内面ナデ。口縁は外反する。晩期下野式	1/10以下

図面番号	No.	出土遺構	器種	大きさ （ ）内は復元・残存	色調	焼成・胎土	器形・成形・文様・調整の特徴	残存率
52	148	H20試掘	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(7.9cm) 底部径-	外面 褐灰(10YR4/1) 内面 褐灰(10YR5/1)	焼成 良好 胎土 白色砂粒含む	口縁部内外面ヨコナデ内面浅い沈線1条、体部外面斜行条痕、内面板ナデ。口縁部直線的延びる。晩期下野式	1/10以下
52	149	H20試掘	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(3.2cm) 底部径-	外面 灰黄褐(10YR6/2) 内面 にぶい黄橙(10YR7/2)	焼成 良好 胎土 白色砂粒含む	口縁部。外面横方向の条痕文、内面ナデ。口縁部は直線的に開く。晩期下野式	1/10以下
52	150	H20試掘	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(4.5cm) 底部径-	外面 褐灰(10YR4/1) 内面 灰黄褐(10YR6/2)	焼成 不良 胎土 白色砂粒含む	口縁部。外面横方向条痕文、内面ナデ。口縁部は直線的に開く。晩期下野式	1/10以下
52	151	H20試掘	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(2.9cm) 底部径-	外面 黒褐(10YR3/1) 内面 にぶい黄褐(10YR5/3)	焼成 不良 胎土 白色砂粒含む	口縁部。外面斜め方向・横方向条痕文、内面ナデ。口縁部は直線的に開く。晩期下野式	1/10以下
52	152	H20試掘	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(4.2cm) 底部径-	外面 にぶい黄褐(10YR5/3) 内面 褐灰(10YR4/1)	焼成 不良 胎土 白色砂粒含む	口縁部。外面横方向条痕文口縁波状に突起し、直線的に開き端部丸く収める。内面ナデ。晩期下野式	1/10以下
52	153	H20試掘	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(2.8cm) 底部径-	外面 褐灰(10YR4/1) 内面 灰黄褐(10YR6/2)	焼成 不良 胎土 白色砂粒含む	体部。外面に沈線文、沈線区画内に列点文を施す。晩期下野式	1/10以下
52	154	H20試掘	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(8.6cm) 底部径-	外面 黒褐(10YR3/1) 内面 にぶい黄褐(10YR5/3)	焼成 不良 胎土 白色砂粒含む	体部。外面斜行二枚貝条痕文を施す。内面ナデ。晩期下野式	1/10以下
52	155	H20試掘	縄文 浅鉢 晩期中屋	口縁部径(19.8cm) 器高(6.5cm) 底部径-	外面 黒褐(10YR3/1) 内面 にぶい黄褐(10YR5/3)	焼成 不良 胎土 白色砂粒含む	口縁部。精製の浅鉢。外面に施した磨消縄文の雲形文状や沈線による区画文を施す。外面は全面を彫刻する。内面はミガキを施す。体部から口縁まで内湾して開き、端部を丸く納める。	1/10以下
52	156	H20試掘	縄文 器種不明	口縁部径- 器高(2.6cm) 底部径-	外面 灰黄褐(10YR6/2) 内面 にぶい黄橙(10YR7/2)	焼成 良好 胎土 白色砂粒含む	体部。外面沈線による文様帯が若干遺存。内面ナデ。	1/10以下
52	157	H20試掘	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(0.8cm) 底部径6.0cm	外面 黒褐(10YR3/1) 内面 にぶい黄褐(10YR5/3)	焼成 不良 胎土 白色砂粒含む	底部のみ。平底で器壁が薄い。	1/10以下
53	159	2区 SK2	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(3.9cm) 底部径-	外面 褐灰(7.5YR5/1) 内面 褐(7.5YR4/4)	焼成 良好 胎土 砂粒・雲母含む	外面条痕文、内面ナデ。	1/10以下
53	160	2区 SK2	縄文 鉢	口縁部径- 器高(3.2cm) 底部径-	外面 褐灰(5YR5/1) 内面 褐灰(5YR5/1)	焼成 良好 胎土 砂粒・雲母含む	外面縄文＋三叉文？、内面ナデ。	1/10以下
53	161	2区 SK2	縄文 鉢	口縁部径- 器高(1.3cm) 底部径-	外面 にぶい褐(7.5YR5/3) 内面 にぶい褐(7.5YR5/3)	焼成 良好 胎土 砂粒・雲母含む	外面縄文、内面ナデ。	1/10以下
53	162	2区 SK13	磁器(炻器) 碗	口縁部径8.2cm 器高5.9cm 底部径5.1cm	外面 灰白(2.5GY8/1) 内面 灰白(2.5GY8/1)	焼成 良好	外面草花文様染付・暗青灰(5PB4/1)、界線3条(高台内1条)。底面に宣明年製。	ほぼ完形
53	163	2区 SK24	須恵器 杯B	口縁部径- 器高(1.6cm) 底部径(11.0cm)	外面 青灰(5BG5/1) 内面 青灰(5BG5/1)	焼成 良好 胎土 酸化鉄含む	内外面・底面回転ナデ。	1/10以下
53	164	2区 SK78	土師器 不明	口縁部径- 器高(2.7cm) 底部径-	外面 灰白(10YR8/2) 内面 浅黄橙(10YR8/3)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	内外面ハケメ。	1/10以下
53	165	2区 SK78	須恵器 杯A	口縁部径- 器高(2.0cm) 底部径(10.4cm)	外面 灰(5Y5/1) 内面 灰(5Y6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	内外面回転ナデ、底面ナデ。	底部1/4
53	167	2区 SD11	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(5.2cm) 底部径-	外面 にぶい褐(7.5YR6/3) 内面 褐灰(7.5YR5/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面半截竹管の平行沈線、ナナメ方向のハケ条痕。内面ナデ。	1/10以下
53	168	2区 SD11	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(5.1cm) 底部径-	外面 にぶい褐(7.5YR6/3) 内面 黒褐(7.5YR3/1)	焼成 良好 胎土 砂粒・雲母含む	外面条痕文、内面ナデ。	1/10以下
53	169	2区 SD11	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(8.6cm) 底部径-	外面 褐灰(5YR6/1) 内面 褐灰(5YR6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面条痕文、内面ナデ。	1/10以下
53	170	2区 SD11	須恵器 杯A	口縁部径- 器高(1.3cm) 底部径(9.0cm)	外面 緑灰(7.5GY) 内面 緑灰(7.5GY)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	内外面回転ナデ、底面ヘラ切り後ナデ。	1/10以下
53	172	2区 SD11	須恵器 杯B	口縁部径(14.6cm) 器高3.4cm 底部径(9.9cm)	外面 青灰(5PB5/1) 内面 青灰(5PB5/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	内外面回転ナデ、底面ヘラ切り。	1/4以下
53	171	2区 SD11	須恵器 杯B	口縁部径- 器高(2.4cm) 底部径(8.0cm)	外面 緑灰(7.5GY6/1) 内面 緑灰(7.5GY6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒・酸化鉄含む	内外面回転ナデ、底面回転ナデ。	底部1/5
53	173	2区 SD11	須恵器 杯B	口縁部径- 器高(0.9cm) 底部径(9.7cm)	外面 暗緑灰(7.5GY4/1) 内面 緑灰(7.5GY5/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	内外面・底面回転ナデ。	底部1/10
53	174	2区 SD11	須恵器 杯B	口縁部径- 器高(1.1cm) 底部径(9.3cm)	外面 青灰(5BG6/1) 内面 青灰(5BG6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	内外面回転ナデ、底面回転ヘラ切り。	底部1/10
53	175	2区 SD11	須恵器 鉢	口縁部径- 器高(5.5cm) 底部径(12.8cm)	外面 青灰(5BG6/1) 内面 青灰(5BG6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	内外面回転ナデ、外面ユビ押さえ。	底部1/10
53	176	2区 SD11	珠洲 壺	口縁部径(18.8cm) 器高(4.2cm) 底部径-	外面 灰(N6/0) 内面 灰(N6/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	内外面回転ナデ。	口縁部1/5
53	177	2区 SD11	珠洲 壺	口縁部径(31.3cm) 器高(4.2cm) 底部径-	外面 緑灰(7.5GY6/1) 内面 緑灰(7.5GY6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	内外面回転ナデ。	口縁部1/10
53	178	2区 SD11	珠洲 壺	口縁部径- 器高(5.2cm) 底部径(6.4cm)	外面 青灰(5BG6/1) 内面 青灰(5BG6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	内外面回転ナデ、底面ナデ。	底部1/10
54	179	2区 SD11	珠洲 甕	口縁部径(31.5cm) 器高(5.4cm) 底部径-	外面 緑灰(10G5/1) 内面 緑灰(10G5/1)	焼成 良好 胎土 砂粒・酸化鉄含む	外面タタキ、ナデ、内面ナデ。	口縁部1/20
54	180	2区 SD11	珠洲 擂鉢	口縁部径(23.0cm) 器高(8.3cm) 底部径-	外面 灰(N6/0) 内面 灰(N6/0)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	内外面回転ナデ、内面おろし目。	口縁部1/10
54	181	2区 SD11	珠洲 鉢	口縁部径(28.0cm) 器高(6.0cm) 底部径-	外面 青灰(5BG) 内面 青灰(5BG)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	内外面回転ナデ。	口縁部1/10
54	182	2区 SD11	珠洲 片口鉢	口縁部径(16.8cm) 器高(6.1cm) 底部径-	外面 青灰(5BG6/1) 内面 紫灰(5RP6/1)	焼成 良好	内外面回転ナデ、ナデ。	口縁部1/20
54	183	2区 SD11	珠洲 擂鉢	口縁部径(37.4cm) 器高(6.4cm) 底部径-	外面 明オリーブ灰(2.5GY7/1) 外面 明オリーブ灰(2.5GY7/1)	焼成 良好	内外面回転ナデ。口縁部にスス痕有。	口縁部1/20
54	184	2区 SD11	珠洲 擂鉢	口縁部径- 器高(5.0cm) 底部径(12.5cm)	外面 青灰(5PB5/1) 内面 青灰(5PB5/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	内外面回転ナデ、底面静止糸切り。	底部1/10
54	185	2区 SD11	珠洲 擂鉢	口縁部径- 器高(5.5cm) 底部径(15.2cm)	外面 灰(N5/) 内面 灰(N4/)	焼成 良好	外面平行タタキ、ナデ。内面ナデ。底面未調整。	底部1/5

図面番号	No.	出土遺構	器種	大きさ ( )内は復元・残存	色調	焼成・胎土	器形・成形・文様・調整の特徴	残存率
54	186	2区 SD11	土製品 土錘	最大長4.5cm 最大幅4.4cm 穿孔径1.2cm	外面 灰黄褐(10YR5/2)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面ナデ、穿孔。	ほぼ完形9/10
54	187	2区 SD43	縄文 深鉢	口縁部径- 器高(4.5cm) 底部径-	外面 褐灰(5YR6/1) 内面 褐灰(5YR6/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	口縁端部にヘラ状刻み。内面ナデ。	口縁部1/10
54	188	2区 SD48	瀬戸 皿	口縁部径(13.1cm) 器高3.8cm 底部径4.4cm	外面 にぶい黄(2.5Y6/3) 内面 にぶい黄(2.5Y6/3)	焼成 良好	内外面回転ナデ、底面回転ヘラ切り。	口縁部～底部3/4
54	189	2区 SD48	越中瀬戸 皿	口縁部径(11.8cm) 器高3.0cm 底部径(4.1cm)	外面 暗灰黄(2.5Y5/2) 内面 灰黄(2.5Y6/2)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	内外面回転ナデ、外面鉄釉。底面回転糸切り。	口縁部～底部1/3
54	190	2区 SD51	越中瀬戸 匣鉢	口縁部径- 器高(3.9cm) 底部径(9.7cm)	外面 暗灰黄(2.5Y5/2) 内面 暗灰黄(2.5Y5/2)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	内外面回転ナデ、鉄釉。底面回転糸切り。	底部1/5
54	191	2区 SD107	瀬戸美濃 皿	口縁部径- 器高(3.2cm) 底部径9.4cm	外面 明黄褐(2.5Y6/6) 内面 明黄褐(2.5Y6/6)	焼成 良好 胎土 白色砂粒含む	外面回転ナデ、底面ヘラケズリ。内面砂目。灰釉。	底部1/3
54	192	2区 SD107	瀬戸美濃 碗	口縁部径- 器高(3.6cm) 底部径4.7cm	外面 灰白(10YR7/1) 内面 灰白(10YR7/1)	焼成 良好	内外面・底面ともに灰釉。	底部1/3
54	193	2区 SD107	信楽？ 碗	口縁部径(11.1cm) 器高4.5cm 底部径(5.1cm)	外面 暗灰黄(2.5Y5/2) 内面 暗灰黄(2.5Y5/2)	焼成 良好 胎土 白色砂粒含む	外面回転ヘラケズリ、内外面ともに釉。	口縁部～底部1/3
54	194	2区 包含層	須恵器 杯B	口縁部径- 器高(2.7cm) 底部径(10.3cm)	外面 緑灰(7.5GY6/1) 内面 緑灰(7.5GY6/1)	焼成 良好 胎土 酸化鉄含む	内外面回転ナデ、底面回転ケズリ後に回転ナデ。	底部1/5
55	195	2区 SD57	瀬戸美濃 碗	口縁部径(10.9cm) 器高5.7cm 底部径5.0cm	外面 灰白(5Y8/1) 内面 灰白(5Y8/1)	焼成 良好	内外面に粗い貫入、界線内外面ともに2条、見込みに「梅文」印判、外面花の染付・暗青灰(5B4/1)。	口縁部1/4
55	196	2区 SD57	唐津 碗	口縁部径- 器高(3.3cm) 底部径(5.5cm)	外面 灰黄褐(10YR5/2) 内面 にぶい黄褐(10YR4/3)	焼成 良好 胎土 白色砂粒含む	外面回転ケズリ、釉・紫灰(5RP5/1)。内面回転ナデ。底面回転ナデ。胴胎染付。	底部1/4
55	197	2区 SD57	陶器 碗	口縁部径- 器高(2.7cm) 底部径5.5cm	外面 灰白(10YR7/1) 内面 黒褐(10YR2/2)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面回転ケズリ、釉。内面釉。底面回転ケズリ。	底部1/3
55	198	2区 SD57	越中瀬戸 碗又は皿	口縁部径11.3cm 器高2.4cm 底部径5.5cm	外面 灰白(10YR7/1) 内面 黒褐(10YR3/2)	焼成 良好	内外面回転ナデ、鉄釉。	ほぼ完形9/10
55	199	2区 SD57	信楽？ 碗	口縁部径- 器高2.7cm 底部径3.1cm	外面 灰白(10Y7/1) 内面 灰白(10Y7/1)	焼成 良好	内外面回転ナデ、灰釉。底面回転ナデ。	底部1/4
55	200	2区 SD57	肥前 香炉	口縁部径- 器高(1.4cm) 底部径-	外面 灰白(5Y7/1) 内面 灰白(5Y7/1)	焼成 良好	内外面釉。	細片のため不明
55	201	2区 SD57	肥前 瓶類	口縁部径- 器高(3.0cm) 底部径(5.0cm)	外面 灰白(10YR8/1) 内面 灰白(10YR8/2)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面釉、内面回転ナデ。	底部1/3
55	202	2区 SD57	白磁 三足香炉	口縁部径- 器高(3.2cm) 底部径(6.8cm)	外面 灰白(10YR8/1) 内面 灰白(10YR8/1)	焼成 良好	内外面透明釉。脚付。	底部
55	203	2区 SD57	信楽 皿	口縁部径(10.6cm) 器高(2.2cm) 底部径(4.3cm)	外面 灰白(10YR7/1) 内面 灰白(5Y7/1)	焼成 良好	外面回転ナデ、回転ケズリ。	口縁部～底部1/3
55	204	2区 SD57	越中瀬戸 擂鉢	口縁部径- 器高(4.5cm) 底部径(10.5cm)	外面 褐灰(10YR4/1) 内面 褐灰(10YR4/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	外面回転ナデ、内面すり目。	口縁部1/10
55	205	2区 SD57	珠洲 擂鉢	口縁部径(38.6cm) 器高(2.8cm) 底部径-	外面 灰(N5/) 内面 灰(N5/)	焼成 良好	内外面回転ナデ、口唇部波状文。	口縁部1/20
56	210	2区 SX3	肥前 碗	口縁部径8.5cm 器高5.9cm 底部径5.35cm	外面 明緑灰(10GY8/1) 内面 明緑灰(10GY8/1)	焼成 良好	口縁部楕円形に変形。界線外面3条・高台内1条、外面にコンニャク印判による「鶴」と「松」、染付・暗青灰(5B4/1)。底面に□□年製。	完形
56	211	2区 SX3	肥前 碗	口縁部径(10.3cm) 器高(4.6cm) 底部径-	外面 明緑灰(7.5GY8/1) 内面 明緑灰(7.5GY8/1)	焼成 良好	外面将棋の駒「王将」・「香車」に「松」、染付け藍色。割れ目に黒漆付着・漆継ぎ。	口縁部1/4
56	212	2区 SX3	唐津 碗	口縁部径- 器高(2.4cm) 底部径4.3cm	外面 にぶい黄(2.5Y6/4) 内面 にぶい黄(2.5Y6/4)	焼成 良好	内外面・底面回転ナデ。	底部1/3
56	213	2区 SX3	越中瀬戸 皿	口縁部径10.0cm 器高2.7cm 底部径3.6cm	外面 灰黄褐(10YR6/2) 内面 灰黄褐(10YR6/2)	焼成 良好	外面回転ナデ、釉・にぶい赤褐(5YR5/4)。底面回転糸切り。スス痕有。	ほぼ完形9/10
56	214	2区 SX3	肥前 皿	口縁部径13.5cm 器高4.0cm 底部径7.8cm	外面 明緑灰(5GY7/1) 内面 明緑灰(5GY7/1)	焼成 良好	外面唐草文、界線3条(高台内1条)。内面見込みにコンニャク印判による梅文、草花文。染付・青灰(5B6/1)～暗青灰(5B3/1)。	ほぼ完形
56	215	2区 SX3	唐津 大皿	口縁部径- 器高(5.6cm) 底部径6.1cm	外面 黒褐(7.5YR3/2) 内面 にぶい黄(2.5Y6/3)	焼成 良好	外面ケズリ後にロクロナデ、鉄釉。内面ハケ状工具による文様。	底部1/4
56	216	2区 SX3	越中瀬戸 水注	口縁部径5.7cm 器高6.2cm 底部径4.2cm	釉 黒(7.5YR1.7/1) 素地 灰白(2.5Y8/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	内外面ヘラケズリ・飴釉、底面糸切り。	完形
56	217	2区 SX3	越中瀬戸 小壺	口縁部径8.1cm 器高4.4cm 底部径3.2cm	外面 黄灰(2.5Y6/1) 内面 黄灰(2.5Y4/1)	焼成 良好 胎土 砂粒含む	内外面回転ナデ、外面鉄釉・暗灰黄(2.5Y4/2)。底面回転糸切り。	口縁部～底部4/5
56	218	2区 SX3	越中瀬戸 匣鉢	口縁部径- 器高(6.3cm) 底部径11.2cm	外面 黄灰(2.5Y4/1) 内面 黄灰(2.5Y4/1)	焼成 良好 胎土 砂粒・小礫含む	内外面回転ナデ、底面回転糸切り。	底部1/5
57	224	3区 SD14	縄文土器 深鉢	口縁部径- 器高(6.8cm) 底部径-	外面 灰褐(7.5YR5/2) 内面 にぶい褐(7.5YR6/3)	焼成 やや不良 胎土 やや粗 白色粒子・石英中量含む	外面ヨコ条痕文、口縁部ナデ。内面ヨコナデ。	1/10以下
57	225	3区 SD14	縄文土器 深鉢	口縁部径- 器高(4.3cm) 底部径-	外面 にぶい橙(7.5YR6/4) 内面 にぶい黄橙(10YR6/4)	焼成 良 胎土 やや粗 白色粒子・石英少量含む	外面ヨコ条痕文、内面ナデ、口縁指圧痕。外面全面的にススト付着。	1/10以下
57	226	3区 SD14	縄文 深鉢	口縁部径(22.5cm) 器高(2.7cm) 底部径-	外面 浅黄(2.5Y7/3) 内面 浅黄(2.5Y7/3)	焼成 良 胎土 やや粗 白色粒子少量	外面タテ条痕、口縁部沈線2条、区画内連続半裁竹管工具による連続押し引き、内面ナデ。笹川II期、大洞C2	1/10以下
57	227	3区 SD14	須恵器 蓋	口縁部径(18.8cm) 器高(1.9cm) 底部径-	外面 灰(5Y6/1) 内面 灰(5Y6/1)	焼成 やや不良 胎土 やや粗 白色粒子・砂粒少量含む	内外面回転ナデ。口縁部は外面鋭い屈曲を待つ。	1/4以下
57	228	3区 SD14 下層	須恵器 蓋	口縁部径(19.0cm) 器高(2.6cm) 底部径-	外面 灰白(N7/0) 内面 灰白(N7/0)	焼成 やや不良 胎土 密 白色粒子少量含む	内外面回転ナデ、外面天井部は強いナデ。内面にかえりが付く。外面～内面口縁部に自然釉かかる。窯詰め重ね最上部か。TK46・TK48併行、飛鳥IV～V	1/6以下
57	229	3区 SD14	須恵器 蓋	口縁部径(12.6cm) 器高(1.7cm) 底部径-	外面 灰(2.5Y6/1) 内面 灰白(2.5Y7/1)	焼成 やや不良 胎土 粗 白色粒子少量含む	内外面回転ナデ。口縁部立ち上がりはやや丸みを持つ。	1/6以下

図面番号	No.	出土遺構	器種	大きさ ( )内は復元・残存	色調	焼成・胎土	器形・成形・文様・調整の特徴	残存率
57	230	3区 SD14 下層	須恵器 蓋	口縁部径(12.8cm) 器高(1.1cm) 底部径-	外面 灰白(N7/0) 内面 灰(N6/0)	焼成 良 胎土 やや粗 白色粒子少量含む	内外面回転ナデ。口縁部内面に自然釉付着。	1/8
57	231	3区 SD14	須恵器 杯A	口縁部径- 器高(1.1cm) 底部径(8.0cm)	外面 灰黄(2.5Y7/2) 内面 浅黄(2.5Y7/3)	焼成 不良 胎土 やや粗	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り後未調整。	1/10以下
57	232	3区 SD14	須恵器 杯A	口縁部径11.0cm 器高4.0cm 底部径5.8cm	外面 灰白(2.5Y7/1) 内面 灰白(2.5Y7/1)	焼成 やや不良 胎土 やや粗 白色粒子少量含む	内外面回転ナデ。底部はヘラ切り後、未調整。口縁部を外反させる。底部に墨痕あり。	1/2
57	233	3区 SD14	須恵器 杯B	口縁部径(12.0cm) 器高(4.3cm) 底部径(7.8cm)	外面 灰(N6/0) 内面 灰白(5Y7/1)	焼成 やや不良 胎土 粗 砂粒・白色粒子少量含む	内外面回転ナデ。貼り付け高台。	1/6
57	234	3区 SD14	須恵器 杯	口縁部径(15.7cm) 器高(4.0cm) 底部径-	外面 灰(N4/0) 内面 灰(N6/0)	焼成 良 胎土 やや粗 白色粒子少量含む	内外面回転ナデ。ヤキムラあり。	1/10以下
57	235	3区 SD14	土師器 椀A	口縁部径- 器高(1.6cm) 底部径(3.8cm)	外面 にぶい黄橙(10YR7/2) 内面 にぶい黄橙(10YR7/2)	焼成 良 胎土 密 白色粒子微量	内外面回転ナデ、底部糸切り。内外面赤彩(橙:7.5YR5/6)処理。	1/10以下
57	236	3区 SD14	土師器 椀A	口縁部径- 器高(1.4cm) 底部径3.9cm	外面 灰黄(2.5Y7/2) 内面 黄灰(2.5Y5/1)	焼成 良 胎土 密 白色粒子少量	内外面ヨコナデ、底部回転糸切り。底部糸切り粗い。	1/8以下
57	237	3区 SD14	黒色土器 椀か	口縁部径- 器高(1.8cm) 底部径6.6cm	外面 にぶい橙(5YR7/4) 内面 黒褐(5YR2/1)	焼成 やや不良 胎土 粗 白色粒子少量 石英少量	外面ナデ。内面ナデ、黒色処理。底部ナデ(器面摩耗)。貼り付け高台。	1/10
57	238	3区 SD14	土師器 椀	口縁部径14.9cm 器高(3.9cm) 底部径-	外面 灰黄褐(10YR6/2) 内面 灰黄褐(10YR6/2)	焼成 良 胎土 粗 白色粒子少量	内外面回転ナデ。	1/10
57	239	3区 SD14	土師器 椀A	口縁部径13.7cm 器高3.6cm 底部径4.7cm	外面 にぶい黄橙(10YR7/4) 内面 にぶい黄橙(10YR7/4)	焼成 やや不良 胎土 粗 白色粒子少量	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。底部スノコ状圧痕あり。	1/4
57	240	3区 SD14	土師器 杯A	口縁部径14.8cm 器高4.1cm 底部径5.8cm	外面 浅黄橙(7.5Y8/4) 内面 浅黄橙(7.5Y8/4)	焼成 良 胎土 粗 白色粒子少量含む	内外面回転ナデ。外面底部回転糸切。焼成時ヤキムラあり。	2/3
57	241	3区 SD14	土師器 杯	口縁部径(15.8cm) 器高(4.3cm) 底部径-	外面 灰黄(2.5Y6/2) 内面 灰黄(2.5Y6/2)	焼成 良 胎土 やや粗 白色粒子少量含む	内外面回転ナデ。外面底部強いナデによる屈曲あり。内面側面に墨痕あり。内外面にヤキムラあり。	1/6以下
57	242	3区 SD14	土師器 椀	口縁部径13.9cm 器高(4.2cm) 底部径-	外面 灰黄褐(10YR6/2) 内面 灰黄(2.5Y6/2)	焼成 良 胎土 粗 白色粒子少量	内外面回転ナデ。回転台土師器、高台付くか。	1/8以下
57	243	3区 SD14	土師器 椀	口縁部径15.5cm 器高5.3cm 底部径5.2cm	外面 浅黄橙(10YR8/3) 内面 浅黄橙(10YR8/3)	焼成 良 胎土 粗 白色粒子少量 海綿骨針微量	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。柱状高台。	2/3
57	244	3区 SD14	須恵器 大甕	頸部径45.2cm 器高(13.0cm) 底部径-	外面 灰(N6/0) 内面 灰(N6/0)	焼成 良 胎土 密 白色粒子少量	外面口縁部回転ナデ、ユビオサエ残る。体部平行タタキ目。内面口縁部回転ナデ、体部同心円状の当て具痕あり	1/10以下
57	245	3区 SD14	土師器 甕 墨書土器	口縁部径- 器高(2.5cm) 底部径-	外面 にぶい黄橙(10YR7/3) 内面 にぶい黄橙(10YR6/3)	焼成 良 胎土 密 白色砂粒少量	外面回転ナデ、内面回転ナデ。外面墨痕あり。	1/10以下
57	246	3区 SD14	土師器 甕 墨書土器	口縁部径- 器高(3.0cm) 底部径-	外面 にぶい黄橙(10YR7/2) 内面 にぶい黄橙(10YR7/2)	焼成 良 胎土 密 白色粒子少量 石英少量	外面ヘラ削り、内面ヨコカキメ。外面墨痕あり。	1/10以下
57	247	3区 SD14	土師器 甕 墨書土器	口縁部径- 器高(3.4cm) 底部径-	外面 にぶい黄橙(10YR7/3) 内面 にぶい黄橙(10YR7/3)	焼成 良 胎土 密 白色粒子少量	外面ヘラ削り、内面ヨコカキメ後タテカキメ。外面墨痕あり。	1/10以下
57	248	3区 SD14	土師器 甕	口縁部径- 器高(6.3cm) 底部径-	外面 浅黄橙(10YR8/3) 内面 にぶい黄橙(10YR7/3)	焼成 良 胎土 やや粗 白色粒子・石英少量	内外面ヨコナデ。外面部分的にスス付着。	1/10以下
57	249	3区 SD14	土師器 甕or壺類	口縁部径- 器高(2.9cm) 底部径5.0cm	内面 浅黄橙(10YR8/3) 内面 にぶい黄橙(10YR7/3)	焼成 良 胎土 粗 白色粒子少量 黒色砂粒少量	内外面回転ナデ、回転ヘラケズり。	1/8
57	250	3区 SD14	土師器 甕	口縁部径- 器高(3.3cm) 底部径7.0cm	外面 淡橙(5YR8/4) 内面 にぶい黄橙(10YR7/3)	焼成 やや不良 胎土 やや粗 石英・海面骨針少量	外面ヘラ削り、底部ナデか。内面ヨコハケ。底部中央穿孔か	1/10以下
57	251	3区 SD14	青磁 椀	口縁部径(16.0cm) 器高(4.1cm) 底部径-	外面 灰白(2.5Y7/1) 内面 灰白(2.5Y7/1)	焼成 良 胎土 やや粗	内外面回転ナデ。内面側面に草花状と雲文状の文様を施し、空白部に櫛目を埋める。太宰府分類の龍泉窯系青磁椀Ⅰ-3a類か。12世紀後半	1/10以下
57	252	3区 SD14	土師器 皿	口縁部径8.3cm 器高2.2cm 底部径3.4cm	外面 浅黄橙(7.5YR8/4) 内面 浅黄橙(7.5YR8/4)	焼成 良 白色粒子・石英少量	内外面回転ナデ、底部回転糸切。中央盛りあり。	1/3
57	253	3区 SD14	土師器 皿	口縁部径7.5cm 器高(2.1cm) 底部径-	外面 浅黄橙(7.5YR8/4) 内面 浅黄橙(7.5YR8/4)	焼成 良 胎土 密 赤色粒子少量	内外面回転ナデ。椀に近く仏器様か	1/6
57	254	3区 SD14	土師器 皿	口縁部径9.0cm 器高(2.3cm) 底部径(3.8cm)	外面 灰黄橙(7.5YR8/4) 内面 灰黄橙(7.5YR8/4)	焼成 やや不良 胎土 やや粗 白色粒子少量	内外面回転ナデ、底部回転糸切り。	1/4
57	255	3区 SD14	土師器 皿 中世土師器	口縁部径10.3cm 器高(2.4cm) 底部径(6.2cm)	外面 淡黄(2.5Y8/3) 内面 灰黄橙(7.5YR8/4)	焼成 やや不良 胎土 密	内外面回転ナデ、底部ナデ	1/8
58	260	3区 SD14	土製品 土錘	長さ5.5cm 幅 5.2cm 孔径1.6cm	外面 灰白(10YR8/2)	焼成 良 胎土 やや粗 白色粒子・石英少量	重量:132g　外面ナデ、器面に凹凸あり。	完形
58	261	3区 SP43	珠洲 壺	口縁部径- 器高(4.4cm) 底部径-	外面 灰(N6/1) 内面 灰(N6/1)	焼成 良 胎土 白色粒子少量含む	内外面回転ナデ。	1/10以下
58	262	3区 SP50	須恵器 壺・瓶	口縁部径- 器高(1.4cm) 底部径6.8cm	外面 灰(7.5Y6/1) 内面 灰白(10Y8/1)	焼成 不良 胎土 密 白色粒子少量	内外面回転ナデ。貼り付け高台。	不明
58	263	3区 SP61	須恵器 杯	口縁部径12.2cm 器高(2.4cm) 底部径-	外面 灰白(2.5Y8/1) 内面 灰白(2.5Y8/1)	焼成 不良 胎土 やや粗 白色粒子少	内外面回転ナデ。	1/10以下
58	264	3区 SK7	越中瀬戸 小壺	口縁部径8.0cm 器高5.0cm 底部径-	外面 褐灰(7.5YR4/1) 内面 灰褐(5YR5/2)	焼成 良 胎土 やや粗 砂粒含む	内外面回転ナデ、外面鉄釉施釉。	1/10以下
58	265	3区 SK27	土製品 土錘(転用)	器高4.9cm 最大径3.7cm 孔径1.7cm	外面 灰白(2.5Y8/2) 内面 浅黄橙(10YR8/4)	焼成 良 胎土 粗 白色粒子、砂粒 少量	高杯脚部を転用。外面ナデ、内面円形穿孔。	ほぼ完形
58	266	3区 SD18	土師器 甕	口縁部径- 器高(2.8cm)	外面 淡黄(2.5Y8/3) 内面 灰白(2.5YR8/2)	焼成 やや不良 胎土 密 砂粒、海綿骨針 少量	外面ヨコナデ。内面ヨコハケ(11～12条1単位)、ナデ。	1/10以下
58	267	3区 SD18	土師器 甕	口縁部径- 器高(2.0cm)	外面 灰白(2.5Y7/2) 内面 灰白(2.5Y8/2)	焼成 やや不良 胎土 密 砂粒、海綿骨針 少量	外面ヨコナデ。内面ヨコハケ(11条1単位)、ナデ。外面一部にスス付着。	1/10以下
58	268	3区 SD21	須恵器 杯A	口縁部径- 器高(1.4cm) 底部径(6.6cm)	外面 灰(5Y6/1) 内面 灰(5Y6/1)	焼成 やや不良 胎土 やや粗 白色粒子少量含む	内外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り後未調整。	1/8以下

図面番号	No.	出土遺構	器種	大きさ （ ）内は復元・残存	色調	焼成・胎土	器形・成形・文様・調整の特徴	残存率
58	269	3区 SD21	縄文土器 深鉢	口縁部径- 器高(5.4cm)	外面 浅黄橙(10YR8/3) 内面 浅黄橙(10YR8/3)	焼成 良 胎土 密 白色粒子・砂粒 少量	外面ヨコナデ。口縁部沈線2条(先端櫛状工具)。内面ヨコナデ。口唇部ヘラ刻み目か。	1/10以下
58	270	3区 SD21	須恵器 大甕	口縁部径- 器高(6.5cm) 底部径-	外面 灰白(N7/0) 内面 灰白(N7/0)	焼成 良 胎土 やや粗 白色粒子・砂粒少量含む	内外面回転ナデ、格子タタキメの工具様のアタリあり。	1/10以下
58	271	3区 SD36	土師器 鉢	口縁部径- 器高(3.4cm) 底部径(9.2cm)	外面 灰白(10YR8/2) 内面 黒褐(10YR3/1)	焼成 良 胎土 やや粗 白色粒子少量含む	内外面ナデ。底部ヘラ切りか。全体に被熱を受け、内面は全体的に黒褐色。	1/10以下
58	272	3区 SD6	越中瀬戸 皿	口縁部径- 器高(2.4cm) 高台径(5.0cm)	外面 にぶい橙(5YR7/3) 内面 にぶい橙(5YR7/3)	焼成 良 胎土 粗 白色粒子少量	内外面回転ナデ。外面鉄釉、底部露胎。底部削り出し高台。	1/8
58	273	3区 SD6	土師器 椀	口縁部径16.0cm 器高(4.5cm) 高台径-	外面 にぶい黄橙(10YR7/4) 内面 浅黄(2.5Y7/3)	焼成 良 胎土 粗 白色粒子微量	内外面回転ナデ。	1/8以下
58	274	3区 SD46	土師器 皿 中世土師器	口縁部径(8.4cm) 器高(1.6cm) 底部径-	外面 にぶい橙(5YR6/4) 内面 にぶい橙(5YR6/4)	焼成 良 胎土 粗 白色粒子多量含む	内外面ヨコナデ。口縁部厚くタール付着。	1/8以下
58	275	3区 包含層	須恵器 蓋	口縁部径- 器高(2.9cm) 底部径-	外面 灰白(N7/0) 内面 灰白(5Y7/1)	焼成 やや不良 胎土 やや粗 白色粒子少量含む	内外面回転ナデ。器厚厚い。	1/6以下
58	276	3区 包含層	唐津 皿	口縁部径- 器高(1.7cm) 底部径4.3cm	外面 灰白(5Y7/1) 内面 灰白(5Y7/1)	焼成 良 胎土 密	内外面回転ナデ、削り出し高台か。高台・底部露胎。内面銅緑釉(5G4/1:暗緑灰色)施釉、蛇の目釉はぎ。	1/3
58	277	3区 包含層 排土	肥前陶磁 皿	口縁部径- 器高(2.5cm) 底部径(6.8cm)	外面 灰(N6/0) 内面 灰(N6/0)	焼成 良 胎土 やや粗 白色粒子・砂粒少量含む	内外面透明釉かかる。見込みの中心にはコンニャク印判による文(文不明)を配し、内面側面に草花文が入る。体部外面にも草花文が入るか。伊万里か。	1/8以下
58	278	3区 SD33	唐津 皿	口縁部径- 器高(1.7cm) 高台径5.0cm	外面 灰白(5Y8/1) 内面 灰白(5Y8/1)	焼成 良 胎土 密	内外面回転ナデ。削り出し高台。内外面灰釉施釉、高台露胎。内面蛇の目釉はぎ。	1/6
58	279	3区 包含層	唐津 椀	口縁部径- 器高(2.5cm) 底部径4.6cm	外面 淡黄(5Y8/3) 内面 淡黄(5Y8/3)	焼成 良 胎土 やや粗 砂粒少量含	内外面回転ナデ。貼り付け高高台。全面灰釉施釉、高台底部のみ露胎。	1/6

中木津遺跡 石製品観察表

図面番号	No.	出土遺構	器種	大きさ （ ）内は復元・残存	色調	石材	器形・成形・文様・調整の特徴	残存率
48	77	1区 SD204	石鏃 無茎	最大長3.45cm 器厚0.55cm 最大幅2.1cm	外面 灰白(10YR8/2)	石材 シルト岩	先端まで剥離。重さ2.3g。	ほぼ完形9/10
48	78	1区 SD204	石鏃	最大長(3.7cm) 器厚0.6cm 最大幅(1.6cm)	外面 褐灰(10YR4/1)	石材 頁岩	下部欠損。重さ2.4g。	ほぼ完形9/10
48	79	1区 SD204	打製石斧 撥形	最大長(16.6cm) 器厚2.85cm 最大幅7.96cm	外面 褐灰(10YR6/1)	石材 安山岩	基部欠損。両側面に敲打有、刃部は使用により丸みをおび潰れ有、片面のみ表面を研磨。	ほぼ完形9/10
48	80	1区 SD204	砥石	最大長7.4cm 器厚2.7cm 最大幅4.9cm	外面 灰(10Y6/1)	石材 砂岩	砥面は4面。重さ94.0g。	一部欠損
48	81	1区 NR1	砥石	最大長(6.2cm) 器厚2.2cm 最大幅3.0cm	外面 にぶい黄橙(10YR7/2)	石材 砂岩	砥面は5面。重さ7.5g。	端部欠損
50	105	1区 SD214	石鏃 無茎	最大長(2.95cm) 器厚0.3cm 最大幅2.0cm	外面 褐灰(10YR4/1)	石材 頁岩	先端部欠損。重さ1.1g。側辺部の作りこみが粗く、未成品の可能性大。	ほぼ完形2/5
50	107	1区 SP1119	砥石	最大長(8.9cm) 器厚2.2cm 最大幅3.7cm	外面 灰白(5Y6/1)	石材 砂岩	砥面は4面。重さ70.2g。	端部欠損

中木津遺跡 金属製品観察表

図面番号	No.	出土遺構	器種	大きさ （ ）内は復元・残存	色調	材質	器形・成形・文様・調整の特徴	残存率
50	106	1区 SD237	印章	最大長(2.8cm) 器厚1.3cm 最大幅(2.2cm)	外面 にぶい橙(5YR6/3)	材質 銅製(鉄含む)	「柔」の文字。	ほぼ完形4/5
51	124	1区 地山直上	鉄製品	最大長(5.6cm) 器厚0.2cm 最大幅1.1cm	外面 暗赤褐(2.5YR3/4)	材質 鉄製	先端部一部欠損。工具の可能性有。	一部欠損9/10

中木津遺跡 木製品観察表

図面番号	No.	出土遺構	器種	大きさ （ ）内は復元・残存	色調	材質	器形・成形・文様・調整の特徴	残存率
50	104	1区 SD210	木製品 連歯下駄	長さ14.2cm 幅7.9cm 厚さ2.8cm		材質 木製	平面隅丸長方形の台。前穴0.6cm×0.7cm、後穴0.8cm×0.8cm。下面に部分的に赤漆・赤(10R4/8)、前歯と後歯の間に赤彩・赤(10R4/6)。	
53	158	2区 SB02	木製品 木片	長さ26.0cm 幅2.3cm 厚さ1.6cm		材質 木製	棒形状を呈す。	
55	206	2区 SD57	漆器 椀	底径5.8cm 器高(3.9cm)		材質 木製	内外面黒漆。	
55	207	2区 SD57	漆器 椀	口縁部径(12.2cm) 器高(5.7cm) 底部径-		材質 木製	内外面黒漆。	
55	208	2区 SD57	漆器 皿	口縁部径(10.4cm) 器高3.5cm 底部径(5.0cm)		材質 木製	外面黒漆、内面赤漆。	
55	209	2区 SD57	木製品 下駄	最大長(11.9cm) 器厚3.4cm 最大幅7.0cm		材質 木製	平面細長形状の台、前歯が三角形状。前穴1.3cm×1.0cm。	
56	219	2区 SX3	漆器 椀	口縁部径(11.1cm) 器高(4.6cm) 底部径-		材質 木製	内外面黒漆、中央部に赤漆・赤(10R4/8)の文様。	
56	220	2区 SX3	漆器 椀	口縁部径- 器高(3.9cm) 底部径-		材質 木製	外面黒漆、内面赤漆。	
56	221	2区 SX3	漆器 皿	口縁部径- 器高(2.6cm) 底部径-		材質 木製	内外面黒漆。	
56	222	2区 SX3	漆器 皿	口縁部径(11.2cm) 器高(3.0cm) 底部径-		材質 木製	内外面黒漆、外面部分的に赤漆。	
56	223	2区 SX3	木製品 下駄	最大長21.65cm 器厚2.0～2.5cm 最大幅7.5cm		材質 木製	平面隅丸長方形の台、前歯・後歯の差込穴・長方形(前歯穴1.3cm×2.7cm、後歯穴1.3cm×2.6cm)有、後穴左側一部欠損。前穴1.5cm×1.1cm、後穴0.9cm×0.9cm。	
58	256	3区 SD14	木製品 棒状木製品	長さ29.7cm 幅2.0cm 厚さ1.3cm		材質 木取 板目	上半部にえぐりあり。	
58	257	3区 SD14	木製品 棒状木製品	長さ(26.9cm) 幅1.5cm 厚さ1.1cm		材質 木取	先端部をゆるやかに尖らせる。	
58	258	3区 SD14	木製品 板状木製品	長さ(16.0cm) 幅(0.8cm) 厚さ0.4cm		材質 木取 芯木	板状に平坦面、先端部は切り断ち隅は欠け。	
58	259	3区 包含層	木製品 板状木製品	長さ(4.2cm) 幅(2.6cm) 厚さ0.4cm		材質 木取 芯木	板状に平坦面、側面も面取りがされる。	

西木津遺跡 出土遺物観察表

図面番号	No.	出土遺構	器種	大きさ ( )内は復元・残存	色調	焼成・胎土	器形・成形・文様・調整の特徴	残存率
59	280	区画整理 SD65 下層	須恵器 蓋	口縁部径16.8cm 器高(1.7cm)	外面 灰(N6/0) 内面 灰(N6/0)	焼成 良 胎土 密 白色粒子少量含む	外面回転ナデ、内面回転ナデ。全体的にヤキムラあり。	1/6
59	281	区画整理 SD65	須恵器 杯A	口縁部径- 器高(1.2cm) 底部径5.6cm	外面 灰(N6/0) 内面 灰(N6/0)	焼成 やや不良 胎土 粗 白色粒子・砂粒適量含む	外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。ヘラ切り失敗、調整粗い。内面回転ナデ。	1/8以下
59	282	区画整理 SD65	須恵器 杯A	口縁部径- 器高(1.3cm) 底部径7.0cm	外面 灰黄(2.5Y7/2) 内面 浅黄(2.5Y7/3)	焼成 やや不良 胎土 密 白色粒子少量含む	外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り、内面回転ナデ。生焼け	1/10以下
59	283	区画整理 SD65 上層	須恵器 杯A	口縁部径- 器高(1.5cm) 底部径(7.5cm)	外面 灰白(N7/0) 内面 灰白(N7/0)	焼成 良 胎土 密 白色粒子少量含む	外面回転ナデ、底部回転ヘラ切り。内面回転ナデ。	1/8以下
59	284	区画整理 SD65 上層	須恵器 杯A	頸部径- 器高(1.7cm) 底部径8.5cm	外面 灰白(N7/0) 内面 灰白(N7/0)	焼成 良 胎土 密 白色粒子少量含む	外面、回転ナデ、底部回転ヘラ切り、中央盛りあり。内面回転ナデ。	1/6
59	285	区画整理 SD65 上層	須恵器 鉢か	頸部径- 器高(4.2cm) 底部径-	外面 灰(N6/0) 内面 灰白(N7/0)	焼成 良 胎土 やや粗 白色粒子・砂粒多量含む	内外面回転ナデ。口縁部直上に立ちあがる。	1/10以下
59	286	区画整理 SD65	中世土師器 皿	口縁部径7.5cm 器高1.3cm 底部径3.0cm	外面 浅黄橙(7.5YR8/3) 内面 浅黄橙(7.5YR8/3)	焼成 良 胎土 密 微砂粒微量含む	外面ヨコナデ、底部ナデ・ユビオサエ。内面ヨコナデ、ユビオサエ。1段ナデ	1/2以下
59	287	区画整理 SD65	中世土師器 皿 灯明皿	口縁部径8.0cm 器高(1.4cm) 底部径-	外面 にぶい黄橙(10YR7/4) 内面 にぶい黄橙(10YR7/4)	焼成 良 胎土 密 白色粒子微量含む	外面ヨコナデ。内面ヨコナデ。内外面タール部分的に付着。	1/8以下
59	288	区画整理 SD65 上層	中世土師器 皿	口縁部径12.0cm 器高(2.4cm) 底部径-	外面 浅黄橙(7.5YR8/3) 内面 浅黄橙(7.5YR8/4)	焼成 良 胎土 密 白色粒子微量含む	外面ヨコナデ、内面ヨコナデ、内外面摩耗。口縁部上方つまみあげ。	1/10以下
59	289	区画整理 SD65 下層	青磁 椀	口縁部径- 器高(2.0cm) 底部径(4.3cm)	外面 オリーブ灰(5GY6/1) 内面 オリーブ灰(5GY6/1)	焼成 良 胎土 密	外面施釉、蓮弁文(鎬なし)、内面青磁施釉。太宰府編年龍泉窯系青磁小椀Ⅲ類。	1/10以下
59	290	区画整理 SD65 上層	瓦器 鉢	口縁部径- 器高(9.5cm) 底部径-	外面 灰黄(2.5Y7/2) 内面 黄灰(2.5Y5/1)	焼成 良 胎土 密 白色粒子少量	奈良火鉢の浅鉢または深鉢。口縁部は直立、外面の加飾は確認できず	1/10以下
59	291	区画整理 SD65 下層	珠洲 擂り鉢	口縁部径27.0cm 器高(4.3cm) 底部径-	外面 灰(N6/0) 内面 灰(N6/0)	焼成 良 胎土 密 白色粒子・微砂粒少量含む	内外面ロクロナデ。口唇部ナデ。	1/10以下
59	292	区画整理 SD65	珠洲 片口鉢	口縁部径27.0cm 器高(6.1cm) 底部径-	外面 灰(N5/0) 内面 灰(N5/0)	焼成 良 胎土 密 白色粒子・微砂粒少量含む	内外面ロクロナデ、片口部ナデ。	1/8以下
59	293	区画整理 SD65 下層	珠洲 片口鉢	口縁部径28.8m 器高(6.1cm) 底部径4.7cm	外面 灰(N5/0) 内面 灰(N6/1)	焼成 良 胎土 密 白色粒子少量含む	内外面ロクロナデ。	1/8以下
59	294	区画整理 SD65 下層	珠洲 壺 大壺か	口縁部径20.4cm 器高(8.1cm) 底部径-	外面 灰白(N8/0～7/0) 内面 灰(7.5Y4/1)	焼成 良 胎土 密 白色粒子微量含む	外面体部ヨコ平行タタキメ、肩部タテ後ヨコタタキメ。口唇部ロクロナデ。内面口縁部ロクロナデ、体部タタキ。	1/10以下
59	295	区画整理 SD65 下層	珠洲 甕	口縁部径36.0cm 器高(2.2cm) 底部径-	外面 灰(N3/0) 内面 灰(N5/0)	焼成 良 胎土 やや粗 白色粒子・砂粒少量含む	内外面ロクロナデ。内面ヘラ当り濃あり	1/10以下
59	296	区画整理 SD65 上層	珠洲 甕	口縁部径36.0cm 器高(5.0cm) 底部径-	外面 灰白(N7/0) 内面 灰白(N7/0)	焼成 やや不良 胎土 やや粗 白色粒子・砂粒適量含む	外面体部平行タタキメ、内外面口縁ロクロナデ。内面頸部ヨコナデ、体部円形タタキ。口縁自然釉、降灰あり。	1/10以下
59	297	区画整理 SD65 下層	珠洲 甕	口縁部径- 器高(3.9cm) 底部径-	外面 灰(N5/0) 内面 灰(N5/0)	焼成 良 胎土 やや粗 海綿骨針少 白色粒子・砂粒適量含む	外面口縁部～頸部ロクロナデ、内面頸部ロクロナデ。	1/10以下
59	298	区画整理 SD65 下層	珠洲 壺	口縁部径- 器高(8.8cm) 底部径11.5cm	外面 灰(N6/0) 内面 灰(N6/0)	焼成 良 胎土 やや粗 白色粒子・微砂粒少量含む	外面体部平行タタキメ、ナデ、底部静止糸切り。内面ロクロナデ。外面体部自然釉、底部窯出し時橋打痕跡あり。	1/10以下
60	299	区画整理 SD65 下層	珠洲 甕	口縁部径- 器高(10.8cm) 底部径-	外面 灰(10Y5/1) 内面 灰(10Y5/1)	焼成 良 胎土 粗 白色粒子・砂粒少量含む	外面体部ヨコ平行タタキメ、内外面頸部～口縁ロクロナデ。内面口縁部ヘラ当て痕、体部タタキ後一部ナデ	1/10以下
60	300	区画整理 SD65 下層	珠洲 甕	口縁部径- 器高(9.1cm) 底部径-	外面 灰(7.5Y6/1) 内面 灰白(5Y7/1)	焼成 良 胎土 やや粗 白色粒子・砂粒少量含む	外面体部ヨコ平行タタキメ、口縁部ロクロナデ。内面体部タタキ後一部ナデ。口縁部自然釉、降灰あり。	1/10以下
60	301	区画整理 SD65 下層	珠洲 甕	口縁部径- 器高(10.8cm) 底部径-	外面 灰(10Y5/1) 内面 灰(10Y5/1)	焼成 良 胎土 粗 白色粒子・砂粒少量含む	外面体部ヨコ平行タタキメ、内外面頸部～口縁ロクロナデ。内面口縁部ヘラ当て痕、体部タタキ後一部ナデ。	1/10以下
60	302	区画整理 SD65 上層	珠洲 甕	口縁部径- 器高(7.5cm) 底部径-	外面 灰白(N8/0) 内面 灰白(N8/0)	焼成 良 胎土 やや粗 白色粒子・砂粒少量含む	外面体部ヨコ平行タタキメ、内外面頸部～口縁ロクロナデ。内面ヨコナデ。	1/10以下
60	303	区画整理 SD65 下層	珠洲 甕	口縁部径- 器高(10.1cm) 底部径-	外面 灰白(N8/0) 内面 灰白(N8/0)	焼成 良 胎土 やや粗 白色粒子・砂粒少量含む	外面体部ヨコ平行タタキメ。内面体部タタキ。底部近いか。内面部分的に黒色スス付着。	1/10以下
60	304	区画整理 SD65 下層	珠洲 甕	口縁部径- 器高(12.4cm) 底部径-	外面 灰(N6/0) 内面 灰(N6/0)	焼成 良 胎土 粗 白色粒子・砂粒適量含む	外面体部ヨコ平行タタキメ、内面体部タタキ後にナデ。	1/10以下
60	305	区画整理 SK39	青磁 椀	口縁部径- 器高(2.0cm) 高台径4.3cm	外面 灰白(2.5Y7/1) 内面 灰白(2.5Y7/1)	焼成 良 胎土 密	内外面青磁釉を施釉、底部は露胎。見込み部片彫りの文様を施す。	1/10以下
60	306	区画整理 SK39	須恵器 杯A	口縁部径9.9cm 器高(3.4cm) 高台径(8.2cm)	外面 灰白(N8/0) 内面 灰白(7.5Y7/1)	焼成 良 胎土 やや粗 白色粒子少量含む	内外面回転ナデ。	1/8以下
60	307	区画整理 SK39	中世土師器 皿	口縁部径- 器高(2.0cm) 底部径-	外面 にぶい橙(7.5YR7/3) 内面 にぶい黄橙(10YR7/3)	焼成 良 胎土 密	内外面ヨコナデ。内外面ヤキムラあり。	1/8以下
60	308	区画整理 SK39	土師器 甕か 黒色土器？	口縁部径- 器高(4.9cm) 底部径-	外面 黒(2.5Y2/1) 内面 灰白(2.5Y8/2)	焼成 良 胎土 やや粗 白色粒子・砂粒少量含む	外面ナデ、黒色処理。内面ヨコナデ、ユビオサエ。	1/10以下
60	309	区画整理 SK52	珠洲 擂鉢	口縁部径- 器高(5.5cm) 底部径13.5cm	外面 灰白(N6/0) 内面 灰白(N6/0)	焼成 良 胎土 粗 白色粒子・砂粒少量	外面ロクロナデ、底部静止糸切。板状圧痕あり。内面ロクロナデ、卸目13条1単位、8方向。	1/8以下
60	310	区画整理 SP67 下層	中世土師器 皿	口縁部径4.0cm 器高(2.1cm) 底部径(4.0cm)	外面 浅黄橙(7.5YR8/3) 内面 浅黄橙(7.5YR8/3)	焼成 良 胎土 やや粗い 白色粒子微量含む	内外面ヨコナデ。焼成時の黒斑あり。口縁つまみあげ。	1/8以下
60	311	区画整理 SP67 下層	中世土師器 皿	口縁部径(14.0cm) 器高(2.4cm) 底部径-	外面 にぶい橙(7.5YR7/3) 内面 灰白(2.5Y8/1)	焼成 良 胎土 やや粗 白色粒子・微砂粒少量含む	外面1段ナデ、以下ナデ。内面ナデ。	1/10以下
60	312	区画整理 SD62	土師器 杯A	口縁部径- 器高(1.0cm) 底部径5.2cm	外面 浅黄橙(10YR8/3) 内面 灰白(10YR8/1)	焼成 やや不良 胎土 やや粗 白色粒子・石英少量含む	外面回転ナデ、底部回転糸切り。内面回転ナデ。外面部分的に赤彩。	1/8
60	313	区画整理 SD66	中世土師器 皿	口縁部径10.0cm 器高(1.9cm) 底部径-	外面 にぶい橙(7.5YR7/4) 内面 橙(7.5YR7/6)	焼成 やや不良 胎土 やや粗 微砂粒少量含む	外面ヨコナデ。内面ヨコナデ。内外面ヤキムラあり。	1/10以下
60	314	区画整理 SD66	中世土師器 皿	口縁部径10.0cm 器高(1.9cm) 底部径-	外面 浅黄橙(7.5YR8/3) 内面 浅黄橙(7.5YR8/3)	焼成 やや不良 胎土 やや粗 微砂粒少量含む	外面ヨコナデ。内面ヨコナデ。	1/8以下
60	315	区画整理 包含層	縄文土器 深鉢 晩期	口縁部径- 器高(3.2cm) 底部径-	外面 灰褐(7.5YR5/2) 内面 にぶい黄橙(10YR7/3)	焼成 良 胎土 やや粗 海綿骨針少 白色粒子・砂粒適量	外面ナデ、沈線1条、口唇部刻み目。内面ヨコナデ、ユビオサエ痕残る。被熱痕残る。	1/10以下

報 告 書 抄 録

ふりがな	なかきづいせき・にしきづいせきちょうさほうこく
書名	中木津遺跡・西木津遺跡調査報告
副署名	高岡市木津土地区画整理組合による区画整理事業に伴う調査
シリーズ名	高岡市埋蔵文化財調査報告
シリーズ番号	第26冊
編集機関	高岡市教育委員会
所在地	〒933-8601　富山県富山市広小路7番50号　　TEL　0766-20-1463
調査担当者	根津　明義　　田上　和彦　　道振　弘明
編集者	杉山　大晋　　根津　明義
発行年月日	西暦2014年3月14日

所収遺跡名	所在地	市町村コード	遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
中木津遺跡 区画整理地区	富山県 高岡市木津	016202	202149	36° 44′ 06″	136° 59′ 26″	100414 ～ 120316	24,967 ㎡	区画整理
西木津遺跡 区画整理地区	富山県 高岡市木津	016202	202148	36° 44′ 08″	136° 59′ 35″	120221 ～ 120316	546 ㎡	区画整理

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
中木津遺跡 区画整理地区	散布地	奈良 ～ 近世	古代掘立柱建物 時期不明土坑　中世 溝状遺構　時期不明 溝状遺構	縄文土器　土師器　須恵器　墨書土器 黒色土器　製塩土器　珠洲　越前　中 世土師器　肥前陶磁器　土錘　打製石 斧　石鏃　金属製品　木製品	
西木津遺跡 区画整理地区	散布地	中世 ～ 近世	時期不明土坑　中世 溝状遺構　時期不明 溝状遺構	縄文土器　土師器　須恵器　珠洲　瀬 戸美濃　肥前系陶磁器	

高岡市埋蔵文化財調査報告第26冊　中木津遺跡・西木津遺跡調査報告
— 高岡市木津土地区画整理組合による区画整理事業に伴う調査 —

2014(平成26)年3月14日　発行

編集・発行　高岡市教育委員会
〒933-8601　富山県高岡市広小路7番50号
TEL　0766-20-1463

印　　刷　平田印刷株式会社
〒933-0014　高岡市野村1485
TEL　0766-23-0061